アジアの文学Ａ（作業で学ぶ魏晉の人物評論と文論研究法）　2020-S000009445-01

甲斐　勝二

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・１時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

授業では、中国の六朝期の劉宋時代に編まれた人物評論である『世説新語』をとり挙げる。過去の人物の行為がどのように描かれ、どのように評価されているか､について正史とは別の記録からに皆さんに考えてもらいたい。評論は詩や小説や物語とはことなり、わくわくドキドキするほどおもしろい物語ではないが、各人の行為を比較して評価するその視点は､現代を生きる我々の行為を考える参考になる。

取り上げる内容は、日本の漢文理解の伝統を踏まえて、書き下し文や翻訳文をしめすつもりだが、極力現代口語の訓読を目指す。学生諸君には自分で漢和辞典を調べてもらったり、翻訳を調べてもらうことになり、またいろいろ考えてもらうことになる。

これに平行してテキストを使って中国の文論（文学理論・批評）の研究方法についても考える。研究の姿勢についても学ぼうとするのは、その方法や考え方はいろいろなところで役立たせることができるからである。

「作業で学ぶ」と言うように毎時間授業内容に関わる課題を出し、その課題に対する小レポートの提出を必須作業として求める。次の時間にはその提出レポートから例を挙げて各意見の検討を行う。時には酷評する場合も起こるので、小レポートは心して書くこと。

なお、受講者数次第ではグループ学習も取り入れる可能性もある。その場合は同じ問題に対して為される友人の感受性やセンスを学び取って、自分のそれらを広げる機会として役立てて欲しい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国古典文学の一班（主に評論）を知る(知識・理解) 学術研究の方法について一例を知る(知識・理解) 対象資料を考察し自分の意見を理由をつけて表現できる(技能) 漢語に対する興味をもつ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：授業の最初に配付するシラバスの授業計画の説明に従って，テキストの当該部分を事前に読んで自分なりに理解しておくこと（６０分程度)。

配布する作業プリントを漢和辞典や翻訳文を調べて完成させておくこと（９０分程度)。

復習：授業内容について自分の理解をまとめておくこと（３０分程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

小レポート（毎時間提出）と作業課題（課題の提出は moodle を利用するので、期限を守って提出する事）及び定期試験で到達目標の達成度を評価する。

授業で講じる知識や内容の理解および態度は、毎回提出する小レポートを全評価の３割・moodle に提出する作業課第を全評価の２割にして評価する。

知識の定着および自分の意見を理由を付けて表現できる力は、定期試験により５割を上限として評価する。

以上の三種類を加え合わせて、総合的に評価する。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

『中国文学理論批評史－唐宋編』(卿雲堂・予価 800 円)

◎－－－　参考書　－－－◎

漢辞海　ISBN 978-4-385-14048-3
批評理論入門―『フランケンシュタイン』解剖講義 （中公新書）　ISBN ISBN978-4-12-101790-1 世説新語
『世説新語』の日本語訳や関係書は幾種類かでており本学の図書館にも幾種かあるので、気に入ったものを参考にして欲しい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

作品を自分なりに解釈するときには資料文の漢字の意味を確認する必要があるので漢和辞典を利用すること。漢和辞典は高校で使用したものでかまわないが、新規購入を考える場合は三省堂の『漢辞海』か角川書店の『新字源』を勧めたい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第１回：オリエンテーション
授業の進め方の確認・中国の評論と文論
第１回小レポート提出及び予習課題の提示
第２回：『世説新語』の時代
第２回小レポート提出及び予習課題の提示第３回：『世説新語』を読む１　文論研究法１
第３回小レポート提出及び予習課題の提示第４回：『世説新語』を読む２　文論研究法２
第４回小レポート提出及び予習課題の提示第５回：『世説新語』を読む３　文論研究法３
第５回小レポート提出及び予習課題の提示第６回：『世説新語』を読む４　文論研究法４

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

第 6 回小レポート提出及び予習課題の提示第 7 回：『世説新語』を読む５　文論研究法 5
第 7 回小レポート提出及び予習課題の提示第 8 回：『世説新語』を読む６　文論研究法 6
第 8 回小レポート提出及び予習課題の提示第 9 回：『世説新語』を読む７　文論研究法 7
第 9 回小レポート提出及び予習課題の提示第 10 回：『世説新語』を読む８ 文論研究法 8
第 10 回小レポート提出及び予習課題の提示第 11 回：『世説新語』を読む９ 文論研究法 9
第 11 回小レポート提出及び予習課題の提示第 12 回：『世説新語』を読む 10 文論研究法 10　　第 12 回小レポート提出及び予習課題の提示第 13 回：『世説新語』を読む 11 文論研究法 11　　第 13 回小レポート提出及び予習課題の提示第 14 回：『世説新語』を読む 12 文論研究法 12　　第 14 回小レポート提出及び予習課題の提示第 15 回：まとめ 小レポート提出と予習課題の提出

◎－－－　テキスト　－－－◎
中国の三国時代に関連する文学ついて、基本的知識を身につけ、説明することができる。（知識・理解）

『三国志』と『三国志演義』の共通点と相違点を明らかにすることができる。（技能）

三国時代の英雄を通して、現代人に通じる生き方を学ぶ態度を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

三国志に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい（指定されたものを読んでおくのに 30 分程度はかけましょう）。授業の内容については、授業後に見直して確認をするなどの復習をすることが大切となります（振り返って知識を定着させるのに 30 分程度はかけましょう）。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい（週に平均して１時間程度はかけましょう）。

アジアの文学Ａ（三国志の文学）　2020-S000009445-02 東　英寿

授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本授業は、中国の三国時代に関する文学をテーマとします。魏・呉・蜀という三つの国が鼎立した三国時代は、曹操、劉備、関羽、張飛、諸葛孔明など個性のある様々な人物が登場し、知略をめぐらせた作戦や壮絶な戦いが行われました。これらの史実を記録したのが陳寿編纂の歴史書『三国志』です。さらに後世、『三国志』に基づいた小説である『三国志演義』が刊行されました。

本授業では、主として『三国志』と『三国志演義』を取り扱い、三国時代の情勢、三国志に登場する人物、三国時代に関連する詩文の読解などの視点から多面的に考察します。

さらに、三国時代を記録した正史『三国志』と、その後に編纂された小説『三国志演義』を比較しその違いについて分析することを通して、三国志の物語の伝承関係や、現在三国志の史実といわれているものは、どちらに基づいているのか等についても考察します。

適宜、授業に関連する映画ＤＶＤや三国志のアニメＤＶＤの鑑賞を通して、三国志について、一層の理解を深めます。

三国時代の英傑の生き方は、現代人の生き方に通じるものがあり、それらを理解することを通して、中国人の考え方・思想を学ぶという観点からも授業を展開します。

以上を通して、三国志について総合的に学ぶことを目指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

三国時代の文学や時代情勢に関する知識を身につけ、授業の内容をきちんと理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価（70％）と授業中のミニッツペーパー（三国時代の文学作品や英雄についてのコメント、授業に関連する見解等）提出（30％）によって総合的に評価します。　テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

三国志について詳しく知らなくても、授業中に適宜、三国志に関するＤＶＤや横山光輝のアニメ『三国志』を見るので、三国という時代を理解できると思います。 なお、遅刻をしないようにして注意して下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　イントロダクション
２　三国という時代
３　三国志の種類

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

4　三国志の登場人物
5　三国志から三国志演義へ
6　横山光輝『三国志』
7　桃園の結義
8　督郵の視察
9　三顧の礼
10　苦肉の計
11　赤壁の戦いⅠ
12　赤壁の戦いⅡ
13　三国志と邪馬台国
14　現代人と三国志
15　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

アジアの文学Ａ（王昭君の物語） 2020-S000009445-03 岡村　真寿美

授業時間割：前期：水・１時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

　本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。
　『西京雑記』に記される「画工棄市」の故事は、王昭君像を語る上での基本となっています。本講義では、『西京雑記』の内容を確認するとともに、本來の王昭君の姿や、その伝説化の過程について、いくつかの歴史書・詩文講読を通して理解を深めていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

『西京雑記』の記事を理解する(知識・理解)

『漢書』『後漢書』に記された王昭君像を理解する(知識・理解)

王昭君故事の発展について理解する(知識・理解) 故事の生まれた歴史的背景について理解する(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと（60 分）
（復習）その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験８０％（到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解）平常点２０％（原則として毎回課す予定である講義のポイントについての小テストまたはレポート）の割合で総合的に評価する。
講義中にプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校漢文の知識があることが望ましいが、無くても履修できる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　受講ガイダンス
02　『西京雑記』「画工棄市」①
03　『西京雑記』「画工棄市」②
04　『西京雑記』「画工棄市」③
05　『漢書』「元帝紀」①
06　『漢書』「元帝紀」②
07　『漢書』「元帝紀」③
08　『後漢書』「南匈奴伝」
09　『琴操』①
10　『琴操』②
11　石崇「王明君詞」①
12　石崇「王明君詞」②
13　漢の和蕃公主
14　唐の和蕃公主
15　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

アジアの文学Ａ（韓国・朝鮮文学を知る） 2020-S000009445-04 朴　順伊

授業時間割：前期：水・４時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、韓国・朝鮮文学の知識を学び、異文化というものを理解することを目的とする。
具体的には、近代文学の作品を中心に作品を読むことに焦点を置く。例えば、近年以後、異文化に接する機会が多い現在、私達は、東アジア文化圏の中で生活していながらもいかにそれらの社会や文化を正しく理解していないところがある。そこで本講義では、韓国文学に焦点を合わせ、その作品の背景にある社会的構造を含め、歴史、文化などを登場する人物を通して、心理的な観点から価値観・行動様式などのバロメーターを総合的に幅広く紹介する。それに基づく画像資料などの副教材も使用する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

韓国文学についての基礎知識とその背景にある社会的な風習・道徳・慣習などの差異を考えることができる。

(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

復習：毎回、授業で習ったことを読むこと。(30 分) 予習：次回の授業に備えて分からない単語などを事前に調べてくること。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

韓国文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識を活かしてその時代の背景にある歴史、文化、人々の価値観の違いを理解しているのか等を基準にし、以下の割合で判断する。

・定期テスト（５０％）
・小テスト（３０％）
・授業への参加度・積極性・質問や感想（２０％）『アジア文化と文学思想－日韓比較の視点から－』朴順伊著、　文眞堂
ISBN　978 - 4 - 8309 - 4664 - 6

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・遅刻しないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　オリエンテーション・韓国・朝鮮文学とは？
2　韓国文学と儒教思想（１）
3　韓国文学と儒教思想（２）
4　李光洙の「反儒教思想」と近代思想
5　三綱五常と「忠」思想
6　三綱五常と「孝」思想
7　三綱五常と「貞」思想
8　『無常』における「家」思想
9　『無常』における「妓生」概念
10　作品と関連する映画感想
11　『無常』における「婚姻制度」と新女性
12　『再生』における「恋愛観」
13　『再生』における「男性観」
14　『再生』における「教育観」
15　総まとめ

アジアの文学Ａ「BB」（三国志演義の世界・Ｉ ）　2020-S000009445-05

黄　冬柏

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・二部１時限　試験時間割：2020/07/28　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。歴史書としての『三国志』を基礎として成立した小説『三国志演義』は、七割が史実、三割がフィクションである。この講義では、小説『三国志演義』における史実と虚構の組み合わせや英雄豪傑の人物像を解説する。

具体的に、「桃園の誓い」・「官渡の戦い」・「三顧の礼」などの重要な場面と関羽・曹操・劉備などの主要人物を中心に、DVD 映像を活用しながら、パワーポイントと配布資料を使用して授業を進めていく。講義形式であるが、受講生に質問や意見、感想を求める。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A.『三国志演義』の名場面と主要な登場人物を知る。(知識・理解)

B.三国志物語の面白さ及び中国文学の楽しさを理解できる。(技能)

C.異文化に興味を持ち、広い視野から物事を考える態度を持つ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎回予習・復習を怠らないこと。具体的に講義のトピックスについて調べ、配布資料を熟読しておくこと。(120 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

各到達目標の達成度は、下記の方法と割合により評価する。
到達目標Ａ：平素のレポートとトピックごとのコメントペーパー
到達目標Ｂ・到達目標Ｃ：期末の定期試験
（平素の学習状況は４割、定期試験は６割）

◎－－－　テキスト　－－－◎ 講義中にプリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金文京著『三国志演義の世界』　東方書店　2005 年羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』　筑摩書房　2002 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に参加し、ノートを取ること。
授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。
授業後に、感想文などを提出すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
　予復習の目安時間：120 分
2. 中国文学史における『三国志演義』
　予復習の目安時間：120 分
3. 映画『レッドクリフ・Ｉ 』の鑑賞
　予復習の目安時間：120 分
4. 映画『レッドクリフ・Ｉ 』の解説
　予復習の目安時間：120 分
5. 名場面：「桃園の誓い」（１）
　予復習の目安時間：120 分
6. 名場面：「桃園の誓い」（２）
　予復習の目安時間：120 分
7. 人物像：神になった英雄――関羽
　予復習の目安時間：120 分
8. 名場面：「官渡の戦い」（１）
　予復習の目安時間：120 分
9. 名場面：「官渡の戦い」（２）
　予復習の目安時間：120 分
10. 人物像：曹操はなぜ悪役なのか

予復習の目安時間：120 分
11. 名場面：「三顧の礼」（１）
予復習の目安時間：120 分
12. 名場面：「三顧の礼」（２）
予復習の目安時間：120 分
13. 人物像：劉備の人徳
予復習の目安時間：120 分
14. 日本における『三国志演義』の受容
予復習の目安時間：120 分
15. まとめ
復習の目安時間：120 分

アジアの文学Ａ（台湾作家・三毛『サハラの歳月』を読む／語る）　2020-S000009445-06

間　ふさ子

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義
授業時間割：前期：金・１時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

台湾の女性作家・三毛の『サハラの歳月』を、LTD 学習法を用いて読んでいきます。

授業は LTD（Learning Through Discussion）学習法を取り入れて行います。履修者はまず、作品を読み、決められたフォームに従って予習ノートを作成します。そしてそれをもとに、4 人のグループで語り合い、作品に対する理解を深めていきます。

三毛（1943-1991）は、若いころサハラ砂漠に行き、そこで暮らしました。そしてそこでの体験を『撒哈拉的故事（サハラの物語）』『哭泣的駱駝（哀哭のラクダ）』という二冊の本にまとめ、台湾で一躍ベストセラー作家となりました。その後、中華人民共和国でも彼女の一大ブームが起こり、いまでも愛読者は増え続けています。 2011 年には彼女の逝去 20 年を記念して新たに全集が刊行され、前述の二冊が『撒哈拉的歳月』としてまとめられ、第一巻に収められました。彼女の作品は中国語圏で広く愛されているのみならず、英語・スペイン語・韓国語など多くの言語にも翻訳されています。

日本でもこのたび『サハラの歳月』と題して『撒哈拉的歳月』の完訳が刊行されました。これを機会に、三毛が異邦人としてのまなざしと生活者としての共感をもってサハラに生きる人々の姿を描いた短編の数々を、一作ずつ読んでグループで語り合い、この作品の何が台湾・中国、ひいては世界の人々を惹きつけてやまないのか、その理由を探ります。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 三毛という作家に対する理解を深める。（知識・理解）

『サハラの歳月』に収められたそれぞれの短編に対する理解を深め、三毛の作品世界を知る。（知識・理解）

LTD 学習法を習得し、それに習熟する。（技能）

グループ学習において、メンバーの理解促進の一助となれるよう自らの意見を述べる。（態度・志向性）

実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し
グループ学習において他のメンバーの意見を傾聴し、それを自らの理解の促進に役立てる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

（予習）予習ノートを作って提出する。
（60 分）
（復習）毎回の LTD ミーティングについて自己評価し、作品の読後感をまとめる。（45 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

本講義は定期試験を行いません。以下の基準と割合で総合評価を行います。
・予習ノート 40%（プログラムに従ってきちんと予習ができているか）
・毎回のミーティングのまとめ 30%（読後感がきちんと書かれているか）
・期末レポート 30%（書式に則って書かれているか、問題意識が明確か、論の展開が適切か）

◎－－－　テキスト　－－－◎

三毛『サハラの歳月』ISBN978-4-88344-289-8（石風社 2019 年）特価 2000 円（税込み）

◎－－－　参考書　－－－◎

アジアの文学Ｂ（課題で学ぶ古典詩の鑑賞と寓話物語の理解）　2020-S000009446-01

甲斐　勝二

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・１時限　試験時間割：2021/01/20　４時限
『実践・LTD 話し合い学習法』　ISBN 9784779501050

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

第 1 回授業（4/10）の際に出版社の方に教室でテキストを販売していただきますので、おつりがいらないよう代金（2000 円）を準備してきてください。

本講義では LTD 学習法というグループ学習を行います。そのため毎回の予習は必須です。また欠席するとグループ学習の進行に支障をきたしますので、毎回必ず予習をしたうえで出席してください。

この授業では moodle を使って、資料の配布や課題の提出を行います。moodle の使い方はオリエンテーションの際に説明します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　オリエンテーション、LTD について
02　作家と作品について
03　LTD 準備
04　LTD①
05　LTD②
06　LTD③
07　LTD④
08　LTD⑤
09　LTD⑥
10　LTD⑦
11　LTD⑧
12　LTD⑨
13　LTD⑩
14　まとめ①
15　まとめ②
※状況によって変更が生じる場合もあります。

◎－－－　URL　－－－◎

福岡大学 moodle システム
(https;//moodle.cis.fukuoka-u.ac.jp)

◎－－－　概要　－－－◎

中国の文学は長く、ジャンルは各種各様で、中心となった場所もあちこち広がっている。この授業ではその中でも中心を占める古典詩と、長期にわたって言語文化を豊かにしてきた寓話物語を取り上げ考えてみたい。

古典詩の鑑賞については、あらかじめ予習課題を出すので、自分で漢和辞典を調べて解釈し、鑑賞を施したものを期限を決めて提出してもらい、授業で提出物からおもしろそうなものを紹介し、その内容について確認することにしたい。場合によっては厳しい批評もするかも知れないが、理由を示して行うつもりなので、了解して欲しい。

授業ではこのほかに寓話物語とそれから導かれる故事成語等の話をしながら寓話の意味を皆さんと共に考えてみたい。授業の最後には授業内容のまとめを提出してもらい、授業後には復習課題として授業で取り上げた寓話について指示に基づく小レポートを作成して提出してもらう。

なお提出には moodle を使う予定なので、使用法について最初の授業で説明したい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国における文学の性格の一班を知る(知識・理解) 課題を自分なりの視点で考え文章にできる(技能) 漢和辞典を使い慣れる(態度・志向性) 漢語表現に興味を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：授業で配布された予習課題の詩文を。漢和辞典などを使って自分の力で解釈し口語訳し授業前までに提出する。(90 分)

復習：授業で取り上げた寓話について出された課題を期限までに提出する。(90 分)
いずれも本学の moodle を使って配付し提出してもらう予定なので、提出期限を守ること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価基準：それぞれの課題・試験では自分の視点が妥当な理由で説得性をもって記されているかどうかで評価する。
評価の割合は、それぞれ授業予習課題提出（15%を上限）授業小レポート（20%を上限）復習課題提出（15%を上限)、期末試験（50%を上限）で総合的に評価する。
◎－－－　テキスト　－－－◎ プリント配布

◎－－－　参考書　－－－◎

中国寓話選（白帝社）　中国古代寓話集（東洋文庫）　古代寓話文学集（平凡社中国文学全集）
この他中国の故事成語を巡る記述に寓話に関する記載が多いので探してみてほしい

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予習課題では訓読文をしばしば提示するので、漢和辞典を使う事が多くなる。漢和辞典を持っていない場合は三省堂の『新辞海』か角川書店の『新字源』をお勧めしたい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 オリエンテーション
　課題及び予習復習の解説と moodle の利用方法
2 古典詩鑑賞（詩経「桃夭」）
　と先秦漢寓話賞析 1
3 古典詩鑑賞（楚辞「九辯」）
　と先秦漢寓話賞析 2
4 古典詩鑑賞（漢「秋風辞」）
　と先秦漢寓話賞析 3
5 古典詩鑑賞（魏晋詩「亀雖寿」）
　と魏晉寓話賞析 1
6 古典詩鑑賞（魏晉詩「飲馬長城窟行」）
　と魏晉寓話賞析 2
7 古典詩鑑賞（魏晉詩「止酒」）
　と魏晉寓話賞析 3
8 古典詩鑑賞（唐詩「子夜呉歌」）
　と唐寓話賞析 1
9 古典詩鑑賞（唐詩「客至」）
　と唐寓話賞析 2
10 古典詩鑑賞（唐詩「売炭翁」）
　と唐家教賞析（番外）
11 古典詩鑑賞（宋詩「鍾山即事」）
　と宋の寓話賞析 1
12 古典詩鑑賞（宋詩「食豬肉」）
　と宋の寓話賞析 2
13 古典詩鑑賞（宋詩「沈園」）
　と宋の寓話賞析 3
14 古典詩鑑賞（明詩「画題」）
　と明寓話賞析
15 まとめ　寓話の存在を考える

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

アジアの文学Ｂ（唐・宋文学の世界）　　2020-S000009446-02 東　英寿

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中国の唐時代（618～907）と宋時代（960～1279）の文学について講義します。

本授業の前半では、唐時代に活躍した詩人の詩を取り上げ講義します。孟浩然、王維、王昌齢、李白、杜甫、杜牧等の唐代の詩人の詩を読解し、さらにそれぞれに関連したＤＶＤ（漢詩紀行）を毎回鑑賞しながら、いわば唐詩が作られた場所に旅をすることを通して、その詩が作られた経緯や当時の状況を理解します。

本授業の後半では、宋の時代に活躍した詩人、蘇軾、歐陽脩の二人に焦点を当てて講義します。授業では、適宜、授業の内容と関連したＤＶＤ（漢詩紀行）や『宋代の都市文化』、『故宮一夢の都　開封～北宋～』等を鑑賞して、映像を通して理解を深めます。

この授業は、これまで中国の文学について知識がなかった人に対しても、わかりやすく理解できるよう進めて行きます。

以上を通して、中国の唐・宋時代の文学を様々な角度から理解することを目指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国の唐代と宋代の詩人の詩について、基本的知識を身につけ、説明することができる。（知識・理解）

唐代の詩人のＤＶＤを鑑賞して、その詩の作成された具体的状況等を理解できる。（知識・理解）

宋代の歐陽脩が発想の達人と考えられる理由や要因を理解することができる。（技能）唐代、宋代の詩人の生き方を学ぶ態度を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

唐詩、宋詩に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい（指定されたものを読んでおくのに 30 分程度はかけましょう）。授業の内容については、授業後に見直し確認をするなどの復習をして下さい（振り返って知識を定着させるのに 30 分程度はかけましょう）。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい
（週に平均して１時間程度はかけましょう）。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

唐代、宋代の文学に対する知識を確実に身につけ、授業の内容を理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価（70％）と授業中のミニッツペーパー（唐宋時代の文学作品や詩人についてのコメント、授業に関連する見解等）提出（30％）によって総合的に評価します。テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

新しい知識を積極的に吸収しようと意欲をもって授業に出て下さい。なお、遅刻をしないように注意して下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　唐という時代について
3　孟浩然の詩
4　王維の詩
5　王昌齢の詩
6　李白の人生と詩
7　杜甫の人生と詩
8　杜牧の詩
9　宋という時代について
10　蘇軾Ⅰ
11　蘇軾Ⅱ
12　歐陽脩Ⅰ
13　歐陽脩Ⅱ
14　歐陽脩Ⅲ
15　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

アジアの文学Ｂ（「王昭君変文」を読む）　2020-S000009446-03 岡村　真寿美

授業時間割：後期：水・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。
漢代の実在の人物である王昭君の物語は、様々に形を変えて語り継がれました。本講義は彼女を取り上げた作品の一つ「王昭君変文」の講読を通して、王昭君故事の受容や時代背景、また通俗文芸についての基礎知識を学んでいきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

『西京雑記』の記事を理解する(知識・理解)

「変文」について理解する(知識・理解)

「王昭君変文」の内容を理解する(知識・理解) 故事の生まれた歴史的背景について理解する(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと（60 分）
（復習）その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験８０％（到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解）平常点２０％（原則として毎回課す予定である講義のポイントについての小テストまたはレポート）の割合で総合的に評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 講義中にプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

前期「アジアの文学 A(中国文学 A)」（岡村クラス）を履修しておくことが望ましいが、未履修でも受講できる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　受講ガイダンス
02　『西京雑記』「画工棄市」①
03　『西京雑記』「画工棄市」②
04　「変文」とは
05　「王昭君変文」講読①「上巻について」
06　「王昭君変文」講読②「出発」①
07　「王昭君変文」講読③「出発」②
08　「王昭君変文」講読④「出発」④
09　「王昭君変文」講読⑤「小休止」①
10　「王昭君変文」講読⑥「小休止」②
11　「王昭君変文」講読⑦「小休止」③
12　「王昭君変文」講読⑧「昭君の決断」①
13　「王昭君変文」講読⑨「昭君の決断」②
14　「王昭君変文」講読⑩「昭君の決断」③
15　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

アジアの文学Ｂ（韓国・朝鮮の文学を知る）　　2020-S000009446-04 柳　忠熙

授業時間割：後期：金・２時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

みなさんは〈韓流〉という言葉をよく耳にしているかもしれません。最近、日本では、K-pop やドラマや映画など、さまざまな韓国のコンテンツが紹介され、みなさんにも親しみのあるものになっていると思います。これまでの記憶と経験を思い出しながら、韓国・朝鮮の文学作品と映画の内容を確認し、韓国・朝鮮文化を考える新しい経験をしてみませんか。

この授業では、日本の隣の国である韓国・朝鮮の文学に関する概略的な知識と理解を得ることを目指します。

古代から現代にかけての韓国・朝鮮文学の流れを学び、各時期の韓国・朝鮮文学作品の内容と、その作品が置かれた歴史・社会・文化的な背景についての概略的な知識と理解を得ることができます。

そして、各時期の主な韓国・朝鮮文学テキストと関連映画に触れてみる（原文や日本語翻訳や映画の鑑賞など）ことを通じて、朝鮮半島に生きた人々の社会や歴史の変化を理解し、現在の韓国・朝鮮の歴史・社会・文化の特徴に対する自分なりの観点を持つことになります。

◎－－－　到達目標　－－－◎

韓国・朝鮮文学についての基礎知識を身につけることができる(知識・理解)

日韓・日朝関係についての自分なりの観点を得ることができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

復習時にプリントを再読し、不明な点については、参考文献の学習や次回の講義での質問など、解決に努めること（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

韓国・朝鮮文学に関する基礎知識を習得しているのか、またその知識をもって正確に韓国・朝鮮文学の特徴と内容を説明することができるかを評価基準とし、以下の割合で総合的に判断する。

・定期試験：40％
・映画鑑賞の感想文：30％（A4 の 1 頁程度ｘ3 回提出）
・作品の感想文：10％（A4 の 2 頁程度）
・授業への取り組み：20％（授業の内容に対する感想や質問。教員の質問に対する返答。）

プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

李光鎬編、尹相仁・渡辺直紀訳『韓国の近現代文学』（法政大学出版局、2001 年）ISBN: 4588080083
野崎充彦『朝鮮の物語』（大修館書店、1998）ISBN: 9784469231427
染谷智幸・鄭炳説編『韓国の古典小説』（ぺりかん社、2008 年）ISBN: 9784831512239
申明直・張世眞・権昶奎著、浦川登久恵・野口なごみ訳『韓国文学ノート』（白帝社、2008 年）ISBN: 9784891749491
権寧珉編、田尻浩幸訳『韓国近現代文学事典』（明石書店、2012 年）ISBN:9784750331683
小倉紀蔵『朝鮮思想全史』（ちくま新書、2017 年)、ISBN:9784480071040
秋月望監修『韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史』（キネマ旬報ムック、2015 年）ISBN:4873768179
斎藤真理子編『韓国・フェミニズム・日本 完全版』（河出書房新社、2019 年)、ISBN:9784309028378
韓国映像資料院編・桑畑優香訳『韓国映画 100 選』（クオン、2019 年)、ISBN：9784904855935

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・配布されたプリントを毎回すべて持参すること。
・授業中に鑑賞する映画（3 本）についての感想文を提出すること（3 回)。
・韓国・朝鮮文学（日本語訳）の課題リストから 1 作品を選んで読んで、その感想文を提出すること。
・毎回の授業の最後に感想や質問などを記入し提出すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. オリエンテーション、韓国・朝鮮の文学とは
2. 韓国・朝鮮の古典文学（1)
3. 韓国・朝鮮の古典文学（2)
4. 古典文学関連映画の鑑賞(1)
5. 古典文学関連映画の鑑賞(2)解説

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

6. 開化期・植民地期の文学（1）
7. 開化期・植民地期の文学（2）
8. 近代文学関連映画の鑑賞(1)
9. 近代文学関連映画の鑑賞(2)解説
10. 韓国・朝鮮の現代文学（1）
11. 韓国・朝鮮の現代文学（2）
12. 韓国・朝鮮の現代文学（3）
13. 現代文学関連映画の鑑賞(1)
14. 現代文学関連映画の鑑賞(2)解説
15. 全体のまとめ

・時期区分とその内容
①韓国・朝鮮の古典文学（1）～（5）：古代～朝鮮時代、例）神話・郷歌・時調・漢詩文・パンソリ・古小説など） ②開化期・植民地期の文学（1）～（3）：19 世紀末～20 世紀半ば、例）新小説・翻訳翻案物・新体詩・代小説・日本語創作など）
③韓国・朝鮮の現代文学（1）～（4）：20 世紀半ば～現在、例）高度成長期の文学、今日の韓国文学など。

アジアの文学Ｂ「BB」（三国志演義の世界・Ⅱ ）　2020-S000009446-05

黄　冬柏

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・二部１時限　試験時間割：2021/01/19　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。歴史書としての『三国志』を基礎として成立した小説『三国志演義』は、七割が史実、三割がフィクションである。この講義では、小説『三国志演義』における史実と虚構の組み合わせや英雄豪傑の人物像を解説する。

具体的に、「赤壁の戦い」・「秋風五丈原」などの重要な場面と諸葛孔明・曹操・周瑜などの主要人物を中心に、DVD 映像を活用しながら、パワーポイントと配布資料を使用して授業を進めていく。講義形式であるが、受講生に質問や意見、感想を求める。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A.『三国志演義』の名場面と主要な登場人物を知る。（知識・理解）

B.三国志物語の面白さと中国文学の楽しさを理解できる。（技能）

C.異文化に興味を持ち、広い視野から物事を考える態度を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎回予習・復習を怠らないこと。具体的に講義のトピックスについて調べ、配布資料を熟読しておくこと。（120 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

各到達目標の達成度は、下記の方法と割合により評価する。
到達目標Ａ：平素のレポートとトピックごとのコメントペーパー
到達目標Ｂ・到達目標Ｃ：期末の定期試験
（平素の学習状況は４割、定期試験は６割）

◎－－－　テキスト　－－－◎ 講義中にプリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金文京著『三国志演義の世界』　東方書店　2005 年羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』　筑摩書房　2002 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に参加し、ノートを取ること。
授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。
授業後に、感想文などを提出すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.ガイダンス
予復習の目安時間：120 分
2.史書『三国志』と小説『三国志演義』
予復習の目安時間：120 分
3.映画『レッドクリフ・Ⅱ 』の鑑賞
予復習の目安時間：120 分
4.映画『レッドクリフ・Ⅱ 』の解説
予復習の目安時間：120 分
5.名場面：「赤壁の戦い」（１）
予復習の目安時間：120 分
6.名場面：「赤壁の戦い」（２）
予復習の目安時間：120 分
7.人物像：諸葛孔明の知恵
予復習の目安時間：120 分
8.名場面：「関羽の最期」（１）
予復習の目安時間：120 分
9.名場面：「関羽の最期」（２）
予復習の目安時間：120 分
10.人物像：呉の周瑜

予復習の目安時間：120 分
11. 名場面：「秋風五丈原」（１）
予復習の目安時間：120 分
12. 名場面：「秋風五丈原」（２）
予復習の目安時間：120 分
13. 人物像：最後の勝者
予復習の目安時間：120 分
14. 『三国志演義』にまつわる名言
予復習の目安時間：120 分
15. まとめ
復習の目安時間：120 分

◎－－－　到達目標　－－－◎ 文学者魯迅を知る(知識・理解) 魯迅の作品を読む(知識・理解) 魯迅と日本人とのかかわりを知る(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）指定されたテキストを読んでくる。(60 分)
（復習）授業で学んだことをまとめる。(20 分)

アジアの文学Ｂ（魯迅を知る／読む／観る）

2020-S000009446-06

間　ふさ子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中国の文豪・魯迅は日本人にもなじみの深い文学者で、中学の教科書で魯迅の作品に接したという人も多いと思います。魯迅は日本に留学し仙台で医学を学びますが、医学では人の魂は救えないと考え、文学の道に進みました。20 代を日本で過したのち中国に帰り、役人や教員をしながら作品を発表して社会変革を目指しました。社会の弊を鋭く突くその筆法は読者の大きな共感を得ると同時に、敵も多く作りました。1936 年に亡くなるまでの 10 年間は上海に定住して国家権力による弾圧をかわしながら文筆で生活を立てました。魯迅の緊張した生活を支えたのは上海に店を構えていた内山書店の内山完造です。

魯迅の一生を俯瞰すると、青年期と晩年に日本人との重要な関わりがあることがわかります。そして日本人読者もまた長らく彼の文学や生き方に影響を受けてきました。作家の井上ひさしもその一人だといえます。井上ひさしは樋口一葉や林芙美子などの評伝劇を多く執筆したことで知られていますが、彼が描いた唯一の外国人が魯迅でした。

本講義では、井上ひさしが魯迅を主人公として創作した戯曲『シャンハイムーン』を手掛かりに、魯迅の生き方や日本人との関わりをいくつかの魯迅作品や周辺資料から読み解くと同時に、日本人は魯迅をどのように受容してきたのか、その一例を見ていきます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 55%、授業確認カードなどの平常点 45%。
定期試験は、①魯迅についての知識、②講義で紹介した魯迅作品についての知識と理解、③魯迅と日本とのかかわりおよび日本人の魯迅受容についてどのような見解を示すことができるか、が評価の基準となります。
平常点は、その日の講義内容について問題意識を持ち検討を行っているかどうかを評価の基準とします。

◎－－－　テキスト　－－－◎ プリント配付

◎－－－　参考書　－－－◎

『阿Ｑ正伝・狂人日記』　ISBN 978-4003202524
『朝花夕拾』　ISBN 978-4003202531
『魯迅評論集』　ISBN 978-4003202586
井上ひさし『シャンハイムーン』(集英社ｅ文芸単行本)

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義では moodle を利用して資料の配布や課題の提出を行います。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　オリエンテーション、魯迅とその足跡について
02　魯迅と内山書店
03　映像資料鑑賞①
04　「藤野先生」をめぐって
05　「薬」をめぐって
06　「忘却のための記念」をめぐって
07　魯迅の二人の妻
08　魯迅と木版画
09　魯迅と鎌田誠一
10　映像資料鑑賞②
11　「吶喊自序」をめぐって
12　魯迅作品における「月」のイメージについて
13　「故郷」をめぐって
14　「フェアプレイはまだ早い」をめぐって
15　映像資料③鑑賞、まとめ
※状況によって内容の入れ替えが生じることもあります。

◎－－－　URL　－－－◎

福岡大学 moodle システム
(https://moodle.cis.fukuoka-u.ac.jp)

中国文学Ａ（作業で学ぶ魏晉の人物評論と文論研究法）

2020-S000009424-01

甲斐　勝二

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・１時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

授業では、中国の六朝期の劉宋時代に編まれた人物評論である『世説新語』をとり挙げる。過去の人物の行為がどのように描かれ、どのように評価されているか､について正史とは別の記録からに皆さんに考えてもらいたい。評論は詩や小説や物語とはことなり、わくわくドキドキするほどおもしろい物語ではないが、各人の行為を比較して評価するその視点は､現代を生きる我々の行為を考える参考になる。

取り上げる内容は、日本の漢文理解の伝統を踏まえて、書き下し文や翻訳文をしめすつもりだが、極力現代口語の訓読を目指す。学生諸君には自分で漢和辞典を調べてもらったり、翻訳を調べてもらうことになり、またいろいろ考えてもらうことになる。

これに平行してテキストを使って中国の文論（文学理論・批評）の研究方法についても考える。研究の姿勢についても学ぼうとするのは、その方法や考え方はいろいろなところで役立たせることができるからである。

「作業で学ぶ」と言うように毎時間授業内容に関わる課題を出し、その課題に対する小レポートの提出を必須作業として求める。次の時間にはその提出レポートから例を挙げて各意見の検討を行う。時には酷評する場合も起こるので、小レポートは心して書くこと。

なお、受講者数次第ではグループ学習も取り入れる可能性もある。その場合は同じ問題に対して為される友人の感受性やセンスを学び取って、自分のそれらを広げる機会として役立てて欲しい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国古典文学の一班（主に評論）を知る(知識・理解) 学術研究の方法について一例を知る(知識・理解) 対象資料を考察し自分の意見を理由をつけて表現できる(技能) 漢語に対する興味をもつ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：授業の最初に配付するシラバスの授業計画の説明に従って，テキストの当該部分を事前に読んで自分なりに理解しておくこと（６０分程度)。
配布する作業プリントを漢和辞典や翻訳文を調べて完成させておくこと（９０分程度)。
復習：授業内容について自分の理解をまとめておくこと（３０分程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

小レポート（毎時間提出）と作業課題（課題の提出は moodle を利用するので、期限を守って提出する事）及び定期試験で到達目標の達成度を評価する。

授業で講じる知識や内容の理解および態度は、毎回提出する小レポートを全評価の３割・moodle に提出する作業課第を全評価の２割にして評価する。

知識の定着および自分の意見を理由を付けて表現できる力は、定期試験により５割を上限として評価する。

以上の三種類を加え合わせて、総合的に評価する。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

『中国文学理論批評史－唐宋編』（卿雲堂・予価 800 円）

◎－－－　参考書　－－－◎

漢辞海　ISBN 978-4-385-14048-3
批評理論入門―『フランケンシュタイン』解剖講義 （中公新書）　ISBN ISBN978-4-12-101790-1 世説新語
『世説新語』の日本語訳や関係書は幾種類かでており本学の図書館にも幾種かあるので、気に入ったものを参考にして欲しい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

作品を自分なりに解釈するときには資料文の漢字の意味を確認する必要があるので漢和辞典を利用すること。漢和辞典は高校で使用したものでかまわないが、新規購入を考える場合は三省堂の『漢辞海』か角川書店の『新字源』を勧めたい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回：オリエンテーション
授業の進め方の確認・中国の評論と文論
第 1 回小レポート提出及び予習課題の提示
第 2 回：『世説新語』の時代
第 2 回小レポート提出及び予習課題の提示第 3 回：『世説新語』を読む１　文論研究法 1
第 3 回小レポート提出及び予習課題の提示第 4 回：『世説新語』を読む２　文論研究法 2
第 4 回小レポート提出及び予習課題の提示第 5 回：『世説新語』を読む３　文論研究法 3
第 5 回小レポート提出及び予習課題の提示第 6 回：『世説新語』を読む４　文論研究法 4
第 6 回小レポート提出及び予習課題の提示第 7 回：『世説新語』を読む５　文論研究法 5
第 7 回小レポート提出及び予習課題の提示第 8 回：『世説新語』を読む６　文論研究法 6
第 8 回小レポート提出及び予習課題の提示第 9 回：『世説新語』を読む７　文論研究法 7
第 9 回小レポート提出及び予習課題の提示第 10 回：『世説新語』を読む８　文論研究法 8
第 10 回小レポート提出及び予習課題の提示第 11 回：『世説新語』を読む９　文論研究法 9
第 11 回小レポート提出及び予習課題の提示第 12 回：『世説新語』を読む 10　文論研究法 10　第 12 回小レポート提出及び予習課題の提示第 13 回：『世説新語』を読む 11　文論研究法 11　第 13 回小レポート提出及び予習課題の提示第 14 回：『世説新語』を読む 12　文論研究法 12　第 14 回小レポート提出及び予習課題の提示第 15 回：まとめ　小レポート提出と予習課題の提出

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

中国文学Ａ（三国志の文学）　　2020-S000009424-02 東　英寿

授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本授業は、中国の三国時代に関する文学をテーマとします。魏・呉・蜀という三つの国が鼎立した三国時代は、曹操、劉備、関羽、張飛、諸葛孔明など個性のある様々な人物が登場し、知略をめぐらせた作戦や壮絶な戦いが行われました。これらの史実を記録したのが陳寿編纂の歴史書『三国志』です。さらに後世、『三国志』に基づいた小説である『三国志演義』が刊行されました。

本授業では、主として『三国志』と『三国志演義』を取り扱い、三国時代の情勢、三国志に登場する人物、三国時代に関連する詩文の読解などの視点から多面的に考察します。

さらに、三国時代を記録した正史『三国志』と、その後に編纂された小説『三国志演義』を比較しその違いについて分析することを通して、三国志の物語の伝承関係や、現在三国志の史実といわれているものは、どちらに基づいているのか等についても考察します。

適宜、授業に関連する映画ＤＶＤや三国志のアニメＤＶＤの鑑賞を通して、三国志について、一層の理解を深めます。

三国時代の英傑の生き方は、現代人の生き方に通じるものがあり、それらを理解することを通して、中国人の考え方・思想を学ぶという観点からも授業を展開します。

以上を通して、三国志について総合的に学ぶことを目指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国の三国時代に関連する文学について、基本的知識を身につけ、説明することができる。(知識・理解)

『三国志』と『三国志演義』の共通点と相違点を明らかにすることができる。(技能)

三国時代の英雄を通して、現代人に通じる生き方を学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

三国志に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい（指定されたものを読んでおくのに 30 分程度はかけましょう)。授業の内容については、授業後に見直して確認をするなどの復習をすることが大切となります（振り返って知識を定着させるのに 30 分程度はかけましょう)。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい（週に平均して１時間程度はかけましょう)。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

三国時代の文学や時代情勢に関する知識を身につけ、授業の内容をきちんと理解できているかを評価の基準とします。

定期試験の評価（70%）と授業中のミニッツペーパー（三国時代の文学作品や英雄についてのコメント、授業に関連する見解等）提出（30%）によって総合的に評価します。　テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

三国志について詳しく知らなくても、授業中に適宜、三国志に関するＤＶＤや横山光輝のアニメ『三国志』を見るので、三国という時代を理解できると思います。 なお、遅刻をしないようにして注意して下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　三国という時代
3　三国志の種類
4　三国志の登場人物
5　三国志から三国志演義へ
6　横山光輝『三国志』
7　桃園の結義
8　督郵の視察
9　三顧の礼
10　苦肉の計
11　赤壁の戦いⅠ
12　赤壁の戦いⅡ
13　三国志と邪馬台国
14　現代人と三国志
15　まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

中国文学Ａ（王昭君の物語）　2020-S000009424-04 岡村　真寿美

授業時間割：前期：水・１時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。
『西京雑記』に記される「画工棄市」の故事は、王昭君像を語る上での基本となっています。本講義では、『西京雑記』の内容を確認するとともに、本來の王昭君の姿や、その伝説化の過程について、いくつかの歴史書・詩文講読を通して理解を深めていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

『西京雑記』の記事を理解する(知識・理解)

『漢書』『後漢書』に記された王昭君像を理解する(知識・理解)

王昭君故事の発展について理解する(知識・理解) 故事の生まれた歴史的背景について理解する(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと（60 分）
（復習）その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験８０％（到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解）平常点２０％（原則として毎回課す予定である講義のポイントについての小テストまたはレポート）の割合で総合的に評価する。
講義中にプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校漢文の知識があることが望ましいが、無くても履修できる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　受講ガイダンス
02　『西京雑記』「画工棄市」①
03　『西京雑記』「画工棄市」②
04　『西京雑記』「画工棄市」③
05　『漢書』「元帝紀」①
06　『漢書』「元帝紀」②
07　『漢書』「元帝紀」③
08　『後漢書』「南匈奴伝」
09　『琴操』①
10　『琴操』②
11　石崇「王明君詞」①
12　石崇「王明君詞」②
13　漢の和蕃公主
14　唐の和蕃公主
15　まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

中国文学Ａ「BB」（三国志演義の世界・Ｉ ）　2020-S000009424-05 黄　冬柏

授業時間割：前期：火・二部１時限　試験時間割：2020/07/28　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。歴史書としての『三国志』を基礎として成立した小説『三国志演義』は、七割が史実、三割がフィクションである。この講義では、小説『三国志演義』における史実と虚構の組み合わせや英雄豪傑の人物像を解説する。

具体的に、「桃園の誓い」・「官渡の戦い」・「三顧の礼」などの重要な場面と関羽・曹操・劉備などの主要人物を中心に、DVD 映像を活用しながら、パワーポイントと配布資料を使用して授業を進めていく。講義形式であるが、受講生に質問や意見、感想を求める。

◎－－－　到達目標　－－－◎

Ａ.『三国志演義』の名場面と主要な登場人物を知る。（知識・理解）

Ｂ.三国志物語の面白さ及び中国文学の楽しさを理解できる。（技能）

Ｃ.異文化に興味を持ち、広い視野から物事を考える態度を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎回予習・復習を怠らないこと。具体的に講義のトピックスについて調べ、配布資料を熟読しておくこと。（120 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

各到達目標の達成度は、下記の方法と割合により評価する。
到達目標Ａ：平素のレポートとトピックごとのコメントペーパー
到達目標Ｂ・到達目標Ｃ：期末の定期試験
（平素の学習状況は４割、定期試験は６割）講義中にプリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金文京著『三国志演義の世界』　東方書店　2005 年羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』　筑摩書房　2002 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に参加し、ノートを取ること。
授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。
授業後に、感想文などを提出すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
　予復習の目安時間：120 分
2. 中国文学史における『三国志演義』
　予復習の目安時間：120 分
3. 映画『レッドクリフ・Ｉ 』の鑑賞
　予復習の目安時間：120 分
4. 映画『レッドクリフ・Ｉ 』の解説
　予復習の目安時間：120 分
5. 名場面：「桃園の誓い」（１）
　予復習の目安時間：120 分
6. 名場面：「桃園の誓い」（２）
　予復習の目安時間：120 分
7. 人物像：神になった英雄――関羽
　予復習の目安時間：120 分
8. 名場面：「官渡の戦い」（１）
　予復習の目安時間：120 分
9. 名場面：「官渡の戦い」（２）
　予復習の目安時間：120 分
10. 人物像：曹操はなぜ悪役なのか
　予復習の目安時間：120 分
11. 名場面：「三顧の礼」（１）
　予復習の目安時間：120 分
12. 名場面：「三顧の礼」（２）
　予復習の目安時間：120 分
13. 人物像：劉備の人徳
　予復習の目安時間：120 分
14. 日本における『三国志演義』の受容
　予復習の目安時間：120 分
15. まとめ
　復習の目安時間：120 分

中国文学A（台湾作家・三毛『サハラの歳月』を読む／語る）　2020-S000009424-06

間　ふさ子

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：前期：金・１時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

台湾の女性作家・三毛の『サハラの歳月』を、LTD 学習法を用いて読んでいきます。

授業は LTD（Learning Through Discussion）学習法を取り入れて行います。履修者はまず、作品を読み、決められたフォームに従って予習ノートを作成します。そしてそれをもとに、4 人のグループで語り合い、作品に対する理解を深めていきます。

三毛（1943-1991）は、若いころサハラ砂漠に行き、そこで暮らしました。そしてそこでの体験を『撒哈拉的故事（サハラの物語)』『哭泣的駱駝（哀哭のラクダ)』という二冊の本にまとめ、台湾で一躍ベストセラー作家となりました。その後、中華人民共和国でも彼女の一大ブームが起こり、いまでも愛読者は増え続けています。2011 年には彼女の逝去 20 年を記念して新たに全集が刊行され、前述の二冊が『撒哈拉的歳月』としてまとめられ、第一巻に収められました。彼女の作品は中国語圏で広く愛されているのみならず、英語・スペイン語・韓国語など多くの言語にも翻訳されています。

日本でもこのたび『サハラの歳月』と題して『撒哈拉的歳月』の完訳が刊行されました。これを機会に、三毛が異邦人としてのまなざしと生活者としての共感をもってサハラに生きる人々の姿を描いた短編の数々を、一作ずつ読んでグループで語り合い、この作品の何が台湾・中国、ひいては世界の人々を惹きつけてやまないのか、その理由を探ります。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 三毛という作家に対する理解を深める。(知識・理解)

『サハラの歳月』に収められたそれぞれの短編に対する理解を深め、三毛の作品世界を知る。(知識・理解)

LTD 学習法を習得し、それに習熟する。(技能)

グループ学習において、メンバーの理解促進の一助となれるよう自らの意見を述べる。(態度・志向性)

グループ学習において他のメンバーの意見を傾聴し、それを自らの理解の促進に役立てる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）予習ノートを作って提出する。(60 分)
（復習）毎回の LTD ミーティングについて自己評価し、作品の読後感をまとめる。(45 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

本講義は定期試験を行いません。以下の基準と割合で総合評価を行います。
・予習ノート 40%（プログラムに従ってきちんと予習ができているか)
・毎回のミーティングのまとめ 30%（読後感がきちんと書かれているか)
・期末レポート 30%（書式に則って書かれているか、問題意識が明確か、論の展開が適切か)

◎－－－　テキスト　－－－◎

三毛『サハラの歳月』ISBN978-4-88344-289-8（石風社 2019 年）特価 2000 円（税込み）

◎－－－　参考書　－－－◎

『実践・LTD 話し合い学習法』　ISBN 9784779501050

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

第 1 回授業（4/10）の際に出版社の方に教室でテキストを販売していただきますので、おつりがいらないよう代金（2000 円）を準備してきてください。

本講義では LTD 学習法というグループ学習を行います。そのため毎回の予習は必須です。また欠席するとグループ学習の進行に支障をきたしますので、毎回必ず予習をしたうえで出席してください。

この授業では moodle を使って、資料の配布や課題の提出を行います。moodle の使い方はオリエンテーションの際に説明します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　オリエンテーション、LTD について
02　作家と作品について
03　LTD 準備
04　LTD①
05　LTD②
06　LTD③
07　LTD④
08　LTD⑤
09　LTD⑥
10　LTD⑦

11　LTD⑧
12　LTD⑨
13　LTD⑩
14　まとめ①
15　まとめ②
※状況によって変更が生じる場合もあります。

◎－－－　URL　－－－◎

福岡大学 moodle システム
(https;//moodle.cis.fukuoka-u.ac.jp)

いずれも本学の moodle を使って配付し提出してもらう予定なので、提出期限を守ること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価基準：それぞれの課題・試験では自分の視点が妥当な理由で説得性をもって記されているかどうかで評価する。
評価の割合は、それぞれ授業予習課題提出（15%を上限）授業小レポート（20%を上限）復習課題提出（15%を上限)、期末試験（50%を上限）で総合的に評価する。

中国文学Ｂ（課題で学ぶ古典詩の鑑賞と寓話物語の理解）

2020-S000009430-01

甲斐　勝二

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中国の文学は長く、ジャンルは各種各様で、中心となった場所もあちこち広がっている。この授業ではその中でも中心を占める古典詩と、長期にわたって言語文化を豊かにしてきた寓話物語を取り上げ考えてみたい。
古典詩の鑑賞については、あらかじめ予習課題を出すので、自分で漢和辞典を調べて解釈し、鑑賞を施したものを期限を決めて提出してもらい、授業で提出物からおもしろそうなものを紹介し、その内容について確認することにしたい。場合によっては厳しい批評もするかも知れないが、理由を示して行うつもりなので、了解して欲しい。
授業ではこのほかに寓話物語とそれから導かれる故事成語等の話をしながら寓話の意味を皆さんと共に考えてみたい。授業の最後には授業内容のまとめを提出してもらい、授業後には復習課題として授業で取り上げた寓話について指示に基づく小レポートを作成して提出してもらう。
なお提出には moodle を使う予定なので、使用法について最初の授業で説明したい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国における文学の性格の一班を知る(知識・理解) 課題を自分なりの視点で考え文章にできる(知識・理解) 漢和辞典を使い慣れる(技能) 漢語表現に興味を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：授業で配布された予習課題の詩文を。漢和辞典などを使って自分の力で解釈し口語訳し授業前までに提出する。(90 分)
復習：授業で取り上げた寓話について出された課題を期限までに提出する。(90 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎ プリント配布

◎－－－　参考書　－－－◎

中国寓話選（白帝社）　中国古代寓話集（東洋文庫）
古代寓話文学集（平凡社中国文学全集）
この他中国の故事成語を巡る記述に寓話に関する記載が多いので探してみてほしい

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予習課題では訓読文をしばしば提示するので、漢和辞典を使う事が多くなる。漢和辞典を持っていない場合は三省堂の『新辞海』か角川書店の『新字源』をお勧めしたい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 オリエンテーション
　課題及び予習復習の解説と moodle の利用方法
2 古典詩鑑賞（詩経「桃夭」）
　と先秦漢寓話賞析 1
3 古典詩鑑賞（楚辞「九辯」）
　と先秦漢寓話賞析 2
4 古典詩鑑賞（漢「秋風辞」）
　と先秦漢寓話賞析 3
5 古典詩鑑賞（魏晋詩「亀雖寿」）
　と魏晉寓話賞析 1
6 古典詩鑑賞（魏晉詩「飲馬長城窟行」）
　と魏晉寓話賞析 2
7 古典詩鑑賞（魏晉詩「止酒」）
　と魏晉寓話賞析 3
8 古典詩鑑賞（唐詩「子夜呉歌」）
　と唐寓話賞析 1
9 古典詩鑑賞（唐詩「客至」）

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

と唐寓話賞析 2
10 古典詩鑑賞（唐詩「売炭翁」）
と唐家教賞析（番外）
11 古典詩鑑賞（宋詩「鍾山即事」）
と宋の寓話賞析 1
12 古典詩鑑賞（宋詩「食豬肉」）
と宋の寓話賞析 2
13 古典詩鑑賞（宋詩「沈園」）
と宋の寓話賞析 3
14 古典詩鑑賞（明詩「画題」）
と明寓話賞析
15 まとめ　寓話の存在を考える

◎－－－　テキスト　－－－◎

唐詩、宋詩に関する文献は多くあるので、事前に積極的に読むことを心がけて下さい（指定されたものを読んでおくのに 30 分程度はかけましょう）。授業の内容については、授業後に見直し確認をするなどの復習をして下さい（振り返って知識を定着させるのに 30 分程度はかけましょう）。また授業中に適宜資料や図書を紹介するので、できる限り実際に読み進めて下さい
（週に平均して１時間程度はかけましょう）。

中国文学Ｂ（唐・宋文学の世界）　2020-S000009430-02 東　英寿

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中国の唐時代（618～907）と宋時代（960～1279）の文学について講義します。
授業の前半では、唐時代に活躍した詩人の詩を取り上げ講義します。孟浩然、王維、王昌齢、李白、杜甫、杜牧等の唐代の詩人の詩を読解し、さらにそれぞれに関連したＤＶＤ（漢詩紀行）を毎回鑑賞しながら、いわば唐詩が作られた地方に旅をすることを通して、その詩が作られた経緯や当時の状況を理解します。
授業の後半では、宋の時代に活躍した詩人、蘇軾、歐陽脩の二人に焦点を当てて講義します。授業では、適宜、授業の内容と関連したＤＶＤ（漢詩紀行）や『宋代の都市文化』、『故宮一夢の都　開封～北宋～』等を鑑賞して、映像を通して理解を深めます。
この授業は、これまで中国について知識がなかった人に対しても、わかりやすく理解できるよう進めて行きます。
以上を通して、中国の唐・宋時代の文学を様々な角度から理解することを目指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国の唐代と宋代の詩人の詩について、基本的知識を身につけ、説明することができる。(知識・理解)

唐代の詩人のＤＶＤを鑑賞して、その詩の作成された具体的状況等を理解できる。(知識・理解)

宋代の歐陽脩が発想の達人と考えられる理由や要因を理解することができる。(技能) 唐代、宋代の詩人の生き方を学ぶ態度を持つ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

唐代、宋代の文学に対する知識を確実に身につけ、授業の内容を理解できているかを評価の基準とします。
定期試験の評価（70%）と授業中のミニッツペーパー（唐宋時代の文学作品や詩人についてのコメント、授業に関連する見解等）提出（30%）によって総合的に評価します。　テキストは使用しませんが、適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

新しい知識を積極的に吸収しようと意欲をもって授業に出て下さい。なお、遅刻をしないように注意して下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　唐という時代について
3　孟浩然の詩
4　王維の詩
5　王昌齢の詩
6　李白の人生と詩
7　杜甫の人生と詩
8　杜牧の詩
9　宋という時代について
10　蘇軾Ⅰ
11　蘇軾Ⅱ
12　歐陽脩Ⅰ
13　歐陽脩Ⅱ
14　歐陽脩Ⅲ
15　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

中国文学Ｂ（「王昭君変文」を読む）　　2020-S000009430-04 岡村　真寿美

授業時間割：後期：水・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、悲劇の女性として知られる王昭君にスポットをあてます。
漢代の実在の人物である王昭君の物語は、様々に形を変えて語り継がれました。本講義は彼女を取り上げた作品の一つ「王昭君変文」の講読を通して、王昭君故事の受容や時代背景、また通俗文芸についての基礎知識を学んでいきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

『西京雑記』の記事を理解する(知識・理解)

「変文」について理解する(知識・理解)

「王昭君変文」の内容を理解する(知識・理解) 故事の生まれた歴史的背景について理解する(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（予習）作品の指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと（60 分）
（復習）その日の講義の内容をまとめ、それに対して検討を行うこと（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験８０％（到達目標に示されたポイント・作品や時代背景の理解）平常点２０％（原則として毎回課す予定である講義のポイントについての小テストまたはレポート）の割合で総合的に評価する。
講義中にプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

前期「アジアの文学 A(中国文学 A)」（岡村クラス）を履修しておくことが望ましいが、未履修でも受講できる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　受講ガイダンス
02　『西京雑記』「画工棄市」①
03　『西京雑記』「画工棄市」②
04　「変文」とは
05　「王昭君変文」講読①「上巻について」
06　「王昭君変文」講読②「出発」①
07　「王昭君変文」講読③「出発」②
08　「王昭君変文」講読④「出発」④
09　「王昭君変文」講読⑤「小休止」①

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

10　「王昭君変文」講読⑥「小休止」②
11　「王昭君変文」講読⑦「小休止」③
12　「王昭君変文」講読⑧「昭君の決断」①
13　「王昭君変文」講読⑨「昭君の決断」②
14　「王昭君変文」講読⑩「昭君の決断」③
15　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

中国文学Ｂ「BB」（三国志演義の世界・Ⅱ ）　　2020-S000009430-05 黄　冬柏

授業時間割：後期：火・二部１時限　　試験時間割：2021/01/19　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。歴史書としての『三国志』を基礎として成立した小説『三国志演義』は、七割が史実、三割がフィクションである。この講義では、小説『三国志演義』における史実と虚構の組み合わせや英雄豪傑の人物像を解説する。

具体的に、「赤壁の戦い」・「秋風五丈原」などの重要な場面と諸葛孔明・曹操・周瑜などの主要人物を中心に、DVD 映像を活用しながら、パワーポイントと配布資料を使用して授業を進めていく。講義形式であるが、受講生に質問や意見、感想を求める。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A.『三国志演義』の名場面と主要な登場人物を知る。（知識・理解）

B.三国志物語の面白さと中国文学の楽しさを理解できる。（技能）

C.異文化に興味を持ち、広い視野から物事を考える態度を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎回予習・復習を怠らないこと。具体的に講義のトピックスについて調べ、配布資料を熟読しておくこと。（120 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

各到達目標の達成度は、下記の方法と割合により評価する。　到達目標Ａ：平素のレポートとトピックごとのコメントペーパー

到達目標Ｂ・到達目標Ｃ：期末の定期試験

（平素の学習状況は４割、定期試験は６割）講義中にプリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金文京著『三国志演義の世界』　東方書店　2005 年羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』　筑摩書房　2002 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に参加し、ノートを取ること。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。
授業後に、感想文などを提出すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
　予復習の目安時間：120 分
2. 史書『三国志』と小説『三国志演義』
　予復習の目安時間：120 分
3. 映画『レッドクリフ・Ⅱ 』の鑑賞
　予復習の目安時間：120 分
4. 映画『レッドクリフ・Ⅱ 』の解説
　予復習の目安時間：120 分
5. 名場面：「赤壁の戦い」（１）
　予復習の目安時間：120 分
6. 名場面：「赤壁の戦い」（２）
　予復習の目安時間：120 分
7. 人物像：諸葛孔明の知恵
　予復習の目安時間：120 分
8. 名場面：「関羽の最期」（１）
　予復習の目安時間：120 分
9. 名場面：「関羽の最期」（２）
　予復習の目安時間：120 分
10. 人物像：呉の周瑜
　予復習の目安時間：120 分
11. 名場面：「秋風五丈原」（１）
　予復習の目安時間：120 分
12. 名場面：「秋風五丈原」（２）
　予復習の目安時間：120 分
13. 人物像：最後の勝者
　予復習の目安時間：120 分
14. 『三国志演義』にまつわる名言
　予復習の目安時間：120 分
15. まとめ
　復習の目安時間：120 分

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　概要　－－－◎

中国の文豪・魯迅は日本人にもなじみの深い文学者で、中学の教科書で魯迅の作品に接したという人も多いと思います。魯迅は日本に留学し仙台で医学を学びますが、医学では人の魂は救えないと考え、文学の道に進みました。20 代を日本で過したのち中国に帰り、役人や教員をしながら作品を発表して社会変革を目指しました。社会の弊を鋭く突くその筆法は読者の大きな共感を得ると同時に、敵も多く作りました。1936 年に亡くなるまでの 10

中国文学Ｂ（魯迅を知る／読む／観る）　2020-S000009430-06 間　ふさ子

授業時間割：後期：金・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

年間は上海に定住して国家権力による弾圧をかわしながら文筆で生活を立てました。魯迅の緊張した生活を支えたのは上海に店を構えていた内山書店の内山完造です。

魯迅の一生を俯瞰すると、青年期と晩年に日本人との重要な関わりがあることがわかります。そして日本人読者もまた長らく彼の文学や生き方に影響を受けてきました。作家の井上ひさしもその一人だといえます。井上ひさしは樋口一葉や林芙美子などの評伝劇を多く執筆したことで知られていますが、彼が描いた唯一の外国人が魯迅でした。

本講義では、井上ひさしが魯迅を主人公として創作した戯曲『シャンハイムーン』を手掛かりに、魯迅の生き方や日本人との関わりをいくつかの魯迅作品や周辺資料から読み解くと同時に、日本人は魯迅をどのように受容してきたのか、その一例を見ていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 文学者魯迅を知る(知識・理解) 魯迅の作品を読む(知識・理解) 魯迅と日本人とのかかわりを知る(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

(予習) 指定されたテキストを読んでくる。(60 分)
(復習) 授業で学んだことをまとめる。(20 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 55%、授業確認カードなどの平常点 45%。
定期試験は、①魯迅についての知識、②講義で紹介した魯迅作品についての知識と理解、③魯迅と日本とのかかわりおよび日本人の魯迅受容についてどのような見解を示すことができるか、が評価の基準となります。
平常点は、その日の講義内容について問題意識を持ち検討を行っているかどうかを評価の基準とします。
プリント配付

◎－－－　参考書　－－－◎

『阿Q正伝・狂人日記』　ISBN 978-4003202524
『朝花夕拾』　ISBN 978-4003202531
『魯迅評論集』　ISBN 978-4003202586
井上ひさし『シャンハイムーン』(集英社 e 文芸単行本)

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義では moodle を利用して資料の配布や課題の提出を行います。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01　オリエンテーション、魯迅とその足跡について
02　魯迅と内山書店
03　映像資料鑑賞①

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

04　「藤野先生」をめぐって
05　「薬」をめぐって
06　「忘却のための記念」をめぐって
07　魯迅の二人の妻
08　魯迅と木版画
09　魯迅と鎌田誠一
10　映像資料鑑賞②
11　「吶喊自序」をめぐって
12　魯迅作品における「月」のイメージについて
13　「故郷」をめぐって
14　「フェアプレイはまだ早い」をめぐって
15　映像資料③鑑賞、まとめ
※状況によって内容の入れ替えが生じることもあります。

◎－－－　URL　－－－◎

福岡大学 moodle システム
(https://moodle.cis.fukuoka-u.ac.jp)

人文地理学（系統地理学の主題について考える）　2020-S000009442-01

磯田　則彦

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・１時限　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

地理学は、通常系統地理学と地誌学に分類される。両者の比重は時代とともに変化してきたが、前者の重要性は 1950 年代以降の世界の地理学の動向を見れば一目瞭然である。系統地理学は、実に多くの専門領域から構成されるが、通常その内容により人文地理学と自然地理学に分類される。本講義では、地理学における系統地理学の位置づけと特徴について理解したうえで、人文地理学の基本的な領域の理解を目標とする。人文地理学にはどのような主題があり、その主題にはどのような地域性が認められるのか、という観点から学習を進めていきたい。具体的には、世界の農業・工業・都市の地域性や特徴について、アメリカやＥＵ諸国、および中国などを事例地域として考察する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人文地理学が扱う主題について理解し説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください（講義１時間あたり 90 分以上)。具体的には、授業中に配布する資料を次回の講義までに熟読してくる。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習してくる。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）により評価する。具体的には、世界の農業・工業・都市に関する専門用語や地域名・都市名、および重要統計などが理解できているかを重視する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

なし。配布資料により講義を行う。

◎－－－　参考書　－－－◎

地図帳および世界国勢図会等

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に充分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、人文地理学を受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。

みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒につくりましょう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

①　地理学と系統地理学
②　人文地理学の主題とは
③　穀物栽培農業
④　有畜農業
⑤　中国の農業
⑥　アメリカの農業
⑦　工業の種類
⑧　工業の立地
⑨　アメリカの工業地域
⑩　ＥＵの工業地域
⑪　世界の都市分類
⑫　世界の特徴的な都市
⑬　世界の大都市
⑭　世界の都市問題
⑮　まとめ

人文地理学「BB」（系統地理学の主題について考える）　2020-S000009442-02

磯田　則彦

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・二部２時限　試験時間割：2020/07/30　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

地理学は、通常系統地理学と地誌学に分類される。両者の比重は時代とともに変化してきたが、前者の重要性は 1950 年代以降の世界の地理学の動向を見れば一目瞭然である。系統地理学は、実に多くの専門領域から構成されるが、通常その内容により人文地理学と自然地理学に分類される。本講義では、地理学における系統地理学の位置づけと特徴について理解したうえで、人文地理学の基本的な領域の理解を目標とする。人文地理学にはどのような主題があり、その主題にはどのような地域性が認められるのか、という観点から学習を進めていきたい。具体的には、世界の農業・工業・都市の地域性や特徴について、農業形態、工業類型論や立地論、およびプライメイトシティをはじめとした世界の大都市について考察する。事例地域としては、アメリカ・ＥＵ諸国、中国、南米・アフリカの国々などを取りあげる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人文地理学が扱う主題について理解し説明できる。（知識・理
解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください（講義１時間あたり 90 分以上）。具体的には、授業中に配布する資料を次回の講義までに熟読してくる。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習してくる。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

　定期試験の結果（100%）により評価する。具体的には、世界の農業・工業・都市に関する専門用語や地域名・都市名、および重要統計などが理解できているかを重視する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

　なし。配布資料により講義を行う。

◎－－－　参考書　－－－◎

　地図帳および世界国勢図会等

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　クラスサイズが比較的大きいので、授業中に充分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、人文地理学を受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒につくりましょう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

① 地理学と系統地理学
② 人文地理学の主題とは
③ 穀物栽培農業
④ 有畜農業
⑤ プランテーション農業
⑥ 中国の農業地域区分
⑦ 工業類型論
⑧ 工業立地論
⑨ アメリカの工業地域
⑩ ＥＵの工業地域
⑪ 都市化する世界
⑫ 世界の都市の分類
⑬ プライメイトシティとは
⑭ 世界の大都市問題
⑮ まとめ

倫理学Ａ（死へのまなざし）

広川　明

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

あらゆる人に死は平等に訪れる。ゆえに、そのうちの一人であ　ンある自分がいずれ死ぬことも自明な真理なのであるが、だから

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。わかりやすく板書し、必要に応じてプリ　トを配布する予定です。

2020-S000009405-01

といって日頃から自分の死について考えをめぐらしている人がいるかというと、そんな人はほとんどいないだろう。自分の死などというものは、わきに置いて忘れ去っているというのがふつうなのである。

だが、あえてそちらの方に視線を向けてみるならば、それはなんと途方もないことであろうか。他ならぬこの「私」が――― だれでもが「私」である――世界から消えてなくなるとは。だいいち、「私」は自分の死がどんなものか知ることができないし、死んだあと自分がどうなるか知ることもできないのである。そのような謎に包まれた死によって、自分の平凡な日常が限界づけられていることを自覚するとき、何か異様な驚きに打たれないだろうか。

この授業では、一人称（私）の死の意味について考えてみる。私の消滅という捉えどころのない事態に少しでも近づいてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人の死が人称によって異なる現れ方をすることを説明できる。(知識・理解)

他者の死とは異なる、一人称（私）の死の特異性を説明できる。(知識・理解)

人間の限界を自覚し、生きることを新たな視点から見直すようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時に課題を示すので、それについてのレ　ポートを作成すること（60 分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい。(20 分)
・プリントを配布した場合は、何度も読んで理解を深めておくこと（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・死の人称的な意味を正しく理解しているか、ハイデガーの実 ◎－－－　参考書　－－－◎

トルストイ『イワン・イリッチの死』(米川正夫訳、岩波文庫)　ISBN 4-00-326193-3
B.パスカル『パンセ』(前田・由木訳、中公文庫)　ISBN 4-12-200060-2
ハイデガー『存在と時間（3)（熊野純彦訳、岩波文庫)　ISBN 978-4-00-336516-8

存思想を理解し　ているか、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうし　た点を基準にして、定期試験の評価をする。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは、性同一性障害および　安楽死)、レポートの課題について、十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・定期試験の成績を 75%、提出されたレポートの評価を 25%で評価する。

倫理学A（死へのまなざし）広川

明

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・前提とされる知識等はとくに必要ありません。
・質問を受けた場合は、自分の意見をはっきりと　言うこと。分からない場合も、言葉にして表明　する必要があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　死への日常的態度
2　死の人称性とその重み
3　3 人称の死と 2 人称の死
4　ビデオ視聴とレポート課題の提示：性同一　　性障害
5　1 人称の死(1)：世界の中心の消滅
6　1 人称の死(2)：不在と無
7　死へとかかわる存在：ハイデガーの死生観
8　本来性：死をみつめて生きる
9　トルストイ『イワン・イリッチの死』をめ　　ぐって
10　映画『生きる』（黒澤明）にみる生と死
11　ビデオ視聴とレポート課題の提示：安楽死の　　問題
12　死後の問題(1)：天国と地獄
13　死後の問題(2)：輪廻転生
14　魂のゆくえ：死後にも魂はのこるのか
15　魂は大脳と同一か：心脳同一説と付随説

分の死などというものは、わきに置いて忘れ去っているというのがふつうなのである。
　だが、あえてそちらの方に視線を向けてみるならば、それはなんと途方もないことであろうか。他ならぬこの「私」が―― だれでもが「私」である――世界から消えてなくなるとは。だいいち、「私」は自分の死がどんなものか知ることができないし、死んだあと自分がどうなるか知ることもできないのである。そのような謎に包まれた死によって、自分の平凡な日常が限界づけられていることを自覚するとき、何か異様な驚きに打たれないだろうか。
　この授業では、一人称（私）の死の意味について考えてみる。私の消滅という捉えどころのない事態に少しでも近づいてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人の死が人称によって異なる現れ方をすることを説明できる。
(知識・理解)

他者の死とは異なる、一人称（私）の死の特異性を説明できる。(知識・理解)

人間の限界を自覚し、生きることを新たな視点から見直すようになる。(態度・志向性)

2020-S000009405-02

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・２時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

　あらゆる人に死は平等に訪れる。ゆえに、そのうちの一人である自分がいずれ死ぬことも自明な真理なのであるが、だからといって日頃から自分の死について考えをめぐらしている人がいるかというと、そんな人はほとんどいないだろう。自

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時に課題を示すので、それについてのレ　ポートを作成すること（60 分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい。(20 分)

存思想を理解し　ているか、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうし　た点を基準にして、定期試験の評価をする。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは、性同一性障害および安楽死)、レポートの課題について、十分なデータを集めたか、そのデータ　に基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・定期試験の成績を 75%、提出されたレポートの評価を 25%で評価する。

倫理学A（死へのまなざし）

広川　明

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・３時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

あらゆる人に死は平等に訪れる。ゆえに、そのうちの一人である自分がいずれ死ぬことも自明な真理なのであるが、だから・プリントを配布した場合は、何度も読んで理解を深めておくこと（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・死の人称的な意味を正しく理解しているか、ハイデガーの実
◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。わかりやすく板書し、必要に応じてプリントを配布する予定です。

◎－－－　参考書　－－－◎

トルストイ『イワン・イリッチの死』（米川正夫訳、岩波文庫）　ISBN 4-00-326193-3
B.パスカル『パンセ』（前田・由木訳、中公文庫）　ISBN 4-12-200060-2
ハイデガー『存在と時間（3）（熊野純彦訳、岩波文庫）
ISBN 978-4-00-336516-8

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・前提とされる知識等はとくに必要ありません。
・質問を受けた場合は、自分の意見をはっきりと　言うこと。分からない場合も、言葉にして表明　する必要があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　死への日常的態度

存思想を理解し　ているか、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうし　た点を基準にして、定期試験の評価をする。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは、性同一性障害および安楽死)、レポートの課題について、十分なデータを集めたか、そのデータ　に基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・定期試験の成績を 75%、提出されたレポートの評価を 25%で評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。わかりやすく板書し、必要に応じてプリントを配布する予定です。

2　死の人称性とその重み
3　3 人称の死と 2 人称の死
4　ビデオ視聴とレポート課題の提示：性同一　　性障害
5　1 人称の死(1)：世界の中心の消滅
6　1 人称の死(2)：不在と無
7　死へとかかわる存在：ハイデガーの死生観
8　本来性：死をみつめて生きる
9　トルストイ『イワン・イリッチの死』をめ　　ぐって
10　映画『生きる』（黒澤明）にみる生と死
11　ビデオ視聴とレポート課題の提示：安楽死の　　問題
12　死後の問題(1)：天国と地獄
13　死後の問題(2)：輪廻転生
14　魂のゆくえ：死後にも魂はのこるのか

倫理学A（死へのまなざし）広川

明

2020-S000009405-03

といって日頃から自分の死について考えをめぐらしている人が15　魂は大脳と同一か：心脳同一説と付随説いるかというと、そんな人はほとんどいないだろう。自分の死などというものは、わきに置いて忘れ去っているというのがふつうなのである。

だが、あえてそちらの方に視線を向けてみるならば、それはなんと途方もないことであろうか。他ならぬこの「私」が――― だれでもが「私」である――世界から消えてなくなるとは。だいいち、「私」は自分の死がどんなものか知ることができないし、死んだあと自分がどうなるか知ることもできないのである。そのような謎に包まれた死によって、自分の平凡な日常が限界づけられていることを自覚するとき、何か異様な驚きに打たれないだろうか。

この授業では、一人称（私）の死の意味について考えてみる。私の消滅という捉えどころのない事態に少しでも近づいてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人の死が人称によって異なる現れ方をすることを説明できる。(知識・理解)

他者の死とは異なる、一人称（私）の死の特異性を説明できる。(知識・理解)

人間の限界を自覚し、生きることを新たな視点から見直すようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時に課題を示すので、それについてのレ　ポートを作成すること（60 分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい。(20 分)
・プリントを配布した場合は、何度も読んで理解を深めておくこと（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・死の人称的な意味を正しく理解しているか、ハイデガーの実 ◎－－－　参考書　－－－◎

トルストイ『イワン・イリッチの死』(米川正夫訳、岩波文庫)　ISBN 4-00-326193-3
B.パスカル『パンセ』(前田・由木訳、中公文庫)　ISBN 4-12-200060-2
ハイデガー『存在と時間（3)（熊野純彦訳、岩波文庫)　ISBN 978-4-00-336516-8

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・前提とされる知識等はとくに必要ありません。
・質問を受けた場合は、自分の意見をはっきりと　言うこと。分からない場合も、言葉にして表明　する必要があります。

存思想を理解し　ているか、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうし　た点を基準にして、定期試験の評価をする。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは、性同一性障害および安楽死)、レポートの課題について、十分なデータを集めたか、そのデータ　に基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・定期試験の成績を 75%、提出されたレポートの評価を 25%で評価する。

倫理学A（死へのまなざし）

広川　明

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

あらゆる人に死は平等に訪れる。ゆえに、そのうちの一人である自分がいずれ死ぬことも自明な真理なのであるが、だから

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。わかりやすく板書し、必要に応じてプリントを配布する予定です。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　死への日常的態度
2　死の人称性とその重み
3　3 人称の死と 2 人称の死
4　ビデオ視聴とレポート課題の提示：性同一　　性障害
5　1 人称の死(1)：世界の中心の消滅
6　1 人称の死(2)：不在と無
7　死へとかかわる存在：ハイデガーの死生観
8　本来性：死をみつめて生きる
9　トルストイ『イワン・イリッチの死』をめ　　ぐって
10　映画『生きる』（黒澤明）にみる生と死
11　ビデオ視聴とレポート課題の提示：安楽死の　　問題
12　死後の問題(1)：天国と地獄
13　死後の問題(2)：輪廻転生
14　魂のゆくえ：死後にも魂はのこるのか
15　魂は大脳と同一か：心脳同一説と付随説

存思想を理解し　ているか、生を新たに見直す視点がどの程度まで身についているか。こうし　た点を基準にして、定期試験の評価をする。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは、性同一性障害および安楽死)、レポートの課題について、十分なデータを集めたか、そのデータ　に基づいて自分の見解を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・定期試験の成績を 75%、提出されたレポートの評価を 25%で評価する。

倫理学Ａ「教養ゼミ」（中国古典に見る人間観）　2020-S000009405-04

中村　未来

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：前期：火・１時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

このゼミでは、『論語』や『孟子』等の中国の古典を精読し、人間とはいかなる存在か、どのように生きるべきか等、そこに示された人間観について議論していく。具体的には、「生と死」「善と悪」「忠と孝」「運命」等、東洋思想を貫く哲学的な問いについて考えてみたい。

日本人の倫理観の形成には隣国の大国・中国の影響が大きい。そのため、中国の古典に記された内容を深く検討することは、我々の思考の原点に立ち返ることにもなるであろう。

ゼミ形式で授業を進めるため、受講者が主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ね、議論の内容を深めていく必要がある。積極的な姿勢で授業に臨んで欲しい。

ゼミの第１～５回においては、中国の古典を講読する上でかかせない語句や文献（工具書）、漢文訓読法を確認する（発表形式）。そして第６回以降において、受講者の興味関心に従い文献を定め、その精読を通して東洋思想に見える人間観について考えてみる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。（知識・理解）

中国の古典に触れ、文化の多様性と言語表現について理解し、説明できる。（知識・理解）

授業テーマに関して、自分の見解を言語化し、他者と議論できる。（技能）

授業内容を通して、文化の多様性に関心を持ち、尊重する志向性を持つ。（態度・志向性）

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

［事前学習］
●演習で取り上げる文献を精読し、自分なりに興味・関心、あるいは疑問に感じた箇所をまとめておく。（60 分）
●特に各回の発表者は、上記に加え、自身の考察を付けたレジュメを作成する。（120 分～）
［事後学習］
●演習における討論を整理し統括しておく。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

［評価方法］担当箇所の発表およびレジュメの内容を50%、課題への積極的な取り組み・授業への参加度を50%で評価する。［評価基準］中国古代思想に関する基本的な学説を正確に把握し、自分の言葉で説明できているか、またそこから導き出された自らの見解を他者と冷静に議論し、深めることができているか、という点を評価の基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

江連隆『漢文語法ハンドブック』大修館書店　ISBN 978-4469231359
湯浅邦弘編著『名言で読み解く中国の思想家』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623063789
湯浅邦弘編著『教養としての中国古典』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623082759
※授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●　受講者が主体的に発表・討論を行う演習形式の授業であるため、遅刻や無断欠席は厳禁。
●　高度な漢文読解能力の有無については問うところではないが、中国の古典に親しみや関心を持って授業に参加して欲しい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．関連語句・文献についての発表①
３．関連語句・文献についての発表②
４．関連語句・文献についての発表③
５．関連語句・文献についての発表④
６．テキスト講読：発表と討論①

倫理学Ａ（中国古典に見る人間観）

中村　未来

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

７．テキスト講読：発表と討論②
８．テキスト講読：発表と討論③
９．テキスト講読：発表と討論④
10．テキスト講読：発表と討論⑤
11．テキスト講読：発表と討論⑥
12．テキスト講読：発表と討論⑦
13．テキスト講読：発表と討論⑧
14．テキスト講読：発表と討論⑨
15．まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60 分)
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。(60 分)
●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

2020-S000009405-05

授業時間割：前期：月・４時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道徳観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書　ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※その他、授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して５回程、授業内容に関する意見や感想を５
～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．天と人と①
３．天と人と②
４．天と人と③
５．性説①
６．性説②
７．性説③
８．孝と忠と①
９．孝と忠と②
10．欲について
11．礼について
13．聖人観②、戦争について①
14．戦争について②
15．おわりに

倫理学A（中国古典に見る人間観）

中村　未来

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

授業時間割：前期：木・１時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60 分)
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。(60 分)
●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道徳観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書
2020-S000009405-06

ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※その他、授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して 5 回程、授業内容に関する意見や感想を 5
～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．天と人と①
３．天と人と②
４．天と人と③
５．性説①
６．性説②
７．性説③
８．孝と忠と①
９．孝と忠と②
10．欲について
11．礼について
12．聖人観①
13．聖人観②、戦争について①
14．戦争について②
15．おわりに

12．聖人観①

倫理学Ａ（中国古典に見る人間観）

中村　未来

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

2020-S000009405-07

授業時間割：前期：木・３時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

　グローバル化やボーダーレス化が進み、我々を取り巻く環境が目まぐるしく変化している昨今、他国と海を隔てた日本においても、異文化圏の人々と接する機会が大幅に益してきている。そのような異文化間の交流を通して、我々が強く感じるのは、やはりアジア文化圏に共通する倫理観や人間観の存在であろう。

　「人の性は善か、悪か」「忠と孝はどちらを優先すべきか」等、中国古代より幾度も論じられてきた問いは、現代においても、なお、考察すべき大きな意義を持つ。日本人の倫理観や人間観の根底にも、このような古代中国思想の影響が多分に含まれているものと考えられる。

　そこで、本授業では『論語』や『孟子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、東洋思想の原点、特に「人間観」について改めて考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60 分)
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。(60 分)
●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。

　テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える道徳観念をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書　ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※その他、授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して５回程、授業内容に関する意見や感想を５
～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や途中退席、授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．天と人と①
３．天と人と②
４．天と人と③
５．性説①
６．性説②
７．性説③
８．孝と忠と①
９．孝と忠と②
10．欲について
11．礼について
12．聖人観①
13．聖人観②、戦争について①
14．戦争について②
15．おわりに

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

倫理学Ａ（生命倫理学）　2020-S000009405-08 村田　剛一

授業時間割：前期：金・１時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、医療の現場では、従来の医者・医療関係者任せの医療ではなく、患者主体の医療・患者の権利・患者の自己決定が重要視されてきている。

また、医療技術・生命に関わる技術（例えば、生命維持装置、臓器移植技術、遺伝子診断技術、クローン技術など）が進展することで、私たちは以前には得られなかった様々な恩恵を受けることが出来るようになった。しかし他方で、それらの技術の使い方次第では、人権の侵害や人間性の疎外が生じうる。それらの技術をどのように・どのような範囲まで使うべきか、より一般的に言えば、生命に対して人間はどのように関わるべきかという新たな倫理的な問題が生じている。

授業では、医療の倫理に関する問題、倫理的思考、医療技術・生命に関わる技術の進展によって生じてきた様々な倫理的問題について、その基本的な事柄を学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎

医療の場でのパターナリズムについて説明できる。（知識・理解）

臨床治験・医療の場でのインフォームド・コンセントについて説明できる。（知識・理解）

倫理的思考の４つのレベルについて、そのそれぞれのポイントを説明できる。（知識・理解）

ヒポクラテスの誓いの中の「医者は、自分の能力と判断に従って、患者のためになることをすべし、患者を害することなかれ」という項目の大事な点と問題点を説明できる。（知識・理解）

脳死状態と植物状態の違い、旧臓器移植法成立の状況、旧臓器移植法と改正臓器移植法の違いなどについて説明できる。（知識・理解）医療の在り方について注意深くなる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。（60 分）

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。
②評価基準　20 世紀後半における医療倫理の変革に関する基本的な項目（パターナリズム、インフォームド・コンセント、ヒポクラテスの誓いの大事な点と問題点など）について、また、倫理的思考について、正確に理解できているか、そして、臓器移植に関する基本的な項目（脳死状態と植物状態、旧臓器移植法と改正臓器移植法など）について正確に理解できているかという点を評価の基準とします。
使用しない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　20 世紀後半における医療倫理の変革
２　ヒポクラテスの誓い、パターナリズム
３　患者の人権擁護、自己決定権の尊重
４　倫理的思考１
５　倫理的思考２
６　ヒポクラテスの誓いとその批判１
７　ヒポクラテスの誓いとその批判２
８　臓器移植
９　死、死体移植、生体移植
１０　脳死移植
１１　脳死状態と植物状態
１２　脳死についての幾つかの考え方
１３　脳死移植を認めるための３つのモデル
１４　臓器移植法・改正臓器移植法
１５　安楽死、尊厳死など

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

倫理学Ａ「BB」（倫理学入門）　2020-S000009405-09 関口　浩喜

授業時間割：前期：木・二部１時限　試験時間割：2020/07/30　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

倫理学におけるいくつかのトピックを選んで、倫理学の入門的な授業を行ないます。
とりあげるトピックは、「正義」「行為と価値」「決定論と自由」「エゴイズム」等々です。これらのトピックを通じて、たとえば「正義とは何か？」「われわれは本当に自由なのか？」「エゴイストであることは悪いことなのか？」といった問題について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
「倫理学」と聞くと、単なる道徳的な「お説教」をする授業だろうという印象をもつひともいるかもしれません。しかし、倫理学はわれわれが当然のように受け入れている道徳的価値観を根本的に問い直す学問です。この授業を通じて、あらためて自分がもつ価値観について再検討してもらえればと思います。　この授業は講義ですから、基本的には私が教壇から一方的に話をするというかたちになりますが、場合によっては、受講者に意見を述べてもらうこともあります。「考える」という姿勢をもって、授業にのぞんでください。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 倫理学についての基本的な知識が身につく。（知識・理解）

倫理学における用語を正しく理解したうえで、自分の言葉で説明することができる。（技能）

日常の出来事や社会での出来事について、「倫理的に考えるとどうなるのか」と問う姿勢が身につく。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

・次回の授業内容に関する資料を事前に読み、疑問点等をノートに記す。（60 分）
・受講後、授業内容を改めて整理してノートに記す。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の成績によって評価します。授業でとりあげた倫理学の基本的な用語や考え方を理解できているか、またそれを自らの言葉で明確に説明できているかという点を評価の基準とします。
特に指定しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

プラトン『国家』、岩波文庫黒田亘『行為と規範』、勁草書房アンスコム『インテンション』、産業図書マーク・トウェイン『人間とは何か』、岩波文庫永井均『ルサンチマンの哲学』、河出書房新社

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業を受けるに当たって、倫理学についての予備知識は一切必要ありませんが、ふだんわれわれがあたり前のように受け入れている価値や前提について、自分の頭で改めて考え直してみるという「考える姿勢」は必要となります。
なお、授業中の私語は厳禁です。また、理由なき途中退室も認めません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　正義　Ⅰ
3　正義　Ⅱ
4　行為と価値　Ⅰ
5　行為と価値　Ⅱ
6　決定論と自由　Ⅰ
7　決定論と自由　Ⅱ
8　観察によらない知識　Ⅰ
9　観察によらない知識　Ⅱ
10　エゴイズムという問題　Ⅰ
11　エゴイズムという問題　Ⅱ

倫理学Ａ（生命倫理学）　2020-S000009405-10 村田　剛一

授業時間割：前期：金・２時限　試験時間割：2020/07/29　１時限

12　としての道徳　Ⅰ
13　としての道徳　Ⅱ
14　ルサンチマンをめぐって
15　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　概要　－－－◎

近年、医療の現場では、従来の医者・医療関係者任せの医療ではなく、患者主体の医療・患者の権利・患者の自己決定が重要視されてきている。

また、医療技術・生命に関わる技術（例えば、生命維持装置、臓器移植技術、遺伝子診断技術、クローン技術など）が進展することで、私たちは以前には得られなかった様々な恩恵を受けることが出来るようになった。しかし他方で、それらの技術の使い方次第では、人権の侵害や人間性の疎外が生じうる。それらの技術をどのように・どのような範囲まで使うべきか、より一般的に言えば、生命に対して人間はどのように関わるべきかという新たな倫理的な問題が生じている。

授業では、医療の倫理に関する問題、倫理的思考、医療技術・生命に関わる技術の進展によって生じてきた様々な倫理的問題について、その基本的な事柄を学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎

医療の場でのパターナリズムについて説明できる。（知識・理解）

臨床治験・医療の場でのインフォームド・コンセントについて説明できる。（知識・理解）

倫理的思考の４つのレベルについて、そのそれぞれのポイントを説明できる。（知識・理解）

ヒポクラテスの誓いの中の「医者は、自分の能力と判断に従って、患者のためになることをすべし、患者を害することなかれ」という項目の大事な点と問題点を説明できる。（知識・理解）

脳死状態と植物状態の違い、旧臓器移植法成立の状況、旧臓器移植法と改正臓器移植法の違いなどについて説明できる。（知識・理解）医療の在り方について注意深くなる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。

◎－－－　テキスト　－－－◎

②評価基準　20 世紀後半における医療倫理の変革に関する基本的な項目（パターナリズム、インフォームド・コンセント、ヒポクラテスの誓いの大事な点と問題点など）について、また、倫理的思考について、正確に理解できているか、そして、臓器移植に関する基本的な項目（脳死状態と植物状態、旧臓器移植法と改正臓器移植法など）について正確に理解できているかという点を評価の基準とします。

使用しない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　20 世紀後半における医療倫理の変革
２　ヒポクラテスの誓い、パターナリズム
３　患者の人権擁護、自己決定権の尊重
４　倫理的思考１
５　倫理的思考２
６　ヒポクラテスの誓いとその批判１
７　ヒポクラテスの誓いとその批判２
８　臓器移植
９　死、死体移植、生体移植
１０　脳死移植
１１　脳死状態と植物状態
１２　脳死についての幾つかの考え方
１３　脳死移植を認めるための３つのモデル
１４　臓器移植法・改正臓器移植法
１５　安楽死、尊厳死など

倫理学Ｂ（道徳の根拠）

広川　明

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

2020-S000009406-01

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

人はなぜよいこと・正しいことをなすべきであり、わるいことをしてはいけないのか―。この問いに対しては、そんなことを口にするのは不謹慎だ、ふざけている、というのが大方の反応であろうが、ではそれにどう答えればいいだろうか。「わるいことをすれば法によって裁かれて処罰され、よいことをすれば周囲の人々から信頼されるからだ」というのが、初めに思いつく答えであろう。

しかし今、わるいことをしても発覚して処罰される心配はないと仮定して（また、周囲の人からの信頼も度外視するとして)、その仮定の下でなお道徳的にふるまうべき―よいことをなし、わるいことを慎む―理由は何かあるだろうか。

この問題は、哲学の始まりとほぼ同じ時期に登場し、それ以来、道徳の土台を掘りくずしかねない、きわどい問題でありつづけている。この授業では、先人たちがこの問題をどのように捕らえていたか紹介しながら、道徳・倫理について考え直してみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を説明できる。(知識・理解)

カントの道徳法則について自分のことばで説明できる。(知識・理解)

道徳（倫理）が人の生き方と深く結びついていることを自覚するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時にレポート課題を示すので、それにつ　いてレポートを作成すること（60分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい（20分９。
・板書代わりのプリントを配布するので、授業後に読み直して理解を深めてお　くこと（30分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・道徳（倫理）と人の生き方の関わりを理解しているか、「なぜ道徳的である　べきか」という問いの意味を理解している使用しません。わかりやすく板書し、板書代わりのプリント類を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

プラトン『ゴルギアス』(加来彰俊訳、岩波文庫)
ISBN 4-00-336012-5
I.カント『道徳形而上学原論』(篠田英雄訳、岩波文庫)
ISBN 4-00-336251-9
大庭・安彦・永井編『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版)　ISBN 4-88848-593-3

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

道徳・倫理の問題というと、何か堅苦しい説教を思い浮かべるかもしれません。しかし決してそんなことはありません。われわれの日常生活が道徳・倫理によって成り立っているとともに、いかに生きるかという、生き方の選

か、ソクラテス・プラトンの説を　理解しているか、道徳法則の考え方を理解しているか。このような点から、　定期試験の評価を行う。
・レポートは２回実施することとし（レポートのテーマは「新型出生前診断と生　命の選択」および「世代間倫理の問題」)、レポートの課題について十分なデータを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述しているかを評価の基準とする。
・レポート 25%程度、定期試験 75%程度で総合的に評価する。

倫理学Ｂ（道徳の根拠）広川

明

択に道徳・倫理はふかくかかわっています。先入観をすてて、新しい目でこの問題を見直すようにつとめてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　道徳と日常生活
2　慣習としての道徳
3　なぜ道徳に従うべきかという問いの意味
4　生き方の選択
5　自己利益と道徳
6　ビデオ視聴とレポート課題の提示：新型出生前診断と生命の選択
7　ソフィストの人間本性論
8　自然の正義:カリクレスの正議論
9　よき生の探求（ソクラテス・プラトンの場合）10　グラウコンの挑戦（この回にレポート課題を提示する。「世代間倫理」）
11　たましいの正義
12　道徳法則（カントの場合）
13　定言命法：「～すべし」という無条件の命令 14　自律と自由
15　道徳の根拠づけは可能か

しかし今、わるいことをしても発覚して処罰される心配はないと仮定して（また、周囲の人からの信頼も度外視するとして)、その仮定の下でなお道徳的にふるまうべき―よいことをなし、わるいことを慎む―理由は何かあるだろうか。

この問題は、哲学の始まりとほぼ同じ時期に登場し、それ以来、道徳の土台を掘りくずしかねない、きわどい問題でありつづけている。この授業では、先人たちがこの問題をどのように捕らえていたか紹介しながら、道徳・倫理について考え直してみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を説明できる。
(知識・理解)

カントの道徳法則について自分のことばで説明できる。
(知識・理解)

道徳（倫理）が人の生き方と深く結びついていることを自覚するようになる。(態度・志向性)

2020-S000009406-02

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

人はなぜよいこと・正しいことをなすべきであり、わるいことをしてはいけないのか―。この問いに対しては、そんなことを口にするのは不謹慎だ、ふざけている、というのが大方の反応であろうが、ではそれにどう答えればいいだろうか。「わるいことをすれば法によって裁かれて処罰され、よいことをすれば周囲の人々から信頼されるからだ」というのが、初めに思いつく答えであろう。

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時にレポート課題を示すので、それにつ　いてレポートを作成すること（60分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい（20分)。
・板書代わりのプリントを配布するので、授業後に読み直して理解を深めてお　くこと（30分)。

か、ソクラテス・プラトンの説を　理解しているか、道徳法則の考え方を理解しているか。このような点から、　定期試験の評価を行う。
・レポートは2回実施することとし（レポートのテーマは「新型出生前診断と生命の選択」および「世代間倫理の問題」)、レポートの課題について十分な　データを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述している　かを評価の基準とする。
・レポート 25%程度、定期試験 75%程度で総合的に評価する。

倫理学Ｂ（道徳の根拠）

広川　明

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・道徳（倫理）と人の生き方の関わりを理解しているか、「なぜ道徳的である　べきか」という問いの意味を理解している

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。わかりやすく板書し、板書代わりのプリント類を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

プラトン『ゴルギアス』(加来彰俊訳、岩波文庫)
ISBN 4-00-336012-5

◎－－－　テキスト　－－－◎

1　道徳と日常生活
2　慣習としての道徳
3　なぜ道徳に従うべきかという問いの意味
4　生き方の選択
5　自己利益と道徳
6　ビデオ視聴とレポート課題の提示：新型出生　　前診断と生命の選択
7　ソフィストの人間本性論
8　自然の正義:カリクレスの正議論
9　よき生の探求（ソクラテス・プラトンの場　　合）
10　グラウコンの挑戦（この回にレポート課題を提示する。「世代間倫理」）
11　たましいの正義

2020-S000009406-03

授業時間割：後期：金・３時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

I.カント『道徳形而上学原論』(篠田英雄訳、岩波文庫)
ISBN 4-00-336251-9
大庭・安彦・永井編『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
ISBN 4-88848-593-3

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

道徳・倫理の問題というと、何か堅苦しい説教を思い浮かべるかもしれません。しかし決してそんなことはありません。われわれの日常生活が道徳・倫理によって成り立っているとともに、いかに生きるかという、生き方の選択に道徳・倫理はふかくかかわっています。先入観をすてて、新しい目でこの問題を見直すようにつとめてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

12　道徳法則（カントの場合）
13　定言命法：「～すべし」という無条件の命令 14　自律と自由
15　道徳の根拠づけは可能か

◎－－－　概要　－－－◎

人はなぜよいこと・正しいことをなすべきであり、わるいことをしてはいけないのか―。この問いに対しては、そんなことを口にするのは不謹慎だ、ふざけている、というのが大方の反応であろうが、ではそれにどう答えればいいだろうか。「わるいことをすれば法によって裁かれて処罰され、よいことをすれば周囲の人々から信頼されるからだ」というのが、初めに思いつく答えであろう。

しかし今、わるいことをしても発覚して処罰される心配はないと仮定して（また、周囲の人からの信頼も度外視するとして)、その仮定の下でなお道徳的にふるまうべきか、ソクラテス・プラトンの説を　理解しているか、道徳法則の考え方を理解しているか。このような点から、　定期試験の評価を行う。

・レポートは２回実施することとし（レポートのテーマは「新型出生前診断と生命の選択」および「世代間倫理の問題」)、レポートの課題について十分な　データを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述している　かを評価の基準とする。

・レポート 25%程度、定期試験 75%程度で総合的に評価する。

倫理学Ｂ（道徳の根拠）広川

明

―よいことをなし、わるいことを慎む―理由は何かあるだろうか。
　この問題は、哲学の始まりとほぼ同じ時期に登場し、それ以来、道徳の土台を掘りくずしかねない、きわどい問題でありつづけている。この授業では、先人たちがこの問題をどのように捕らえていたか紹介しながら、道徳・倫理について考え直してみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

「なぜ道徳的であるべきか」という問いの意味を説明できる。(知識・理解)

カントの道徳法則について自分のことばで説明できる。(知識・理解)

道徳（倫理）が人の生き方と深く結びついていることを自覚するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業中にビデオを視聴し、授業終了時にレポート課題を示すので、それにつ　いてレポートを作成すること（60 分)。
・単元ごとに理解度をチェックするための質問をするので、復習しておくこと　が望ましい（20 分)。
・板書代わりのプリントを配布するので、授業後に読み直して理解を深めてお　くこと（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・道徳（倫理）と人の生き方の関わりを理解しているか、「なぜ道徳的である　べきか」という問いの意味を理解している
使用しません。わかりやすく板書し、板書代わりのプリント類を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

プラトン『ゴルギアス』(加来彰俊訳、岩波文庫)
ISBN 4-00-336012-5
I.カント『道徳形而上学原論』(篠田英雄訳、岩波文庫)
　ISBN 4-00-336251-9
大庭・安彦・永井編『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版)　ISBN 4-88848-593-3

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

道徳・倫理の問題というと、何か堅苦しい説教を思い浮かべるかもしれません。しかし決してそんなことはありません。われわれの日常生活が道徳・倫理によって成り立っているとともに、いかに生きるかという、生き方の選択に道徳・倫理はふかくかかわっています。先入観をすてて、新しい目でこの問題を見直すようにつとめてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　道徳と日常生活
2　慣習としての道徳
3　なぜ道徳に従うべきかという問いの意味
4　生き方の選択
5　自己利益と道徳
6　ビデオ視聴とレポート課題の提示：新型出生　前診断と生命の選択
7　ソフィストの人間本性論
8　自然の正義:カリクレスの正議論
9　よき生の探求（ソクラテス・プラトンの場　合）
10　グラウコンの挑戦（この回にレポート課題を提示する。「世代間倫理」）
11　たましいの正義
12　道徳法則（カントの場合）
13　定言命法：「～すべし」という無条件の命令 14　自律と自由

か、ソクラテス・プラトンの説を　理解しているか、道徳法則の考え方を理解しているか。このような点から、　定期試験の評価を行う。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは「新型出生前診断と生命の選択」および「世代間倫理の問題」)、レポートの課題について十分な　データを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述している　かを評価の基準とする。
・レポート 25%程度、定期試験 75%程度で総合的に評価する。

倫理学Ｂ（道徳の根拠）

広川　明

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

15　道徳の根拠づけは可能か

か、ソクラテス・プラトンの説を　理解しているか、道徳法則の考え方を理解しているか。このような点から、　定期試験の評価を行う。
・レポートは 2 回実施することとし（レポートのテーマは「新型出生前診断と生命の選択」および「世代間倫理の問題」）、レポートの課題について十分な　データを集めたか、そのデータに基づいて自分の意見を明確に記述している　かを評価の基準とする。
・レポート 25%程度、定期試験 75%程度で総合的に評価する。

倫理学Ｂ「教養ゼミ」（無為自然を説く道家の世界）　2020-S000009406-04

中村　未来

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：後期：火・１時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

このゼミでは、『老子』や『荘子』等の中国の古典を精読し、「無為自然」や「道」の働きを理想とする道家的思索について議論していく。道家の思想は、後に神仙思想や民間信仰等を加えながら発展し、道教へと結実したと言われる。その思索には他の諸子百家のものとは異なり、「宇宙生成論」や「認識論」等、現代にも通ずる哲学的問いが多く見受けられる。これらの内容を丹念に読み解き、西洋の考え方と比較することにより、東洋における伝統思想の特質が明らかになると同時に、両者の相違がなぜ生じたのかについて考える足掛かりとすることができるであろう。

ゼミ形式で授業を進めるため、受講者が主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ね、議論の内容を深めていく必要がある。積極的な姿勢で授業に臨んで欲しい。

ゼミの第１～５回においては、中国の古典を講読する上でかかせない語句や文献（工具書）、漢文訓読法について確認する（発表形式）。そして第６回以降において、受講者の興味関心に従い文献を定め、その精読を通して道家思想に見える逆説的・懐疑的思索について検討していく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

道家思想について、基本的な考え方を理解し、説明できる。（知識・理解）

中国の古典に触れ、文化の多様性と言語表現について理解し、説明できる。（知識・理解）

授業テーマについて、自分の見解を言語化し、他者と対話できる。（技能）

授業内容を通して、文化の多様性に関心を持ち、尊重する志向性を持つ。（態度・志向性）

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

［事前学習］

●演習で取り上げる文献を精読し、自分なりに興味・関心、あるいは疑問に感じた箇所をまとめておく。（60 分）

●特に各回の発表者は、上記に加え、自身の考察を付けたレジュメを作成する。（120 分～）

［事後学習］

●演習における討論を整理し統括しておく。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

［評価方法］担当箇所の発表およびレジュメの内容を50％、課題への積極的な取り組み・授業への参加度を50％で評価する。［評価基準］中国古代思想（特に道家思想）に関する基本的な学説を正確に把握し、自分の言葉で説明できているか、またそこから導き出された自らの見解を他者と冷静に議論し、深めることができているか、という点を評価の基準とする。 ◎－－－　テキスト　－－－◎ 必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

江連隆『漢文語法ハンドブック』大修館書店　ISBN 978-4469231359

湯浅邦弘編著『名言で読み解く中国の思想家』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623063789

阿部吉雄ほか編著『老子 荘子 上』明治書院　ISBN 978-4625570070

※授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●　　受講者が主体的に発表・討論を行う演習形式の授業であるため、無断欠席は厳禁。

●　　高度な漢文読解能力の有無については問うところではないが、中国の古典に親しみや関心を持って授業に参加して欲しい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．関連語句・文献についての発表①
３．関連語句・文献についての発表②
４．関連語句・文献についての発表③
５．関連語句・文献についての発表④
６．テキスト講読：発表と討論①
７．テキスト講読：発表と討論②
８．テキスト講読：発表と討論③
９．テキスト講読：発表と討論④
10．テキスト講読：発表と討論⑤
11．テキスト講読：発表と討論⑥

倫理学Ｂ（無為自然を説く道家の世界）

中村　未来

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

12. テキスト講読：発表と討論⑦
13. テキスト講読：発表と討論⑧
14. テキスト講読：発表と討論⑨
15. まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。
（60 分）テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

2020-S000009406-05

授業時間割：後期：月・４時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

儒家が人間について思索し、人為（あるいは人為的努力）を肯定的に捉えたのに対し、道家は自然を尊崇し、人為に懐疑的な目を向けた。アジア文化圏に多大な影響を与えた中国の古典の多くが、人間の営みや統治思想を中心に語る中、万物の根源である「道」を説き、時間・空間を巨視的視点で描き出す道家の文献は、特異な存在であると言えるだろう。

ただし、道家が発する「自己と他者の区別」や「夢と現実の区別」等についての思索は、洋の東西を問わず、近現代の学者たちが挑み続けた重要な哲学的問いでもある。

そこで、本授業では、『老子』や『荘子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、逆説的・懐疑的な道家思想を読み解き、またその今日的な意義についても考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。(知識・理解)

中国の古代思想（特に道家思想）について、基本的な考え方を理解し、説明できる。(知識・理解)

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。(60 分)
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える思想内容をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書　ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して 5 回程、授業内容に関する意見や感想を 5
～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．宇宙のはじまり①
３．宇宙のはじまり②
４．宇宙のはじまり③
５．理想の政治とは①
６．理想の政治とは②
７．万物斉同の思想
８．学と知、無の思想
９．真人について
10. 狂人について
11. 名家について
12. 道家と名家
13. 道家と道教・仏教
14.『老子』の現代的意義
15. まとめ

2020-S000009406-06

授業時間割：後期：木・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

倫理学Ｂ（無為自然を説く道家の世界）

中村　未来

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　概要　－－－◎

　儒家が人間について思索し、人為（あるいは人為的努力）を肯定的に捉えたのに対し、道家は自然を尊崇し、人為に懐疑的な目を向けた。アジア文化圏に多大な影響を与えた中国の古典の多くが、人間の営みや統治思想を中心に語る中、万物の根源である「道」を説き、時間・空間を巨視的視点で描き出す道家の文献は、特異な存在であると言えるだろう。
　ただし、道家が発する「自己と他者の区別」や「夢と現実の区別」等についての思索は、洋の東西を問わず、近現代の学者たちが挑み続けた重要な哲学的問いでもある。
　そこで、本授業では、『老子』や『荘子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、逆説的・懐疑的な道家思想を読み解き、またその今日的な意義についても考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。（知識・理解）

中国の古代思想（特に道家思想）について、基本的な考え方を理解し、説明できる。（知識・理解）

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。（60 分）
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。（60 分）
●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。（60 分）テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書
ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える思想内容をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して 5 回程、授業内容に関する意見や感想を 5
～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．宇宙のはじまり①
３．宇宙のはじまり②
４．宇宙のはじまり③
５．理想の政治とは①
６．理想の政治とは②

2020-S000009406-07

授業時間割：後期：木・３時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

７．万物斉同の思想
８．学と知、無の思想
９．真人について
10．狂人について
11．名家について

◎－－－　概要　－－－◎

　儒家が人間について思索し、人為（あるいは人為的努力）を肯定的に捉えたのに対し、道家は自然を尊崇し、人為に懐疑的な目を向けた。アジア文化圏に多大な影響を与えた中国の古典の多くが、人間の営みや統治思想を中心に語る中、万物の根源である「道」を説き、時間・空間を巨視的視点で描き出す道家の文献は、特異な存在であると言えるだろう。
　ただし、道家が発する「自己と他者の区別」や「夢と現実の区別」等についての思索は、洋の東西を問わず、近現代の学者たちが挑み続けた重要な哲学的問いでもある。

12．道家と名家
13．道家と道教・仏教
14．『老子』の現代的意義
15．まとめ

倫理学Ｂ（無為自然を説く道家の世界）

中村　未来

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

そこで、本授業では、『老子』や『荘子』等の中国の古典や、さらには近年相次いで出土し公開されてきている中国古代の新史料を用いて、逆説的・懐疑的な道家思想を読み解き、またその今日的な意義についても考えてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ アジアの歴史・文化に関する知識を持つ。（知識・理解）

中国の古代思想（特に道家思想）について、基本的な考え方を理解し、説明できる。（知識・理解）

授業を通して、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

●参考書や関連文献を読み、次回のテーマについて予習すること。（60 分）
●配布資料によく目を通し、内容の理解を深めること。（60 分）
●わからない語句があれば、参考書等を調べ、確認すること。（60 分）テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

金谷治『中国思想を考える―未来を開く伝統』中公新書
ISBN 978-4121011206
湯浅邦弘編著『概説中国思想史』ミネルヴァ書房　ISBN 978-4623058204
溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会　ISBN 978-4130100878
※授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

●授業を通して 5 回程、授業内容に関する意見や感想を５～10 分程度でまとめ、提出してもらう。
●遅刻や授業中の私語が多い場合には、減点の対象とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．はじめに
２．宇宙のはじまり①
３．宇宙のはじまり②
４．宇宙のはじまり③
５．理想の政治とは①
６．理想の政治とは②
７．万物斉同の思想
８．学と知、無の思想
９．真人について
10．狂人について
11．名家について
12．道家と名家
13．道家と道教・仏教
14．『老子』の現代的意義
15．まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

● 定期試験の成績で評価する。
● 定期試験は、授業で取り上げた中国古典に見える思想内容をどの程度理解しているか、またそれらに対してどの程度関心や問題意識を持っているか、という点から評価する。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

倫理学Ｂ（環境倫理学）　2020-S000009406-08 村田　剛一

授業時間割：後期：金・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

現代において人類が直面している問題の一つに環境問題がある。環境問題の解決のためには、一方で、技術・技術革新が必要であるが、他方で、私たち人間の生き方の何らかの変革が求められる。環境問題は、私たち人間の生き方を映し出す鏡とも言える。環境問題が生じたことを契機として、環境・自然に対する（西洋）近代の人間の関わり方があらためて問われるようになった。人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考え、環境・自然に対してどのように関わってきたのか。また、人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考えるべきであり、環境・自然に対してどのように関わっていくべきなのか。

授業では、環境・自然に対する人間の関わり方についての国際的な取り組みと思想的な取り組みの基本的なものを学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎

1972 年以降に開かれた、環境問題に対する大規模な国際会議の全体像を説明できる。（知識・理解）

それらの会議に関して特に重要な事柄を説明できる。（知識・理解）

地球温暖化対策に関して、京都議定書や気候変動枠組条約ＣＯＰ15 で浮かび上がった事柄やパリ協定のポイントを説明できる。（知識・理解）

「環境破壊の原因は何か。それをなくすために伝統的な倫理（伝統的な自然観・人間観）に代わる新しい倫理（新しい自然観・人間観）が必要か」という問いに対する二つの考えについて説明できる。（知識・理解）環境問題に対して日常的に考えるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。（60 分）

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。
②評価基準　環境問題に対する国際的な取り組み（環境問題に対する国際会議）について、また、地球温暖化に対する取り組み（気候変動枠組条約ＣＯＰ、京都議定書、パリ協定など）について正確に理解できているか、そして、環境問題に対する思想的な取り組みについて明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

使用しない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　環境問題に対する国際的な取り組み
２　「かけがえのない地球」、「持続可能な開発」
３　地球サミット、環境開発サミット
４　地球温暖化に対する取り組み
５　京都議定書
６　環境問題に対する思想的取り組み
７　思想的取り組み１（考え１）
８　キリスト教倫理
９　功利主義倫理
１０　土地倫理、土地倫理原則
１１　思想的取り組み２（考え２）
１２　平等主義倫理
１３　新しい倫理
１４　伝統的倫理
１５　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

倫理学Ｂ「BB」(倫理学の基本問題)　　2020-S000009406-09 関口　浩喜

授業時間割：後期：木・二部１時限　　試験時間割：2021/01/21　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

倫理学における基本的な学説をとりあげ、倫理学の入門的な授業を行ないます。とりあげる学説は主として、功利主義、カントの義務倫理学、そしてサルトルの実存主義の三つです。

この三つの学説をとりあげるのは、これらの学説が「あることが善いとか悪いとされるのは、いかなる理由と仕組みによるのか」という問題を考えるにあたって、それぞれ格好の手がかりを与えてくれるからです（もちろん、それ以外にも、これらの学説は大学生として当然知っておかなければならない常識に属しているということもありますが)。

たとえば、「うそは悪いことだ」と私たちは（たぶん）考えています。しかし、いかなる理由によってうそは「悪い」ことと考えるべきなのか、この三つの立場は、それぞれに違った
「答え」を提出します。その違いを知ることは、自分の倫理的な立場をはっきりさせ、検討するための手がかりとなるでしょう。

この授業は講義ですから、基本的には私が教壇から一方的に話をするというかたちになりますが、場合によっては、受講者に意見を述べてもらうこともあります。善や悪の問題について、自分の頭で考えてもらいたいからです。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 倫理学の基本的な知識が身につく(知識・理解)

倫理学における用語を正しく理解したうえで、自分の言葉で説明することができる。(技能)

日常の出来事や社会での出来事について、「倫理的に考えるとどうなるのか」と問う姿勢が身につく。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・次回の授業内容に関する資料を事前に読み、疑問点等をノートに記す。(60 分)

・受講後、授業内容を改めて整理してノートに記す。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の成績によって評価します。授業でとりあげた倫理学の基本的な用語や考え方を理解できているか、またそれを自らの言葉で明確に説明できているかという点を評価の基準とします。

特に指定しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

『世界の名著・ベンサム／ミル』、中央公論社
『世界の名著・カント』中央公論社サルトル『実存主義とは何か』、人文書院黒田亘『行為と規範』、勁草書房

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業を受けるに当たって、倫理学についての予備知識は一切必要ありませんが、ふだんわれわれがあたり前のように受け入れている価値や前提について、自分の頭で改めて考え直してみるという「考える姿勢」は必要となります。

なお、授業中の私語は厳禁です。また、理由なき途中退室も認めません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　ベンサムの功利主義　Ⅰ
3　ベンサムの功利主義　Ⅱ
4　ミルの功利主義　Ⅰ
5　ミルの功利主義　Ⅱ
6　自然主義的誤謬
7　カントの義務倫理学　Ⅰ
8　カントの義務倫理学　Ⅱ
9　カントの義務倫理学　Ⅲ
10　と倫理

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

11　サルトルの実存主義　Ⅰ
12　サルトルの実存主義　Ⅱ
13　サルトルの実存主義　Ⅲ
14　三つの立場
15　まとめ

倫理学Ｂ（環境倫理学）　2020-S000009406-10 村田　剛一

授業時間割：後期：金・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

現代において人類が直面している問題の一つに環境問題がある。環境問題の解決のためには、一方で、技術・技術革新が必要であるが、他方で、私たち人間の生き方の何らかの変革が求められる。環境問題は、私たち人間の生き方を映し出す鏡とも言える。環境問題が生じたことを契機として、環境・自然に対する（西洋）近代の人間の関わり方があらためて問われるようになった。人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考え、環境・自然に対してどのように関わってきたのか。また、人間は、環境・自然の中での人間の位置をどのように考えるべきであり、環境・自然に対してどのように関わっていくべきなのか。

授業では、環境・自然に対する人間の関わり方についての国際的な取り組みと思想的な取り組みの基本的なものを学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎

1972 年以降に開かれた、環境問題に対する大規模な国際会議の全体像を説明できる。（知識・理解）

それらの会議に関して特に重要な事柄を説明できる。（知識・理解）

地球温暖化対策に関して、京都議定書や気候変動枠組条約ＣＯＰ15 で浮かび上がった事柄やパリ協定のポイントを説明できる。（知識・理解）

「環境破壊の原因は何か。それをなくすために伝統的な倫理（伝統的な自然観・人間観）に代わる新しい倫理（新しい自然観・人間観）が必要か」という問いに対する二つの考えについて説明できる。（知識・理解）環境問題に対して日常的に考えるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

前回の授業を復習し、言葉の意味や授業内容について疑問点があれば、質問を準備しておく。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。
②評価基準　環境問題に対する国際的な取り組み（環境問題に対する国際会議）について、また、地球温暖化に対する取り組み（気候変動枠組条約ＣＯＰ、京都議定書、パリ協定など）について正確に理解できているか、そして、環境問題に対する思想的な取り組みについて明確に説明できているかという点を評価の基準とします。
使用しない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　環境問題に対する国際的な取り組み
２　　「かけがえのない地球」、「持続可能な開発」
３　　地球サミット、環境開発サミット
４　　地球温暖化に対する取り組み
５　　京都議定書
６　　環境問題に対する思想的取り組み
７　　思想的取り組み１（考え１）
８　　キリスト教倫理
９　　功利主義倫理
１０　土地倫理、土地倫理原則
１１　思想的取り組み２（考え２）
１２　平等主義倫理

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

１３　新しい倫理
１４　伝統的倫理
１５　まとめ

哲学Ａ（『物質と記憶』を再起動する）　2020-S000009401-01

平井　靖史

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・１時限　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

ベルクソンの主著にして最も難解と言われる『物質と記憶』。
生理学・物理学といった関連諸科学の発展をいち早く取り込みつつ打ち立てられた独創的な理説のうちには、現在の知見に照らし合わせることで初めて浮かび上がってくる、多くの挑発的なアイデアが潜んでいる。
教科書として用いるのは、各分野の気鋭の理論家たちが集結して、その可能性と射程を徹底的に吟味する目的で 2017 年 10 月に開催された、最新のシンポジウムの記録である。
哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。
幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。 他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、場合によってはムードル で復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。
期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。
◎－－－　テキスト　－－－◎

平井・安孫子・藤田編『『物質と記憶』を再起動する』書肆心水、2018 年。

◎－－－　参考書　－－－◎

ベルクソン『物質と記憶』を解剖する ―― 現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続　ISBN 978-4906917600
ベルクソン『物質と記憶』を診断する――時間経験の哲学・意識の科学・美学・倫理学への展開　ISBN 978-4906917730
ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳（講談社学術文庫）
http://matterandmemory.jimdo.com
平井が運営する上記 PBJ『物質と記憶』ポータルサイトを参照せよ。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　時間と心
3　潜在性
4　実証的形而上学
5　現象学とベルクソン
6　脳型ロボットと意識
7　人工知能による意識構築
8　汎心論
9　過去はいかに保存されるか
10　社会的記憶
11　西田幾多郎とベルクソン
12　シモンドンとベルクソン
13　関係と偶然
14　拡張ベルクソン主義
15　まとめ

意識と心をめぐる最新の知見について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。 他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須

哲学Ａ（『物質と記憶』を再起動する）

2020-S000009401-02

平井　靖史

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・２時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

ベルクソンの主著にして最も難解と言われる『物質と記憶』。
生理学・物理学といった関連諸科学の発展をいち早く取り込みつつ打ち立てられた独創的な理説のうちには、現在の知見に照らし合わせることで初めて浮かび上がってくる、多くの挑発的なアイデアが潜んでいる。
教科書として用いるのは、各分野の気鋭の理論家たちが集結して、その可能性と射程を徹底的に吟味する目的で 2017 年 10 月に開催された、最新のシンポジウムの記録である。
哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。
幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、場合によってはムードル で復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。
期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

平井・安孫子・藤田編『『物質と記憶』を再起動する』書肆心水、2018 年。

◎－－－　参考書　－－－◎

ベルクソン『物質と記憶』を解剖する ―― 現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続　ISBN 978-4906917600 ベルクソン『物質と記憶』を診断する――時間経験の哲学・意識の科学・美学・倫理学への展開　ISBN 978-4906917730
ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳（講談社学術文庫）
http://matterandmemory.jimdo.com
平井が運営する上記『物質と記憶』ポータルサイトを参照せよ。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

膨大なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　時間と心
3　潜在性
4　実証的形而上学
5　現象学とベルクソン
6　脳型ロボットと意識
7　人工知能による意識構築
8　汎心論
9　過去はいかに保存されるか
10　社会的記憶
11　西田幾多郎とベルクソン
12　シモンドンとベルクソン
13　関係と偶然
14　拡張ベルクソン主義
15　まとめ

哲学Ａ（デカルト哲学に即して）

円谷　裕二

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義
授業時間割：前期：火・３時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

日本は、江戸時代末期以来、西洋の文化や科学技術を積極的に移入しながら急激な近代化を図ってきました。それによってこれまでの伝統的な日本文化が衰退してしまったことは否めません。近代西洋哲学の特徴の一つは、人間の主体性の確立であり、それによって人間の自由と自主性が強調されるようになりました。このような近代哲学の基礎を築いたのがデカルトです。彼の哲学を考えてみることは、同時に、近代や現代という時代の特徴や諸問題を反省することにほかなりません。授業では、近代哲学の全般的な特徴について詳しく見てみると同時に、デカルト哲学を取り上げながら、私たちの生きている現代という時代の可能性と限界について考えてみたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

近代哲学の特徴についての考察とデカルト哲学の再発見。（知識・理解）哲学的に考えるとはどのようなことなのかの訓練。（技能）

近代哲学の目を通して自然と人間の関係を反省することによって、現代のさまざまな諸問題にどのように対処したらよいのかを考えるきっかけを養うこと。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の１時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを１時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に

2020-S000009401-03

実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. オリエンテーション―哲学とは何か。
2. 人間・自然・神をめぐる古代哲学・中世哲学・近代哲学の比較
3. 近代哲学の二つの潮流―その一. イギリス経験論
4. 近代哲学の二つの潮流―その二. 大陸理性論(合理論)
5. 感覚・感情と知性・理性との関係について
6. 古代・中世の自然観から近代的自然観へ
7. 近代自然科学の誕生と世界観の関係
8. デカルトの懐疑的方法(1)
9. デカルトの懐疑的方法(2)
10. 自我の確立と真理観
11. 近代的自我の特徴と問題点
12. 他我認識の問題
13. 世界・自我・他者
14. 心と身体の関係
15. 心身二元論の問題と現代哲学

哲学Ａ（デカルト哲学に即して）　2020-S000009401-04

円谷　裕二

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義
授業時間割：前期：火・４時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

日本は、江戸時代末期以来、西洋の文化や科学技術を積極的に移入しながら急激な近代化を図ってきました。それによってこれまでの伝統的な日本文化が衰退してしまったことは否めません。近代西洋哲学の特徴の一つは、人間の主体性の確立であり、それによって人間の自由と自主性が強調されるようになりました。このような近代哲学の基礎を築いたのがデカルトです。彼の哲学を考えてみることは、同時に、近代や現代という時代の特徴や諸問題を反省することにほかなりません。授業では、近代哲学の全般的な特徴について詳しく見てみると同時に、デカルト哲学を取り上げながら、私たちの生きている現代という時代の可能性と限界について考えてみたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

近代哲学の特徴についての考察とデカルト哲学の再発見。

(知識・理解) 哲学的に考えるとはどのようなことなのかの訓練。(技能)

近代哲学の目を通して自然と人間の関係を反省することによって、現代のさまざまな諸問題にどのように対処したらよいのかを考えるきっかけを養うこと。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の１時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを１時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、

実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し
上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.オリエンテーション―哲学とは何か。
2.人間・自然・神をめぐる古代哲学・中世哲学・近代哲学の比較
3.近代哲学の二つの潮流―その一.イギリス経験論
4.近代哲学の二つの潮流―その二.大陸理性論(合理論)
5.感覚・感情と知性・理性との関係について
6.古代・中世の自然観から近代的自然観へ
7.近代自然科学の誕生と世界観の関係
8.デカルトの懐疑的方法(1)
9.デカルトの懐疑的方法(2)
10.自我の確立と真理観
11.近代的自我の特徴と問題点
12.他我認識の問題
13.世界・自我・他者
14.心と身体の関係
15.心身二元論の問題と現代哲学

哲学Ａ「教養ゼミ」(心にとって時間とは何か)

2020-S000009401-05

平井　靖史

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：演習
授業時間割：前期：火・３時限　　試験時間割：定期試験なし
実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し

◎－－－　概要　－－－◎

自由、自殺、SF、責任、不死…など８つのテーマと謎を手掛かりに、心と時間の不思議に迫ります。

青山拓央著『心にとって時間とは何か』を教科書に、実践的な哲学議論を学びます。

たんに知識として学ぶというのではなく、どのようにしてそこにたどり着いたかの思考のプロセスをたどってみるという哲学的思索の疑似体験を通じて、皆さん自身が思考の技能を身につけることが目指されています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

議論・討論の実践を通じて、「分かる」(あるいは「分からない」)とはどういうことかを分かるようになり、問題の在処を理解する力を養います。(知識・理解)

授業ない発表やレポートにより、口頭で論理的に主張する力、相手を論理的に批判する力、抽象的な議論を文章にする力、問題を新たに創出する力などを養います。(技能)

未知に問題に対して、的確な概念整理に基づいて方法的にとりくむ態度を養います。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

議論の進行に合わせて、随時調査発表、チームでの議論など事前・事後の学習が不可欠です。1時間～1.5時間程度。慣れない哲学的な思索を身につけるためには、念入りな復習が必須です。必ず、ゼミ後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりにゼミでの議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1時間～1.5時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ゼミですので、出席は前提となります。その上で、授業内での発言、発表・報告（4割)、中間・期末レポート（6割）によって評価します。発言の回数や内容、グループワークにおける積極性や協調性、問題発見能力、課題分析力、プレゼンテーション能力等を評価します。レポートの評価は、正誤の問題ではなく論述そのものの完成度・密度・強度を基準とします。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

青山拓央『心にとって時間とは何か』講談社現代新書、

2019 年。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

一回につき 3 時間以上の予復習時間を確保できることが必要です。好奇心ひときわ旺盛で、正しい知識に基づいて論理的に考えるための主体的・自発的な調査・学習ができないひとは単位取得が難しいでしょう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　心にとって時間とは何か
２　知覚：時間の流れは錯覚か
３　「今」なしの世界
４　自由：私はいつ決めたのか
５　本気で選ぶとはどういうことか
６　記憶：過去のデッサンを描くには
７　自殺：死ぬ権利は、権利なのか
８　どうすれば（人体ではなく）人は死ぬか
９　責任：それは誰かのせいなのか
９　　タイムトラベルは不可能か
１０　因果：もし、ああではなかったら
１１　時間からはずれる
１２　不死：死はいつまで続くのか
１３　他人の心と約束
１４　出逢いと永遠
１５　哲学と生

哲学Ａ（デカルト哲学に即して）

2020-S000009401-06

円谷　裕二

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義
授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

日本は、江戸時代末期以来、西洋の文化や科学技術を積極的に移入しながら急激な近代化を図ってきました。それによってこれまでの伝統的な日本文化が衰退してしまったことは否めません。近代西洋哲学の特徴の一つは、人間の主体性の確立であり、それによって人間の自由と自主性が強調されるようになりました。このような近代哲学の基礎を築いたのがデカルトです。彼の哲学を考えてみることは、同時に、近代や現代という時代の特徴や諸問題を反省することにほかなりません。授業では、近代哲学の全般的な特徴について詳しく見てみると同時に、デカルト哲学を取り上げながら、私たちの生きている現代という時代の可能性と限界について考えてみたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

近代哲学の特徴についての考察とデカルト哲学の再発見。（知識・理解）哲学的に考えるとはどのようなことなのかの訓練。（技能）

近代哲学の目を通して自然と人間の関係を反省することによって、現代のさまざまな諸問題にどのように対処したらよいのかを考えるきっかけを養うこと。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の 1 時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを 1 時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に

実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
数回のコメントカードを提出してもらうこと（30%）と、上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート（70%）によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. オリエンテーション―哲学とは何か。
2. 人間・自然・神をめぐる古代哲学・中世哲学・近代哲学の比較
3. 近代哲学の二つの潮流―その一. イギリス経験論
4. 近代哲学の二つの潮流―その二. 大陸理性論(合理論)
5. 感覚・感情と知性・理性との関係について
6. 古代・中世の自然観から近代的自然観へ
7. 近代自然科学の誕生と世界観の関係
8. デカルトの懐疑的方法(1)
9. デカルトの懐疑的方法(2)
10. 自我の確立と真理観
11. 近代的自我の特徴と問題点
12. 他我認識の問題
13. 世界・自我・他者
14. 心と身体の関係
15. 心身二元論の問題と現代哲学

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

哲学Ａ（時間性の哲学と哲学の歴史）　　2020-S000009401-07 安居　誠

授業時間割：前期：水・１時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

あなたの周囲の人々が、次々に吸血鬼に変貌していくとします。吸血鬼となった嘗ての家族や友人達があなたのもとを訪ねては、吸血鬼になるのがいかに素晴らしいことかを口々に力説します。不老不死となった今、これまで至高の人間的価値と見えてきたものが、地表をうごめく生命の、場当たり的な生存戦略にいかに汚染されているかということに初めて気がついた、生き物でもＡＩでもない第三の知的存在であることの愉悦と誇り、等々。今のところ吸血鬼になることを強要されてはいませんが、少数派となった人間は、もう社会的に影が薄い。「吸血鬼への一歩が踏み出せないあなたのために」というセミナーを受けてみようかと、あなたは考え始めたところです。

現実離れのした妄想と見えたかもしれませんが、吸血鬼の例は、われわれの実際の状況と意外に近い。われわれが就学や留学、就職に転職、結婚や出産といった人生の岐路となるような決断をする場合、選択の当否は予測不可能です。何が起こるかわからないというのではなく、事後的な判断の基準そのものが、選択をする以前とはもう違っているという意味です。未来を見通すことができないのは、何よりわれわれ自身が時間とともに変化する存在であるからに他なりません。人生を左右するような選択を、ゲーム理論や行動経済学の知見などにわれわれが本気で委ねたりしないのは、そこで賭けられているのが効用計算などではなく、「吸血鬼になること（＝一度きりで変わってしまう実存の条件)」だと、どこかで気がついているからでしょう。

本講では、われわれの実存の構造が時間性そのものであることを、日常的な経験の分析から明らかにします。また、にもかかわらず、それが所与の自然的条件などではなく、ギリシャ古典哲学とユダヤ＝キリスト教的なメシアニズム、ドイツ観念論やニーチェの形而上学批判などの思想的諸潮流の相克のもとに形成された「時間の時間化」であることを、多様なテキストを参照することによって示します。知的好奇心を持った多くの学生の参加を希望します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①人間の実存が時間的な構造を持っていることを示すことができる。(知識・理解)

②時間の概念を、思想史的な展開と関連づけて考えるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30 分) 復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト 10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．導入講義
　　《４つの哲学素》
２．パウロの書簡と普遍主義
３．時間は実在するか？
４．タイム・パラドックス概説
５．形而上学と時間表象
６．存在の哲学と時間性
７．ヘブライズムとヘレニズム
８．世俗化と「近代的時間」の誕生
９．預言による記憶と忘却
10．時間における決断
11．メシアニズム概論
12．盗人のように夜来るもの
13．期待とノスタルジー
14．ツァラトゥストラは期待するか
15．倫理的次元について

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

哲学Ａ（時間性の哲学と哲学の歴史）　　2020-S000009401-08 安居　誠

授業時間割：前期：水・２時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

あなたの周囲の人々が、次々に吸血鬼に変貌していくとします。吸血鬼となった嘗ての家族や友人達があなたのもとを訪ねては、吸血鬼になるのがいかに素晴らしいことかを口々に力説します。不老不死となった今、これまで至高の人間的価値と見えてきたものが、地表をうごめく生命の、場当たり的な生存戦略にいかに汚染されているかということに初めて気がついた、生き物でもＡＩでもない第三の知的存在であることの愉悦と誇り、等々。今のところ吸血鬼になることを強要されてはいませんが、少数派となった人間は、もう社会的に影が薄い。「吸血鬼への一歩が踏み出せないあなたのために」というセミナーを受けてみようかと、あなたは考え始めたところです。

現実離れのした妄想と見えたかもしれませんが、吸血鬼の例は、われわれの実際の状況と意外に近い。われわれが就学や留学、就職に転職、結婚や出産といった人生の岐路となるような決断をする場合、選択の当否は予測不可能です。何が起こるかわからないというのではなく、事後的な判断の基準そのものが、選択をする以前とはもう違っているという意味です。未来を見通すことができないのは、何よりわれわれ自身が時間とともに変化する存在であるからに他なりません。人生を左右するような選択を、ゲーム理論や行動経済学の知見などにわれわれが本気で委ねたりしないのは、そこで賭けられているのが効用計算などではなく、「吸血鬼になること（＝一度きりで変わってしまう実存の条件)」だと、どこかで気がついているからでしょう。

本講では、われわれの実存の構造が時間性そのものであることを、日常的な経験の分析から明らかにします。また、にもかかわらず、それが所与の自然的条件などではなく、ギリシャ古典哲学とユダヤ＝キリスト教的なメシアニズム、ドイツ観念論やニーチェの形而上学批判などの思想的諸潮流の相克のもとに形成された「時間の時間化」であることを、多様なテキストを参照することによって示します。知的好奇心を持った多くの学生の参加を希望します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①人間の実存が、時間的な構造を持つことを示すことができる。(知識・理解)

②時間の概念を、思想史的な展開と関連づけて考えるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30 分) 復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト 10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．導入講義
　　《４つの哲学素》
２．パウロの書簡と普遍主義
３．時間は実在するか？
４．タイム・パラドックス概説
５．形而上学と時間表象
６．存在の哲学と時間性
７．ヘブライズムとヘレニズム
８．世俗化と「近代的時間」の誕生
９．預言による記憶と忘却
10．時間における決断
11．メシアニズム概論
12．盗人のように夜来るもの
13．期待とノスタルジー
14．ツァラトゥストラは期待するか
15．倫理的次元について

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

哲学Ａ「BB」（心にとって時間とは何か）　2020-S000009401-09 平井　靖史

授業時間割：前期：火・二部１時限　　試験時間割：2020/07/28　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

青山拓央著『心にとって時間とは何か』を教科書に、自由、自殺、SF、責任、不死…など８つのテーマと謎を手掛かりに、心と時間の不思議に迫ります。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を意識した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

現代の時間と心の哲学について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、論理的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。
他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。

期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。青山拓央『心にとって時間とは何か』講談社現代新書、2019 年。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

豊富なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　心にとって時間とは何か
２　知覚：時間の流れは錯覚か
３　「今」なしの世界
４　自由：私はいつ決めたのか
５　本気で選ぶとはどういうことか
６　記憶：過去のデッサンを描くには
７　自殺：死ぬ権利は、権利なのか
８　どうすれば（人体ではなく）人は死ぬか
９　責任：それは誰かのせいなのか
９　　タイムトラベルは不可能か
１０　因果：もし、ああではなかったら

哲学Ａ（時間性の哲学と哲学の歴史）　　2020-S000009401-10 安居　誠

授業時間割：前期：水・３時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

１１　時間からはずれる
１２　不死：死はいつまで続くのか
１３　他人の心と約束
１４　出逢いと永遠
１５　哲学と生

◎－－－　概要　－－－◎

あなたの周囲の人々が、次々に吸血鬼に変貌していくとします。吸血鬼となった嘗ての家族や友人達があなたのもとを訪ねては、吸血鬼になるのがいかに素晴らしいことかを口々に力説します。不老不死となった今、これまで至高の人間的価値と見えてきたものが、地表をうごめく生命の、場当たり的な生存戦略にいかに汚染されているかということに初めて気がついた、生き物でもＡＩでもない第三の知的存在であることの愉悦と誇り、等々。今のところ吸血鬼になることを強

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

要されてはいませんが、少数派となった人間は、もう社会的に影が薄い。「吸血鬼への一歩が踏み出せないあなたのために」というセミナーを受けてみようかと、あなたは考え始めたところです。

現実離れのした妄想と見えたかもしれませんが、吸血鬼の例は、われわれの実際の状況と意外に近い。われわれが就学や留学、就職に転職、結婚や出産といった人生の岐路となるような決断をする場合、選択の当否は予測不可能です。何が起こるかわからないというのではなく、事後的な判断の基準そのものが、選択をする以前とはもう違っているという意味です。未来を見通すことができないのは、何よりわれわれ自身が時間とともに変化する存在であるからに他なりません。人生を左右するような選択を、ゲーム理論や行動経済学の知見などにわれわれが本気で委ねたりしないのは、そこで賭けられているのが効用計算などではなく、「吸血鬼になること（＝一度きりで変わってしまう実存の条件)」だと、どこかで気がついているからでしょう。

本講では、われわれの実存の構造が時間性そのものであることを、日常的な経験の分析から明らかにします。また、にもかかわらず、それが所与の自然的条件などではなく、ギリシャ古典哲学とユダヤ＝キリスト教的なメシアニズム、ドイツ観念論やニーチェの形而上学批判などの思想的諸潮流の相克のもとに形成された「時間の時間化」であることを、多様なテキストを参照することによって示します。知的好奇心を持った多くの学生の参加を希望します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①人間の実存が時間的な構造を持っていることを示すことができる。
(知識・理解)

②時間の概念を、思想史的な展開と関連づけて説明できる。

(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30 分) 復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト 10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎
使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校卒業程度の世界史の知識があることが望ましいですが、受講の前提ではありません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1．導入講義
　《４つの哲学素》
2．パウロの書簡と普遍主義
3．時間は実在するか？
4．タイム・パラドックス概説
5．形而上学と時間表象
6．存在の哲学と時間性
7．ヘブライズムとヘレニズム
8．世俗化と「近代的時間」の誕生
9．預言による記憶と忘却
10．時間における決断
11．メシアニズム概論
12．盗人のように夜来るもの
13．期待とノスタルジー
14．ツァラトゥストラは期待するか
15．倫理的次元について

哲学Ｂ（時間・自由・記憶）　　2020-S000009402-01 平井　靖史

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

人間も原子で出てきているのなら、所詮は物理法則に決定された機械仕掛けに過ぎないのか。そもそも物理世界で時間は流れているのか。流れる時間は錯覚に過ぎないのか。私たちが何かを選ぶとき、実は選択肢や過去によって選ばされているのか。自由とは何か。

この授業では、上のような時間・心身問題・自由といった哲学的な問題を、19 世紀末に出版されたベルクソンの第一主著『意識に直接与えられたものについての試論』をテキストとして、問題の概観、分析、解法の検討などを行います。

適宜第二主著『物質と記憶』の論点を補いつつ講義を行う。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ベルクソンと現代における時間・心・自由の哲学について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、論理的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。 他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、場合によってはムードル で復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。
期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』（合田正人・平井靖史訳）ちくま学芸文庫、2002 年。

◎－－－　参考書　－－－◎

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳（講談社学術文庫）　ベルクソン著・ドゥルーズ編『記憶と生』未知谷、1999 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

豊富なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

教科書は複数の訳本が存在するので指定のものを間違えずに購入すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. イントロダクション
2. 持続とは何か
3. 空間と時間
4. 身体なしに痛みはあるか
5. 悲しみを比較できるか
6. 量と質
7. 数と記憶
8. 持続に単位はあるか
9. 相互浸透とはどういうことか

10. 時間的死
11. 自由の度合い
12. 習慣は何を作り、何を壊すか
13. 表現なしに出逢いがあるか
14. 時間と自由
15. まとめ

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。 他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、場合によってはムードル で復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

哲学Ｂ（時間・自由・記憶）

2020-S000009402-02

平井　靖史

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

人間も原子で出てきているのなら、所詮は物理法則に決定された機械仕掛けに過ぎないのか。そもそも物理世界で時間は流れているのか。私たちが何かを選ぶとき、実は選択肢や過去によって選ばされているのではないか。自由とは何か。

この授業では、上のような時間・心身問題・自由といった哲学的な問題を、19 世紀末に出版されたベルクソンの第一主著『意識に直接与えられたものについての試論』をテキストとして、問題の概観、分析、解法の検討などを行います。

適宜第二主著『物質と記憶』の論点を補いつつ講義を行う。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ベルクソンと現代における時間・心・自由の哲学について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、論理的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。
期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』（合田正人・平井靖史訳）ちくま学芸文庫

◎－－－　参考書　－－－◎

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳（講談社学術文庫）　ベルクソン著・ドゥルーズ編『記憶と生』未知谷、1999 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

豊富なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. イントロダクション
2. 持続とは何か
3. 空間と時間

4. 身体なしに痛みはあるか
5. 悲しみを比較できるか
6. 量と質
7. 数と記憶
8. 持続に単位はあるか
9. 相互浸透とはどういうことか
10. 時間的死
11. 自由の度合い
12. 習慣は何を作り、何を壊すか
13. 表現なしに出逢いがあるか
14. 時間と自由
15. まとめ

哲学Ｂ（人間とは何か）

2020-S000009402-03

円谷　裕二

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義
授業時間割：後期：火・３時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

現代の科学技術のめざましい展開は将来にわたる人間の生き方そのものを大きく左右するようなさまざまな問題を提起しています。例えば、AI 技術の進展が雇用機会を奪い、人間の生きがいをどこに見出したらよいのかを反省させますし、インターネットやスマホの普及は、人間関係を直接性から間接性へと誘導するし、あるいは、ゲノム編集の簡単な操作可能性が人間の生命や能力を大きく変貌させてしまう危険性を含んでいます。もちろん、巨大な破壊力を持った武器の開発や自然環境の人工的破壊などは半世紀も前から問題視されてきました。

これらの人類存亡の危機に対して、私たちはどのように考え、どのように対処したらよいのでしょうか。この問題を考える上では、人間とは何か、科学的認識の本質と限界とは何か、人間の生き方や倫理とは何か、そして、人間の感情や欲望とは何か、等々の問題をより深くかつより広範に考え抜いた哲学者の哲学を参考にするのが一つの方法です。近代において、これらの問題を追及した代表的哲学者としてカントを挙げることができます。彼の哲学は現代の私たちが抱える重大な諸問題についてどのように考えたらよいのかのヒントをたくさん含んでいます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

カント哲学の内容を理解することと現代の時代状況の把握。（知識・理解）現代という時代状況の中で哲学的に考えることの訓練。（技能）

過去の哲学を学ぶことによって、現代や未来に対してどのように考えるべきなのかという問題に強い関心を抱き続けること。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の 1 時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを 1 時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、哲学することへの興味が沸いてきます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. 現代の諸問題―その 1. 科学技術の問題
2. 現代の諸問題―その 2. 人間と自然の関係の変容
3. カント哲学の基本的特徴(1)
4. カント哲学の基本的特徴(2)
5. カント哲学の基本的特徴(3)
6. 認識論(1)―主観客観図式
7. 認識論(2)―感性と悟性
8. 認識論(3)―認識の限界
9. 理論から実践へ

10.実践哲学の中でのカント倫理学の位置づけ
11.倫理の基本原理
12.カントの倫理学の問題点
13.必然性と自由の調和
14.美とは何か
15.美と道徳

哲学Ｂ（人間とは何か）　　2020-S000009402-04

円谷　裕二

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義
授業時間割：後期：火・４時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

現代の科学技術のめざましい展開は将来にわたる人間の生き方そのものを大きく左右するようなさまざまな問題を提起しています。例えば、AI 技術の進展が雇用機会を奪い、人間の生きがいをどこに見出したらよいのかを反省させますし、インターネットやスマホの普及は、人間関係を直接性から間接性へと誘導するし、あるいは、ゲノム編集の簡単な操作可能性が人間の生命や能力を大きく変貌させてしまう危険性を含んでいます。もちろん、巨大な破壊力を持った武器の開発や自然環境の人工的破壊などは半世紀も前から問題視されてきました。

これらの人類存亡の危機に対して、私たちはどのように考え、どのように対処したらよいのでしょうか。この問題を考える上では、人間とは何か、科学的認識の本質と限界とは何か、人間の生き方や倫理とは何か、そして、人間の感情や欲望とは何か、等々の問題をより深くかつより広範に考え抜いた哲学者の哲学を参考にするのが一つの方法です。近代において、これらの問題を追及した代表的哲学者としてカントを挙げることができます。彼の哲学は現代の私たちが抱える重大な諸問題についてどのように考えたらよいのかのヒントをたくさん含んでいます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

カント哲学の内容を理解することと現代の時代状況の把握。（知識・理解）現代という時代状況の中で哲学的に考えることの訓練。（技能）

過去の哲学を学ぶことによって、現代や未来に対してどのように考えるべきなのかという問題に強い関心を抱き続けること。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の１時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを１時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.現代の諸問題―その 1.科学技術の問題
2.現代の諸問題―その 2.人間と自然の関係の変容
3.カント哲学の基本的特徴(1)
4.カント哲学の基本的特徴(2)
5.カント哲学の基本的特徴(3)
6.認識論(1)―主観客観図式
7.認識論(2)―感性と悟性
8.認識論(3)―認識の限界
9.理論から実践へ
10.実践哲学の中でのカント倫理学の位置づけ
11.倫理の基本原理
12.カントの倫理学の問題点
13.必然性と自由の調和
14.美とは何か
15.美と道徳

哲学Ｂ「教養ゼミ」（死と時間）　2020-S000009402-05

平井　靖史

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：演習
授業時間割：後期：火・３時限　試験時間割：定期試験なし
実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

◎－－－　概要　－－－◎

自由、自殺、SF、責任、不死…など８つのテーマと謎を手掛かりに、心と時間の不思議に迫ります。

青山拓央氏による『心にとって時間とは何か』を教科書に、実践的な哲学議論を学びます。

たんに知識として学ぶというのではなく、どのようにしてそこにたどり着いたかの思考のプロセスをたどってみるという哲学的思索の疑似体験を通じて、皆さん自身が思考の技能を身につけることが目指されています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

哲学的な思考に不可欠な概念や思考実験について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、多角的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、批判を積極的に受け入れ、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

議論の進行に合わせて、随時調査発表、チームでの議論など事前・事後の学習が不可欠です。1 時間～1.5 時間程度。慣れない哲学的な思索を身につけるためには、念入りな復習が必須です。必ず、ゼミ後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりにゼミでの議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。1 時間～1.5 時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ゼミですので、出席は前提となります。その上で、授業内での発言、発表・報告（4 割）、中間・期末レポート（6 割）によって評価します。発言の回数や内容、グループワークにおける積極性や協調性、問題発見能力、課題分析力、プレゼンテーション能力等を評価します。レポートの評価は、正誤の問題ではなく論述そのものの完成度・密度・強度を基準とします。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

青山拓央『心にとって時間とは何か』講談社現代新書、2019 年。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

一回につき 3 時間以上の予復習時間を確保できることが必要です。好奇心ひときわ旺盛で、正しい知識に基づいて論理的に考えるための主体的・自発的な調査・学習ができないひとは単位取得が難しいでしょう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　心にとって時間とは何か
２　知覚：時間の流れは錯覚か
３　「今」なしの世界
４　自由：私はいつ決めたのか
５　本気で選ぶとはどういうことか
６　記憶：過去のデッサンを描くには
７　自殺：死ぬ権利は、権利なのか
８　どうすれば（人体ではなく）人は死ぬか
９　責任：それは誰かのせいなのか
９　　タイムトラベルは不可能か
１０　因果：もし、ああではなかったら
１１　時間からはずれる
１２　不死：死はいつまで続くのか
１３　他人の心と約束
１４　出逢いと永遠
１５　哲学と生

哲学Ｂ（人間とは何か）　2020-S000009402-06

円谷　裕二

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義
実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：後期：火・５時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

　現代の科学技術のめざましい展開は将来にわたる人間の生き方そのものを大きく左右するようなさまざまな問題を提起しています。例えば、AI 技術の進展が雇用機会を奪い、人間の生きがいをどこに見出したらよいのかを反省させますし、インターネットやスマホの普及は、人間関係を直接性から間接性へと誘導するし、あるいは、ゲノム編集の簡単な操作可能性が人間の生命や能力を大きく変貌させてしまう危険性を含んでいます。もちろん、巨大な破壊力を持った武器の開発や自然環境の人工的破壊などは半世紀も前から問題視されてきました。
　これらの人類存亡の危機に対して、私たちはどのように考え、どのように対処したらよいのでしょうか。この問題を考える上では、人間とは何か、科学的認識の本質と限界とは何か、人間の生き方や倫理とは何か、そして、人間の感情や欲望とは何か、等々の問題をより深くかつより広範に考え抜いた哲学者の哲学を参考にするのが一つの方法です。近代において、これらの問題を追及した代表的哲学者としてカントを挙げることができます。彼の哲学は現代の私たちが抱える重大な諸問題についてどのように考えたらよいのかのヒントをたくさん含んでいます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

カント哲学の内容を理解することと現代の時代状況の把握。(知識・理解) 現代という時代状況の中で哲学的に考えることの訓練。(技能)

過去の哲学を学ぶことによって、現代や未来に対してどのように考えるべきなのかという問題に強い関心を抱き続けること。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次回の授業内容に該当するテキストの箇所の１時間ほどの予習によって授業の理解が深まります。また、授業後にあらためてテキストを１時間ほど復習することによってさらなる疑問や問題点に気づき、次第に哲学することへの関心が高まります。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の授業のたびに出欠の確認をするとともに、授業中に数回のコメントカードを提出してもらうこと(30%)と、上記の「到達目標」項目に関連した学期末に課するレポート(70%)によって成績を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

円谷裕二著『デカルトとカント―人間・自然・神をめぐる争い』、北樹出版、

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業に関してはあらかじめの知識を特に必要としない。物事をあらためて最初からあるいは根本から考えようとする哲学においては、身近な社会問題への深い関心と、当たり前と思われる事柄について他人と掘り下げた議論や対話をする姿勢が望まれる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. 現代の諸問題―その 1. 科学技術の問題
2. 現代の諸問題―その 2. 人間と自然の関係の変容
3. カント哲学の基本的特徴(1)
4. カント哲学の基本的特徴(2)
5. カント哲学の基本的特徴(3)
6. 認識論(1)―主観客観図式
7. 認識論(2)―感性と悟性
8. 認識論(3)―認識の限界
9. 理論から実践へ

哲学Ｂ（歴史の哲学と哲学の政治性）　2020-S000009402-07

安居　誠

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：水・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

10. 実践哲学の中でのカント倫理学の位置づけ
11. 倫理の基本原理
12. カントの倫理学の問題点
13. 必然性と自由の調和
14. 美とは何か
15. 美と道徳

◎－－－　概要　－－－◎

　少し以前の話になりますが、有名な実業家が（それも複数）、学校で歴史を教えることの意義について否定的な見解を表明したことがあります。日本史の年号を憶えさせて何になる、プログラミングを教えろ云々。真意はわかりませんが、役に立たな

い学問の例なら他にもっとわかりやすいものがあるような気もします。哲学や文学ではなく、歴史の何が彼らを苛立たせたのでしょうか。

空間の次元は自由度と解することができます。一方向だけに動けるなら一次元、三方向に移動可能なら三次元です。これに対して、われわれは過去にも未来にも移動することはできません。起こったことは変えられないし、これから起きることを予見することもできない。時間が空間に加わる４番目の次元だというのは純然たるフィクションです。むしろ時間は、意志によるあらゆる統御の彼岸であり、われわれの志向とその対象との端的な不一致でしかありません。実際、「時間が解決してくれる」というのは「われわれにできることは何もない」の婉曲話法です。

実業家という存在が、主体的で投企的、自由で合理的で個人主義的等々の近代人のメンタリティを代表するとすれば、彼らが時間を忌避することに不思議はありません。歴史と対置される有用な学科の例としてプログラミングが挙げられましたが、それは「予め書かれたもの（＝指令）」に従わせることであり、時間性の縮減を示唆します。彼らにとって歴史とは、望んだ覚えもないのに引き受けなければならない膨大な遺産（大半は負債）であり、理不尽な桎梏にすぎません。

ここで展開された論理に破綻はなく、基本的に間違っているわけではありません。しかし本講では、別の論理構成を試み、敢えて歴史の効用を強調します。実際に歴史が有用であり、ときに危険なほど有用なことを示すつもりです。まず、前期の講義内容を承けて時間性の理解を深化させます。次に、歴史の連続性を信じることが、新たな公共性を起動することと論理的に等価であり、それによって国家と政治の広大な領域が切り開かれることを明らかにします。さらに、思想や哲学的理念という形で沈殿し凝固した過去の歴史が、今日の世界のあり方や制度を構成していることを説得的に示したいと思います。とりわけ歴史や社会科学に興味のある学生にお勧めします。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①歴史の連続性と公共性の関係を構造的に示すことができる。
(知識・理解)

②歴史的に形成された理念・理想を、現在の政治体制、国際法などと関連づけて考えるようになる。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。(30 分) 復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト 10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。同じ担当者の哲学Ａを受講していると理解が深まりますが、もちろん単独でも十分理解できます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．歴史の天使
２．理性の神話
３．アイデンティティの系譜
４．国民国家の起源
５．世界の時間性
６．歴史哲学叙説
７．ヘーゲルの《精神現象学》
８．シェリングの《世界年代》
９．カントの《永久平和のために》
10．国連と帝国
11．アムネスティと法律の起源
12．政治神学
13．新たなトリレンマ
14．帰属の政治
15．世界のかたち

哲学Ｂ（歴史の哲学と哲学の政治性）

2020-S000009402-08

安居　誠

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：水・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

少し以前の話になりますが、有名な実業家が（それも複数）、学校で歴史を教えることの意義について否定的な見解を表明したことがあります。日本史の年号を憶えさせて何になる、プログラミングを教えろ云々。真意はわかりませんが、役に立たない学問の例なら他にもっとわかりやすいものがあるような気もします。哲学や文学ではなく、歴史の何が彼らを苛立たせたのでしょうか。

空間の次元は自由度と解することができます。一方向だけに動けるなら一次元、三方向に移動可能なら三次元です。これに対して、われわれは過去にも未来にも移動することはできません。起こったことは変えられないし、これから起きることを予見することもできない。時間が空間に加わる４番目の次元だというのは純然たるフィクションです。むしろ時間は、意志によるあらゆる統御の彼岸であり、われわれの志向とその対象との端的な不一致でしかありません。実際、「時間が解決してくれる」というのは「われわれにできることは何もない」の婉曲話法です。

実業家という存在が、主体的で投企的、自由で合理的で個人主義的等々の近代人のメンタリティを代表するとすれば、彼らが時間を忌避することに不思議はありません。歴史と対置される有用な学科の例としてプログラミングが挙げられましたが、それは「予め書かれたもの（＝指令）」に従わせることであり、時間性の縮減を示唆します。彼らにとって歴史とは、望んだ覚えもないのに引き受けなければならない膨大な遺産（大半は負債）であり、理不尽な桎梏にすぎません。

ここで展開された論理に破綻はなく、基本的に間違っているわけではありません。しかし本講では、別の論理構成を試み、敢えて歴史の効用を強調します。実際に歴史が有用であり、ときに危険なほど有用なことを示すつもりです。まず、前期の講義内容を承けて時間性の理解を深化させます。次に、歴史の連続性を信じることが、新たな公共性を起動することと論理的に等価であり、それによって国家と政治の広大な領域が切り開かれることを明らかにします。さらに、思想や哲学的理念という形で沈殿し凝固した過去の歴史が、今日の世界のあり方や制度を構成していることを説得的に示したいと思います。とりわけ歴史や社会科学に興味のある学生にお勧めします。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①歴史の連続性と公共性の関係を構造的に示すことができる。
（知識・理解）

②歴史的に形成された理念・理想を、現在の政治体制、国際法などと関連づけて考えるようになる。
（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。（30 分）
復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト
10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。同じ担当者の哲学Ａを受講していると理解が深まりますが、もちろん単独でも十分理解できます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．歴史の天使
２．理性の神話
３．アイデンティティの系譜
４．国民国家の起源
５．世界の時間性
６．歴史哲学叙説
７．ヘーゲルの《精神現象学》
８．シェリングの《世界年代》
９．カントの《永久平和のために》
10．国連と帝国

11. アムネスティと法律の起源
12. 政治神学
13. 新たなトリレンマ
14. 帰属の政治
15. 世界のかたち

哲学Ｂ「BB」（ベルクソン『時間と自由』を読む）　2020-S000009402-09

平井　靖史

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・二部１時限　試験時間割：2021/01/19　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

人間も原子で出てきているのなら、所詮は物理法則に決定された機械仕掛けに過ぎないのか。そもそも物理世界で時間は流れているのか。私たちが何かを選ぶとき、実は選択肢や過去によって選ばされているのではないか。自由とは何か。

この授業では、上のような時間・心身問題・自由といった哲学的な問題を、19 世紀末に出版されたベルクソンの第一主著『意識に直接与えられたものについての試論』をテキストとして、問題の概観、分析、解法の検討などを行います。

哲学的な思考方法を身につけるためには、相当量の知識と綿密な訓練が必要である。そのためには、ある程度方法論上の特徴を概観した上で、ともかく具体的な問題の考察にとりかかってみて、実践的に身につけていくのが一番の早道だと思われる。幅広い現代の問題に通じる哲学的なアイデアを、詳細に検討することで、皆さん自身が正確かつ柔軟な思考の技能を身につけることが目指されている。
授業は講義形式で行われる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ベルクソンの『時間と自由』における諸論点について、基礎的な知識と理解を得る。
(知識・理解)

概念を正確に操作し、問題を検証し、論理的な吟味ができるようになる。
(技能)

当たり前を疑い、いつでも一から問題を捉え直す知的態度を身につける。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前予習としては、次回に講義で利用する範囲を読んでおくこと。３０分～１時間程度。 他方で、慣れない哲学的な思索を身につけるためには、相当量の事後復習が必須です。必ず、授業後できるだけ早いうち（遅くとも翌日まで）に、ノートと記憶をたよりに授業での議論（導入→問題の立ち上げ→展開）を自分でリプレイ（追体験）してください。１時間程度。そうすることで、定着度がかなり増すばかりでなく、自分で主体的に考える訓練になります。また、場合によってはムードル で復習問題を出すので理解の定着に活用すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末の筆記テストによる。
期末テストは、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』（合田正人・平井靖史訳）ちくま学芸文庫

◎－－－　参考書　－－－◎

ベルクソン、『物質と記憶』杉山直樹訳（講談社学術文庫）　ベルクソン著・ドゥルーズ編『記憶と生』未知谷、1999 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

豊富なトピックを扱うので、一度でも授業で言及した内容については授業後にしっかり調査・復習して、身につけなければならない。
試験問題は授業内で扱った議論からまんべんなく出題されるため、出席率の低さは成績に一定の仕方で反映されることになります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. イントロダクション
2. 持続とは何か
3. 空間と時間
4. 身体なしに痛みはあるか
5. 悲しみを比較できるか
6. 量と質

7. 数と記憶
8. 持続に単位はあるか
9. 相互浸透とはどういうことか
10. 時間的死
11. 自由の度合い
12. 習慣は何を作り、何を壊すか
13. 表現なしに出逢いがあるか
14. 時間と自由
15. まとめ

哲学Ｂ（歴史の哲学と哲学の政治性）

2020-S000009402-10

安居　誠

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：水・３時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

少し以前の話になりますが、有名な実業家が（それも複数）、学校で歴史を教えることの意義について否定的な見解を表明したことがあります。日本史の年号を憶えさせて何になる、プログラミングを教えろ云々。真意はわかりませんが、役に立たない学問の例なら他にもっとわかりやすいものがあるような気もします。哲学や文学ではなく、歴史の何が彼らを苛立たせたのでしょうか。

空間の次元は自由度と解することができます。一方向だけに動けるなら一次元、三方向に移動可能なら三次元です。これに対して、われわれは過去にも未来にも移動することはできません。起こったことは変えられないし、これから起きることを予見することもできない。時間が空間に加わる４番目の次元だというのは純然たるフィクションです。むしろ時間は、意志によるあらゆる統御の彼岸であり、われわれの志向とその対象との端的な不一致でしかありません。実際、「時間が解決してくれる」というのは「われわれにできることは何もない」の婉曲話法です。

実業家という存在が、主体的で投企的、自由で合理的で個人主義的等々の近代人のメンタリティを代表するとすれば、彼らが時間を忌避することに不思議はありません。歴史と対置される有用な学科の例としてプログラミングが挙げられましたが、それは「予め書かれたもの（＝指令）」に従わせることであり、時間性の縮減を示唆します。彼らにとって歴史とは、望んだ覚えもないのに引き受けなければならない膨大な遺産（大半は負債）であり、理不尽な桎梏にすぎません。

ここで展開された論理に破綻はなく、基本的に間違っているわけではありません。しかし本講では、別の論理構成を試み、敢えて歴史の効用を強調します。実際に歴史が有用であり、ときに危険なほど有用なことを示すつもりです。まず、前期の講義内容を承けて時間性の理解を深化させます。次に、歴史の連続性を信じることが、新たな公共性を起動することと論理的に等価であり、それによって国家と政治の広大な領域が切り開かれることを明らかにします。さらに、思想や哲学的理念という形で沈殿し凝固した過去の歴史が、今日の世界のあり方や制度を構成していることを説得的に示したいと思います。とりわけ歴史や社会科学に興味のある学生にお勧めします。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①歴史の連続性と公共性の関係を構造的に示すことができる。（知識・理解）

②歴史的に形成された理念・理想を、現在の政治体制、国際法などと関連づけて考えるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習は、参考文献に目を通したり、シラバス上のキーワードをネット検索で事前に調べるなどして行ってください。（30 分）復習をする場合は、個々の内容も大事ですが、項目間の関係などを理解することに重点を置いてください。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験の結果が 90%、受講態度を 10%の割合で評価します。講義中に小テストを行った場合は、定期試験 80%、小テスト 10%のように定期試験の結果から割り引きます。

評価基準：各主題の内容とそれらの全体における位置付け、および各種議論の詳細な脈絡、以上三点に関する理解の程度を基準として評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎

多岐にわたるため、講義で紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

大学の一般教養で社会科学を履修していることが望ましいですが、受講の前提ではありません。同じ担当者の哲学Ａを受講していると理解が深まりますが、もちろん単独でも十分理解できます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．歴史の天使

２．理性の神話
３．アイデンティティの系譜
４．国民国家の起源
５．世界の時間性
６．歴史哲学叙説
７．ヘーゲルの《精神現象学》
８．シェリングの《世界年代》
９．カントの《永久平和のために》
10. 国連と帝国
11. アムネスティと法律の起源
12. 政治神学
13. 新たなトリレンマ
14. 帰属の政治
15. 世界のかたち

外国史通論Ａ（ヨーロッパ世界の形成）

2020-S000009440-01

丹後　享

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・２時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

[授業の概要とテーマ]本講義は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の前半である古代史・中世史・近世史を概観する。近代史・現代史を対象とする「外国史通論Ｂ」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論Ａ」では、ヨーロッパ世界がいかなる経過で形成されたのかを、とくに封建社会の形成と解体を軸に論を展開し、アジアなど他の世界とは大きく異なるヨーロッパ世界の特徴を探る。
[授業進め方]テキストは使用しないが、毎回、授業のレジュメのプリントを各自に配付して、授業を進める。
[学習の仕方]授業内容はプリントにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートも取らなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、基礎的な西洋史分野の知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

高校で「世界史」を十分履修しなかった場合でも、受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、ヨーロッパ史の基礎知識を把握してほしい。予習は必ずしも必要でないが、復習として、レジュメや参考書をもとに、授業内容の理解に努めてほしい。(90 分程度必要)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

[評価方法]定期試験 90％・平素(授業への積極的な取り組み)
10％によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。試験は論述形式であり、意味の分かる文章で説明しなければならない。
[評価基準]試験では、古代から近世までのヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身についているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるか、が評価の基準となる。
試験は１問 20 点の設問５問からなる。60 点以上が合格点であり、３問以上記述しなければ、合格できない。
◎－－－　テキスト　－－－◎ テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

フランス史 10 講　ISBN 4004310164C02222
ヨーロッパとは何か　ISBN 400413014XC0222
個別の論点に関する参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合は、堀米庸三編『世界の歴史 3:中世ヨーロッパ』・松田智雄編
『世界の歴史 7:近代への序曲』・大野真弓編『世界の歴史 8:絶対君主と人民』(中公文庫)が有用である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

①授業計画の提示(授業の進め方・授業概要の説明)
②ヨーロッパの地理的構造
③古典古代世界の性格
④ローマ帝国の没落とゲルマン大移動
⑤フランク王国の発展と分裂
⑥封建社会の成立(1)(領主制と封建制)
⑦封建社会の成立(2)(ローマ教会の発展)
⑧中世世界の変容(1)(十字軍・中世都市)
⑨中世世界の変容(2)(封建社会の「危機」・教皇権の後退)
⑩西欧諸国の中央集権化
⑪主権国家体制の形成(宗教改革・イタリア戦争)
⑫絶対王政の成立(1)(三十年戦争・フロンドの乱)
⑬絶対王政の成立(2)(イギリス革命)
⑭絶対王政の構造(ルイ 14 世の親政)
⑮絶対主義時代の国際関係

外国史通論Ａ「BB」(ヨーロッパ世界の形成)

2020-S000009440-02

丹後　享

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・二部１時限　　試験時間割：2020/07/28　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

[授業の概要とテーマ]本講義は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の前半である古代史・中世史・近世史を概観する。近代史・現代史を対象とする「外国史通論Ｂ」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論Ａ」では、ヨーロッパ世界がいかなる経過で形成されたのかを、とくに封建社会の形成と解体を軸に論を展開し、アジアなど他の世界とは大きく異なるヨーロッパ世界の特徴を探る。
[授業進め方]テキストは使用しないが、毎回、授業のレジュメのプリントを各自に配付して、授業を進める。
[学習の仕方]授業内容はプリントにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートも取らなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、基礎的な西洋史分野の知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)
法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識
は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

高校で「世界史」を十分履修しなかった場合でも、受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、ヨーロッパ史の基礎知識を把握してほしい。予習は必ずしも必要でないが、復習として、レジュメや参考書をもとに、授業内容の理解に努めてほしい。(90 分程度必要)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

[評価方法]定期試験 90％・平素(授業への積極的な取り組み)
10％によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。試験は論述形式であり、意味の分かる文章で説明しなければならない。
[評価基準]試験では、古代から近世までのヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身についているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるか、が評価の基準となる。
試験は１問 20 点の設問５問からなる。60 点以上が合格点であり、３問以上記述しなければ、合格できない。
◎－－－　テキスト　－－－◎ テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

フランス史 10 講　ISBN 4004310164C0222
ヨーロッパとは何か　ISBN 400413014XC0222
個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合

は、堀米庸三編『世界の歴史 3:中世ヨーロッパ』・松田智雄編『世界の歴史 7:近代への序曲』・大野真弓編『世界の歴史 8:絶対君主と人民』(中公文庫)が有用である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

①授業計画の提示(授業の進め方・授業概要の説明)
②ヨーロッパの地理的構造
③古典古代世界の性格
④ローマ帝国の没落とゲルマン大移動
⑤フランク王国の発展と分裂
⑥封建社会の成立(1)(領主制と封建制)
⑦封建社会の成立(2)(ローマ教会の発展)
⑧中世世界の変容(1)(十字軍・中世都市)
⑨中世世界の変容(2)(封建社会の「危機」、教皇権の後退)
⑩西欧諸国の中央集権化
⑪主権国家体制の形成(宗教改革・イタリア戦争)
⑫絶対王政の成立(1)(三十年戦争・フロンドの乱)
⑬絶対王政の成立(2)(イギリス革命)
⑭絶対王政の構造(ルイ 14 世の親政)
⑮絶対主義時代の国際関係

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識
は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、欧米史の基礎知識を把握してほしい。復習として、レジュメや参考書をもとに、授業内容の理解に努めてほしい。(90 分程度必要)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

[評価方法]定期試験 90%・平素(授業への積極的な取り組み)

外国史通論Ｂ（現代欧米世界の形成と課題）　2020-S000009441-01

丹後　享

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・２時限　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

[授業の概要とテーマ]本講義は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の後半である近代史・現代史を概観する。古代史・中世史・近世史を対象とする「外国史通論Ａ」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論Ｂ」では、ブルジョワ革命の時代から第一次世界大戦までの欧米史を、政治史を中心に時系列的に説明する。
[授業の進め方]テキストは使用しないが、毎回、授業のレジュメのプリントを各自に配付して、授業を進める。
[学習の仕方]授業内容はプリントにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートも取らなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、基礎的な西洋史分野の知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

10%によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。試験は論述形式であり、意味の分かる文章で説明しなければならない。
[評価基準]試験では、近代・現代のヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身についているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるか、が評価の基準となる。試験は１問 20 点の設問５問からなる。60 点以上が合格点であり、３問以上記述しなければ、合格できない。
◎－－－　テキスト　－－－◎ テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

フランス史 10 講　ISBN 4004310164C0222
世界各国史 12 フランス史　ISBN 4634414201C1322
個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合は、桑原武夫編『世界の歴史 10:フランス革命とナポレオン』・井上幸治編『世界の歴史 12:ブルジョワの世紀』・中山治一編『世界の歴史 13:帝国主義の時代』(中公文庫)が有用である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

①授業計画の提示(授業の進め方・授業概要の説明)
②絶対王政の時代
③啓蒙の時代
④ブルジョワ革命の構造(大西洋革命論)
⑤フランス革命の背景・勃発
⑥フランス革命の展開(1)(立憲王政の成立)
⑦フランス革命の展開(2)(共和政の成立)
⑧フランス革命の帰結
⑨ナポレオンの帝国
⑩ナポレオンの没落
⑪ウィーン体制の成立
⑫ウィーン体制の崩壊
⑬国民国家の成立(1)(第二帝政)
⑭国民国家の成立(2)(ドイツ・イタリアの統一)
⑮帝国主義と第一次大戦

外国史通論Ｂ「BB」(現代欧米世界の形成と課題)　2020-S000009441-02

丹後　享

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・二部１時限　試験時間割：2021/01/19　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

[授業の概要とテーマ]本講義は、高校の「世界史」で取り扱う内容のうち、西洋史分野、すなわち欧米史の後半である近代史・現代史を概観する。古代史・中世史・近世史を対象とする「外国史通論Ａ」も併せて受講することが望ましい。「外国史通論Ｂ」では、ブルジョワ革命の時代から第一次世界大戦までの欧米史を、政治史を中心に時系列的に説明する。
[授業の進め方]テキストは使用しないが、毎回、授業のレジュメのプリントを各自に配付して、授業を進める。
[学習の仕方]授業内容はプリントにまとめられているが、より理解しやすくするために、適宜、板書をしつつ、補足説明をするので、必要に応じてノートも取らなければならない。また、授業をやや早めに終了し、質問時間を設定するので、分かりにくいところがあれば、遠慮なく質問してほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中学「社会」及び高校「地歴」の教職を志望する場合、基礎的な西洋史分野の知識を得ることができる。とくに「ヨーロッパとはこのような世界である」ということを、中高生に語る能力を得ることを目標とする。(技能)

ヨーロッパ関係の歴史学・文学・哲学・語学を専攻するうえで、不可欠な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

法学・経済学・商学を専攻するうえでも、ヨーロッパ史の知識
は不可欠であり、有用な基礎知識を得ることができる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、「履修上の注意」に記載されている文献などを事前に読んで、欧米史の基礎知識を把握してほしい。復習として、レジュメや参考書をもとに、授業内容の理解に努めてほしい。(90 分程度必要)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

[評価方法]定期試験 90％・平素(授業への積極的な取り組み)
10%によって評価する。試験範囲は授業内容全体である。試験は論述形式であり、意味の分かる文章で説明しなければならない。
[評価基準]試験では、近代・現代のヨーロッパ史の基本知識がどの程度まで身についているか、さらにそれを第三者にどの程度まで説明することができるか、が評価の基準となる。試験は１問 20 点の設問５問からなる。60 点以上が合格点であり、３問以上記述しなければ、合格できない。

◎－－－　テキスト　－－－◎ テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

フランス史 10 講　ISBN 4004310164C0222
世界各国史 12 フランス史　ISBN 4634414201C1322

個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

高校で「世界史」を履修していなくても受講可能であるが、多少個人的な学習が必要である。高校教科書の該当部分を熟読するだけで十分であるが、手元にない場合は、桑原武夫編『世界の歴史 10:フランス革命とナポレオン』・井上幸治編『世界の歴史 12:ブルジョワの世紀』・中山治一編『世界の歴史 13:帝国主義の時代』(中公文庫)が有用である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

①授業計画の提示(授業の進め方・授業概要の説明)
②絶対王政の時代
③啓蒙主義の時代
④ブルジョワ革命の構造(大西洋革命論)
⑤フランス革命の背景・勃発
⑥フランス革命の展開(1)(立憲王政の成立)
⑦フランス革命の展開(2)(共和政の成立)
⑧フランス革命の帰結
⑨ナポレオンの帝国
⑩ナポレオンの没落
⑪ウィーン体制の成立
⑫ウィーン体制の崩壊
⑬国民国家の成立(1)(第二帝政)
⑭国民国家の成立(2)(ドイツ・イタリアの統一)
⑮帝国主義と第一次世界大戦

宗教学Ａ（神々と英雄の詩学）

2020-S000009407-01

小笠原　史樹

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・１時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

世界中の様々な宗教思想は、洗練された「教義」としてだけではなく、古代・中世に書かれた叙事詩などの中で「物語」としても表現されている。神々や英雄たちをめぐる魅惑的な物語は、神話学や文学の研究対象であるのはもちろん、哲学や宗教学の研究対象でもあり得る。

この授業では、六つの古典的な英雄譚を取り上げ、それらの物語から読みとれる思想について哲学的・宗教学的に検討する。諸作品を個別に扱う過程で、宗教一般についても考察を試みる。

授業は講義形式で行う。毎回冒頭、前回の復習と質疑応答の時間を設け、授業の最後には、当日の内容に関する小テストを課す。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。(技能)

③宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと（120 分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる（120 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の小テスト（30%）と定期試験（70%）に基づき、評価する。
授業の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは使用しない。
毎回の授業前に、FU ポータル上で参考資料を公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。
授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス

2. ギルガメシュ叙事詩①
3. ギルガメシュ叙事詩②
4. 出エジプト記①
5. 出エジプト記②
6. イリアス①
7. イリアス②
8. オイディプス王①
9. オイディプス王②
10. マハーバーラタ①
11. マハーバーラタ②
12. 古事記①
13. 古事記②
14. 補論
15. まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

宗教学Ａ「BB」(神々と英雄の詩学)　2020-S000009407-02 小笠原　史樹

授業時間割：前期：木・二部２時限　試験時間割：2020/07/30　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

世界中の様々な宗教思想は、洗練された「教義」としてだけではなく、古代・中世に書かれた叙事詩などの中で「物語」としても表現されている。神々や英雄たちをめぐる魅惑的な物語は、神話学や文学の研究対象であるのはもちろん、哲学や宗教学の研究対象でもあり得る。

この授業では、六つの古典的な英雄譚を取り上げ、それらの物語から読みとれる思想について哲学的・宗教学的に検討する。諸作品を個別に扱う過程で、宗教一般についても考察を試みる。

授業は講義形式で行う。毎回冒頭、前回の復習と質疑応答の時間を設け、授業の最後には、当日の内容に関する小テストを課す。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。(技能)

③宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと（120 分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる（120 分)。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の小テスト（30%）と定期試験（70%）に基づき、評価する。

授業の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。テキストは使用しない。

毎回の授業前に、FU ポータル上で参考資料を公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
2. ギルガメシュ叙事詩①
3. ギルガメシュ叙事詩②
4. 出エジプト記①

宗教学A（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書

5. 出エジプト記②
6. イリアス①
7. イリアス②
8. オイディプス王①
9. オイディプス王②
10. マハーバーラタ①
11. マハーバーラタ②
12. 古事記①
13. 古事記②
14. 補論
15. まとめ

る。諸作品を個別に扱う過程で、宗教一般についても考察を試みる。

授業は演習形式で行う。全体討論の回とグループ討論の回を交互に繰り返しながら、資料を読み進めていく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。（知識・理解）

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。

宗教学A「教養ゼミ」（神々と英雄の詩学）　　2020-S000009407-03

小笠原　史樹

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：演習　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
授業時間割：前期：水・３時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

世界中の様々な宗教思想は、洗練された「教義」としてだけではなく、古代・中世に書かれた叙事詩などの中で「物語」としても表現されている。神々や英雄たちをめぐる魅惑的な物語は、神話学や文学の研究対象であるのはもちろん、哲学や宗教学の研究対象でもあり得る。

この授業では、六つの古典的な英雄譚を取り上げ、それらの物語から読みとれる思想について哲学的・宗教学的に検討す

(技能)

③宗教学的な諸問題について、自分の見解を的確に言語化し、口頭で議論することができる。（技能）

④様々な宗教思想について学ぼうとする意欲を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、自分の考えや疑問点をまとめておくこと（120 分)。復習としては、授業

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

中の議論を踏まえて参考資料を再読し、自分の考えを再検討することが求められる（120 分）。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業中の発表や質問、討論への貢献度などによる平常点（60%）とコメント作成などの課題（40%）に基づいて評価する。
資料の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

1. ガイダンス
2. ギルガメシュ叙事詩①：全体討論
3. ギルガメシュ叙事詩②：グループ討論
4. 出エジプト記①：全体討論
5. 出エジプト記②：グループ討論
6. イリアス①：全体討論
7. イリアス②：グループ討論
8. 中間考察
9. オイディプス王①：全体討論
10. オイディプス王②：グループ討論

2020-S000009407-04

授業時間割：前期：月・４時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは使用しない。
参考資料を FU ポータル上で公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。毎回相当量の課題が課されるため、定期試験がないことを理由にしての履修は賢明ではない。
遅刻や無断欠席、課題提出の遅れなどは決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

11. マハーバーラタ①：全体討論
12. マハーバーラタ②：グループ討論
13. 古事記①：全体討論
14. 古事記②：グループ討論
15. まとめ

◎－－－　概要　－－－◎

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みです。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となるでしょう。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく考察します。
第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つであり、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となりうるでしょう。このテーマでは、その展開について考察します。

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の霊魂には特別な力が存在すると捉えて、その霊魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について考察します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくことになります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から考察します

◎－－－　到達目標　－－－◎

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を

房、平成 16 年、2300 円（税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　ガイダンス
２　八幡信仰の形成
３　託宣する神
４　石清水八幡宮の創建
５　八幡信仰の多様性
６　跋扈する怨霊
７　怨霊から善神へ
８　牛頭天王と祇園会
９　菅公の栄達と左遷／「祟り」とされる出来事
１０　天満宮の創建
１１　神仏習合という現象
１２　本地垂迹説の成立
１３　神仏習合説の形成
１４　神仏習合に関わる諸信仰
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書
2020-S000009407-05

授業時間割：前期：水・２時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みです。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となるでしょう。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく考察します。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つであり、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となりうるでしょう。このテーマでは、その展開について考察します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の霊魂には特別な力が存在すると捉えて、その霊魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について考察します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくことになります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から考察します

再読してください。(90 分)

◎－－－　到達目標　－－－◎

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理
解)

・日本の宗教に関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を房、平成 16 年、2300 円（税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　　ガイダンス
2　　八幡信仰の形成
3　　託宣する神

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

４　　石清水八幡宮の創建
５　　八幡信仰の多様性
６　　跋扈する怨霊
７　　怨霊から善神へ
８　　牛頭天王と祇園会
９　　菅公の栄達と左遷／「祟り」とされる出来事
１０　天満宮の創建
１１　神仏習合という現象
１２　本地垂迹説の成立
１３　神仏習合説の形成
１４　神仏習合に関わる諸信仰
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著　『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つであり、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となりうるでしょう。このテーマでは、その展開について考察します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の霊魂には特別な力が存在すると捉えて、その霊魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について考察します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくことになります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から考察します

2020-S000009407-06

授業時間割：前期：金・２時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みです。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となるでしょう。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく考察します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を再読してください。(90 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著　『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書房、平成 16 年、2300 円（税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス
２　　八幡信仰の形成
３　　託宣する神
４　　石清水八幡宮の創建
５　　八幡信仰の多様性
６　　跋扈する怨霊
７　　怨霊から善神へ
８　　牛頭天王と祇園会
９　　菅公の栄達と左遷／「祟り」とされる出来事
１０　天満宮の創建
１１　神仏習合という現象
１２　本地垂迹説の成立
１３　神仏習合説の形成
１４　神仏習合に関わる諸信仰
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

2020-S000009407-07

授業時間割：前期：金・５時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

◎－－－　概要　－－－◎

宗教は人間にとって欠かすことのできない文化上の重要な営みです。したがって、日本の文化を知り、それを受け継いでいく上でも、日本の宗教に対する理解が必要となるでしょう。本授業では日本の宗教について、以下に示す三つのテーマに基づいて、詳しく考察します。

第一のテーマは「八幡信仰の展開」です。八幡神は日本を代表する神の一つであり、この神に対する信仰は長期にわたって展開し続けました。国家守護神、神仏習合

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

神、軍神、各地の鎮守神など、八幡神が見せる多種多様な姿は、日本の宗教史をそのまま映し出す鏡となりうるでしょう。このテーマでは、その展開について考察します。

第二のテーマは「怨霊と御霊」です。日本では古来、無念の死を遂げた者や目覚ましい活躍をした者の霊魂には特別な力が存在すると捉えて、その霊魂を神として祭ってきました。それが「御霊」と呼ばれるものです。このテーマでは、怨霊が御霊化していく経緯や、御霊信仰から始まり、やがて独自の信仰へと展開していった天神信仰について考察します。

第三のテーマは「神と仏の邂逅」です。日本古来の神祇信仰は、新たに伝来した仏教に対して、当初は反発していましたが、やがて深く結びついていくことになります。「神仏習合」と呼ばれるこの現象こそ、日本の宗教史を特色づける一大潮流として捉えられるものです。このテーマでは、この現象について様々な観点から考察します

◎－－－　到達目標　－－－◎

・日本の宗教に関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・日本の宗教に関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著　『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書
・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を房、平成 16 年、2300 円（税別)、ISBN 978-4-7710-1519-7

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス
２　　八幡信仰の形成
３　　託宣する神
４　　石清水八幡宮の創建
５　　八幡信仰の多様性
６　　跋扈する怨霊
７　　怨霊から善神へ
８　　牛頭天王と祇園会
９　　菅公の栄達と左遷／「祟り」とされる出来事
１０　天満宮の創建
１１　神仏習合という現象
１２　本地垂迹説の成立
１３　神仏習合説の形成
１４　神仏習合に関わる諸信仰
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　URL　－－－◎

宗教学Ａ（日本の宗教）

岸根　敏幸

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著　『日本の宗教―その諸様相―』、晃洋書

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ａ（ユダヤ教・キリスト教・イスラームを中心に）

白川　琢磨

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

2020-S000009407-08

授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」「シャーマニズム」「呪術（magic）」「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。

今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。
以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。（知識・理解）各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30 分）

◎－－－　参考書　－－－◎

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』中公新書 560
関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎タラル・アサド／中村圭志訳『宗教の系譜―キリスト教とイスラムにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

宗教学Ａ（ユダヤ教・キリスト教・イスラームを中心に）

白川　琢磨

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。
そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム)」「シャーマニズム」
「呪術（magic)」「妖術（witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。
今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。
もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。
以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ 日本人の宗教
２ 霊魂観：霊魂の現場主義
３ 死生観：「死」と宗教
４ 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
５ 基層宗教②シャーマニズム
６ 基層宗教③呪術（magic）
７ 基層宗教④妖術（witchcraft）
８ アブラハム信仰の共通特徴①唯一絶対的神観念
９ アブラハム信仰の共通特徴②預言者の存在
10 アブラハム信仰の共通特徴③直線的時間観
11 アブラハム信仰の共通特徴④異教及び異教徒の位置づけ
12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーグ
13 キリスト教：カトリック・教会・サクラメント
14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」
15 イスラームと実践宗教

2020-S000009407-09

授業時間割：前期：火・２時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

宗教学Ａ（ユダヤ教・キリスト教・イスラームを中心に）　2020-S000009407-10

白川　琢磨

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。（知識・理解）各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

授業時間割：前期：火・５時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』中公新書560

関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎タラル・アサド／中村圭志訳『宗教の系譜―キリスト教とイスラムにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。
DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ 日本人の宗教
２ 霊魂観：霊魂の現場主義
３ 死生観：「死」と宗教
４ 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
５ 基層宗教②シャーマニズム

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

６ 基層宗教③呪術（magic）
７ 基層宗教④妖術（witchcraft）
８ アブラハム信仰の共通特徴①唯一絶対的神観念
９ アブラハム信仰の共通特徴②預言者の存在
10 アブラハム信仰の共通特徴③直線的時間観
11 アブラハム信仰の共通特徴④異教及び異教徒の位置づけ
12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーグ
13 キリスト教：カトリック・教会・サクラメント
14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」
15 イスラームと実践宗教

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも
「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。
　そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」「シャーマニズム」
「呪術（magic）」「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。
　今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」を

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

宗教学Ａ（ユダヤ教・キリスト教・イスラームを中心に）

白川　琢磨

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

その特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。
以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）世界に生じる宗教紛争についてその背景を推測できる。（知識・理解）各宗教の用語や概念を正しく使えるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。（30 分）

◎－－－　参考書　－－－◎

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版)』中公新書 560
関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎タラル・アサド／中村圭志訳『宗教の系譜―キリスト教とイスラムにおける権力の根拠と訓練』岩波オンデマンドブックス

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。
DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ 日本人の宗教
２ 霊魂観：霊魂の現場主義
３ 死生観：「死」と宗教
４ 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
５ 基層宗教②シャーマニズム
６ 基層宗教③呪術（magic）
７ 基層宗教④妖術（witchcraft）
８ アブラハム信仰の共通特徴①唯一絶対的神観念
９ アブラハム信仰の共通特徴②預言者の存在
10 アブラハム信仰の共通特徴③直線的時間観
11 アブラハム信仰の共通特徴④異教及び異教徒の位置づけ
12 ユダヤ教：ヤーウェ・トーラー・シナゴーグ
13 キリスト教：カトリック・教会・サクラメント
14 キリスト教：「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」
15 イスラームと実践宗教

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：　1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

宗教学Ａ（神と西洋思想）東谷

孝一

授業時間割：前期：金・３時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

古代ギリシアに始まる西洋の哲学思想の歴史において、「神」についての探求は最も根本的で重要なことがらであったと言えます。すなわち、「神」は人々によって信じられ崇拝されてきただけではなく、人間の理性にとって最も根源的で包括的な課題として様々な仕方で論じられ探求されてきました。宗教は様々な宗教的儀式や建築、音楽や美術などを生み出すのみならず、学問をも発展させたのです。こうして西洋に生まれた神学や哲学はヨーロッパ文化を形成する大切な一部分となりました。

神を信じるということはどのようなことなのか？神を信じることと人間が生きることはどのようにかかわっているのか？信じることと知ることはどのようにかかわっているのか？何らかの証拠にもとづかなくとも神の存在を信じることは合理性をもちうるのか？神が存在することは論証されうるのか？このような問題は西洋思想における重要な探求課題であったわけです。　この講義においては、信仰と理性、神の存在論証など西洋の宗教哲学における主要な問題を皆さんと一緒に考えていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 宗教哲学的な探求のあり方の特徴がわかる。（知識・理解）

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。（知識・理解）

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。（30 分）
紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。
（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験による。
評価基準：宗教哲学における、①探求の特色、②探求テーマの重要性、③様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。
なし。必要に応じてプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 特になし。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 イントロダクション
2「神」という概念について
3　知ることと信じること
4　続
5　神存在の宇宙論的論証
6　続
7　神存在の目的論的論証
8　続
9　神存在の存在論的論証
10　続
11　奇跡について
12　続
13　旅する者・人間
14　続
15　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

宗教学Ａ（神と西洋思想）東谷

孝一

授業時間割：前期：金・４時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

古代ギリシアに始まる西洋の哲学思想の歴史において、「神」についての探求は最も根本的で重要なことがらであったと言えます。すなわち、「神」は人々によって信じられ崇拝されてきただけではなく、人間の理性にとって最も根源的で包括的な課題として様々な仕方で論じられ探求されてきました。宗教は様々な宗教的儀式や建築、音楽や美術などを生み出すのみならず、学問をも発展させたのです。こうして西洋に生まれた神学や哲学はヨーロッパ文化を形成する大切な一部分となりました。

神を信じるということはどのようなことなのか？神を信じることと人間が生きることはどのようにかかわっているのか？信じることと知ることはどのようにかかわっているのか？何らかの証拠にもとづかなくとも神の存在を信じることは合理性をもちうるのか？神が存在することは論証されうるのか？このような問題は西洋思想における重要な探求課題であったわけです。　この講義においては、信仰と理性、神の存在論証など西洋の宗教哲学における主要な問題を皆さんと一緒に考えていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。（知識・理解）

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。（知識・理解）

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

◎－－－　テキスト　－－－◎ 事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。（30 分）

紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験による。
評価基準：宗教哲学における、①探求の特色、②探求テーマの重要性、③様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。
なし。必要に応じてプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 特になし。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 イントロダクション
2「神」という概念について
3　知ることと信じること
4　続
5　神存在の宇宙論的論証
6　続
7　神存在の目的論的論証

8　続
9　神存在の存在論的論証
10　続
11　奇跡について
12　続
13　旅する者・人間
14　続
15　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

宗教学Ｂ（言行録研究）

2020-S000009408-01

小笠原　史樹

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

キリスト教やイスラーム、仏教などの諸宗教は、その出発点において、特定の人の言葉や行動と深く結びついている。ある人間が、新しい宗教や宗派を生み出した「開祖」や「聖者」と見なされ、その人の思想や生き方が神聖視される。

この授業では、そのような人々自身の、あるいはその弟子たちの言葉や行動を記した「言行録」を取り上げ、それらを哲学的・宗教学的に検討する。イエス、ムハンマド、ブッダなどの生涯に直接関わるテキストを扱うことによって、複雑な「教義」として洗練される以前の、より生々しく鮮烈な「思考」を取り出し、分析することを試みる。

授業は講義形式で行う。毎回冒頭、前回の復習と質疑応答の時間を設け、授業の最後には、当日の内容に関する小テストを課す。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。(技能)

③宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと（120 分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる（120 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の小テスト（30%）と定期試験（70%）に基づき、評価する。

授業の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは使用しない。

毎回の授業前に、FU ポータル上で参考資料を公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス

2. 福音書①
3. 福音書②
4. 使徒言行録
5. 聖フランシスコの小さき花
6. ハディース①
7. ハディース②
8. スッタニパータ
9. ダンマパダ
10. 大パリニッバーナ経
11. テーリー・ガーター
12. 正法眼蔵随聞記
13. 歎異抄
14. 補論
15. まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

宗教学Ｂ「BB」(言行録研究)　　2020-S000009408-02 小笠原　史樹

授業時間割：後期：木・二部２時限　　試験時間割：2021/01/21　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

キリスト教やイスラーム、仏教などの諸宗教は、その出発点において、特定の人の言葉や行動と深く結びついている。ある人間が、新しい宗教や宗派を生み出した「開祖」や「聖者」と見なされ、その人の思想や生き方が神聖視される。

この授業では、そのような人々自身の、あるいはその弟子たちの言葉や行動を記した「言行録」を取り上げ、それらを哲学的・宗教学的に検討する。イエス、ムハンマド、ブッダなどの生涯に直接関わるテキストを扱うことによって、複雑な「教義」として洗練される以前の、より生々しく鮮烈な「思考」を取り出し、分析することを試みる。

授業は講義形式で行う。毎回冒頭、前回の復習と質疑応答の時間を設け、授業の最後には、当日の内容に関する小テストを課す。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。(知識・理解)

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。(技能)

③宗教学的な諸問題について、自ら主体的に考えることができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、ポイントや疑問点などをまとめておくこと（120 分)。復習としては、小テストの問題を中心に授業内容を再検討し、改めて参考資料を読み直すことが求められる（120 分)。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回の小テスト（30%）と定期試験（70%）に基づき、評価する。

授業の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。テキストは使用しない。

毎回の授業前に、FU ポータル上で参考資料を公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。

授業中の私語や無断退室は決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
2. 福音書①
3. 福音書②
4. 使徒言行録
5. 聖フランシスコの小さき花

6. ハディース①
7. ハディース②
8. スッタニパータ
9. ダンマパダ
10. 大パリニッバーナ経
11. テーリー・ガーター
12. 正法眼蔵随聞記
13. 歎異抄
14. 補論
15. まとめ

宗教学Ｂ「教養ゼミ」（言行録研究）　2020-S000009408-03

小笠原　史樹

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習
授業時間割：後期：水・３時限　試験時間割：定期試験なし
実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

◎－－－　概要　－－－◎

キリスト教やイスラーム、仏教などの諸宗教は、その出発点において、特定の人の言葉や行動と深く結びついている。ある人間が、新しい宗教や宗派を生み出した「開祖」や「聖者」と見なされ、その人の思想や生き方が神聖視される。

この授業では、そのような人々自身の、あるいはその弟子たちの言葉や行動を記した「言行録」を取り上げ、それらを哲学的・宗教学的に検討する。イエス、ムハンマド、ブッダなどの生涯に直接関わるテキストを扱うことによって、複雑な「教義」として洗練される以前の、より生々しく鮮烈な「思考」を取り出し、分析することを試みる。

授業は演習形式で行う。全体討論の回とグループ討論の回を交互に繰り返しながら、資料を読み進めていく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①授業で取り上げる古典に関する基礎知識を持ち、正確に説明できる。（知識・理解）

②古典を読解し、宗教学的に分析することができる。（技能）

③宗教学的な諸問題について、自分の見解を的確に言語化し、口頭で議論することができる。（技能）

④様々な宗教思想について学ぼうとする意欲を持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習として、事前に参考資料を通読し、自分の考えや疑問点をまとめておくこと（120 分)。復習としては、授業中の議論を踏まえて参考資料を再読し、自分の考えを再検討することが求められる（120 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業中の発表や質問、討論への貢献度などによる平常点（60%）とコメント作成などの課題（40%）に基づいて評価する。

資料の内容を正確に理解しているか、自ら主体的に考えようとしているか、という二点を主な評価基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは使用しない。

参考資料を FU ポータル上で公開する。各自でプリントアウトし、持参すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書
2020-S000009408-04

授業時間割：後期：月・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

適宜、授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

予備知識は前提しないが、授業への十分な意欲は必要とされる。毎回相当量の課題が課されるため、定期試験がないことを理由にしての履修は賢明ではない。

遅刻や無断欠席、課題提出の遅れなどは決して許されない。厳格な受講態度が求められる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ガイダンス
2. イエス①：全体討論
3. イエス②：グループ討論
4. 聖フランシスコ①：全体討論
5. 聖フランシスコ②：グループ討論
6. ムハンマド①：全体討論
7. ムハンマド②：グループ討論
8. 中間考察
9. ブッダ①：全体討論
10. ブッダ②：グループ討論
11. 道元①：全体討論
12. 道元②：グループ討論
13. 親鸞①：全体討論
14. 親鸞②：グループ討論
15. まとめ

◎－－－　概要　－－－◎

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが 『古事記』 と 『日本書紀』 に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して 「記紀神話」 と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』 と 『日本書紀』 の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」 という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることに繋がるでしょう。『古事記』 の神話は 「古事記神話」、『日本書紀』 の神話は 「日本書紀神話」 として明確に区別

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。
　この授業では、特に 「国生みの神話」 「高天原の神話」 「出雲の神話」 という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を房、平成 28 年、2500 円 (税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス
２　　国生みの神話　(別天つ神)
３　　国生みの神話　(神世七代)
４　　国生みの神話　(国生みの経緯)
５　　国生みの神話　(国生みの具体相)
６　　高天原の神話　(スサノヲのウケヒ)
７　　高天原の神話　(スサノヲの乱行)
８　　高天原の神話　(天の石屋籠もり)
９　　高天原の神話　(スサノヲへの対応)
１０　高天原の神話　(オホゲツヒメの殺害)
１１　出雲の神話　(ヤマタノヲロチの退治)
１２　出雲の神話　(草なぎの剣とスサノヲの宮)
１３　出雲の神話　(スサノヲとオホナムヂの系譜)
１４　出雲の神話　(オホナムヂという存在)
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書
2020-S000009408-05

授業時間割：後期：水・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが 『古事記』 と 『日本書紀』 に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して 「記紀神話」 と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』 と 『日本書紀』 の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」 という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることに繋がるでしょう。『古事記』 の神話は 「古事記神話」、『日本書紀』 の神話は 「日本書紀神話」 として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に 「国生みの神話」 「高天原の神話」 「出雲の神話」 という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を房、平成 28 年、2500 円（税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス
２　　国生みの神話　(別天つ神)
３　　国生みの神話　(神世七代)

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

４　　国生みの神話　（国生みの経緯）
５　　国生みの神話　（国生みの具体相）
６　　高天原の神話　（スサノヲのウケヒ）
７　　高天原の神話　（スサノヲの乱行）
８　　高天原の神話　（天の石屋籠もり）
９　　高天原の神話　（スサノヲへの対応）
１０　高天原の神話　（オホゲツヒメの殺害）
１１　出雲の神話　（ヤマタノヲロチの退治）
１２　出雲の神話　（草なぎの剣とスサノヲの宮）
１３　出雲の神話　（スサノヲとオホナムヂの系譜）
１４　出雲の神話　（オホナムヂという存在）
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』 と 『日本書紀』 の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」 という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることに繋がるでしょう。『古事記』 の神話は 「古事記神話」、『日本書紀』 の神話は 「日本書紀神話」 として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に 「国生みの神話」 「高天原の神話」

2020-S000009408-06

授業時間割：後期：金・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが 『古事記』 と 『日本書紀』 に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して 「記紀神話」 と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

「出雲の神話」 という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を再読してください。(90 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書房、平成 28 年、2500 円 (税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス
２　　国生みの神話　(別天つ神)
３　　国生みの神話　(神世七代)
４　　国生みの神話　(国生みの経緯)
５　　国生みの神話　(国生みの具体相)
６　　高天原の神話　(スサノヲのウケヒ)
７　　高天原の神話　(スサノヲの乱行)
８　　高天原の神話　(天の石屋籠もり)
９　　高天原の神話　(スサノヲへの対応)
１０　高天原の神話　(オホゲツヒメの殺害)
１１　出雲の神話　(ヤマタノヲロチの退治)
１２　出雲の神話　(草なぎの剣とスサノヲの宮)
１３　出雲の神話　(スサノヲとオホナムヂの系譜)
１４　出雲の神話　(オホナムヂという存在)
１５　まとめ／定期試験の説明

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

2020-S000009408-07

授業時間割：後期：金・５時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

◎－－－　概要　－－－◎

日本の神話を伝えている記述はいくつか存在していますが、その中で最も知られているのが 『古事記』 と 『日本書紀』 に含まれている記述です。従来、この二つの書物に記述された神話は総称して 「記紀神話」 と呼ばれ、同じような内容を説いているものと考えられてきました。

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

確かにこの二つの神話は最初から最後まで、話のあらすじも似ており、様々な違いはあっても、結局、同根の神話であると思われるかもしれません。しかし、両者には、世界や神のような根本的な事柄に対する捉え方の違いがあり、それ以外にも看過できない違いが多く存在しています。『古事記』 と 『日本書紀』 の編纂者は、おそらく同じような神話伝承を素材として用いながらも、自らが是とする価値観に基づいて、それぞれ独自の神話体系を作り上げていったと考えられるのです。

したがって、「記紀神話」 という形で両者を安易に同一視することは、それぞれの神話の特色を見誤ることに繋がるでしょう。『古事記』 の神話は 「古事記神話」、『日本書紀』 の神話は 「日本書紀神話」として明確に区別し、互いに独立した神話として捉えていくことが必要なのです。

この授業では、特に 「国生みの神話」 「高天原の神話」 「出雲の神話」 という三つのテーマに関して、古事記神話と日本書紀神話という二つの神話の記述を比較検討することで、各々の神話の特色を浮かび上がらせたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる基礎的な内容を理解できる。(知識・理解)

・古事記神話と日本書紀神話の違いに関わる重要点を説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書

・テキストの指定された範囲を精読し、不明な箇所は自分で調べてください。(90 分)

・筆記した内容を確認しながら、テキストの指定された範囲を房、平成 28 年、2500 円（税別)、ISBN 978-4-7710-2665-0

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・出席状況不良や授業中の私語など、授業への取り組みに問題がある場合、厳しく対処します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　ガイダンス
２　国生みの神話　(別天つ神)
３　国生みの神話　(神世七代)
４　国生みの神話　(国生みの経緯)
５　国生みの神話　(国生みの具体相)
６　高天原の神話　(スサノヲのウケヒ)
７　高天原の神話　(スサノヲの乱行)
８　高天原の神話　(天の石屋籠もり)
９　高天原の神話　(スサノヲへの対応)
１０　高天原の神話　(オホゲツヒメの殺害)
１１　出雲の神話　(ヤマタノヲロチの退治)
１２　出雲の神話　(草なぎの剣とスサノヲの宮)
１３　出雲の神話　(スサノヲとオホナムヂの系譜)
１４　出雲の神話　(オホナムヂという存在)
１５　まとめ／定期試験の説明

宗教学Ｂ（古事記神話と日本書紀神話）

岸根　敏幸

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

・岸根敏幸著 『古事記神話と日本書紀神話』、晃洋書

◎－－－　URL　－－－◎

岸根敏幸のサイト
(https://sites.google.com/site/kishine2623/)

再読してください。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・授業に関わる基礎的な内容を理解し、その重要点を説明できるかという点を成績評価基準とします。

・定期試験の結果で評価します。

宗教学Ｂ（ヒンドゥー教・仏教・日本宗教を中心に）

白川　琢磨

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

2020-S000009408-08

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも
「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。
　そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム）」「シャーマニズム」「呪術（magic）」「妖術（witchcraft）」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。　今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。
　もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。
以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30分)

◎－－－　参考書　－－－◎

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版)』中公新書 560
関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎
安丸良夫『神々の明治維新―神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版 103
黒田俊雄『寺社勢力―もう一つの中世社会』岩波新書黄版 117

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

宗教学Ｂ（ヒンドゥー教・仏教・日本宗教を中心に）

白川　琢磨

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。
DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ 日本人の宗教
２ 霊魂観：霊魂の現場主義
３ 死生観：「死」と宗教
４ 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
５ 基層宗教②シャーマニズム
６ 基層宗教③呪術（magic）
７ 基層宗教④妖術（witchcraft）
８ ヒンドゥー教：輪廻転生と４ヴァルナ
９ 原始仏教：苦集滅道
10 ガンダーラにおける転換：大乗仏教
11 仏教伝来と神祇信仰
12 神仏習合の出発：神身離脱現象
13 神仏習合の展開：本地垂迹説
14 神仏分離のロジック
15 日本人の宗教アレルギーの理由

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

2020-S000009408-09

授業時間割：後期：火・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも
「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。
　そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュアリズム)」「シャーマニズム」「呪術（magic)」「妖術（witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。　今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。
　もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合

宗教学Ｂ（ヒンドゥー教・仏教・日本宗教を中心に）　2020-S000009408-10

白川　琢磨

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。
以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版)』中公新書

授業時間割：後期：火・５時限　試験時間割：2021/01/22　４時限

560
関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎
安丸良夫『神々の明治維新―神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版 103
黒田俊雄『寺社勢力―もう一つの中世社会』岩波新書黄版 117

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
　授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ 日本人の宗教
２ 霊魂観：霊魂の現場主義
３ 死生観：「死」と宗教
４ 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
５ 基層宗教②シャーマニズム
６ 基層宗教③呪術（magic）
７ 基層宗教④妖術（witchcraft）
８ ヒンドゥー教：輪廻転生と４ヴァルナ
９ 原始仏教：苦集滅道
10 ガンダーラにおける転換：大乗仏教
11 仏教伝来と神祇信仰
12 神仏習合の出発：神身離脱現象
13 神仏習合の展開：本地垂迹説
14 神仏分離のロジック
15 日本人の宗教アレルギーの理由

◎－－－　概要　－－－◎

「宗教」という言葉は、religion の訳語として、明治時代の初めに我が国で作られた。その意味は、皆さんが想定する通りであるが、問題はその評価である。統計数理研究所が戦後から５年おきに実施している意識調査でも「宗教・信仰を持っているか、あるいは関わりがあるか」との問いに、日本人の約７割が「No」と答え、しかも
「Yes」３割、「No」７割という比率はほぼ一貫しているのである。世界中どこでもそうなら問題はないのだが、例えば欧米キリスト教圏と比較すれば、その比率はほぼ逆なのである。その謎を解いていくのが本講義の趣旨である。
　そのためには、まず、我々の宗教環境を知らねばならない。宗教は、人類の文化（culture）を構成する３大コードの１つである。特定の宗教として成立する以前の基層宗教は、主に宗教人類学の領域で研究されてきたが、その中から基本的な４つ宗教概念を取り上げる。「アニミズム（スピリチュア

宗教学Ｂ（ヒンドゥー教・仏教・日本宗教を中心に）

白川　琢磨

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

リズム)」「シャーマニズム」「呪術（magic)」「妖術（witchcraft)」の概念や現象について解説するが、これらは今日の成立宗教の基底に横たわるものである。　今日の世界宗教は、大きく分けると２つの系列に分けられる。１つは、世界人口の約半分が帰属しているユダヤ教・キリスト教・イスラームである。これらの宗教は預言者の共通性に着目して「アブラハム信仰」と呼ばれるが、「唯一絶対的な神観念」をその特徴としている。それ以外に「預言者の存在」「直線的な時間観」などがあるが、今日の宗教紛争の根本的な原因ともなっている「異教及び異教徒の位置づけ」が最大の問題であろう。これは唯一絶対神のちょうどコインの裏表の関係となっており、世俗化の問題とも絡めながらその解決の方向を考えてみたい。

もう１つの系列が、日本宗教が属するところの「アジア宗教」の系列である。「神」なき宗教の系列である。講義では、その中で日本宗教とのつながりの深い「ヒンドゥー教」と「仏教」をとりあげるが、ヒンドゥー教から引き継いだ「輪廻転生」と大乗仏教に由来する「六波羅蜜」と「四聖六道」が８世紀頃、日本に定着し、それまでに存在していた神祇信仰と融合して「神仏習合」とも呼ぶべき独特な状態を作り上げる。しかもこの状態が 150 年前の明治元年に「神仏分離」という強硬な文化政策で一挙に崩壊する。日本の近代化（合理化）の立ち位置はまさに反＝神仏習合にあったのであり、習合的な要素を持つ宗派や教団に冠せられた代名詞が宗教だったのである。

以上、前期はアブラハム信仰、後期はアジア宗教を中心に講義する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

宗教に関して偏見によることなく、正しく客観的に捉えることができる。（態度・志向性）日本人の宗教環境が正しく理解できる。（知識・理解）我が国の宗教・文化政策に対して正しい判断ができる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

◎－－－　参考書　－－－◎

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版)』中公新書 560
関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房白川琢磨『顕密のハビトゥス―神仏習合の宗教人類学的研究』木星舎
安丸良夫『神々の明治維新―神仏分離と廃仏毀釈』岩波新書黄版 103
黒田俊雄『寺社勢力―もう一つの中世社会』岩波新書黄版 117

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

出席は当然の原則である。
ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。
DVD 等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 日本人の宗教
2 霊魂観：霊魂の現場主義
3 死生観：「死」と宗教
4 基層宗教①アニミズム（スピリチュアリズム）
5 基層宗教②シャーマニズム
6 基層宗教③呪術（magic）
7 基層宗教④妖術（witchcraft）
8 ヒンドゥー教：輪廻転生と４ヴァルナ
9 原始仏教：苦集滅道
10 ガンダーラにおける転換：大乗仏教
11 仏教伝来と神祇信仰

宗教学Ｂ（ヒンドゥー教・仏教・日本宗教を中心に）　2020-S000009408-12

白川　琢磨

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは用いない。
授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

12 神仏習合の出発：神身離脱現象
13 神仏習合の展開：本地垂迹説
14 神仏分離のロジック
15 日本人の宗教アレルギーの理由

予習の必要はない。
毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
定期試験で８５％の評価を決定する。
１５％は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：　1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－
◎

宗教学Ｂ（「神のかたどり」としての人間）東谷

孝一

授業時間割：後期：金・３時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

　西洋の思想は大局的にはギリシア・ヘレニズム思想とユダヤ・キリスト教思想が互いに影響し合うなかで形成されたといえるでしょう。ユダヤ・キリスト教の宗教思想は西洋世界における世界観・人間観の形成において極めて大きな影響を与えています。それは「世界のあること」や「人間であること」そのものについて、根本的にその意味を探求させるものでありました。なぜならば宗教は世界があることやその在り方についての私たちの理解の仕方に深くかかわるメッセージを伝えているからです。また他方、宗教は人間の幸福や自己実現、また人格と他者とのまじわり、人生における苦難や試練とその克服などの重要なことがらにかんして私たちに根本的な反省を迫るものともいえます。
　この講義では、宗教と科学、神と経験、愛など、宗教哲学における中心的なテーマを皆さんと一緒に考察していきます。宗教哲学的な探求は私たちに自分が今までわかりきったことと思っていた事柄への再考をうながし、ものごとを新たな光の下で考える機会を与えてくれます。一緒に探求してみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。
(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。
(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30 分)
紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。
（30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験による。
評価基準：宗教哲学における、①探求の特色、②探求テーマの重要性、③様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。
なし。必要に応じてプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－

◎ なし。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　啓示と神

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

3　続
4　宗教と科学
5　続
6　続
7　神と経験
8　続
9　プラグマティズムの宗教観
10　続
11　愛について、愛情（affection）
12　続　　恋愛（eros）
13　続　　友愛（friendship）
14　続　　恵愛（charity）
15　まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

宗教学Ｂ（「神のかたどり」としての人間）東谷

孝一

授業時間割：後期：金・４時限　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

西洋の思想は大局的にはギリシア・ヘレニズム思想とユダヤ・キリスト教思想が互いに影響し合うなかで形成されたといえるでしょう。ユダヤ・キリスト教の宗教思想は西洋世界における世界観・人間観の形成において極めて大きな影響を与えています。それは「世界のあること」や「人間であること」そのものについて、根本的にその意味を探求させるものでありました。なぜならば宗教は世界があることやその在り方についての私たちの理解の仕方に深くかかわるメッセージを伝えているからです。また他方、宗教は人間の幸福や自己実現、また人格と他者とのまじわり、人生における苦難や試練とその克服などの重要なことがらにかんして私たちに根本的な反省を迫るものともいえます。

この講義では、宗教と科学、神と経験、愛など、宗教哲学における中心的なテーマを皆さんと一緒に考察していきます。宗教哲学的な探求は私たちに自分が今までわかりきったことと思っていた事柄への再考をうながし、ものごとを新たな光の下で考える機会を与えてくれます。一緒に探求してみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 宗教哲学的な探求のあり方の特色がわかる。(知識・理解)

宗教哲学の探求テーマについて、その重要性が理解できる。
(知識・理解)

宗教哲学における様々な議論の道筋を正確にたどることができる。
(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前に配布された資料をあらかじめよく読んでおくこと。(30 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎

紹介された参考図書等を通じて復習し、理解を深めること。
(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価方法：定期試験による。
評価基準：宗教哲学における、①探求の特色、②探求テーマの重要性、③様々な議論の筋道、にかんする理解の程度を基準として評価する。
なし。必要に応じてプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－

◎ なし。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　啓示と神
3　続
4　宗教と科学
5　続
6　続
7　神と経験
8　続
9　プラグマティズムの宗教観
10　続
11　愛について、愛情（affection）

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

12　続　　恋愛（eros）
13　続　　友愛（friendship）
14　続　　恵愛（charity）
15　まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

日本史通論Ａ（「日本」の誕生と変化）　2020-S000009438-01 久保　知里

授業時間割：前期：月・４時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、日本列島における人々の生活の移り変わりについて学ぶ。中世（室町時代）までを対象の時期とし、歴史の大きな流れ、具体的には、日本列島に出現してくる文化や政権および為政者・権力者の動向、さらに対外的な交流を追うことにより、日本社会の変化を考える。
集団の形成、古代国家の成立、貴族中心から武家中心社会への転換など、日本社会は時代とともに変革を遂げていくが、その際、国際社会（世界）から大きな影響を受けている。中世までの日本にとって、国際社会とは主に東アジア世界を指し、国際社会の動向が「国づくり」を行う上で大きく関わっている。よって本講義では「世界」と「日本」の関わりにも注目しつつ、日本社会の変化を考えていく。
現在の日本社会を捉え、今後を考えるために「日本」がどのような歴史をたどってきたのか、どのような環境の中に存在してきたのかを知ることは、とても重要である。単に「歴史好き」としての知識習得ではなく、現代社会を考えるために歴史を学ぶことを主題とする。
授業はレジュメを使用し講義形式で進める。そのなかで、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習内容を自分のものとして獲得するようにしてほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

「日本」のはじまりから室町時代までの政治や文化の変化、対外関係について理解し、説明することができる(知識・理解)

理解した内容を論理的な文章によって表現することができる
(技能)

社会人として必要な知見、様々なことを考えるための素養を身につける(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

歴史の大きな流れを取り扱うため、細かな出来事の説明は省略することがある。各自で用語など（高校日本史程度）は予習・復習をすること（60分)。
また、高校で日本史を履修していない場合は、参考書などを事前に読み、基礎知識を習得して講義に臨んでほしい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

【評価基準】中世（室町時代）までの歴史的事象について、歴史の大きな流れを理解し、日本社会の変化等を説明することができるか、理解した内容を論理的な文章で表現することができるかにより到達度を測る。

【評価方法】定期試験 80%（試験は論述形式で出題。設問に対して講義内容を踏まえた上で、論理的な文章で表現することが必要)、平常点 20%（授業中に指示するミニッツペーパー等を含む）を目安として総合的に評価する。使用しない。毎回レジュメを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

『全集　日本の歴史』(1～8 巻　小学館)、『日本の歴史』(00～14　講談社学術文庫　講談社）など。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

私語、携帯電話・スマートフォンの使用など講義の妨げになる行為は
一切禁止する。
ただ教室にいるだけでは、学習にはならない。講義を通じ、自ら疑問
を持つ、考える、文章で表現する等して、学習をしてほしい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　ガイダンス・導入
2　「日本史」とは
3　日本列島での生活のはじまり
4　巨大な墓をつくる
5　日本の文化と古代国家の形成
6　「日本」の登場
7　国づくりの様相
8　平安京と文化の隆盛
9　武士の活躍と権力の移行①
10　武士の活躍と権力の移行②
11　武家政権「鎌倉」
12　中世の博多
13　権力者の交代と室町幕府
14　室町幕府の対外政策
15　総括

日本史通論Ｂ（近世以降の「日本」と「世界」）　2020-S000009439-01

久保　知里

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・４時限　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、特に近世（江戸時代）以降の日本社会の動向について学ぶ。前近世の日本にとって「世界」とは主に東アジア世界を指していたが、ヨーロッパにおける大航海時代の始まりとともに、日本にとっての「世界」も広がりを見せ始める。
日本国内では、15 世紀中頃以降の戦乱の時代を経て、「泰平」の近世（江戸時代）が訪れる。18 世紀後半以降、日本がそれまでとは違う外国の諸勢力と出会い、混乱を経験しながら近代を迎え、戦争へ向かっていく。
世界の広がり、すなわち「グローバル化」への対応、関係する諸外国と日本社会がどのように関わり、展開し、行動をとるのか。また近代以降、戦争の時代へ突入する世界情勢のなかで
「日本」とは何なのかを考えていく。
現在の日本社会を捉え、今後を考えるために日本がどのような歴史をたどってきたのか、どのような体験をしてきたのかを知ることは、とても重要である。単に「歴史好き」としての知識習得ではなく、現代社会と考えるために歴史を学ぶことを主題とする。
授業はレジュメを使用し講義形式で進める。そのなかで、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習内容を自分のものとして獲得するようにしてほしい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

近世以降の日本社会の変化や「日本」と「世界」の動向について理解し、説明することができる(知識・理解)

理解した内容を論理的な文章によって表現することができる(技能)

社会人として必要な知見、様々なことを考えるための素養を身につける(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

歴史の大きな流れを取り扱うため、細かな出来事の説明は省略することがある。各自で用語など（高校日本史程度）は予習・復習をすること（60 分)。高校で日本史を履修していない場合は、参考書などを事前に読み、基礎知識を習得して講義に臨んでほしい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

【評価基準】近世（江戸時代）以降の歴史的事象について、歴史の大きな流れを理解し、日本社会の変化等を説明することができるか、理解した内容を論理的な文章で表現することができるかにより到達度を測る。

【評価方法】定期試験 80%（試験は論述形式で出題。設問に対して講義内容を踏まえた上で、論理的な文章で表現することが必要)、平常点 20%（授業中に指示するミニッツペーパー等を含む）を目安として総合的に評価する。
◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。毎回レジュメを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

『全集　日本の歴史』(9～16 巻　小学館)、『日本の歴史』(15～26　講談社学術文庫　講談社）など。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

私語、携帯電話・スマートフォンの使用など講義の妨げになる行為は一切禁止する。
ただ教室にいるだけでは、学習にはならない。講義を通じ、自ら疑問を持つ、考える、文章で表現する等して、学習をしてほしい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　ガイダンス・導入
2　博多町割
3　織豊政権と福岡
4　「唐入り」と北部九州
5　「世界」の変化と対外政策
6　幕府とは何か
7　思想の転換
8　「停滞／成熟」の 18 世紀
9　江戸時代の生活
10　「内憂外患」の時代
11　テロと時代の変革
12　近代における戦争と日本

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

13　100 年前の日本とは？
14　拡大する「日本」
15　総括

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

配布したプリントや講義ノートをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください（各回３０分程度)。

日本史Ａ（人物からみた戦国・桃山時代） 2020-S000009410-01 山田　貴司

授業時間割：前期：木・４時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、特定の歴史上の人物にスポットをあて、その動向・事績・死後の評価等を検証していくことで、①前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった戦国時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、②私たちが持っている当時の社会や人物像に対するイメージ、あるいは通説といわれるものが、じつはそれ自体が歴史の産物であり、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“ 揺らぎやすさ” について考えることを目的とするものです。当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きを少しずつ示しながら、進めていきます。

こうした目的に即して、講義の中では、近年急速に研究が進展しつつある明智光秀、細川ガラシャ、加藤清正などを取り上げる予定です。彼等は日本史に興味を持つ人であれば一度は耳にしたことのある著名な人物。近世から現代まで、小説、演劇、絵画、映画、ドラマ等のメディアにおいてそれぞれ個性的なキャラクターとして語られ、描かれ、その歴史的イメージが再生産されてきました。ところが、研究で明らかにされつつある実像は、じつはそれとはまったく異なっています。どうしてそういったギャップが生まれるのか。最新の研究成果も紹介しながら、その点も一緒に考えていきましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人物論を通じて、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

人物の事績や役割について、それを単純に暗記するのではなく、「なぜそういわれているのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

通説的に語られてきた歴史像や人物像と、最新の研究が示す実像とのギャップを知ることで、自明と思ってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

原則的に、定期試験で評価します。評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてて説明できているか、内容は的確であるか、理解しているか、という点におきます。ただし、遅刻や早退、講義中の態度によっては、減点することがあります。とくにありません。プリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義の中で、参考文献を提示します。それを読んでください。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

１　　講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。
２　　ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。
３　　私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。
４　　初回の授業で、講義の進め方や受講ルールについて説明します。
５　　なお、「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　はじめに（履修上の留意点の確認、趣旨説明)
２　時代背景の概説
３～６　明智光秀の実像とその語られ方
７～１０　細川ガラシャの実像とその語られ方
１１～１４　加藤清正の実像とその語られ方
１５　まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

日本史Ａ（人物からみた戦国・桃山時代） 2020-S000009410-02 山田　貴司

授業時間割：前期：木・５時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、特定の歴史上の人物にスポットをあて、その動向・事績・死後の評価等を検証していくことで、①前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった戦国時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、②私たちが持っている当時の社会や人物像に対するイメージ、あるいは通説といわれるものが、じつはそれ自体が歴史の産物であり、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“ 揺らぎやすさ” について考えることを目的とするものです。当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きを少しずつ示しながら、進めていきます。

こうした目的に即して、講義の中では、近年急速に研究が進展しつつある明智光秀、細川ガラシャ、加藤清正などを取り上げる予定です。彼等は日本史に興味を持つ人であれば一度は耳にしたことのある著名な人物。近世から現代まで、小説、演劇、絵画、映画、ドラマ等のメディアにおいてそれぞれ個性的なキャラクターとして語られ、描かれ、その歴史的イメージが再生産されてきました。ところが、研究で明らかにされつつある実像は、じつはそれとはまったく異なっています。どうしてそういったギャップが生まれるのか。最新の研究成果も紹介しながら、その点も一緒に考えていきましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

人物論を通じて、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。（知識・理解）

人物の事績や役割について、それを単純に暗記するのではなく、「なぜそういわれているのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。（技能）

通説的に語られてきた歴史像や人物像と、最新の研究が示す実像とのギャップを知ることで、自明と思ってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

配布したプリントや講義ノートをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください（各回３０分程度）。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

原則的に、定期試験で評価します。評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてて説明できているか、内容は的確であるか、理解しているか、という点におきます。ただし、遅刻や早退、講義中の態度によっては、減点することがあります。とくにありません。プリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義の中で、参考文献を提示します。それを読んでください。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

１　　講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。
２　　ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。
３　　私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。
４　　初回の授業で、講義の進め方や受講ルールについて説明します。
５　　なお、「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　はじめに（履修上の留意点の確認、趣旨説明）
２　時代背景の概説
３～６　明智光秀の実像とその語られ方
７～１０　細川ガラシャの実像とその語られ方
１１～１４　加藤清正の実像とその語られ方
１５　まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

日本史Ａ（「日本」の近現代史）　2020-S000009410-03 福嶋　寛之

授業時間割：前期：月・１時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

現在、しばしば単一の「日本」なるものの虚構性を指摘し、多様な「日本」の存在でもって、それに対置させようとする言説を多く確認することができる。これはこれで誤りというわけではない。ただ、それではなぜ、そしてどのように単一の「日本」としてイメージされてきたのか、という問題は依然として残り続ける。本講義では、やや大胆に、膨張を繰り返してきた帝国日本としての戦前日本、1945 年の敗戦による帝国解体とそれとパラレルに進行した戦後日本の形成、という対比のもと、上記問題に取り組みたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の近現代史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する。(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業全般を理解するにあたっては、小熊英二『〈日本人〉の境界』(新曜社、1998 年）を挙げておく。個別の主題に関するものは、授業中に紹介していきたい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

一連の話として展開していくので、欠席すると理解が困難になることに注意してほしい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　導入
2　近現代「日本」の輪郭
3　移民から見る日本の近代①北米・南米編
4　移民から見る日本の近代②アジア編
5　近代世界の形成と日本
6　近代日本の出発
7　北海道・沖縄の「日本」編入
8　東アジアの近代
9　植民地帝国日本の形成①
10　植民地帝国日本の形成②
11　植民地帝国日本の構造①

日本史Ａ（日本のなりたち）　2020-S000009410-04 松木　俊暁

授業時間割：前期：水・４時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと（60 分)。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成・整理していけばよい（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

論述形式の定期試験において判定する（100%。ただし授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉で論理的に表現できるか否か、とする。

無し。

◎－－－　参考書　－－－◎

12　植民地帝国日本の構造②
13　戦時動員と帝国日本の流動化
14　帝国日本の解体と戦後日本の形成
15　総括

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、古代通史を題材として「日本」という枠組みの成立過程を検討する。日本史とは「日本」の歴史である。では、「日本」とはなにか。本講義のねらいは、ともすれば自明と考えがちな「日本」という枠組みを、古代史に題材をとって再検討することにある。「日本」という国号が成立したのは７世紀末と考えられており、それ以前には「日本」も、「日本人」も存在しなかった。古代東アジア世界の国際情勢の中で、ヤマト政権や律令国家の仕組みを概観しながら、古代国家の成立過程を見ていく。また、一国史観（ひとつの国

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

の中でのみ歴史を見、考える態度）を克服しようとする研究動向もふまえながら、「日本」のなりたちを考えたい。
事件や人名の暗記ではなく、その事件がなぜ起きたのか（原因や背景）、その事件によって何がどう変わったのか（結果や意義）、その事件を起こした人物はなぜそのような行動を取ったのか（意図や動機）などを中心に説明していく。
授業計画では、古代史の項目のみを挙げているが、暗記科目だと考えられがちな歴史をとらえ直してもらうために、歴史の考え方についてのトピックを織り込んでいく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・弥生時代の「クニ」、ヤマト政権、律令国家など、日本列島の古代の政治的なまとまりが成立していった要因や、その内部の構造（仕組み）について理解する。（知識・理解）

・上記の政治的なまとまりが成立した背景として、中国王朝や朝鮮半島諸国との関係など、古代東アジアの国際関係・国際情勢について理解する。（知識・理解）

・単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的事件の意義や意味を説明しようとする意識を持つ。（態度・志向性）

・「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎回の配付資料（プリント）で、(A)今回の内容の論点と、(B)次回でふれる資料を提示します。
(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと（60 分）。
(B)については、下読みして資料の内容を把握し、授業の準備しておくこと（30 分）。もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 85%、受講態度 15%
期末試験の設問は、上記の復習の課題を元に作成します。単に語句を覚えているかではなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります（到達目標の知識・理解の部分）。
受講態度については、授業時間内にミニッツペーパー（毎回ではありません。４回を予定。予告はしません）を行います。これはテストではありません。歴史の学び方・考え方について考える機会を持ってもらい、皆さんの意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です（到達目標の態度・志向性の部分）。

◎－－－　テキスト　－－－◎
フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

特定のテキストは使用しない。
毎回資料（プリント）を配付する。

◎－－－　参考書　－－－◎

吉田孝『日本の誕生』岩波新書　ISBN 4004305101
中谷功治『歴史を冒険するために』関西学院大学出版会　ISBN 486283034X
個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。
授業計画では各回で完結する内容となっていますが、当然のことながら、授業は前回（もしくはそれ以前）の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。
欠席に注意し、復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください（個別にでも受け付けます）。
他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。
進行具合によって授業計画を変更する場合があります。初回の授業で、この講義の進め方・ルールについて説明するので出席すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　はじめに（趣旨説明）
2　文明の周縁…クニの形成
3　農業開始は進歩か
4　東アジアと倭…朝貢と冊封
5　ヤマト政権の成立
6　治天下大王の出現
7　ヤマト政権の支配体制１…国造制と屯倉制
8　ヤマト政権の支配体制２…氏姓制度と部民制
9　六世紀の国際情勢
10　七世紀の政治改革１…推古朝
11　七世紀の政治改革２…大化改新
12　七世紀の政治改革３…「日本」の成立
13　「日本」とは何だろうか

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

14　律令国家１…官僚制
15　律令国家２…籍帳制

日本史Ａ（寺社の歴史）　2020-S000009410-05 中村　琢

授業時間割：前期：木・２時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

春や秋には、地域の神社の祭に行き、法事には決まったお寺の僧侶を呼び、休みの日には遠くの寺院にお参りに行くことがあるかもしれません。
このように、わたしたちの馴染のある神社や寺院は、昔から変わらず同じかたちをなしていたわけではありません。
本講義では、寺社がどのようにして今のかたちに近づいてきたのか見ていこうと思います。なお、ここでのかたちとは、建築などの外側の面を指すのではなく、主に儀礼や組織といった内側の面を指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 寺社の歴史を理解する。(知識・理解)

地域の歴史が、日本史の流れとは無関係ではなく、畿内といった中央の歴史と関わっていることを理解する。(知識・理解)

常識を無批判に受け容れるのではなく、自分で考え批判する習慣を身に付ける。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次回のプリントを前もって配布した場合は、授業の前に目を通しておくのが望ましい（15 分)。
プリントを配布した場合は、必ずそれを保管し復習すること（15 分)。
プリントには可能な限り参考文献を記載する。興味の範囲でよいので目を通しておくのが望ましい（60 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 成績評価の割合は、定期試験の結果による。テキストは用いません。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業では、プリント配布することがあります。

◎－－－　テキスト　－－－◎
配布したプリントは、配布日以後に使用する場合があります。 ファイルして毎回持参するようにしてください。

配布したプリントは、主な試験範囲にもなりますので、各自ファイルにまとめるなどして大切に保管してください。ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。真面目に書いてください。
私語や著しい遅刻といった、他者の迷惑となる行為はやめましょう。
下記の「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 - 2、歴史学とはなにか
3 - 5、古代の寺院と中世の寺社
6 - 7、中世の寺社
8、 寺社の暴力
9、 「天道」の展開
10、天下人の神格化
11、唯一神道の台頭
12、日光東照宮について
13、江戸幕府の寺院統制
14、寺請制度の成立
15、まとめ

日本史Ａ「教養ゼミ」（日本近代史を学び憲法改正問題を考える）　2020-S000009410-06

梶原　良則

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：前期：月・５時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

田中彰氏の『小国主義』をテキストとして、小国主義を中心とする日本近代史の大きな流れを理解したうえで、現在議論を巻き起こしている問題、例えば憲法改正問題などについて全員で討論を行う。

授業の進め方は、ゼミナール（ゼミ）形式の科目なので、学生によるグループ報告と討論を中心としたものとなる。

まず、受講生全員が少人数のグループに分かれ、テキストおよび関連するテーマについて調査・報告を行い、その報告に対して質疑応答を行う形で進め、最後に全員で小国主義や憲法改正問題などについて討論を行う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

テキストの内容を理解し、説明することができる。(知識・理解)

テキストの内容に関連する研究課題を設定することができる。(知識・理解)

少人数のグループで研究課題に関する調査･報告を行うことができる。(技能)

他のグループの報告に対して質問や意見を述べることができる。(技能)

自分たちの報告に対する他者の意見を受容する態度を持っている。(態度・志向性)

授業に対して積極的に関わろうとする意欲を持っている。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

受講者全員が必ず行う 3 回の報告の準備(900 分程度)、次回のテキスト該当部分を読んでおくなど毎回の授業時間外学習(450 分程度)が必要となる。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ゼミ形式の科目なので定期試験は実施しない。

到達目標の到達度合いを総合的に判断して評価を行う。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 田中彰『小国主義』(岩波新書、1999 年)

◎－－－　参考書　－－－◎

テキストに記載されている参考文献の他、授業中にも随時紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

ゼミ形式の科目なので出席することが前提となる。

１年生を対象とし、全員が報告できるように 15 名を受講者数の上限とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　導入　教養ゼミについて
2　テキストの紹介と調査・報告方法の説明
3　グループ分けと報告内容・順番の決定
4　報告と質疑応答
5　報告と質疑応答
6　報告と質疑応答

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

7　報告と質疑応答
8　報告と質疑応答
9　報告と質疑応答
10　報告と質疑応答
11　報告と質疑応答
12　報告と質疑応答
13　討論１
14　討論２
15　総　括

◎－－－　テキスト　－－－◎

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと（60 分）。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成・整理していけばよい（30 分）。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

論述形式の定期試験において判定する（100%。ただし

日本史Ａ「BB」(「日本」の近現代史)　　2020-S000009410-07 福嶋　寛之

授業時間割：前期：木・二部１時限　　試験時間割：2020/07/30　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

現在、しばしば単一の「日本」なるものの虚構性を指摘し、多様な「日本」の存在でもって、それに対置させようとする言説を多く確認することができる。これはこれで誤りというわけではない。ただ、それではなぜ、そしてどのように単一の「日本」としてイメージされてきたのか、という問題は依然として残り続ける。本講義では、やや大胆に、膨張を繰り返してきた帝国日本としての戦前日本、1945 年の敗戦による帝国解体とそれとパラレルに進行した戦後日本の形成、という対比のもと、上記問題に取り組みたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の近現代史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する。(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉で論理的に表現できるか否か、とする。
無し。

◎－－－　参考書　－－－◎

授業全般を理解するにあたっては、小熊英二『〈日本人〉の境界』(新曜社、1998 年) を挙げておく。個別の主題に関するものは、授業中に紹介していきたい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

一連の話として展開していくので、欠席すると理解が困難になることに注意してほしい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　導入
2　近現代「日本」の輪郭
3　移民から見る日本の近代①北米・南米編

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

4　移民から見る日本の近代②アジア編
5　近代世界の形成と日本
6　近代日本の出発
7　北海道・沖縄の「日本」編入
8　東アジアの近代
9　植民地帝国日本の形成①
10　植民地帝国日本の形成②
11　植民地帝国日本の構造①
12　植民地帝国日本の構造②
13　戦時動員と帝国日本の流動化
14　帝国日本の解体と戦後日本の形成
15　総括

◎－－－　テキスト　－－－◎
「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

一般的に認識されている村落や百姓に対するイメージと実像のギャップを知ることで、自明と思ってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

配布したプリントや講義ノートをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください（各回

日本史Ｂ（地域社会からみた戦国・桃山時代）　　2020-S000009416-01 山田　貴司

授業時間割：後期：木・５時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、荘園や村落といった地域社会の側に視点を据え、中世後期から中近世移行期にかけての政治・経済・社会の状況を見直すことにより、①前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった戦国時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、②私たちが持っている当時の社会や村落、百姓等に対するイメージが、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“ 揺らぎやすさ” について考えることを目的とするものです。
当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きを少しずつ示しながら、進めていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

地域社会の側に視点を据えたうえで、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

歴史的事象を単に暗記するのではなく、「なぜそうなのか」

３０分程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

原則的に、定期試験で評価します。評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてて説明できているか、内容は的確であるか、理解しているか、という点におきます。ただし、遅刻や早退、講義中の態度によっては、減点することがあります。とくにありません。プリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義の中で、参考文献を提示します。それを読んでください。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

１　　講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

２　　ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。
３　　私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。
４　　初回の授業で、講義の進め方や受講ルールについて説明します。
５　　なお、「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　はじめに（履修上の留意点の確認、趣旨説明）
２　時代背景の概説
３～６　地域社会の実像と村落の成立
７～１０　戦国乱世と地域社会・村落
１１～１４　たたかい、連携し、団結する村落
１５　まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

日本史Ｂ（遺跡からみた福岡の歴史①）　　2020-S000009416-02 桃崎　祐輔

授業時間割：後期：水・３時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

福岡は古代から、中国や朝鮮半島などとの外交窓口でした。このため福岡周辺には、対外交渉にかかわる国際色豊かな遺跡がたくさん見つかっています。

本講義では、福岡周辺の具体的な遺跡をとりあげ、その特徴や出土品について解説するとともに、そこからみえてくる福岡、および日本全体の歴史について考えていきたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

福岡の著名遺跡について基礎知識を身に着け歴史的意義を理解する。(知識・理解)

教材文書を理解する読解力、正しく音読する訓読力をつける。(技能)

歴史都市福岡に相応しい文化的志向性を育てる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

プリントを配布した場合は、必ずそれを保管し熟読すること。プリントに参考文献を記載するので、興味をもったものは探して読んでみること。授業で扱った遺跡や博物館を可能な範囲で見学すること。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験を 80%、出席状況や授業態度を 20%とする。テキストは用いません。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業では、プリント配布します。
配布したプリントは、配布日以後にも使用します。ファイルして毎回持参してください。
配布したプリントは、主な試験範囲にもなりますので、大切に保管してください。
ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。真面目に書いてください。
私語や遅刻など、他者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。また、場合によっては退出を要求します。
下記の「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. はじめに
2. 浜の町貝塚と柏原遺跡からみた縄文時代
3. 板付遺跡からみた稲作と青銅器
4. 須玖遺跡と三雲遺跡からみた弥生時代のクニ
5. 那珂八幡古墳・藤崎遺跡と三角縁神獣鏡
6. 宗像沖ノ島の祭祀遺跡

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

7.福岡大学の中にある小袖古墳と首塚古墳
8.那珂比恵遺跡と那津官家
9.船原古墳・阿恵遺跡と糟屋屯倉
7.大野城・水城と阿志岐山城
8.遠の朝廷、大宰府と観世音寺
9.鴻臚館と遣唐使・遣新羅使
10.英彦山山岳信仰遺跡の歴史
11.博多・筥崎宮とチャイナタウン
12.元寇防塁と蒙古襲来
13.黒田氏の入府と高取焼の歴史
14.黒田長溥と火薬生産の遺跡
15. おわりに

◎－－－　テキスト　－－－◎
視点の養成と自分なりのイメージと見解の構築、そしてそれらを自らの言葉で論理的に表現できるようになることにある。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の戦後史に関する知識の獲得、および歴史的展開について理解する(知識・理解)

歴史学研究の方法への理解、および歴史を見る際の複眼的思考を習得する。(技能)

日本史Ｂ（戦後日本論）　2020-S000009416-03 福嶋　寛之

授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

キーワードは「様々な戦後」とし、以下の３点に留意しながら進めていく。
①日本の戦後史を、時間的・空間的な広がりのもとで捉える。例えば、1945 年８月 15 日の時点で切ってみても、単一普遍の「戦後」があるわけではない。
②「日本対アメリカ」という固定した枠組みを脱して、多元的な主体間のもとで捉える。
③一言で「戦後」と言っても、占領期・占領終結直後・高度成長期では状況が異なる。「戦後」の段階性に留意しながら、にもかかわらず一様に「戦後」として語られ続ける点に日本の戦後の特徴を見出す。

授業では、以上に留意しながら、日本における戦後史の展開を、時間軸に沿って跡づけていく方法で進める。結果として、基本的知識に触れたり、流れを確認していくことにはなるだろうが、最終的な目標は戦後日本を理解するにあたっての複眼的

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習としては、右に挙げた参考文献を中心に、授業中に適宜紹介する文献を読むこと（60 分)。事後学習としては、授業の際に配布したプリントで骨格は再現可能であるから、あとは自筆のノートで再構成していけばよい（30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

論述形式の定期試験において判定する（100%。ただし授業への出席は成績評価をする際の前提である)。評価基準は、まずは本講義のポイントを的確に理解できたか否か、次に本講義で得た知識や視点をもとに自分なりの見解やイメージを構築できたか否か、最後に、これらを自らの言葉でもって論理的に表現できるか否か、とする。

無し。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　参考書　－－－◎

全体を理解するうえで、五百旗頭真『日米戦争と戦後日本』（講談社学術文庫 1707、2005 年）を挙げておく。個別の主題に関するものについては、授業中に紹介したい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

遅刻や私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　導入
2　戦中期日本における戦後構想①
3　戦中期日本における戦後構想②
4　戦中期米国における戦後構想
5　日本降伏と占領統治の開始
6　初期占領政策の展開①（民主化政策）
7　初期占領政策の展開②（非軍事化政策）
8　冷戦の進展と占領政策の転換
9　朝鮮戦争と日本
10　講和プラス安保
11　戦後体制をめぐる相克と終息
12　高度成長と日本社会の変貌
13　「保守」と「革新」、それぞれの軌跡
14　補論：「日本文化論」の展開
15　総括

◎－－－　テキスト　－－－◎

仏教が伝来して、元来の神々への信仰と混ざり合い、神仏習合にいたる道筋を、史料（典籍、文学作品など）を用いて概観していく。信仰や教義の変遷だけでなく、その背景にその時代の社会情勢や政治のあり方との関連を検討していく。

まず、神祇信仰・仏教それぞれの基本的事項を取り上げる。それらを踏まえ、神仏習合が本格化する奈良時代から鎌倉時代までの動きを見てゆき、その背景にある社会のあり方や変化を考える。

歴史は、権力者の行動のみでは展開していかない。権力者に服従し、その権力を支える圧倒的多数の被支配者が存在する。社会は、それらの圧倒的多数の人々が構成する集団の集合体でもある。権力者の行動ばかりに注目が集中しがちであるが、そういった市井の無名者の動向も歴史を動かす大きな力であろう。当時の人々が、置かれた状況下で何を考え、どう行動したのか、が問題となる。文化の動向は、社会の変化（社会を構成している人々の考え方・行動様式の変化）でもあるから、背景にどんな社会変化があるかという着眼点も重要である。

授業計画では、古代・中世の項目のみを挙げているが、暗記科目だと考えられがちな歴史を考え直してもらうために、歴史や社会についてどうとらえるか、を考える機会を持ってもらう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・神祇信仰と大乗仏教の基本的な特質・特徴、および、それらと日本古代における政治権力との関わりについて、理解する。（知識・理解）

神仏習合が始まる要因となった８世紀の社会状況と当時の人々の考え方を理解する。（知識・理解）

日本史Ｂ（神仏習合への道）　　2020-S000009416-04 松木　俊暁

授業時間割：後期：水・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

・平安時代以降の宗教現象（御霊信仰・ケガレ・浄土信仰・中世日本紀・神国思想など）が、神祇信仰・仏教のどんな要素によって成立したのかを理解する。(知識・理解)

・単に事件を暗記するのではなく、「なぜそうなったのか」「その結果どうなったのか」など、歴史的事件の意義や意味を説明しようとする意識を持つ。(態度・志向性)

・「歴史を学ぶ」ことの意味を考え、自分なりの意見をもつようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎回の配付資料（プリント）で、(A)今回の内容の論点と、(B)次回でふれる史資料を提示します。
(A)については、ノートなどを見返して授業内容を整理し、文章として説明できるようにしておくこと（60 分)。
(B)については、下読みして内容を把握し、授業の準備しておくこと（30 分)。もちろん参考文献の該当部分を読むことも推奨します。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 85%、受講態度 15%
期末試験の設問は、上記の復習の課題を元に作成します。単に語句を覚えているかではなく、事件や制度の意味や、事項同士の関連性・因果関係を問い、講義内容を理解できているかを測ります（到達目標の知識・理解の部分)。
受講態度については、授業時間内にミニッツペーパー（毎回ではありません。４回を予定。予告はしません）を行います。これはテストではありません。歴史の学び方・考え方について考える機会を持ってもらい、皆さんの意見を書いてもらうものです。主体的に考えようとしているか、積極的に意見表明しようとしているか、が評価対象です（到達目標の態度・志向性の部分)。フィードバックとして、次回の授業で、考えてもらった設問の意図等について解説を行います。

特定のテキストは使用しない。
毎回資料（プリント）を配付する。

◎－－－　テキスト　－－－◎
◎－－－　参考書　－－－◎

義江彰夫『神仏習合』岩波新書　ISBN 4004304539
佐藤弘夫『神国日本』ちくま新書　ISBN 4480062955
個別の論点についての参考文献は、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回配布するプリントは授業内容を説明するための資料です。授業内容をまとめたレジュメではありません。授業では、それらの資料を用いて説明・板書していくのでノートを取ること。
授業計画では各回で完結する内容となっていますが、当然のことながら、授業は前回（もしくはそれ以前）の内容を踏まえて進んでいきますので、内容の関連性に注意して下さい。
欠席に注意し、復習を忘れないでください。また、疑問点は質問をしてください（個別にでも受け付けます)。
他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。
進行具合によって授業計画を変更する場合があります。初回の授業で、この講義の進め方・ルールについて説明するので出席すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１ はじめに（趣旨説明）
２ 神祇信仰１…列島在来の自然宗教
３ 神祇信仰２…宗教と権力の関係
４ 神祇信仰３…律令国家の神祇政策
５ 仏教伝来１…仏教のなりたち
６ 仏教伝来２…仏教の受容
７ 仏教伝来３…国家仏教
８ 神宮寺成立の背景１…仏になろうとする神

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

9 神宮寺成立の背景２…社会の変容
10 神宮寺成立の背景３…大乗密教
11 神仏習合の展開１…御霊信仰
12 神仏習合の展開２…ケガレ忌避観念
13 神仏習合の展開３…浄土信仰
14 神仏習合の展開４…本地垂迹説と中世日本紀
15 神仏習合の展開５…〝神国〟日本

◎－－－　テキスト　－－－◎
次回のプリントを前もって配布した場合は、授業の前に目を通しておくのが望ましい（15 分)。
プリントを配布した場合は、必ずそれを保管し復習すること
（15 分)。
プリントには可能な限り参考文献を記載する。興味の範囲でよいので目を通しておくのが望ましい（60 分)。

日本史Ｂ（神道について）　　2020-S000009416-05 中村　琢

授業時間割：後期：木・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

伝統ということばから、神社や神社の祭り、そしてそれらにつなげて神道を想起する人もいるでしょう。そして、それらが古くから変わらず連綿と続いてきたのではないかと考える人もいるでしょう。
神社や神社の祭りが、神道の枠組みのなかで変わらずに続けられてきたものなのか、或いはそうではないのか。本講義では、事例を交えながら神社や神社の祭りの歴史を紐解き考えていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 神社の歴史を理解する。(知識・理解)

日本の歴史を深く知り考えるために、身近な事柄（神社の祭り）を素材に歴史を学ぶ。(知識・理解)

常識を無批判に受け容れるのではなく、自分で考え批判する習慣を身に付ける。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 成績評価の割合は、定期試験の結果による。テキストは用いません。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業では、プリント配布することがあります。
配布したプリントは、配布日以後に使用する場合があります。 ファイルして毎回持参するようにしてください。
配布したプリントは、主な試験範囲にもなりますので、各自ファイルにまとめるなどして大切に保管してください。ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。真面目に書いてください。
私語や著しい遅刻といった、他者の迷惑となる行為はやめましょう。
下記の「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

1 - 3、神社の祭り
4 - 5、神仏分離
6 - 7、国家神道について
8 - 9、神道の起こりとその背景
10、「神道」の意味の変遷
11、唯一神道のおこり
12 - 13、神道の台頭と定着
14、神道と近代の日本
15、まとめ

日本史Ｂ「教養ゼミ」（沖縄の歴史を学び基地問題を考える）　2020-S000009416-06

梶原　良則

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：後期：月・５時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

沖縄の歴史に関する啓蒙書の中で高い評価を得ている高良倉吉氏の『琉球王国』をテキストとして、沖縄の歴史に対する理解を深め、現在沖縄が抱えている問題、例えば米軍基地問題などについて、討論を行う。

授業の進め方は、ゼミナール（ゼミ）形式の科目なので、学生によるグループ報告と討論を中心としたものとなる。

まず、受講生全員が少人数のグループに分かれ分担してテキストおよび関連するテーマについて調査・報告を行い、その報告に対して全員による質疑応答を行う形で進め、最後に全員で基地問題など現在の沖縄が抱える問題について討論を行う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

テキストの内容を理解し、説明することができる。(知識・理解)

テキストの内容に関連する研究課題を設定することができる。(知識・理解)

少人数のグループで研究課題に関する調査･報告を行うことができる。(技能)

他のグループの報告に対して質問や意見を述べることができる。(技能)

自分たちの報告に対する他者の意見を受容する態度を持っている。(態度・志向性)

授業に対して積極的に関わろうとする意欲を持っている。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

受講者全員が必ず行う 3 回の報告の準備(900 分程度)、次回のテキスト該当部分を読んでおくなど毎回の授業時間外学習(450 分程度)が必要となる。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ゼミ形式の科目なので定期試験は実施しない。

到達目標の到達度合いを総合的に判断して評価を行う。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 高良倉吉『琉球王国』

(岩波新書、1993 年)

◎－－－　参考書　－－－◎

『新琉球史　古琉球編・近世編・近代現代編』(琉球新報社、1989-1992 年)
安里進他『沖縄県の歴史』(山川出版社、2004 年) その他、テキストに記載されている参考文献を参照。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

ゼミ形式の科目なので出席が前提となる。

一年次生を対象とし、全員が報告できるように 15 名を限度とする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　導入　教養ゼミについて
2　テキストの紹介と調査・報告方法の説明
3　グループ分けと報告内容･順番の決定
4　報告と質疑応答
5　報告と質疑応答
6　報告と質疑応答
7　報告と質疑応答

８　報告と質疑応答
９　報告と質疑応答
10　報告と質疑応答
11　報告と質疑応答
12　報告と質疑応答
13　全体討論
14　全体討論
15　総　括

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

配布したプリントや講義ノートをよく読んで、事前と事後の学習をきちんとすることで、理解が深まります。また、講義中に示した参考文献にも目を通してください（各回３０分程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

日本史Ｂ「BB」(地域社会からみた戦国・桃山時代)　2020-S000009416-07

山田　貴司

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・二部１時限　試験時間割：2021/01/21　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、荘園や村落といった地域社会の側に視点を据え、中世後期から中近世移行期にかけての政治・経済・社会の状況を見直すことにより、①前近代の日本において政治史・経済史・軍事史・文化史の大きな転換点となった戦国時代から桃山時代にかけての歴史について、理解を深めること、②私たちが持っている当時の社会や村落、百姓等に対するイメージが、こんにちの研究で解明されつつある実像としばしば乖離している実態を把握し、歴史認識の“ 揺らぎやすさ” について考えることを目的とするものです。

当時の古文書や日記等を駆使し、読み込んで展開されている歴史研究の手続きを少しずつ示しながら、進めていきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

地域社会の側に視点を据えたうえで、日本の中世後期から近世への転換点の歴史像を知り、理解する。(知識・理解)

歴史的事象を単に暗記するのではなく、「なぜそうなのか」「どう評価すべきなのか」など、根拠にもとづいて考え、説明することができる。(技能)

一般的に認識されている村落や百姓に対するイメージと実像のギャップを知ることで、自明と思ってきた事柄を改めて考えようとする態度を養う。(態度・志向性)

原則的に、定期試験で評価します。評価基準は、用語を適切に使い、設定した問題に答えているか、筋だてて説明できているか、内容は的確であるか、理解しているか、という点におきます。ただし、遅刻や早退、講義中の態度によっては、減点することがあります。

◎－－－　テキスト　－－－◎ とくにありません。プリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義の中で、参考文献を提示します。それを読んでください。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

１　講義にあたり、プリント配布します。なくさず、ファイルして毎回持参してください。
２　ミニッツペーパーを配布し、感想や意見を書いてもらうことがあります。
３　私語や遅刻、飲食など、他の受講者の迷惑となる行為を行った者には、ペナルティーを科す場合があります。甚だしい場合は、退出を要求します。
４　初回の授業で、講義の進め方や受講ルールについて説明します。

日本教育史（「学校」の歴史）

佐喜本　愛

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・３時限　　試験時間割：2021/01/25　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の５　　なお、「授業計画」については、進行具合などにより変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　はじめに（履修上の留意点の確認、趣旨説明）
２　時代背景の概説
３～６　地域社会の実像と村落の成立
７～１０　戦国乱世と地域社会・村落
１１～１４　たたかい、連携し、団結する村落
１５　まとめ問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは…、僕のときは…」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、＜考える＞時間にしてほしいと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

◎－－－　テキスト　－－－◎

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必ず購入しておくこと。
自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(知識・理解)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

前回の授業（第１回オリエンテーションをのぞく）で示した課題（次回の予告）について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること（毎回１時間程度）講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと（毎回１時間程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

学期末に行う定期試験 70%、提出レポート 30%で評価しま

2020-S000009443-01

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017 年（ISBN　9784903996981）

◎－－－　参考書　－－－◎

す。　　６　　天皇制教育体制の構築　講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態　７　　天皇制教育体制の発展　度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設け８　　資本主義社会の発展と学校教育るのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、　９　　子どもと就学　　雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知　　１０　子どもと学習　　識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題（選択肢なし　　１１　学制改革論議と臨時教育会議　　の用語書き込み）および記述式とします。特に記述式の問題　１２　戦時体制における学校教育　　は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想　１３　占領下の教育政策　的文脈を理解した上で考察・論述ができているかどうかを基準　１４　教科書制度にみる日本の教育　　に評価します。
１５　講義のまとめ

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房
ISBN 4623061051
本講義は日本の教育の歴史全般（古代・中世）は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触る、「内職」（他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強）、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、
「欠席」（講義に出ていない）であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　オリエンテーション
　　なぜ教育の歴史を学ぶのか
２　　近世における教育の諸相
３　　明治維新と近代学校の成立
４　　教員養成制度の確立
５　　森有礼の教育政策

日本教育史（「学校」の歴史）

佐喜本　愛

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・５時限　　試験時間割：2021/01/25　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問ず題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは…、僕のときは…」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、＜考える＞時間にしてほしいと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(知識・理解)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

前回の授業（第１回オリエンテーションをのぞく）で示した課題（次回の予告）について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること（毎回１時間程度）講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと（毎回１時間程度)。

◎－－－　テキスト　－－－◎

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必購入しておくこと。

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017 年（ISBN　9784903996981）

◎－－－　参考書　－－－◎

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房 ISBN 4623061051
本講義は日本の教育の歴史全般（古代・中世）は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

学期末に行う定期試験 70%、提出レポート 30%で評価しま

2020-S000009443-02

す。　６　天皇制教育体制の構築　講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態　７　天皇制教育体制の発展　度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設け８　資本主義社会の発展と学校教育るのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、　９　子どもと就学　雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知　１０　子どもと学習　識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題（選択肢なし　１１　学制改革論議と臨時教育会議　の用語書き込み）および記述式とします。特に記述式の問題　１２　戦時体制における学校教育　は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想　１３　占領下の教育政策的文脈を理解した上で考察・論述ができているかどうかを基準　１４　教科書制度にみる日本の教育　に評価します。　１５　講義のまとめ

る、「内職」（他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強）、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、
「欠席」（講義に出ていない）であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　オリエンテーション
　なぜ教育の歴史を学ぶのか
2　近世における教育の諸相
3　明治維新と近代学校の成立
4　教員養成制度の確立
5　森有礼の教育政策問題とは異なり、様々なレベルで議論・話題となっています。それは、我々が、家庭教育はもちろん、小学校、中学校という「義務教育」を受け、ある一定の「教育」を体験的に知っているからではないでしょうか。その「義務教育」を提供する場が「学校」であり、「学校」は私たちの生活と切り離すことができないものとなっています。

本講義ではこの「学校」を歴史的にしていきます。具体的には日本において近代学校が登場する明治という時代の教育課題を把握することから始め、その前提となる江戸期の教育諸相を抑えながら、明治・大正・昭和・平成と時代に即して展開する「学校」の役割・性質について考察していく予定です。こうした作業を通して、受講生は「私の小学校のときは…、僕のときは…」という経験・体験のみで語りがちな教育事象をより根本的に問い直す視座を学び、＜考える＞時間にしてほしいと考えています。

◎－－－　テキスト　－－－◎
◎－－－　到達目標　－－－◎

日本における学校教育史に関する基本的な学説について説明できる(知識・理解)

自分が受けてきた学校教育を相対的に捉えることができるようになる(知識・理解)

現在の学校教育の課題を歴史的視点から把握し、根源的に思考できるようになる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

前回の授業（第1回オリエンテーションをのぞく）で示した課題（次回の予告）について教科書の該当箇所をよみ、「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめること（毎回1時間程度）講義後は、教科書とノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと（毎回1時間程度)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

学期末に行う定期試験70%、提出レポート30%で評価しま

2020-S000009443-03

小川哲哉、佐喜本愛、勝山吉章著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎、2017年（ISBN　9784903996981）

◎－－－　参考書　－－－◎

沖田行司編著『人物で見る日本の教育』ミネルヴァ書房 ISBN 4623061051

日本教育史（「学校」の歴史）

佐喜本　愛

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・７時限　　試験時間割：2021/01/25　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

現在、学校や家庭、社会でにおいて頻発している「教育」問題は、一部の専門家にしかわからない記号や法則を要する他の

◎－－－　テキスト　－－－◎

講義では以下のテキストを使用する。講義までに各自必ず購入しておくこと。

日本教育史（日本の教育のあゆみ）　　2020-S000009443-04 松本　和寿

授業時間割：後期：火・３時限　　試験時間割：2021/01/25　６時限

本講義は日本の教育の歴史全般（古代・中世）は扱わず、近代教育に焦点をあてる内容となっている。上記の参考文献はそれを補うため、及びより理解を深めるための日本教育史の通史として捉えていただきたい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義は広く「教育」分野に興味・関心を持っている学生を歓迎し、主体的な姿勢で臨む受講を前提にする。よって、理由なき遅刻、教室の出入り、私語、スマホを触る、「内職」（他の授業で課せられている課題や検定試験の勉強）、イヤホンで音楽を聴きながら受講するといった行為はその意志がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生も多い一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながら見受けられる。他者の学習権を侵害する者には厳正に対処する。今年は状況に応じて、座席指定等を導入する。届出のある欠席は無断欠席とは峻別し考慮するが、
「欠席」（講義に出ていない）であることには変わりはないこと自覚すること。試験、レポートは講義で扱った内容全体から出題するので、出席率の低さは成績に一定の形で反映される。全出席していても点数がとれなければ「受講していたとはいえない」態度であったと判断するので、留意すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　オリエンテーション
　　なぜ教育の歴史を学ぶのか
２　　近世における教育の諸相
３　　明治維新と近代学校の成立
４　　教員養成制度の確立
５　　森有礼の教育政策

◎－－－　概要　－－－◎

日本の教育について「学校」教育の歴史を中心に説明する。授業は通史的に展開するが、中心となるのは近代以降の教育の歴史である。その際、単に学校制度や教育内容、指導法の変遷にとどまらず、時代ごとの政治的・経済的背景等に着目し、広く日本史の中の教育史という視点から多面的・多角的な考察を促していく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の教育史の歴史について、各時代の社会・経済・政治的背景と関連付けその特徴を理解する。（知識・理解）

日本の教育に関する種々の資料（図表）や史料（文書、画像）等から特徴を読み取り多面的に解釈する。（技能）

日本の教育の歴史について積極的に学修し、望ましい教育の在り方について考える。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：各時代の歴史をテキストを用いて概観しておくこと。
（30 分）

す。　　６　　天皇制教育体制の構築　講義後には数回ミニレポートを提出してもらい、受講者の「態　７　　天皇制教育体制の発展　度・志向性」の達成度を主に確認します。講義中に時間を設け８　　資本主義社会の発展と学校教育るのでしっかり集中して書いてください。あまりに短いもの、　９　　子どもと就学　　雑なものは評価できません。定期試験では主に到達目標の「知　　１０　子どもと学習　　識・理解」を評価します。基本的知識を問う問題（選択肢なし　　１１　学制改革論議と臨時教育会議　　の用語書き込み）および記述式とします。特に記述式の問題　１２　戦時体制における学校教育　　は、設定された問いに対して、講義中に説明した歴史的、思想　１３　占領下の教育政策的文脈を理解した上で考察・論述ができているかどうかを基準　１４　教科書制度にみる日本の教育　　に評価します。　　１５　講義のまとめ

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

復習：前講義の内容とのつながりを確認し理解すること。(60分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業で取り上げた日本の教育に関する歴史的事象の特質を理解し、社会的、経済的、政治的背景などを踏まえ説明（論述）することができるかを評価基準とする。第８回の授業終了後に課す、それまでの学修内容に関するレポート（２０％）と定期試験（８０％）で評価する。詳説日本史図録編集委員会『詳説日本史図録』山川出版社
ISBN978-4-634-02527-1 860 円

◎－－－　参考書　－－－◎

小川哲也　他『日本の教育の歴史を知る』青簡社
ISBN978-4-903996-58-5 2000 円
山本正身『日本教育史』慶応義塾大学出版会
ISBN978-4-7664-2131-6 3000 円

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 正当な理由なく欠席しないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第１回　オリエンテーション第２回　古代・中世の教育（大学寮、綜藝種智院）第３回　近世の教育（寺子屋、藩校、私塾）第４回　近代の教育（「学制」と小学校）第５回　近代の教育（御真影と教育勅語）第６回　近代の教育（義務教育の条件）第７回　近代の教育（大正自由教育と子ども観）第８回　近代の教育（障がい児教育の歴史）
第９回　戦時下の教育（太平洋戦争と国民学校の教育）第10回　占領下の教育（GHQ・アメリカ教育使節団）第11回　戦後教育改革（六三制の開始）第12回　戦後教育改革（占領政策の転換）第13回　高度経済成長期の教育（経済成長と教育）第14回　1980年代以降の教育（学校教育の諸問題）第15回　まとめ（日本の教育の歴史を振り返る）

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

日本教育史（日本の教育のあゆみ）　　2020-S000009443-05 松本　和寿

授業時間割：後期：火・４時限　　試験時間割：2021/01/25　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本の教育について「学校」教育の歴史を中心に説明する。授業は通史的に展開するが、中心となるのは近代以降の教育の歴史である。その際、単に学校制度や教育内容、指導法の変遷にとどまらず、時代ごとの政治的・経済的背景等に着目し、広く日本史の中の教育史という視点から多面的・多角的な考察を促していく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の教育史の歴史について、各時代の社会・経済・政治的背景と関連付けその特徴を理解する。(知識・理解)

日本の教育に関する種々の資料（図表）や史料（文書、画像）等から特徴を読み取り多面的に解釈する。(技能)

日本の教育の歴史について積極的に学修し、望ましい教育の在り方について考える。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：各時代の歴史をテキストを用いて概観しておくこと。(30 分)
復習：前講義の内容とのつながりを確認し理解すること。(60 分)

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業で取り上げた日本の教育に関する歴史的事象の特質を理解し、社会的、経済的、政治的背景などを踏まえ説明（論述）することができるかを評価基準とする。第８回の授業終了後に課す、それまでの学修内容に関するレポート（２０％）と定期試験（８０％）で評価する。詳説
日本史図録編集委員会『詳説日本史図録』山川出版社
ISBN978-4-634-02527-1 860 円

◎－－－　参考書　－－－◎

小川哲也　他『日本の教育の歴史を知る』青簡社
ISBN978-4-903996-58-5 2000 円
山本正身『日本教育史』慶応義塾大学出版会
ISBN978-4-7664-2131-6 3000 円

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 正当な理由なく欠席しないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第１回　　オリエンテーション第２回　　古代・中世の教育（大学寮、綜藝種智院）第３回　　近世の教育（寺子屋、藩校、私塾）第４回　　近代の教育（「学制」と小学

校）第５回　　近代の教育（御真影と教育勅語）第６回　近代の教育（義務教育の条件）第７回　　近代の教育（大正自由教育と子ども観）第８回　　近代の教育（障がい児教育の歴史）第９回　　戦時下の教育（太平洋戦争と国民学校の教育）第 10 回　　占領下の教育（GHQ・アメリカ教育使節団）第 11 回　戦後教育改革（六三制の開始）第 12 回　戦後教育改革（占領政策の転換）第 13 回　高度経済成長期の教育（経済成長と教育）第 14 回　1980 年代以降の教育（学校教育の諸問題）第 15 回　まとめ（日本の教育の歴史を振り返る）

現在の日本の教育を相対化することができるようになる。(知識・理解)(知識・理解)

教育を外から見る教育史でなく、当事者から出発した視点で考えることができるようになる。(態度・志向性)(態度・志向性)

「教育制度の歴史」に偏ることなく、教育の当事者である教える者と学ぶ者の関係の変遷を軸として、それらが各

日本教育史「BB」(「教える」「学ぶ」「育つ」の歴史的変遷)

2020-S000009443-06

深堀　伸一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・二部２時限　　試験時間割：2021/01/19　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

教育の歴史的な変遷と、現役の中学高校の教員としての経験をふまえた現代の生徒像や教師像、教育現場における課題といった諸問題を関連付けて考えたいと思います。自分の学びの経験や教師としてのありたい姿を念頭に置きつつ授業に臨んでください。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本教育史の大まかな流れを日本史と関連付けて理解することができる(知識・理解)(知識・理解)

「教育」のもつ多様性を時間や空間を超えて理解できるようになる。(知識・理解)(知識・理解)

時代の社会や制度とどう関わってきたのか、という視点を養うことができる。(態度・志向性)(態度・志向性)

教育史の記述を読んで、現代の教育との共通点や差異を抽出できる。(技能)(技能)

教育史の記述を読んで、当事者ごとに異なる利害や背景を読み取れる。(技能)(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次の講義の時代背景（政治、経済、文化など）について、参考文献等を講義中に提示しますので、かんたんに予習してください。ただし余計な先入観は受講の妨げです。また復習を必ずしてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価の基準として、以下の二点を達成していることを求める。
１．講義の内容をふまえて、教育という切り口を通して明らかとなったその時代の社会のあり方や人々の考え方を理解している。
２．講義の内容をふまえて、教育というテーマを通して浮かび上がる過去と現代の共通点と相違点について理解している。
評価方法
１．試験は論述形式で行ないます。（９０％）
２．受講姿勢及びリアクションシート（１０％）
◎－－－　テキスト　－－－◎ 授業中適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

教育史を日本史全般の流れと関連付けて説明するので、日本史への基礎的な知識や関心をもっていることが望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

以下の内容は、進度状況により変更する可能性があります。
１．授業概要と進め方
２．教育のステークホルダーと社会
３．古代１　輸入する＝学ぶ
４．中世　　宮廷文化と女性の学び
５．近世１　武士として育つ、町人として育つ
６．近世２　幕末運動と学ぶ若者たち
７．近代１　西洋化と教育の二度目の輸入
８．近代２　校舎・机・椅子～教具と教育
９．近代３　教育と衛生、軍隊
１０．近代４　留学と知識人
１１．現代１　戦争と教育
１２．現代２　戦後体制と教育がもつ意義
１３．現代３　障害児教育
１４．現代４　教育と市場
１５．まとめ

日本教育史（日本の教育の歴史を知ろう）　2020-S000009443-07

勝山　吉章

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・２時限　試験時間割：2021/01/25　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義は、幕末以降、戦前までの教育と、戦後から今日に至るまでの日本の教育について述べていく。

まず、富国強兵政策を国是とした近代日本は、国民皆学を目指し、中央集権的教育制度を実現した。そして天皇を頂点とする天皇制国家を確立するために、忠君愛国を支配イデオロギーとする国家主義的教育を行った。そのことは第二次大戦において、日本ファシズムの成立要因として重要な役割を果たした。　戦後、日本国憲法と 1947 教育基本法体制により、平和で民主的な人格形成が教育の目的となったが、東西冷戦下の高度経済成長政策の下、教育の主要課題は企業戦士の育成となった。そして冷戦終了後は、グローバリズムにおいて集団的国家独占資本主義への貢献が教育の役割となり、教育基本法が改変され、いま、改憲が目指されている。

本講義では、戦前と戦後の教育の相違と連続性を基盤にしながら、今日の日本の教育がいかなる方向性に向かいつつあるのかを論じてみたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 日本の近現代教育の成り立ちについて理解する。(知識・理解)

戦前の教育と戦後の教育についてその連続性と相違性について理解する。(知識・理解)

テキストのみならず、多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

教育の歴史を学ぶことで、教育とは何か、教育の在り方を探究するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと（300 分）
・授業計画に即して高校の日本史の教科書（参考書等）の授業相応内容を事前に読んでおくこと（300 分）
・講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと(300 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

日本の近代教育の成り立ちに、その制度や思想などについて知り得たかどうかを評価の基準とする。
評価の方法は、定期試験の結果（80%)、出席等受講状況（20%)で総合的に評価する。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定の合格者は履修生の半数ぐらいを考えている。

◎－－－　テキスト　－－－◎

小川・佐喜本・勝山著『歴史に学ぶ日本の教育』青簡舎

ISBN978-4-903996-58-5 定価 2000 円＋税 ISBN978-4-903996-58-5 定価 2000 円＋税

◎－－－　参考書　－－－◎

・江藤恭二他編『子どもの教育の歴史』（名古屋大学出版会）
　※西洋と日本の子どもの教育と生活の歴史を社会史的観点から概説してある。勝山も分担執筆した。
・寄田／山中編『日本教育史』（ミネルヴァ書房）

1　幕末期の教育
2　学制期の教育
3　教育勅語期の教育
4　日清日露期の教育
5　大正自由教育
6　戦前・戦中の教育
7　戦後民主主義と教育
8　「逆コース」と教育
9　高度経済成長と教育

日本文学Ａ（明治から昭和初期の日本文学）

2020-S000009422-01

中野　和典

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・１時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

　※日本教育史の通史としては手頃
・平田宗史著『教科書でつづる近代日本教育制度史』（北大路書房）
　※日本の近代教育を教科書を中心に概説してあり、ユニークで読みやすい。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業中の私語、居眠り、携帯等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由となりうる。
なお担当者は、視覚に障害をもっており学生たちの理解をお願いする。

◎－－－　授業計画　－－－◎

10　80 年代教育改革と臨教審
11　90 年代教育改革
12　21 世紀の教育改革
13　新自由主義と教育
14　新国家主義と教育
15　まとめ

◎－－－　概要　－－－◎

　本講義で取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、これらが高い評価を受けている理由について考える。まず、作者と作品についての概要を学ぶ。次に、特定のテーマに従って先行研究においてどのような問題が、どのように論じられてきたのかを学ぶ。最後に、当該作品とそれを原作とする映像作品を比較し、そこから見えてくる問題を検討する。年代順に作品を読んでいく

ことによって、最終的には明治から昭和初期にかけて日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

明治期から昭和初期の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

明治期から昭和初期の日本文学が描いた問題について考え、論述することができる。(技能)

明治期から昭和初期の日本文学について興味・関心を持つことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（事前）講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。(90 分)
（事後）配付資料をよく見直しておくこと。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 90%（講義資料などの持ち込みは不可。試験の出題形式は、文学史に関する選択問題+指定のテーマについての論述問題）と平常点 10%（授業への参加の積極性、授業中の発言の回数と内容）を合わせて総合的に評価する。
講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

特に指定しない。
ただし、講義で取り上げる作品は、文庫等で簡単に読めるので事前に読んでおくことが望ましい。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義中に紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

特に専門的な予備知識は必要ない。日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を希望する。
したがって、質問は歓迎し、私語・携帯機器の使用・遅刻・途中退出等の受講マナーに反する行為は厳禁する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　森鴎外『舞姫』１
２　森鴎外『舞姫』２
３　森鴎外『舞姫』３
４　樋口一葉『たけくらべ』１
５　樋口一葉『たけくらべ』２
６　樋口一葉『たけくらべ』３
７　夏目漱石『こころ』１
８　夏目漱石『こころ』２
９　夏目漱石『こころ』３
１０　川端康成『伊豆の踊子』１
１１　川端康成『伊豆の踊子』２
１２　川端康成『伊豆の踊子』３

１３　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』１
１４　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』２
１５　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』３

日本文学Ａ「教養ゼミ」（日本近代文学を読む）　2020-S000009422-02

中野　和典

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習
授業時間割：前期：火・２時限　試験時間割：定期試験なし
実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

◎－－－　概要　－－－◎

「日本文学Ａ」（明治から昭和初期の日本文学）の講義で取り上げる作品を少人数で精読し、それについて全体討論をすることによって、受講生が能動的に知識と思考力と対話能力を身につけることをめざす。

このゼミで取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、なぜこれらが高い評価を受けているのか、また、各受講生がそれをどう評価するのか、が全体を貫く問いである。

各回の前半に教員がそれらの作品について講義を行い、後半はそこから抽出される問題について受講者全員で討論を行う。講義の内容は、作者と作品についての概要、先行研究、映像作品との比較の大きく３つである。年代順に作品を読んでいくことによって、最終的には明治から昭和初期にかけて日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

明治期から昭和初期の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。（知識・理解）
明治期から昭和初期の日本文学が描いた問題について考え、議論し、論述することができる。（技能）
明治期から昭和初期の日本文学について興味・関心を持つことができる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

（事前）講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。（90 分）
（事後）配付資料をよく見直しておくこと。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

全体討論への参加の積極性 50％とレポート 50％を総合して評価する。
講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特に指定しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義中に紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

少人数での精読と討論を要（かなめ）とする授業なので無断欠席は厳禁。
日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を強く希望する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　森鴎外『舞姫』精読と討論１
２　森鴎外『舞姫』精読と討論２
３　森鴎外『舞姫』精読と討論３
４　樋口一葉『たけくらべ』精読と討論１
５　樋口一葉『たけくらべ』精読と討論２
６　樋口一葉『たけくらべ』精読と討論３
７　夏目漱石『こころ』精読と討論１
８　夏目漱石『こころ』精読と討論２
９　夏目漱石『こころ』精読と討論３
１０　川端康成『伊豆の踊子』精読と討論１
１１　川端康成『伊豆の踊子』精読と討論２
１２　川端康成『伊豆の踊子』精読と討論３
１３　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』精読と討論１
１４　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』精読と討論２
１５　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』精読と討論３

日本文学Ａ（田山花袋「蒲団」を読むー自然主義と女学生の時代）　2020-S000009

國生　雅子

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：あり　授業時間割：前期：月・５時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本近代小説の方向性を決定づけ、日露戦後の自然主義をリードした「蒲団」という作品。その名は有名で、主人公が思いを寄せた女性の使っていた蒲団に顔を埋めて泣くというラストシーンと共に、粗筋を知っている学生もいるだろう。この作品を通読し、自然主義とは何であったかを考えると同時に、芳子という女性主人公に示された、新しい女性像を見ていきたい。日露戦争前から充実してきた女子教育を背景に、小説家たらんと志し、挫折する芳子を、モデルとなった岡田美千代の実像と比較しつつ考えていきたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

明治期の文化、思想、文学について理解し説明できる。（知識・理解）

文学作品への関心を深め、文学作品を通して人間のあり方について日常的に考えるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

授業前に講義予定の部分に目を通し、復習としてテキストの中で授業中に取り上げられなかった部分は、自分で読んでおくこと。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験を行う。記述式の問題と、客観的な穴埋め問題を併用。
作品を的確に読んでいるかは客観式の問題で評価し、文学への関心が深まっているかは、記述式の問題で評価する。 ◎－－－ テキスト －－－◎

田山花袋「蒲団・重右衛門の最後」(新潮文庫)
ISBN97841079011 定価 400 円＋税プリント

◎－－－ 履修上の留意点 －－－◎

私語や授業中の無断出入りを禁ずる。

◎－－－ 授業計画 －－－◎

１ 明治の文学
２～３ 自然主義について
４～９ 「蒲団」講読
10 明治の女子教育
11～12 芳子と美千代
13～14 「蒲団」以後の物語
15 まとめ

日本文学Ａ（宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を読む）　2020-S000009422-04

竜口　佐知子

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・４時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目では、文学テキストの読解の基本について学ぶことを目的として、宮沢賢治の代表作である「銀河鉄道の夜」を、半年かけてじっくりと読み解いていきます。まず、文章を「読む」とはどういうことか、その方法についての基本的な解説を行い、そのうえで、実際に作品本文の詳細な読解を行います。　授業では、本文についての解説を行うほか、本文中から問題を提示し、自分ならどのように読み解くかを考える時間を設けます。その際、各自が読み取った内容を書いて提出してもらい、授業の中で紹介する場合があります（個人名は公表しません）。自分とは異なる解釈に触れることで、自分の「読み」を相対化し、ある文章について多様な解釈が成り立つこと（あるいは成り立たない解釈が存在すること）を実感してもらうことが狙いです。

一つ一つの語や文の意味、相互の関連性、表現方法などに注意し、様々な解釈の可能性を探りつつ、作品本文を読み解く方法を学ぶことで、より深く文学作品を理解し、鑑賞する方法を身につけていきます。また、自分が読み解いた内容について、本文中より論拠を示しつつ、適切に説明できるようになることも目標です。さらに、文学作品に限らず、日常的に目にする文章についても、場や文脈、表現などの要素に留意して意味を読み取る姿勢を身につけてほしいと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A:文学作品の読解方法について、基本的なことを理解している。(知識・理解)

B:解釈の多様性について理解している。(知識・理解)

C:作品中の語や文の意味を文脈に沿って理解し、物語の流れを把握することができる。(技能)

D:作品本文から自分なりの解釈を導き、論拠を示しつつ説明することができる。(技能)

E:日常的に文章を読む際、その置かれた場や文脈・表現等の様々な要素を意識しながら、意味を読み取る態度をもつ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業で取り扱う作品をあらかじめ通読しておくこと。その際、気になる語や表現、文章から受ける印象、理解できない箇所などについて意識しつつ読むようにする。(60分）受講後に再読し、初読の際から印象が変わった点、どういった理由でどのように変わったかなどを確認すること。(60分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験による。試験では、授業で取り扱った作品に関する基本的な知識を問う問題（到達目標 C）と、本文読解の方法が身についているかを問う問題（到達目標 A・D）を出題する。また、授業の節目に数回、授業中に提示した問題の解答を提出してもらうことがある。これは本文の解釈に関するディスカッションへの参加とみなし（到達目標 B)、また文章読解に向き合う姿勢をみるものとする（到達目標 E)。試験が 90%、提出物や受講態度等の平常点が 10%で評価を行う。

◎－－－　テキスト　－－－◎

取り扱う作品本文は、WEB や電子書籍、各種文庫本など、様々な方法で読むことが可能なため、特に決まったテキストは指定しない。各自で読む方法については、初回の授業で紹介する。また、授業中に適宜プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 特になし

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

時間をかけて本文読解に取り組むため、根気強く文章に向き合う姿勢が必要となります。

私語や途中入室・退出等、他の受講者の迷惑となる行為は慎んでください。

また、基本的なスキルとして、日本語の文章を読む能力が必要です。留学生の方などの履修については注意してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.ガイダンス―文章を「読む」とはどういうことか？／宮沢賢治と「銀河鉄道の夜」
2.「銀河鉄道の夜」①「一、午后の授業」―物語のはじまり
3.「銀河鉄道の夜」②「二、活版所」「三、家」―ジョバンニの背景
4.「銀河鉄道の夜」③「四、ケンタウル祭の夜」―ジョバンニの現状
5.「銀河鉄道の夜」④「五、天気輪の柱」「六、銀河ステーション」―旅への導入
6.「銀河鉄道の夜」⑤「七、北十字とプリオシン海岸」―銀河の世界観
7.「銀河鉄道の夜」⑥「八、鳥を捕る人」―鳥捕りとの出会い
8.「銀河鉄道の夜」⑦「九、ジョバンニの切符①」―鳥捕りとの別れ
9.「銀河鉄道の夜」⑧「九、ジョバンニの切符②」―沈没船の人々
10.「銀河鉄道の夜」⑨「九、ジョバンニの切符③」―苹果と姉弟
11.「銀河鉄道の夜」⑩「九、ジョバンニの切符④」― ジョバンニ・かほる・カムパネルラ
12.「銀河鉄道の夜」⑪「九、ジョバンニの切符⑤」―蝎の火
13.「銀河鉄道の夜」⑫「九、ジョバンニの切符⑥」―旅の終わり
14.「銀河鉄道の夜」⑬「九、ジョバンニの切符⑦」―結末
15.まとめ―あなたは「銀河鉄道の夜」をどう読んだか

日本文学Ａ（宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を読む）　2020-S000009422-05

竜口　佐知子

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：水・４時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目では、文学テキストの読解の基本について学ぶことを目的として、宮沢賢治の代表作である「銀河鉄道の夜」を、半年かけてじっくりと読み解いていきます。まず、文章を「読む」とはどういうことか、その方法についての基本的な解説を行い、そのうえで、実際に作品本文の詳細な読解を行います。　授業では、本文についての解説を行うほか、本文中から問題を提示し、自分ならどのように読み解くかを考える時間を設けます。その際、各自が読み取った内容を書いて提出してもらい、授業の中で紹介する場合があります（個人名は公表しません）。自分とは異なる解釈に触れることで、自分の「読み」を相対化し、ある文章について多様な解釈が成り立つこと（あるいは成り立たない解釈が存在すること）を実感してもらうことが狙いです。

一つ一つの語や文の意味、相互の関連性、表現方法などに注意し、様々な解釈の可能性を探りつつ、作品本文を読み解く方法を学ぶことで、より深く文学作品を理解し、鑑賞する方法を身につけていきます。また、自分が読み解いた内容について、本文中より論拠を示しつつ、適切に説明できるようになることも目標です。さらに、文学作品に限らず、日常的に目にする文章についても、場や文脈、表現などの要素に留意して意味を読み取る姿勢を身につけてほしいと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A:文学作品の読解方法について、基本的なことを理解している。(知識・理解)

B:解釈の多様性について理解している。(知識・理解)

C:作品中の語や文の意味を文脈に沿って理解し、物語の流れを把握することができる。(技能)

D:作品本文から自分なりの解釈を導き、論拠を示しつつ説明することができる。(技能)

E:日常的に文章を読む際、その置かれた場や文脈・表現等の様々な要素を意識しながら、意味を読み取る態度をもつ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業で取り扱う作品をあらかじめ通読しておくこと。その際、気になる語や表現、文章から受ける印象、理解できない箇所などについて意識しつつ読むようにする。(60分）受講後に再読し、初読の際から印象が変わった点、どういった理由でどのように変わったかなどを確認すること。(60分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験による。試験では、授業で取り扱った作品に関する基本的な知識を問う問題（到達目標 C）と、本文読解の方法が身についているかを問う問題（到達目標 A・D）を出題する。また、授業の節目に数回、授業中に提示した問題の解答を提出してもらうことがある。これは本文の解釈に関するディスカッションへの参加とみなし（到達目標 B)、また文章読解に向き合う姿勢をみるものとする（到達目標 E)。試験が 90%、提出物や受講態度等の平常点が 10%で評価を行う。

◎－－－　テキスト　－－－◎

取り扱う作品本文は、WEB や電子書籍、各種文庫本など、様々な方法で読むことが可能なため、特に決まったテキストは指定しない。各自で読む方法については、初回の授業で紹介する。また、授業中に適宜プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 特になし

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

時間をかけて本文読解に取り組むため、根気強く文章に向き合う姿勢が必要となります。

私語や途中入室・退出等、他の受講者の迷惑となる行為は慎んでください。

また、基本的なスキルとして、日本語の文章を読む能力が必要です。留学生の方などの履修については注意してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.ガイダンス―文章を「読む」とはどういうことか？／宮沢賢治と「銀河鉄道の夜」
2.「銀河鉄道の夜」①「一、午后の授業」―物語のはじまり
3.「銀河鉄道の夜」②「二、活版所」「三、家」―ジョバンニの背景
4.「銀河鉄道の夜」③「四、ケンタウル祭の夜」―ジョバンニの現状
5.「銀河鉄道の夜」④「五、天気輪の柱」「六、銀河ステーション」―旅への導入
6.「銀河鉄道の夜」⑤「七、北十字とプリオシン海岸」―銀河の世界観
7.「銀河鉄道の夜」⑥「八、鳥を捕る人」―鳥捕りとの出会い
8.「銀河鉄道の夜」⑦「九、ジョバンニの切符①」―鳥捕りとの別れ
9.「銀河鉄道の夜」⑧「九、ジョバンニの切符②」―沈没船の人々
10.「銀河鉄道の夜」⑨「九、ジョバンニの切符③」―苹果と姉弟
11.「銀河鉄道の夜」⑩「九、ジョバンニの切符④」― ジョバンニ・かほる・カムパネルラ
12.「銀河鉄道の夜」⑪「九、ジョバンニの切符⑤」―蝎の火
13.「銀河鉄道の夜」⑫「九、ジョバンニの切符⑥」―旅の終わり
14.「銀河鉄道の夜」⑬「九、ジョバンニの切符⑦」―結末
15.まとめ―あなたは「銀河鉄道の夜」をどう読んだか

日本文学Ａ（今昔物語集を読む：当時の恋愛観を中心に）　2020-S000009422-06

大木　桃子

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・２時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

平安時代末期に成った説話集『今昔物語集』を読む。本書は収録説話約１千という、他の追随を許さない膨大な量を誇る仏教説話集である。一方で、世俗の説話も多く含まれ、芥川龍之介をはじめ、近代文学者が作品の題材としたことでも知られる。

本講義では、主に本朝世俗部に属する説話の中から恋愛と夫婦関係に関するものを選んで読む。登場人物は武士・僧侶・盗賊など様々である。高校時代までに学習した宮廷女流文学とは一味違う平安朝の恋愛・結婚の諸相をを探り、現代の恋愛観・結婚観と比較検討する。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 説話集とは何かを理解し、説明することができる(知識・理解)

今昔物語集編纂当時に生きた人々の恋愛の諸相を理解し、説明することができる(知識・理解)

当時と現代の恋愛観・結婚観を比較考察することができる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業後、テキスト・プリント・ノートを読み返し(20分)、次の授業で扱う話を前もって読んでおく（15分)。

テキストは『今昔物語集』のごく一部である。また各話もあらすじを載せて本文を一部割愛しているものがある。膨大な作品なので全部読むことはできないが、ぜひ一度参考書を中央図書館で手に取って、全体像を把握してほしい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 80%(テキスト・講義内容の理解）平常点 20%(全授業中数回程度、課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらう。その内容で授業の理解度を判断し点数化する)

◎－－－　テキスト　－－－◎

角川書店編　角川ビギナーズクラシックス『今昔物語集』　角川ソフィア文庫 2002 年 720 円＋税
ISBN978-4-04-357409-4
＊金文堂福大店でも購入できる

◎－－－　参考書　－－－◎ 新日本古典文学大系「今昔物語集」１～５　岩波書店

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

遅刻・私語・中途退出、板書の写メは授業の進行、他の履修生の勉学の妨げになる。厳重に慎むこと。
出席回数より授業の理解度を重視する。疑問点は早めに質問して解決すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　今昔物語集概説
２～13　説話 17-33、24-8、27-20，27-24、28-1、29-3、29-23、30-1 を読む(数字は、巻と説話番号)
14～15　その他の説話、まとめ

日本文学Ａ（日本近代の幻想文学）　2020-S000009422-07

永井　太郎

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・５時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

授業では、まず最初に、近代日本の幻想的といわれる文学作品を取り上げ、幻想文学の分類に関する議論を紹介する。次に、近代文学の中で幻想文学を評価してきた思想的枠組みについて説明する。以上が主に幻想文学全体に関する理論的な考察である。続いて、近代の幻想文学の歴史を概観する。そして、これまでのことをふまえた上で、個別のテーマへと話を進めていく。そこでは、一つの作品の分析ではなく、他の作品へも適用し得る、一般的テーマを考察の対象とする。怪異と場所の問題や水の象徴するもの、ユートピアや分身など、幻想文学でよく言及されるトピックスの、すべてではないものの、そのいくつかについて紹介していく。基本的には授業計画通り進めて行くが、これは現在の予定であり、若干変更することもある。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本近代の幻想文学について、主要な作家や作品をあげることができる。(知識・理解)

日本近代の幻想文学に関する、主要なテーマを説明できる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習授業の中で読むように指示したレジメを次の授業までには読んで、わからないところを調べておくこと（３０分)。
復習授業のノートをきちんと読み直しておくこと（１５分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

日本の近代文学の中で、幻想文学に関係するいくつかの作品名および作家名をあげることが出来るか、幻想文学に関する基本的な理論やテーマを理解しているかどうかを評価の基準とする。
評価方法は定期試験による。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特にない。授業中随時プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 特にな

い。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

終始、幻想文学についての話なので、こうしたテーマについて

日本文学Ａ（万葉集基礎講座Ｉ ）

2020-S000009422-08

向井　克年

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

いくらかの知識、少なくとも関心を持っていることが望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　ガイダンス

２　幻想文学の分類

３　ホラーやファンタジーに属する近代文学

４　トドロフの分類

５　精神分析による幻想文学の説明

６　精神分析による幻想文学の説明

７　記号論による幻想文学の説明

８　西洋の幻想文学作家

９　日本近代の幻想文学作家

10　日本近代の幻想文学作家

11　怪異の場

12　水のシンボリズム BR

13　ユートピア

14　分身

15　映画の怪異

◎－－－　概要　－－－◎

「令和」の由来となった国書『万葉集』は、およそ 1300 年前に成立した我が国最初の歌集である。その価値や意義は文学的側面だけでなく、言語、文化、生活、思想といったあらゆる側面において問われてきた。その中にあって、近世の本居宣長以来『万葉集』の性格を位置付けるものとして「ますらをぶり」という言葉が大きく取り扱われてきた。しかし、『万葉集』はそのように一言で定位できるほど単純な構造ではない。例えば、表記に関しては無文字社会であった時代から漢字受容を経て平仮名の出現以前という劇的なパラダイムを経験している。これは、一つの言語の表記体系を見るとき、多くの示唆を与えるものである。また、語彙や文法といった言語学的側面に関しては今なお未解明な部分も多くあり、日本語の成り立ちを考えるうえでも重要な史料的価値を提供している。そして、文学的側面に関しては、そこに描かれる複雑な人間模様や社会への深い洞察を丁寧に読み解いていくことが何よりも求められる。なぜなら、そういった有り様は、価値観が多様化し複雑化する現代社会を生きる我々にとっても決して等閑視できない問題を含んでおり、多くの示

唆を与えてくれるからである。本講義では、このように多角的かつ総合的に『万葉集』を見ることで、改めて時代とともに積み重ねられてきた『万葉集』の価値と意義を問い直すものである。かつ、それだけにとどまらず、そこで得られた知見を各個人の人生や社会に還元する可能性を期待するものである。

◎ーーー　到達目標　ーーー◎

万葉集の基本的知識や単純な歌の解釈だけでなく、その歌が詠まれた背景や万葉集全体の中での位置付けを理解する。(知識・理解)

歌の表記について、その成り立ちや特殊性、表現効果といった構造的な面において理解する。(知識・理解)

上代語の特殊な語法について理論的に理解し、それが歌の中において運用される場合の表現効果や表現意図を理解する。(知識・理解)

観照的態度を養い、人生や社会について考えるきっかけを持つ。(態度・志向性)

◎ーーー　授業時間外の学習(予習・復習)　ーーー◎

・毎回の授業で配布するプリントに次回に扱う歌を指定するので、その歌の本文・語句の意味・現代語訳をノートにまとめてくる。(30 分)
・授業で扱った歌について批評を行う。ポイントは、表現の特徴・歌の印象・自身の経験や見聞との比較など発想できることなら自由とする。最低 500 字以上でまとめる。(60 分)

◎ーーー　成績評価基準および方法　ーーー◎

定期試験 80%、受講態度 20%定期試験にて到達目標で示した点について問う。授業で扱った基本的な事項に加え、自分特有の意見を問う設問を出題する。よって、到達目標の 4 項目について日頃から自身の考えをまとめておくことが望ましい。
受講態度では、授業時間内に簡単な批評をしてもらう。15 回の講義中、4 回は行う予定。実施する回は予告しない。不断の出席が望ましい。

◎ーーー　テキスト　ーーー◎ 授業で適宜紹介する。

◎ーーー　参考書　ーーー◎ 随時紹介する。

◎ーーー　履修上の留意点　ーーー◎

本講義では高等学校レベルの古典の知識があることを前提に進めていく。よって、古典の基本的な事項については簡単に復習しておくこと。また、事前学習として歌本文をノートに書くことが強く望まれる。実際に本文を書いて本講義を受けるのと、そうでないのとでは理解の仕方に大きな違いがある。書くという行為は単に備忘録の作成というものではなく、書くという行為そのものが歌の理解につながるということを意識されたい。そこにある文字列に意味を与えるのは認識者の主体的な対象把握よりほかないからである。迂遠とは思わずに取り組んでい

ただきたい。また、授業中に思ったこと感じたことは即座に書き留めておくとよい。その積み重ねが精度の高い批評に繋がる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. はじめに：全体の見通し
2. 万葉集における表現の特異性：柿本人麻呂歌
3. 万葉集における表記の特異性：柿本人麻呂歌
4. 歌の公共性①：梅歌三二首　前半
5. 歌の公共性②：梅歌三二首　後半
6. 万葉集における大陸的風雅心：大伴旅人歌
7. 万葉集における老荘的自由思想：大伴旅人歌
8. 万葉の死生観①：山上憶良歌から
9. 万葉の死生観①：山上憶良歌から
10. 万葉歌の歌日記性：大伴家持の編纂態度
11. 万葉歌の発展と展開：上代と中古の結節点
12. 万葉集の大陸文化の受容①：人麻呂七夕歌
13. 万葉集の大陸文化の受容②：未詳七夕歌
14. 万葉の時代背景①：聖武天皇御製
15. 万葉の時代背景②：文武天皇御製

日本文学A「教養ゼミ」（徒然草読解―「考える」から「書く」へ―）　2020-S000009422-09

山田　洋嗣

期別：前期　単位数：2　開講年次：1　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し
授業時間割：前期：木・３時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

徒然草の作者兼好は鎌倉後期から南北朝を生きた歌人である。その時代において兼好は多くのことを経験し多くのことを考えた。徒然草には多岐にわたる深い思考を通じてその時代に感応し、語るさまざまな事柄と、それをつづっていく兼好自身が読み取れる。そこにみられるのは当時の文化、文明と、それを見る複眼的に自由に動く目と思考である。このような点に注意して徒然草を読み解いていきたい。あわせて「考える」ということはどのようなことか、「書く」ということはどのようなことか、そういったことも捉えられればと考えている。

徒然草は誰でも知っている古典である。中世からすでに人々に影響を与え、江戸時代には出版されて広く読まれ、古典として定着して現代に至る。従って、これは現代に生きるわれわれの文化でもあり、われわれ自身でもある。このような点で、中世を読むことがすなわち現代を読むことにもなり、彼方に思いを馳せることが自らを知ることにもなるかと思う。

授業は、作品をその言葉を丁寧にたどって読むことから始める。読みながら生れる疑問を解決すべく調べ、意見を出しあってともに考え、自分自身の読み取りを作り上げたい。言葉の調べ方、文章の捉え方、調査の方法や問題発見の方法、またその論じ方などはそのつどその場で示していく。受講者は章段を分担して図書館等で調査し、考えをまとめたうえで発表し、それをもととして全員で討論を行う。このような作業と読解を通して、自ら

を文芸の中に投じる楽しみ、それがわれわれを動かす力を感じ、何よりそこから得られる喜びを得ることができるであろう。

「授業計画」に記した各段を予定しているが、受講者の希望があれば適宜入れ換えてよい。読解を通じて、ものごとを捉え、「考える」とはどういうことか、それを「書く」とはどういうことか、また我々がそれを「読む」とはどういうことなのかを考察したい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

徒然草と兼好について概括的に理解し説明することができる。(知識・理解)

自らの調査と考察によって古典の文章を正確に読解できるようになり、それをふまえて考え方や思想を帰納的に抽出することができる。(技能)

作品から読み取れる思想について自身の考えを持ち、批判できるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

受講者は授業の前に当該章段を読み、その記述や考えについて自分の意見を持っておくこと。また授業後はその段についてのまとめを自ら記録しておくこと。予習・復習、各一時間程度の時間が必要である。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によらず、普段の授業の中で評価する。読解力や調査の仕方、資料のまとめ方、問題を発見する力、あるいは討論の際の意見などを総合的に判断して評価する（80%)。各段の終りに総括する意見を求め、これを上記各条の成果に加えて評価する（20%)。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは指定しない。徒然草のテキストは活字によって多数出版されており、それらを比較対照することも読解の一助となるからである。文庫本など手に入りやすいものでよいが、徒然草の全文が入っているものを自身が開講前に選び用意すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

授業中、その進展、特に章段が扱っている問題によって指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この「日本文学A」と「日本文学B」は視点を変えつつ異なった章段を読むので、A・B両方を受講して差し支えない。授業中に自分の意見を積極的、活発に発言できる学生、またそのような能力を身につけたい学生の受講を望む。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　序段　つれづれなるままに
2　第一段　いでやこの世にうまれては
3　第二段　いにしへのひじりの御代

4　第三段　よろづにいみじくとも
5　第五段　不幸に憂へ沈める人の
6　第六段　わが身のやんごとなからんにも
7　第七段　あだしのの露きゆる時なく
8　第十段　家居のつきづきしく
9　第十一段　神無月のころ
10　第十二段　同じ心ならん人と
11　第十三段　ひとり灯火のもとに
12　第十四段　和歌こそ面白きものなれ
13　第十五段　いづくにもあれ
14　第十八段　人はおのれをつづまやかにし
15　全体のまとめ〈徒然草と兼好〉

三島由紀夫は、国際的にも評価の高い、昭和を代表する作家です。今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代に生きる皆さんにとっても、明治以来、急激に近代化し、今の日本の基礎を築いていった時代に生きた人たちの葛藤を理解し、それを自分の問題に引きつけて考える柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の近代文学の一端にふれることを通して、近代の日本文化についての知識と教養を深める。(知識・理解)

日本文学A「BB」(近代日本の長編小説を読む（三島由紀夫『潮騒』))　2020-S000009422-10

野田　康文

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・二部２時限　試験時間割：2020/07/28　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目は、日本の近代文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、日本の近代文学を代表する作品――前期は長編小説、後期は短編小説――を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

前期は昭和の、主に第2次大戦後に活躍した作家・三島由紀夫の『潮騒』という中編小説を読みます。1つの小さな島を舞台に、漁師の青年と海女の少女との恋愛を描いています。三島由紀夫の文学の中で、最もよく読まれている小説の1つです。全部を読むことはできないので、大事な場面を中心に、設問つきの配布テキストで読んでいきます。

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。
(態度・志向性) 上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと。(15～30分程度)

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること。(30分程度) 試験の直前にまとめて行うのは、

時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことが数回ありますので、それを平常点として扱います。提出した用紙の解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出用紙と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「近代の日本文化についての知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

設問の解答用紙を提出する時は、用紙配布の時点に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。
他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第1回：　『潮騒』を読む1 ガイダンス、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第2回：　『潮騒』を読む2 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第3回：　『潮騒』を読む3 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第4回：　『潮騒』を読む4 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第5回：　『潮騒』を読む5 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第6回：　『潮騒』を読む6 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第7回：　『潮騒』を読む7 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第8回：　『潮騒』を読む8 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第9回：　『潮騒』を読む9 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第10回：　『潮騒』を読む10 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第11回：　『潮騒』を読む11 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第12回：　『潮騒』を読む12 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第13回：　『潮騒』を読む13 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第14回：　『潮騒』を読む14 テキスト14の黙読及び作品解

説、設問解法の手引き 1 第 15 回： 『潮騒』を読む 15 テキスト 14 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き 2、全体まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

日本文学Ｂ（昭和初期以降の日本文学）　2020-S000009428-01 中野　和典

授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義で取り上げる作品はいずれも有名なものばかりだが、これらが高い評価を受けている理由について考える。まず、作者と作品についての概要を学ぶ。次に、特定のテーマに従って先行研究においてどのような問題が、どのように論じられてきたのかを学ぶ。最後に、当該作品とそれを原作とする映像作品を比較し、そこから見えてくる問題を検討する。年代順に作品を読んでいくことによって、最終的には昭和初期以降に日本文学がどのようにその可能性を広げていったのかという問題について理解を深めてもらいたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

昭和初期以降の日本文学について基本的な知識を身につけることができる。(知識・理解)

昭和初期以降の日本文学が描いた問題について考え、論述することができる。(技能)

昭和初期以降の日本文学について興味・関心を持つことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

（事前）講義で取り上げる作品は文庫等で簡単に読めるので、できるだけ事前に読んでおくこと。(90 分)
（事後）配付資料をよく見直しておくこと。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 90%（講義資料などの持ち込みは不可。試験の出題形式は、文学史に関する選択問題+指定のテーマについての論述問題）と平常点 10%（授業への参加の積極性、授業中の発言の回数と内容）を合わせて総合的に評価する。

講義で取り上げる作家と作品とその研究動向について、どの程度まで正確に説明できているかを評価の基準とする。　特に指定しない。

ただし、講義で取り上げる作品は、文庫等で簡単に読めるので事前に読んでおくことが望ましい。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義中に紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

特に専門的な予備知識は必要ない。日本近代文学を通して真摯に何かを学ぼうとする姿勢を持つ学生の受講を希望する。

したがって、質問は歓迎し、私語・携帯機器の使用・遅刻・途中退出等の受講マナーに反する行為は厳禁する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　堀辰雄『風立ちぬ』１
２　　堀辰雄『風立ちぬ』２

３　　堀辰雄『風立ちぬ』３
４　　大岡昇平『野火』１
５　　大岡昇平『野火』２
６　　大岡昇平『野火』３
７　　三島由紀夫『金閣寺』１
８　　三島由紀夫『金閣寺』２
９　　三島由紀夫『金閣寺』３
１０　安部公房『砂の女』１
１１　安部公房『砂の女』２
１２　安部公房『砂の女』３
１３　遠藤周作『沈黙』１
１４　遠藤周作『沈黙』２
１５　遠藤周作『沈黙』３

日本文学Ｂ（明治十年代の学生たち）

國生　雅子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験等：◎
り　　授業時間割：後期：月・５時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

近代という新しい時代の開幕と共に、今まで蓄積された教養は無価値とされ、西洋を学ぶことこそが、没落した士族階級と社会的地位の上昇を目指すそれ以外の階層の若者達の目標となった。その要求に応えるべく、近代的教育システムが急速に整えられ、首都東京は多くの学生達が集まる都市となっていった。学歴社会の開幕である。この授業では森鷗外の「雁」を中心に、主に明治十年代の学生達にスポットをあて、彼らの「恋愛」を中心に、文学作品を通して、明治という時代を生きた青年たちについて考えて行きたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 明治期の文化や思想、文学について説明できる。（知識・理解）

文学作品に関する関心を深め、文学作品を通して人間のあり方について日常的に考えるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

授業前に講義予定の部分に目を通し、復習としてテキストの中で授業中に取り上げられなかった部分は、自分で読んでおくこと。（60 分）

◎－－－
2020-S00(成績評価基準および方法　－－－
定期試験を行う。記述式の問題と、客観的な穴埋め問題を併用。
作品を的確に読んでいるかは客観式の問題で評価し、文学への関心が深まっているかは、記述式の問題で評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

新潮文庫「雁」
ISBN978-4－10－102001－3

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 私語や授業中の無断出入りを禁ずる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

１　明治期の文学と森鷗外
２～５　「雁」講読
６～８　坪内逍遥「当世書生気質」について
９～12　「ヰタ・セクスアリス」について
13～14　近代の恋愛と結婚について
15　まとめ

日本文学Ｂ（宮沢賢治の童話作品を読む） 2020-S000009428-03 竜口　佐知子

授業時間割：後期：火・４時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目では、文学テキストの読解の基本について学ぶことを目的として、宮沢賢治の童話作品を読み解いていきます。まず、文章を「読む」とはどういうことか、その方法についての基本的な解説を行い、そのうえで、実際に作品本文の詳細な読解を行います。

授業で取り上げる作品は、周囲とのコミュニケーションの問題を扱った「セロ弾きのゴーシュ」と、近年特に注目されている環境問題を扱った「グスコーブドリの伝記」です。授業では、本文についての解説を行うほか、本文中から問題を提示し、自分ならどのように読み解くかを考える時間を設けます。その際、各自が読み取った内容を書いて提出してもらい、授業の中で紹介する場合があります（個人名は公表しません）。自分とは異なる解釈に触れることで、自分の「読み」を相対化し、ある文章について多様な解釈が成り立つこと（あるいは成り立たない解釈が存在すること）を実感してもらうことが狙いです。

一つ一つの語や文の意味、相互の関連性、表現方法などに注意し、様々な解釈の可能性を探りつつ、作品本文を読み解く方法を学ぶことで、より深く文学作品を理解し、鑑賞する方法を身につけていきます。また、自分が読み解いた内容について、本文中より論拠を示しつつ、適切に説明できるようになることも目標です。さらに、文学作品に限らず、日常的に目にする文章についても、場や文脈、表現などの要素に留意して意味を読み取る姿勢を身につけてほしいと考えています。

ここで取り扱う作品は、100 年近く前に書かれたものですが、現代にも通じる問題を含んでいます。これらの作品の読解を通じて、文学作品が持つ普遍的な価値を見出す力を養ってほしいと考えます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

A:文学作品の読解方法について、基本的なことを理解している。
(知識・理解)

B:解釈の多様性について理解している。(知識・理解)

C:作品中の語や文の意味を文脈に沿って理解し、物語の流れを把握することができる。(技能)

D:作品本文から自分なりの解釈を導き、論拠を示しつつ説明することができる。(技能)

E:日常的に文章を読む際、その置かれた場や文脈・表現等の様々な要素を意識しながら、意味を読み取る態度をもつ。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業で取り扱う作品をあらかじめ通読しておくこと。その際、気になる語や表現、文章から受ける印象、理解できない箇所などについて意識しつつ読むようにする。(60 分) 受講後に再読し、初読の際から印象が変わった点、どういった理由でどのように変わったかなどを確認すること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験による。試験では、授業で取り扱った作品に関する基本的な知識を問う問題（到達目標 C）と、本文読解の方

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

法が身についているかを問う問題（到達目標 A・D）を出題する。また、授業の節目に数回、授業中に提示した問題の解答を提出してもらうことがある。これは本文の解釈に関するディスカッションへの参加とみなし（到達目標 B)、また文章読解に向き合う姿勢をみるものとする（到達目標 E)。試験が 90%、提出物や受講態度等の平常点が 10%で評価を行う。

取り扱う作品本文は、WEB や電子書籍、各種文庫本など、様々な方法で読むことが可能なため、特に決まったテキストは指定しない。読む方法については、初回の授業で紹介する。また、授業中に適宜プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 特になし

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

時間をかけて本文読解に取り組むため、根気強く文章に向き合う姿勢が必要となります。
私語や途中入室・退出等、他の受講者の迷惑となる行為は慎んでください。
また、基本的なスキルとして、日本語の文章を読む能力が必要です。留学生の方などの履修については注意してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.ガイダンス―文章を「読む」とはどういうことか？／宮沢賢治について
2.「セロ弾きのゴーシュ」①作品概要・「楽屋での練習」楽団の中のゴーシュ
3.「セロ弾きのゴーシュ」②「猫」-感情の表出
4.「セロ弾きのゴーシュ」③「かくこう」-相手を聞く・自分を聞く

◎－－－　テキスト　－－－◎
5.「セロ弾きのゴーシュ」④「子狸」・「野鼠」―共に奏でる・相手を気遣う
6.「セロ弾きのゴーシュ」⑤「音楽会の夜」―ゴーシュの変化・周囲の変化
7.「グスコーブドリの伝記」①作品概要・「森」―ブドリの生い立ちと飢饉
8.「グスコーブドリの伝記」②「てぐす工場」―ブドリの独学と噴火
9.「グスコーブドリの伝記」③「沼ばたけ①」―オリザ作りと病害
10.「グスコーブドリの伝記」④「沼ばたけ②」―工夫と日照り
11.「グスコーブドリの伝記」⑤「クーボー大博士」・「イーハトーヴ火山局」―師と仕事との出会い
12.「グスコーブドリの伝記」⑥「サンムトリ火山」―噴火の克服
13.「グスコーブドリの伝記」⑦「雲の海」・「秋」―日照りの克服
14.「グスコーブドリの伝記」⑧「カルボナード島」」―飢饉の克服・結末
15.まとめ―あなたは作品をどう読んだか

日本文学Ｂ（今昔物語集を読む：当時の家族観を中心に）　2020-S000009428-04

大木　桃子

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・２時限　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

平安時代末期に成った説話集『今昔物語集』を読む。本書は収録説話約１千を超え、インド・中国・日本の話を載せる仏教説話集である。一方で、世俗の説話も多く含まれ、芥川龍之介をはじめ、近代文学者が作品の題材としたことでも知られる。

本講義では、編纂当時の家族観が伺われるものを選んで読む。親子関係や夫婦関係、またいわゆる「嫁姑問題」などについてである。家族のあり方が問われる現代であるからこそ、古典の中の家族観を探り共通点・相違点を明らかにしたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 説話集とは何かを理解し、説明することができる(知識・理解)

今昔物語集編纂当時に生きた人々の家族観を理解し、説明することができる(知識・理解)

当時と現代の家族のあり方を比較考察することができる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業後、テキスト・プリント・ノートを読み返し(20 分)、次の授業で扱う話を前もって読んでおく（15 分）

テキストは『今昔物語集』のごく一部である。また各話もあらすじを載せて本文を一部割愛しているものがある。膨大な作品なので全部読むことはできないが、ぜひ一度中央図書館で参考書を手に取って、全体像を把握してほしい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 80％(テキスト・講義内容の理解）平常点 20％（全授業中数回程度、課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらう。その内容で授業の理解度を判断し点数化する）

◎－－－　テキスト　－－－◎

角川書店編　ビギナーズクラシックス『今昔物語集』　角川ソフィア文庫　2002 年　720 円＋税
ISBN978-4-04-357409-4
＊金文堂福大店でも購入できる

◎－－－　参考書　－－－◎ 新日本古典文学大系「今昔物語集」１～５　岩波書店

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

遅刻・私語・中途退出、板書の写メは授業の進行、他の履修生の勉学の妨げになる。厳重に慎むこと。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

出席回数より授業の理解度を重視する。疑問点は早めに質問して解決すること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　今昔物語集概説
２～13　説話 1-1、3-30、4-41、10-32、19-27、23―24、25-12、30-9，を読む(数字は、巻と説話番号)
14～15　その他の説話、まとめ

日本文学Ｂ（夏目漱石の「夢十夜」）　　2020-S000009428-05 永井　太郎

授業時間割：後期：金・５時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本文学Ａでは、幻想文学全体について概観したが、Ｂでは、幻想文学のサブジャンルの一つである夢の文学に注目し、その中でも、日本近代文学で始めて夢を本格的に描いた作品である夏目漱石の「夢十夜」を取り上げる。この講義では、「夢十夜」を作者によって意識的に構成された作品と考えて、一つ一つの作品について、先行研究を踏まえて、その詳細な分析を行う。

授業ではまず、夢と文学との関係について論じ、次に、「夢十夜」の文学史的位置を説明する。それから、「夢十夜」の作品論に移る。「第一夜」から順に論じるのだが、時間や重要性の点から、十夜全部をとりあげる事はしない。そのうちいくつかは飛ばすことになる。授業計画に書かれているのはあくまで予定であり、何を読んで来ればいいのか、授業中にそのつど指示していく。

授業では、作家の伝記的事実ではなく、個々の作品自体についての読解を重視する。その考察に際して、当の作品について、これまでなされた先行研究の紹介を丁寧に行う。それを通して、作品がいかに読まれてきたのか、そして作品の解釈がいかに多様なものでありうるのか、を実際の論文に即して学んでもらおうと思う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

夏目漱石の「夢十夜」の主な作品の解釈について説明できる。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習次の授業で取り上げる作品を指示するので、事前に読んで、わからない言葉を調べておくこと（３０分)。
復習授業のノートをきちんと読み直しておくこと（１５分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

「夢十夜」のいくつかの作品の解釈における問題、そしてそれに対するこれまでの議論を理解できているか、を評価の基準とする。
評価方法は定期試験による。夏目漱石「夢十夜」(岩波文庫)

◎－－－　参考書　－－－◎

特にない。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

小説をじっくりと読む講義なので、小説に関心がある人が望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　ガイダンス

２　　夢と文学

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

3　　夢と文学

4　　「夢十夜」の文学史的位置

5　　第一夜

6　　第一夜

7　　第二夜

8　　第二夜

9　　第三夜

10　第三夜

11　第六夜

12　第七夜

13　第八夜

14　第十夜

15　第十夜

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

日本文学Ｂ（万葉集基礎講座Ⅱ ）2020-S000009428-06 向井　克年

授業時間割：後期：火・５時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「令和」の由来となった国書『万葉集』は、およそ 1300 年前に成立した我が国最初の歌集である。その価値や意義は文学的側面だけでなく、言語、文化、生活、思想といったあらゆる側面において問われてきた。その中にあって、近世の本居宣長以来『万葉集』の性格を位置付けるものとして「ますらをぶり」という言葉が大きく取り扱われてきた。しかし、『万葉集』はそのように一言で定位できるほど単純な構造ではない。例えば、表記に関しては無文字社会であった時代から漢字受容を経て平仮名の出現以前という劇的なパラダイムを経験している。これは、一つの言語の表記体系を見るとき、多くの示唆を与えるものである。また、語彙や文法といった言語学的側面に関しては今なお未解明な部分も多くあり、日本語の成り立ちを考えるうえでも重要な史料的価値を提供している。そして、文学的側面に関しては、そこに描かれる複雑な人間模様や社会への深い洞察を丁寧に読み解いていくことが何よりも求められる。なぜなら、そういった有り様は、価値観が多様化し複雑化する現代社会を生きる我々にとっても決して等閑視できない問題を含んでおり、多くの示唆を与えてくれるからである。本講義では、このように多角的かつ総合的に『万葉集』を見ることで、改めて時代とともに積み重ねられてきた『万葉集』の価値と意義を問い直すものである。かつ、それだけにとどまらず、そこで得られた知見を各個人の人生や社会に還元する可能性を期待するものである。

◎－－－　到達目標　－－－◎

万葉集の基本的知識や単純な歌の解釈だけでなく、その歌が詠まれた背景や万葉集全体の中での位置付けを理解する。（知識・理解）

歌の表記について、その成り立ちや特殊性、表現効果といった構造的な面において理解する。（知識・理解）

上代語の特殊な語法について理論的に理解し、それが歌の中において運用される場合の表現効果や表現意図を理解する。（知識・理解）

観照的態度を養い、人生や社会について考えるきっかけを持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

・毎回の授業で配布するプリントに次回に扱う歌を指定するので、その歌の本文・語句の意味・現代語訳をノートにまとめてくる。（30 分）
・授業で扱った歌について批評を行う。ポイントは、表現の特徴・歌の印象・自身の経験や見聞との比較など発想できることなら自由とする。最低 500 字以上でまとめる。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 80%、受講態度 20%定期試験にて到達目標で示した点について問う。授業で扱った基本的な事項に加え、自分特有の意見を問う設問を出題する。よって、到達目標の 4 項目について日頃から自身の考えをまとめておくことが望ましい。
受講態度では、授業時間内に簡単な批評をしてもらう。15 回の講義中、4 回は行う予定。実施する回は予告しない。不断の出席が望ましい。

授業で適宜紹介する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 随時紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義では高等学校レベルの古典の知識があることを前提に進めていく。よって、古典の基本的な事項については簡単に復習しておくこと。また、事前学習として歌本文をノートに書くことが強く望まれる。実際に本文を書いて本講義を受けるのと、そうでないのとでは理解の仕方に大きな違いがある。書くという行為は単に備忘録の作成というものではなく、書くという行為そのものが歌の理解につながるということを意識されたい。そこにある文字列に意味を与えるのは認識者の主体的な対象把握よりほかないからである。迂遠とは思わずに取り組んでいただきたい。また、授業中に思ったこと感じたことは即座に書き留めておくとよい。その積み重ねが精度の高い批評に繋がる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. はじめに：全体の見通し
2. 万葉集部立の定位：額田王歌から
3. 万葉集と周辺文学：磐姫皇后関係歌の写像
4. 万葉の時代背景①：有間皇子挽歌から
5. 万葉の時代背景②：穂積皇子挽歌から
6. ク語法の位置づけ①：動作の対象の場合
7. ク語法の位置づけ②：願望の対象の場合
8. ク語法の位置づけ③：形容詞の場合
9. 万葉表記論①：用字選択の分布
10. 万葉表記論②：梅歌三二首の特権的表記
11. 万葉歌の諧謔性：大伴家持歌から
12. 万葉の地方性：筑紫文学サロンの形成
13. 万葉集に残された課題①：略体歌の定位

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

14. 万葉集に残された課題②：字余り句の存在
15. 万葉集の帰結：万葉集最終歌について

◎－－－　テキスト　－－－◎
・授業で扱った歌について批評を行う。ポイントは、表現の特徴・歌の印象・自身の経験や見聞との比較など発想できる

日本文学Ｂ（万葉集基礎講座Ⅱ ）　　2020-S000009428-07 向井　克年

授業時間割：後期：火・２時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「令和」の由来となった国書『万葉集』は、およそ 1300 年前に成立した我が国最初の歌集である。その価値や意義は文学的側面だけでなく、言語、文化、生活、思想といったあらゆる側面において問われてきた。その中にあって、近世の本居宣長以来『万葉集』の性格を位置付けるものとして「ますらをぶり」という言葉が大きく取り扱われてきた。しかし、『万葉集』はそのように一言で定位できるほど単純な構造ではない。例えば、表記に関しては無文字社会であった時代から漢字受容を経て平仮名の出現以前という劇的なパラダイムを経験している。これは、一つの言語の表記体系を見るとき、多くの示唆を与えるものである。また、語彙や文法といった言語学的側面に関しては今なお未解明な部分も多くあり、日本語の成り立ちを考えるうえでも重要な史料的価値を提供している。そして、文学的側面に関しては、そこに描かれる複雑な人間模様や社会への深い洞察を丁寧に読み解いていくことが何よりも求められる。なぜなら、そういった有り様は、価値観が多様化し複雑化する現代社会を生きる我々にとっても決して等閑視できない問題を含んでおり、多くの示唆を与えてくれるからである。本講義では、このように多角的かつ総合的に『万葉集』を見ることで、改めて時代とともに積み重ねられてきた『万葉集』の価値と意義を問い直すものである。かつ、それだけにとどまらず、そこで得られた知見を各個人の人生や社会に還元する可能性を期待するものである。

◎－－－　到達目標　－－－◎

万葉集の基本的知識や単純な歌の解釈だけでなく、その歌が詠まれた背景や万葉集全体の中での位置付けを理解する。（知識・理解）

歌の表記について、その成り立ちや特殊性、表現効果といった構造的な面において理解する。（知識・理解）

上代語の特殊な語法について理論的に理解し、それが歌の中において運用される場合の表現効果や表現意図を理解する。（知識・理解）

観照的態度を養い、人生や社会について考えるきっかけを持つ。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

・毎回の授業で配布するプリントに次回に扱う歌を指定するので、その歌の本文・語句の意味・現代語訳をノートにまとめてくる。（30 分）
ことなら自由とする。最低 500 字以上でまとめる。（60 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験 80％、受講態度 20％定期試験にて到達目標で示した点について問う。授業で扱った基本的な事項に加え、自分特有の意見を問う設問を出題する。よって、到達目標の 4 項目について日頃から自身の考えをまとめておくことが望ましい。
受講態度では、授業時間内に簡単な批評をしてもらう。15 回の講義中、4 回は行う予定。実施する回は予告しない。不断の出席が望ましい。

授業で適宜紹介する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 随時紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義では高等学校レベルの古典の知識があることを前提に進めていく。よって、古典の基本的な事項については簡単に復習しておくこと。また、事前学習として歌本文をノートに書くことが強く望まれる。実際に本文を書いて本講義を受けるのと、そうでないのとでは理解の仕方に大きな違いがある。書くという行為は単に備忘録の作成というものではなく、書くという行為そのものが歌の理解につながるということを意識されたい。そこにある文字列に意味を与えるのは認識者の主体的な対象把握よりほかないからである。迂遠とは思わずに取り組んでいただきたい。また、授業中に思ったこと感じたことは即座に書き留めておくとよい。その積み重ねが精度の高い批評に繋がる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. はじめに：全体の見通し
2. 万葉集部立の定位：額田王歌から
3. 万葉集と周辺文学：磐姫皇后関係歌の写像
4. 万葉の時代背景①：有間皇子挽歌から
5. 万葉の時代背景②：穂積皇子挽歌から
6. ク語法の位置づけ①：動作の対象の場合
7. ク語法の位置づけ②：願望の対象の場合

8. ク語法の位置づけ③：形容詞の場合
9. 万葉表記論①：用字選択の分布
10. 万葉表記論②：梅歌三二首の特権的表記
11. 万葉歌の諧謔性：大伴家持歌から
12. 万葉の地方性：筑紫文学サロンの形成
13. 万葉集に残された課題①：略体歌の定位
14. 万葉集に残された課題②：字余り句の存在
15. 万葉集の帰結：万葉集最終歌について

日本文学Ｂ「教養ゼミ」（日本近代の短篇小説を読む）　　2020-S000009428-08

永井　太郎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：演習
実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し
授業時間割：後期：水・４時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

　この教養ゼミでは、授業一回につき短い小説を一つ読んでいく。いずれも有名な作品であったり、教科書に取り上げられた作品であり、比較的読みやすいものである。ゼミでは、まず前もってテキストをレジメにしたものを配布する。配布されたテキストを読んできてもらい、その作品の解釈に関する質問をプリントにしたものに答えてもらう。作品の解釈には、人によって様々な意見の相違がある。参加者には、作品の解釈の問題について、自ら考え、ある立場に立ち、ゼミでは、自らの立場から、他の人と討論をしてもらう。漠然と好きだ、嫌いだ、よくわからないというのではなく、自分の意見をきちんと考え、他の人に対してその意見の根拠を表明すること、そして同時に、自分の考えとは違う他人の意見を聞き、それに対して、理解し、反論することを求める。なお、授業計画に記したのは去年取り上げた作品である。若干変更することもある。

◎－－－　到達目標　－－－◎

文学作品に対する自分の意見を根拠をもって説明できる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習　次の授業までに、作品本文の掲載されたレジメを必ず読んでくること（３０分）。
復習授業で読んだ作品を読み直して、演習で出た他の人の意見を踏まえて、自分なりに考えなおすこと（３０分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

作品に関する自分の意見を十分な根拠に基づいて説明できているのかを評価の基準とする。
評価方法は授業ごとに提出するレポート（５０％）と授業における発言及び内容（５０％）による。

◎－－－　テキスト　－－－◎

　テキストは使用しない。こちらで準備したレジメを配付して授業を行う。

◎－－－　参考書　－－－◎ 特にない

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　小説について自分の意見を述べる授業なので、小説が好きな人、小説について考えるのが好きな人が望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1、 ガイダンス
2、 夏目漱石「第一夜」
3、 宮沢賢治「注文の多い料理店」
4、 芥川龍之介「藪の中」
5、 向田邦子「かわうそ」
6、 太宰治「葉桜と魔笛」
7、 安部公房「赤い繭」
8、 梶井基次郎「檸檬」
9、 三島由紀夫「復讐」
10、井伏鱒二「山椒魚」
11、菊池寛「三浦右衛門の最後」
12、松下竜一「絵本」
13、山川方夫「夏の葬列」
14、松本清張「火の記憶」
15、江國香織「生きる気まんまんだった女の子の話」

日本文学Ｂ「教養ゼミ」（徒然草読解―見えるものと見るもの―）　2020-S000009428-09

山田　洋嗣

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：後期：木・３時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

徒然草の作者兼好は鎌倉後期から南北朝を生きた歌人である。その時代において兼好は多くのことを経験し多くのことを考えた。徒然草には多岐にわたる深い思考を通じてその時代に感応し、語るさまざまな事柄と、それをつづっていく兼好自身が読み取れる。そこにみられるのは当時の文化、文明と、それを見る複眼的に自由に動く目と思考である。このような点に注意して徒然草を読み解いていきたい。あわせて「考える」ということはどのようなことか、「書く」ということはどのようなことか、そういったことも捉えられればと考えている。

徒然草は誰でも知っている古典である。中世からすでに人々に影響を与え、江戸時代には出版されて広く読まれ、古典として定着して現代に至る。従って、これは現代に生きるわれわれの文化でもあり、われわれ自身でもある。このような点で、中世を読むことがすなわち現代を読むことにもなり、彼方に思いを馳せることが自らを知ることにもなるかと思う。

授業は、作品をその言葉を丁寧にたどって読むことから始める。読みながら生れる疑問を解決すべく調べ、意見を出しあってともに考え、自分自身の読み取りを作り上げたい。言葉の調べ方、文章の捉え方、調査の方法や問題発見の方法、またその論じ方などはそのつどその場で示していく。受講者は章段を分担して図書館等で調査し、考えをまとめたうえで発表し、それをもととして全員で討論を行う。このような作業と読解を通して、自らを文芸の中に投じる楽しみ、それがわれわれを動かす力を感じ、何よりそこから得られる喜びを得ることができるであろう。

「授業計画」に記した各段を予定しているが、受講者の希望があれば適宜入れ換えてよい。読解を通じて、兼好がなにを見たのか、なぜそれを見ることができたのか、「見る」とはどういうことかを考察したい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

徒然草と兼好について概括的に理解し説明することができる。（知識・理解）

自らの調査と考察によって古典の文章を正確に読解できるようになり、それをふまえて考え方や思想を帰納的に抽出することができる。（技能）

作品から読み取れる思想について自身の考えを持ち、批判できるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

受講者は授業の前に当該章段を読み、その記述や考えについて自分の意見を持っておくこと。また授業後はその段についてのまとめを自ら記録しておくこと。予習・復習、各一時間程度の時間が必要である。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によらず、普段の授業の中で評価する。読解力や調査の仕方、資料のまとめ方、問題を発見する力、あるいは討論の際の意見などを総合的に判断して評価する（80%）。各段の終りに総括する意見を求め、これを上記各条の成果に加えて評価する（20%）。

◎－－－　テキスト　－－－◎

テキストは指定しない。徒然草のテキストは多数出版されており、それらを比較対照することも読解の一助となるからである。文庫本など手に入りやすいものでよいが、徒然草の全文が入っているものを自身が開講前に選び用意すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

授業中、その進展、特に章段が扱っている問題によって指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この「日本文学Ａ」と「日本文学Ｂ」は視点を変えつつ異なった章段を読むので、Ａ・Ｂ両方を受講して差し支えない。授業中に自分の意見を積極的、活発に発言できる学生、またそのような能力を身につけたい学生の受講を望む。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　序段　つれづれなるままに
2　第十九段　折節の移り変はるこそ
3　第二十二段　何事も古き世のみぞ
4　第二十五段　飛鳥川の淵瀬常ならぬ世
5　第三十段　人の亡きあとばかり
6　第三十一段　雪のおもしろう降りたりし朝
7　第三十二段　九月廿日のころ
8　第三十六段　久しくおとづれぬころ
9　第三十八段　名利につかはれて
10　第三十九段　ある人法然上人に
11　第四十段　因幡の国に
12　第四十一段　五月五日賀茂の競馬を

13　第四十三段　春のくれつかた
14　第四十五段　公世の二位のせうとに
15　全体のまとめ〈徒然草と兼好〉

日本文学Ｂ「BB」（近代日本の短編小説を読む（宮沢賢治、芥川龍之介、志賀直哉ほか））

2020-S000009428-10

野田　康文

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・二部２時限　　試験時間割：2021/01/19　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目は、日本の近代文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、日本の近代文学を代表する作品――前期は長編小説、後期は短編小説――を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

後期は、大正から昭和の初期にかけて発表された、宮沢賢治、芥川龍之介、志賀直哉らの短編小説を読みます。扱う作品は、どれも今日でも読まれている、名作と評されるもので、日本人の教養として必読の小説です。作者の生涯や当時の時代・文化の拝啓を踏まえつつ、小説を読み解いていきます。また、授業の進行状況に応じて、中島敦や太宰治らの小説も扱うことがあります。各作品とも、大事な場面を中心に、設問付きの配布テキストで読んでいきます。

宮沢賢治や芥川龍之介、志賀直哉らは、みな現在でも評価の高い、近代日本を代表する作家です。今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代に生きる皆さんにとっても、明治以来、急激に近代化し、今の日本の基礎を築いていった時代に生きた人たちの葛藤を理解し、それを自分の問題に引きつけて考える柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1つ1つの作品をじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の近代文学の一端にふれることを通して、近代の日本文化についての知識と教養を深める。
（知識・理解）文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。（態度・志向性）上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと。（15～30分程度）

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること。（30分程度）試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業では、各作品ごとに、読解すべき作品の本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の解答を原稿用紙に書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。作成した解答はその場で回収します。その後2～4回の授業を使って、読解のポイントを設問を中心に解説します。解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の後に設問の解答を提出してもらうことが数回ありますので、それを先の原稿用紙と合わせて平常点として扱います。提出した用紙の解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出用紙と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「近代の日本文化についての知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を9割、残り1割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に「技能」を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

設問の解答用紙を提出する時は、用紙配布の時点に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。
他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第1回：　近代日本の短編小説を読む1（各作品、3回前後の授業で1セット。宮沢賢治、志賀直哉、芥川龍之介ほか）ガイダンス、テキスト1の本文黙読、及び原稿作成第2回：　近代日本の短編小説を読む2 テキスト1の読解のポイント及び、設問解説（2～4回前後）
＊以下、第14回まで同様のプロセスで、進行状況に応じて進めていく第3回：　近代日本の短編小説を読む3 第4回：　近代日本の短編小説を読む4 第5回：　近代日本の短編小説を読む5 第6回：　近代日本の短編小説を読む6 第7回：　近代日本の短編小説を読む7 第8回：近代日本の短編小説を読む8 第9回：　近代日本の短編小説を読む9 第10回：　近代日本の短編小説を読む10 第11回：　近代日本の短編小説を読む11 第12回：　近代日本の短編小説を読む12 第13回：　近代日本の短編小説を読む13 第14回：　近代日本の短編小説を読む14 第15回：　近代日本の短編小説を読む15 全体まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

東洋史Ａ（18・19 世紀の世界とアジア市場）　　2020-S000009412-01 則松　彰文

授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

２０１９年における世界の人口は、およそ７７億１５００万人で、最も人口の多い中国は１４億２７００万人。第二位のインドの１３億５２００万人を合わせると２７億７９００万人を数え、アジアの２大国だけで世界人口の実に３６％を占める事になる。これに東南アジアの６億人、日本の１億人などを加えると、世界の人々の半分近くは、アジア地域に居住していることになる。巨大な人口サイズが巨大な市場規模と同一視される根底には、近年におけるアジア諸国の著しい経済成長がある。２１世紀の世界は、巨大なサイズを誇るアジア市場に熱い視線を向けるが、実は、１８・１９世紀においても今日と同様、あるいは今以上に、アジア市場は世界から注目されたのであった。１８・１９世紀当時、世界は一体いかなる状況にあったのか？　その中で、アジア市場はなぜ注目されたのか？　本講義では、現代世界、現代アジアの状況にも常に眼を配りつつ、１８・１９世紀世界とアジア市場、中国市場について歴史的考察を行なう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

１８・１９世紀の世界史的な知識を習得する。(知識・理解)

１８・１９世紀の世界史的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

本講義の予習には、高校世界史Ｂの教科書を一読することを勧める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。１回の講義につき、１５～２０分の復習が望ましい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を３０％、定期試験の結果を７０％として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。　テキストは使用しない。講義に際しては、資料プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義中に詳細な紹介を行なう。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義で主に取り上げるのは１８・１９世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を随時入手しておく必要があろう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．中国茶とヨーロッパ
３．清中国と海外貿易
４．清中国と英国間貿易について
５．英国使節団の訪中と中国市場（１）
６．英国使節団の訪中と中国市場（２）
７．英国使節団の訪中と中国市場（３）
８．アヘン戦争への道（１）
９．アヘン戦争への道（２）
１０．アヘン戦争の実相（１）
１１．アヘン戦争の実相（２）
１２．アヘン戦争とアロー戦争
１３．アヘン戦争の世界史的意味について
１４．１８・１９世紀の世界とアジア市場
１５．本講義のまとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

東洋史Ａ（18・19 世紀の世界とアジア市場）　　2020-S000009412-02 則松　彰文

授業時間割：前期：火・４時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

２０１９年１月段階における世界の人口は、およそ７５億２０００万人で、最も人口の多い中国は１４億人超。第二位のインドの１３億３０００万人を合わせると２７億人を超え、アジアの２大国だけで世界人口の実に３６％を占める事になる。これに東南アジアの６億人、日本の１億人などを加えると、世界の人々の半分近くは、アジア地域に居住していることになる。巨大な人口サイズが巨大な市場規模と同一視される根底には、近年におけるアジア諸国の著しい経済成長がある。２１世紀の世界は、巨大なサイズを誇るアジア市場に熱い視線を向けるが、実は、１８・１９世紀においても今日と同様、あるいは今以上に、アジア市場は世界から注目されたのであった。１８・１９世紀当時、世界は一体いかなる状況にあったのか？　その中で、アジア市場はなぜ注目されたのか？　本講義では、現代世界、現代アジアの状況にも常に眼を配りつつ、１８・１９世紀世界とアジア市場、中国市場について歴史的考察を行なう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

１８・１９世紀の世界史的な知識を習得する。(知識・理解)

１８・１９世紀の世界史的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景や経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

本講義の予習には、高校世界史Ｂの教科書を一読することを勧める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。１回の講義につき、１
５～２０分の復習が望ましい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を３０％、定期試験の結果を７０％として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。テキストは使用しない。講義に際しては、資料プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 講義中に詳細な紹介を行なう。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義で主に取り上げるのは１８・１９世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を随時入手しておく必要があろう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．大航海時代の世界とアジア
３．１８世紀の世界とアジア
４．１９世紀の世界とアジア

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

５．英国使節団の訪中と中国市場（１）
６．英国使節団の訪中と中国市場（２）
７．英国使節団の訪中と中国市場（３）
８．アヘン戦争への道（１）
９．アヘン戦争への道（２）
１０．アヘン戦争の世界史的意味
１１．アヘン戦争とアロー戦争（１）
１２．アヘン戦争とアロー戦争（２）
１３．１９世紀世界と日本の幕末開港
１４．１８・１９世紀の世界とアジア市場
１５．本講義のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

現在のみならず、将来の中国の姿、あるいは中台関係や日中関係、あるいは中米関係、さらには東アジアの国際関係を考えるうえでも重要な、国際政治上の諸アクターの行動を今日も規定し続ける中国近代史を理解することが、本講義の狙いである。

＊なお、最新のニュースなども講義に盛り込むため、適宜スケジュールが変更される場合もありうる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

東洋史Ａ（中国近代史からの東アジア理解）　　2020-S000009412-03 大澤　武司

授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

いわゆる「西洋の衝撃」は、「中華」を中心とする華夷秩序を激震させ、近代東アジア地域秩序を混沌たるものとした。「眠れる獅子」であったはずの中国は帝国主義列強に蚕食され、さらには「東夷」であったはずの日本にまで敗北の屈辱を味わうこととなった。

本講義では、アヘン戦争以来、近代化を模索し、挫折を繰り返しながらも、辛亥革命や国民革命に挑み、さらには抗日戦争を闘い抜き、中華人民共和国建国を達成した近代中国の歩みを学ぶ。周知の通り、中国近代史の影響は現在にまで及んでいる。たとえば、中国と台湾にそれぞれ「中国」の政権が存在し、「統一」や「独立」、あるいは「現状維持」の狭間で互いを牽制しつつも対峙し続けているのは、まさに中国近代史の名残であり、それがその後の国際政治によって固定化されたものである。

中国近代史を軸とする東アジアの基礎的な歴史知識を獲得する。(知識・理解)

19 世紀・20 世紀の東アジアに関する基礎的な歴史知識を自分の言葉で説明できる。(技能)

東アジアの近現代史に対する理解を通じて、現在の東アジアの国際社会を歴史的視点から考察することができるようになる。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

講義はレジュメとパワーポイントを中心に進めるため、受講にあたっては、開講ガイダンス時、さらには各回講義の際にレジュメなどで提示する参考文献の該当箇所を事前・事後に読み込み講義に臨むこと。授業ではコメントペーパーなどを用いた記述問題練習を行うので、その準備・復習も事前・事後に行うこと。なお、事前・事後

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

学習にはそれぞれ授業時間に相当する時間をかけて行うことを求める（事前 60 分・事後 30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業への参加態度・コメントペーパーにおける記述の内容などを含む平常点を 40%、定期試験の結果を 60%として総合的

東洋史Ａ（漢民族とは何か）　2020-S000009412-04 久芳　崇

授業時間割：前期：月・４時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

に評価する。試験の評価基準は、東洋史に関する基礎的な知識の有無、歴史学的考察の有無、独自性などとする。特に指定しない。適宜、プリントなどを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

池田誠ほか編『図説中国近現代史（第３版)』法律文化社、2009 年（ISBN978-4-589-03158-7）
田中仁ほか編『新・図説中国近現代史』法律文化社、2012 年（ISBN978-4-589-03391-8）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

遅刻厳禁。授業中のスマートフォンなどの使用も原則、禁ずる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．講義ガイダンス
２．近代における中国認識－「伝統的中国社会」はどう見られていたのか
３．「華夷秩序」と「西洋の衝撃」―アヘン戦争と不平等条約体制の成立
４．清朝支配への挑戦―「太平天国」の革命性とその限界

◎－－－　テキスト　－－－◎

５．近代化の模索（１）―「洋務運動」とは何か
６．近代化の模索（２）―「洋務運動」が目指したもの
７．最大の挫折としての日清戦争（１）－「瓜分」の青信号
８．最大の挫折としての日清戦争（２）－日清戦争の展開
９．改革の思想－「戊戌維新」と体制改革
10．革命の思想－孫文と「三民主義」
11．辛亥革命－清朝の崩壊と中華民国の成立
12．革命の挫折と軍閥混戦－「流産した革命」
13．民族運動の高揚－「五四」運動
14．国共両党の誕生
15．まとめ

◎－－－　概要　－－－◎

本講義において対象とするのは、おおよそ紀元前３世紀頃から紀元後６世紀頃を中心とした、中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多元的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、特に漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数（9 割以上）を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 東洋史の基礎的な知識と空間構成を説明できる(知識・理解)

現代日本の重要課題たる人口減と移民問題を資料を通じて把握できる(技能) 過去の気候の復元方法について説明できる(知識・理解)

寒冷化に伴う移民の流入が漢民族社会にもたらす変化の全体状況を把握できる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。(60 分)
現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

漢民族がいかにして形成されたかを理解し説明できるかを評価の基準とする。
定期試験により評価（１００％)。
講義中に資料を配付。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

資料の再配付は行わないので注意が必要である。
講義中の退室は基本的に不可である。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．現代日本の人口・移民問題
３．漢民族とは何か（１）
４．漢民族とは何か（２）
５．万里の長城
６．漢と匈奴
７．遊牧民の流入
８．気候変動と歴史
９．過去の気候の復元（１）
10．過去の気候の復元（２）
11．騎馬民族の流入と中国
12．五胡十六国時代
13．北魏孝文帝の改革
14．胡漢融合
15．漢民族の変容

東洋史Ａ（東洋史概説―秦・前漢を中心として―）　2020-S000009412-05

植松　慎悟

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・３時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命（後1911 年）に至るまでの長きにわたった。秦帝国（前221～前206）は短期間のうちに滅亡したものの、その後に成立した漢帝国（前 202～後220）は一時的な中断はある（前漢＝前202～後8、新＝ 8～23、後漢＝25～220）が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

前期では、秦の始皇帝による中国統一から、その後を継いだ前漢時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の形成とその特徴について論じる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の形成について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60 分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

①授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：20%

＊なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業
態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

②定期試験の成績：80%

◎－－－　テキスト　－－－◎

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

通年で受講することが望ましい。初回に講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があり、その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取ること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　イントロダクション
２　日中交流史
３　秦の始皇帝（１）―戦国時代から中国統一へ―
４　秦の始皇帝（２）―始皇帝の統一政策―
５　前漢の高祖（１）―項羽と劉邦―
６　前漢の高祖（２）―高祖の統一政策―
７　前漢の高祖（３）―高祖と冒頓単于―
８　前漢の呂后―呂后は悪女か―
９　前漢の武帝―全盛期の光と影―
１０　前漢の昭帝
１１　前漢の宣帝
１２　前漢の元帝

１３　前漢の成帝
１４　前漢の哀帝
１５　まとめ

評価方法：定期試験 70%　　平常点(小テストを含む)30%評価基準：講義内容の理解に係る基礎的知識を有している。設定した問題について、歴史的社会的背景を踏まえて説明できる。

東洋史Ａ（科挙から見た中国の歴史）

2020-S000009412-06

城井　隆志

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・２時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

前近代の中国の歴史に関する基本的な知識と視点を習得することを目的とし、具体的には科挙をキーワードとして中国史を概観する。科挙とは、エリート官僚任用のための能力試験制度であり、近世中国の統治機構の根幹をなすシステムであった。
1200 年にわたって続いた科挙は、官僚任用制度たるにとどまらず、学問のあり方や社会における身分序列に大きな影響を与えてきた。この科挙の成立・展開・終焉の過程を通して前近代中国の社会、文化の特質を考える。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国の歴史に関する基本的な知識を得られる。(知識・理解)

近世中国の社会・文化の特質をを複眼的、論理的に分析し、表現することができる。(技能)

ある事象を様々な他の諸事象との相互関連の中でとらえ、さらに全体の中で考える歴史的思考力を養うことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

平田茂樹　『科挙と官僚制』　山川出版社（世界史リブレット）　1997　村上哲見　『科挙の話』　講談社学術文庫　2000　岸本美緒　『中国の歴史』　筑摩学芸文庫　2015

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

真摯な受講姿勢を望む。過度の欠席、遅刻は評価に影響する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 序論：科挙と中国文化
2 科挙以前の官僚登用(1)
3 科挙以前の官僚登用(2)
4 唐代の科挙（1)
5 唐代の科挙（2)
6 近世社会の成立：唐宋変革
7 宋代の科挙（1)

東洋史Ａ「教養ゼミ」(現代中国・アジアについて語る)

2020-S000009412-07

山根　直生

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：演習　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し

配付された資料は確実に読み、内容を把握しておく。(60 分)また講義中に当該時期の全般的状況を解説する時間的余裕はないので、各自概説書等（高校世界史教科書なども可）で整理をしておくこと。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

「到達目標」において示した三つの具体的目標について、学期末の定期試験とともに平素の授業への参加度によって、それぞれの到達度を測る。

8 宋代の科挙（2)
9 宋代の科挙（3)
10 明清代の科挙と社会(1)
11 明清代の科挙と社会(2)
12 明清代の科挙と社会(3)
13 清末の「近代化」と科挙廃止(1)
14 清末の「近代化」と科挙廃止(2)
15 まとめ

授業時間割：前期：水・１時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

日本をふくむ東アジアの国際情勢は複雑さを増している。経済的には発展傾向にあるにもかかわらずどの国でも社会問題は数多く、また、長い相互交流の歴史を持ちながらも国際関係は穏やかでない。くわえてこれらの問題を報道し論評する際には、マスコミにせよインターネットにせよ、楽観・悲観、友好的・嫌悪的と、非常に極端な姿勢ばかりが目立つように思われてならない。

このゼミでは、こうしたアジアの国際関係・相互理解の問題に関して、歴史学などの成果も交えつつ率直に語り、学んでいくこととしたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

現代中国・アジアについての知識を文献やマスメディアから得る。（知識・理解）専門分野を異にする人々に向かって発表できる。（技能）専門分野を異にする人々と議論できる。（技能）

上記にふさわしい態度を体得する。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

教員からの配布物や自分の作成したレジュメだけでなく、同クラスの学友らのレジュメも丁寧に整理・保管する習慣をつけること（所要時間不定）。こうした地味な事務作業・情報処理能力の獲得こそ、研究の第一歩である。さらには、日頃から国際的報道にアンテナをはっておくこと（同上）。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

二回の報告で報告者として資料に基づいた円滑な報告ができたか（配点 70 点程度）、参加者として報告内容を活かした議論に加われたか（同 30 点程度）、以上を評価の基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

指定しない。ゼミ中に多数紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

ゼミ中の私語・飲食・着帽・携帯電話の使用は厳に禁じる。発表前の準備にあたっては各自最大限努力すること。遅刻欠席は一切認めない。四年生の就職活動など、やむを得ない場合には事前に連絡し許可を得ること。

ディスカッションに対して積極的な学生の参加を期待する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01. イントロダクション
02. 個別発表 1-3 人目（一人発表 25 分）①
03. 個別発表 4-6 人目（同上）
04. 個別発表 7-9 人目（同上）③
05. 個別発表 10-12 人目（同上）④
06. 個別発表 13-15 人目（同上）
07. 中間総括
08. 個別発表二回目 1-2 人目（一人発表 40 分）①
09. 個別発表二回目 3-4 人目（同上）
10. 個別発表二回目 5-6 人目（同上）③
11. 個別発表二回目 7-8 人目（同上）④
12. 個別発表二回目 9-10 人目（同上）
13. 個別発表二回目 11-12 人目（同上）⑥
14. 個別発表二回目 13-14 人目（同上）
15. 個別発表二回目 15 人目（同上）⑧、総括

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

東洋史Ｂ（幕末開港と 19 世紀の世界）　　2020-S000009418-01 則松　彰文

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、経済成長の著しい中国・インドなどのアジア諸国。それに比するところのヨーロッパは、経済的凋落が著しいばかりか、イギリスの EU からの離脱決定など、EU の相対的地位の低下は否めない。にも関わらず、今日においても、「先進」ヨーロッパ、「後進」とまで言えないにしても「発展途上」のアジアとの認識は、依然として根強く、かつ根深い。今日の状況は勿論のこと、歴史的に遡ってみて、この構図や認識の仕方は果たしては正しいのであろうか？　本講義では、日本の幕末開港に焦点を当てつつ、１９世紀世界における欧米列強とアジア世界の問題を考えたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

１９世紀の日本と世界に関する基礎的な知識を習得する。(知識・理解)

１９世紀の日本と世界に関する歴史的な知識を文章にまとめることができる。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

本講義の予習には、高校日本史 B, および世界史Ｂの教科書を一読することを薦める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。１回の講義につき、１５～２０分の復習が望ましい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を３０％、定期試験の結果を７０％として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。　テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

講義中に詳細に紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義で取り上げるのは１５世紀～１９世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を入手しておく必要があろう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．幕末開港と東アジア（１）
３．幕末開港と東アジア（２）

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

４．１９世紀の世界と東アジア（１）
５．１９世紀の世界と東アジア（２）
６．幕末開港とオランダ（１）
７．幕末開港とオランダ（２）
８．幕末開港とイギリス（１）
９．幕末開港とイギリス（２）
１０．幕末開港とアメリカ（１）
１１．幕末開港とアメリカ（２）
１２．日清戦争と１９世紀世界
１３．日露戦争と２０世紀世界
１４．１９世紀世界におけるアジアの位置
１５．講義のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎
１９世紀の日本と世界に関する基礎的な知識を習得する。(知識・理解)

１９世紀の日本と世界にあｋンする基礎的な知識を文章にまとめることが出来る。(技能)

現代世界や現代アジアを理解するに際して、歴史的背景・経緯を視野に納めて考察するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

東洋史Ｂ（幕末開港と 19 世紀の世界）　2020-S000009418-02 則松　彰文

授業時間割：後期：火・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、経済成長の著しい中国・インドなどのアジア諸国。それに比するところのヨーロッパは、経済的凋落が著しいばかりか、イギリスの EU からの離脱決定など、EU の相対的地位の低下は否めない。にも関わらず、今日においても、「先進」ヨーロッパ、「後進」とまで言えないにしても「発展途上」のアジアとの認識は、依然として根強く、かつ根深い。今日の状況は勿論のこと、歴史的に遡ってみて、この構図や認識の仕方は果たしては正しいのであろうか？　本講義では、日本の幕末開港に焦点を当てつつ、１９世紀世界における欧米列強とアジア世界の問題を考えたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

本講義の予習には、高校日本史Ｂ、および世界史Ｂの教科書を一読することを薦める。また、事後の学習では、講義中に配布された資料に紹介された参考文献の一読が効果的である。１回の講義につき、１５～２０分の復習が望ましい。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

講義終了後に毎回提出して貰うコメント・ペーパーの内容を含む平常点を３０％、定期試験の結果を７０％として総合的に評価する。試験の評価基準は、歴史的な基礎知識の有無、歴史的考察の有無、オリジナリティーである。　テキストは使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

講義中に詳細に紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本講義で取り上げるのは１５世紀～１９世紀であるが、常に現代世界・現代アジアを念頭に置きつつ講義を行なうので、新聞やテレビ等を通じて、現代世界に関する情報を入手しておく必要があろう。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．幕末開港と東アジア（１）
３．幕末開港と東アジア（２）
４．１９世紀の世界と東アジア（１）
５．１９世紀の世界と東アジア（２）
６．幕末開港とオランダ（１）
７．幕末開港とオランダ（２）
８．幕末開港とイギリス（１）
９．幕末開港とイギリス（２）
１０．幕末開港とアメリカ（１）
１１．幕末開港とアメリカ（２）
１２．日清戦争と１９世紀世界
１３．日露戦争と２０世紀世界
１４．１９世紀世界におけるアジアの位置
１５．講義のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

現代中国の歩みはまさに「紆余曲折」であった。毛沢東を最高指導者として新中国を建国した中国共産党は、建国直後の中国を「新民主主義段階」と認識し、長期計画による社会主義社会の実現を目指した。だが、経済復興の進展と国内統治体制の確立は、最高指導者であった毛沢東に自信を抱かしめ、急進的な諸政策を採用させるに至った。いわゆる社会主義社会の実現を目指す「過渡期の総路線」の提起以来、「百花斉放・百家争鳴」や反右派闘争、さらには「大躍進」や「文化大革命」を通じて、「革命国家」の建設が最優先とされた毛沢東時代が終焉するまで、すなわち「前半 30 年」の現代中国は、中国人民にとってまさに苦難の連続であったといえる。

とはいえ、生産力の増大、すなわち経済建設を最優先とする「改革開放」政策を採用した鄧小平時代がすべての中国人民にバラ色の生活をもたらしたわけではない。社会格差の拡大をはじめ、解決すべき問題は山積している。他方、改めていうまでもなく、近年の中国の経済成長は驚くべきものである。そして、これを前提とする中国の「大国化」は、隣人である我々アジアの人々にとっても多大な影響を与えつつある。そこで本講義は、このように変貌を遂げつつある中国を理解するため、「社会主義国家」を標榜する中華人民共和国がいかなる道を歩んできたのか理解することを狙いとする。

東洋史Ｂ（中国現代史からの東アジア理解）　　2020-S000009418-03 大澤　武司

授業時間割：後期：火・５時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

＊なお、最新のニュースなども講義に織り込むため、適宜スケジュールが変更される場合もありうる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国現代史を軸とする東アジアの基礎的な歴史知識を獲得する。(知識・理解)

20 世紀の東アジアに関する基礎的な歴史知識を自分の言葉で説明できる。(技能)

東アジアの近現代史に対する理解を通じて、現在の東アジアの国際社会を歴史的視点から考察することができるようになる。
(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

講義はレジュメとパワーポイントを中心に進めるため、受講にあたっては、開講ガイダンス時、さらには各回講義の際にレジュメなどで提示する参考文献の該当箇所を事前・事後に読み込み講義に臨むこと。授業ではコメントペーパーなどを用いた記述問題練習を行うので、その準備・復習も事前・事後に行うこと。なお、事前・事後学習にはそれぞれ授業時間に相当する時間をかけて行うことを求める（事前 60 分・事後 30 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業への参加態度・コメントペーパーにおける記述の内容などを含む平常点を 40%、定期試験の結果を 60%として総合的に評価する。試験の評価基準は、東洋史に関する基礎的な知識の有無、歴史学的考察の有無、独自性などとする特に指定しない。適宜、プリントなどを配布する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

池田誠ほか編『図説中国近現代史（第３版)』法律文化社、2009 年（ISBN978-4-589-03158-7）
田中仁ほか編『新・図説中国近現代史』法律文化社、2012 年（ISBN978-4-589-03391-8）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

遅刻厳禁。授業中のスマートフォンなどの使用も原則、禁ずる。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．開講ガイダンス
２．国民革命の時代（１）－第一次国共合作から「北伐」へ
３．国民革命の時代（２）－「 四・一二クーデタ」と中国の再統一
４．侵略と抵抗（１）－満州事変の衝撃
５．侵略と抵抗（２）－第二次国共合作と盧溝橋事件①
６．侵略と抵抗（３）－第二次国共合作と盧溝橋事件②
７．革命の成就－太平洋戦争から国共内戦へ
８．新中国の成立－統治基盤の確立と国家統合への挑戦
９．毛沢東型社会主義建設の展開（１）－反右派闘争と大躍進
10．毛沢東型社会主義建設の展開（２）－「内乱」としての文化大革命①

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

11. 毛沢東型社会主義建設の展開（３）－「内乱」としての文化大革命②
12. 改革開放の時代（１）－毛沢東時代から鄧小平時代へ
13. 改革開放の時代（２）－鄧小平の時代
14. 改革開放の時代（３）－習近平の時代
15. まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　到達目標　－－－◎

気候変動により中国社会がどのように変化したかを説明できる。（知識・理解）

伝統文化とはどのようにして形成されるかを説明できる。

東洋史Ｂ（漢民族と伝統文化の形成）　2020-S000009418-04 久芳　崇

授業時間割：後期：月・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義において対象とするのは、おおよそ１世紀以降、８世紀頃を中心に、現在に至るまでの中国を中心とする東洋の歴史である。しかしここではそれを単に「王朝交替」の枠内で孤立的に捉えようとするものではない。中国周辺諸地域や東アジア世界、そして時にはユーラシア世界をも包摂する広大な地理的空間のなかで、中国の歴史を相対的・客観的に捉え、それが周辺諸地域の多様な文化圏との密接な交流と相互作用のなかで流動的に変容・展開してゆく諸相を多元的に概括してゆこうとするものである。

本講義では、本年度前期の東洋史Ａ（久芳担当）に続いて、漢民族の形成過程について着目し検討してゆきたい。現在の中華人民共和国の大多数（9割以上）を占めるとされる漢民族が、長期にわたる周辺諸地域との交流・抗争を経て、どのように変容してきたのか。こうした点を明らかにすることにより、今日我々が思い浮かべる単一的なイメージとしての漢民族が、極めて多様な民族との抗争と融合の結果、形成されたものであることを明らかとしてゆきたい。

（技
能）

遊牧民との融合により漢民族はどのように形成されたかを説明できる。（態度・志向性）

人口減と移民の流入という現代社会の問題を、過去の漢民族の形成の事例との比較から把握し、これを根拠に日本の将来像を独自に推測できるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

事前・事後に配付資料を熟読することが重要となる。（60分）現代社会の諸問題について関心を抱き、新聞・雑誌などに積極的に目を通し、それらと歴史展開とを関連づけて理解することが重要となる。（60分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

漢民族がいかにして形成されたか、伝統文化とはどのようにして形成されるかを理解し説明できるかを評価の基準とする。
定期試験により評価（100%）。
講義中に資料を配付。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

本年度前期・東洋史 A（久芳担当）を受講していることが望ましい。
資料の再配付は行わないので注意が必要である。
講義中の退室は基本的に不可である。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．気候変動と遊牧民の移動
３．北魏から唐へ
４．唐王朝は漢民族王朝か？
５．漢民族の食習慣の変遷
６．『斉民要術』の世界
７．漢民族の住習慣の変遷
８．敦煌壁画の世界
９．『清明上河図』の世界
10.『清俗紀聞』とイス
11. 漢民族の衣服の変遷
12. 漢民族の男女交流の変遷
13. 恋愛小説の誕生
14. 唐王朝よりのちの漢民族
15. 現代の漢民族

東洋史Ｂ（東洋史概説―新・後漢・三国時代を中心として―）　2020-S000009418-05

植松　慎悟

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・３時限　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

近くて遠い国、中国。わが国の歴史とも密接な関係をもつ中国は、国際的な影響力も大きく、この中国について学ぶことは非常に重要であろう。しかしながら、中国について学ぶとき、多くの現代日本人に欠けている視点が歴史的な考察・分析といえる。

周知のように、中国の歴史がもつ大きな特徴の一つが、2000年以上、皇帝を頂点とする国家体制を維持し続けたことである。それは、紀元前221年、秦の始皇帝が初めて中国を統一してから、最後の王朝である清朝を終焉させた辛亥革命（後1911 年）に至るまでの長きにわたった。秦帝国（前221～前206）は短期間のうちに滅亡したものの、その後に成立した漢帝国（前 202～後220）は一時的な中断はある（前漢＝前202～後8、新＝ 8～23、後漢＝25～220）が、統一帝国としては400年以上、存続した。東アジア最古の帝国である秦漢帝国は、後世の中国王朝ばかりでなく、古代日本や朝鮮半島の国家形成にも大きな影響を与えたのである。

後期では、王莽の新王朝・後漢時代から、三国時代までの歴史を主な内容として扱う。とくに、各時代に活躍した改革者を講義の中軸に据え、その人物像や時代背景、改革の内容・結果・影響などを考察し、秦漢帝国の発展と後世への影響について論じる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中国古代に関する基礎的な知識を身に付け、皇帝制度の発展について説明できる。(知識・理解)

中国に関する書籍・報道・言論などを多角的に捉え、自分なりの考えをまとめることができる。(技能)

中国の歴史や社会に関心を持ち、自分なりに理解を深めようとする志向性を持つ。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

本講義では、前回までの内容をふまえ、講義を進めていく。毎回、授業の板書やプリントを見直し、しっかりと復習すること。理解が不十分な部分は、初回で紹介した推薦図書などで確認をとっておくこと。(60 分)

予習については、東洋史を含めて書籍・報道などで幅広く知識や教養を身に付けること。とくに、大学生として恥ずかしくない読書量を確保すること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

以下の基準・方法・配分で成績を評価する。

①授業中に配布した感想カードに、感想・疑問・意見など自分なりの考えをまとめる：20%

＊なお、欠席は到達目標の達成にマイナスであり、減点の対象になり得るので、注意すること。当然、私語・遅刻など授業
態度についても、成績評価の際に適宜考慮する。

②定期試験の成績：80%

◎－－－　テキスト　－－－◎

特に使用しない。資料が必要な場合はプリントを配布する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

前期開講の東洋史Ａ（植松担当）と合わせて受講することが望ましい。初回に講義のガイダンスを行うので、出席すること。講義の進行具合によって授業計画を変更する場合があり、その際は授業中に指示する。

また、講師および他の学生が円滑な授業を進めるうえで、これを阻害する一切の行為を禁止する。違反した学生に対しては厳正に対処するので、この点を承知した者のみ受講すること。

さらに、本講義は、板書を中心に進めるので、授業を集中して聞き、適宜ノートを取ること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　イントロダクション
２　新の王莽―王莽は「簒奪者」か―
３　後漢の光武帝（１）―統一帝国の崩壊と再建―
４　後漢の光武帝（２）―光武帝と「漢委奴国王」―
５　後漢の明帝
６　後漢の章帝
７　後漢の外戚政権
８　後漢中期
９　後漢後期
１０　後漢の衰退と三国時代の幕開け
１１　魏の曹操
１２　呉の孫権

１３　蜀の劉備
１４　三国時代と卑弥呼の外交
１５　まとめ

評価方法：定期試験 70%　　平常点(小テストを含む)30%評価基準：講義内容の理解に係る基礎的知識を有している。設定した問題について、歴史的社会的背景を踏まえて説明できる。

東洋史Ｂ（中国近世の国際関係）

2020-S000009418-06

城井　隆志

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

現代の中国は国際社会において日々存在感を強めているが、そうした中国を形成した歴史に関する基本的な知識と視点を習得することを目的とする。ユーラシア東部に広大な領域を占め古い文明を誇る中国が、歴史上周辺諸国に大きな影響を与えてきたことはいうまでもないが、中国自身も周辺との関わりの中で自らを形成しかつ変容してきた。今日、「中国人」の 9 割以上を占める漢民族自体も周辺諸民族との複雑な関わりの中で形成されたものだし、その文化にも外来の要素が多く含まれている。中国という単一で固定的なまとまりが古代から今日まで一貫して存続してきたわけではない。
本講では「中国とは何か」という問いを、周辺諸勢力との関わりの歴史を通して考えていく。中国と周辺諸勢力との政治的関係、交易によるモノ・カネの動きの推移を軸に中国史の展開を概観し、中国社会の政治的・経済的特質、変化の様相を考察する。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 中国の歴史に関する基本的な知識を得られる。(知識・理解)

中国社会が周辺諸勢力との密接な関わりの中で展開したことを理解し、その関係の特徴を複眼的、論理的に分析し、表現することができる。(技能)

ある事象を様々な他の諸事象との相互関連の中でとらえ、さらに全体の中で考える歴史的思考力を養うことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

配付された資料は確実に読み、内容を把握しておく。(60 分)
また講義中に当該時期の全般的状況を解説する時間的余裕はないので、各自概説書等（高校世界史教科書なども可）で整理をしておくこと。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

「到達目標」において示した三つの具体的目標について、学期末の定期試験とともに平素の授業への参加度によって、それぞれの到達度を測る。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎

『中国の歴史』　岸本美緒　ちくま学芸文庫　2015 年
『倭寇　海の歴史』　田中健夫　講談社学術文庫　2012 年
『中国経済史』　岡本隆司編　名古屋大学出版会　2013 年

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

真摯な受講姿勢を望む。過度の欠席、遅刻は評価に影響する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 序論：「中国」とは何か
2 「中国」（中華）の形成
3 中華の分裂と胡漢融合
4 北方遊牧国家と隋・唐（1）
5 北方遊牧国家と隋・唐（2）
6 宋代の国際関係（1）
7 宋代の国際関係（2）
8 モンゴル帝国下の中国（1）
9 モンゴル帝国下の中国（2）
10 明朝の対外政策
11 北虜南倭：東アジアの交易ブーム(1)
12 北虜南倭：東アジアの交易ブーム(2)
13 北虜南倭：東アジアの交易ブーム(3)
14 清朝の成立と国際秩序の再編
15 まとめ

東洋史Ｂ「教養ゼミ」(現代中国・アジアについて語り、議論する)　2020-S000009418-07

山根　直生

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し
授業時間割：後期：水・１時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

日本をふくむ東アジアの国際情勢は複雑さを増している。経済的には発展傾向にあるにもかかわらずどの国でも社会問題は数多く、また、長い相互交流の歴史を持ちながらも国際関係は穏やかでない。くわえてこれらの問題を報道し論評する際には、マスコミにせよインターネットにせよ、楽観・悲観、友好的・嫌悪的と、非常に極端な姿勢ばかりが目立つように思われてならない。

このゼミでは、こうしたアジアの国際関係・相互理解の問題に関して、歴史学などの成果も交えつつ率直に語り、学んでいくこととしたい。後期では特に「議論」の習熟にも力点を置く。

◎－－－　到達目標　－－－◎

現代中国・アジアについての知識を文献やマスメディアから得る。(知識・理解) 専門分野を異にする人々に向かって発表できる。(技能) 専門分野を異にする人々と議論できる。(技能)
上記にふさわしい態度を体得する。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

教員からの配布物や自分の作成したレジュメだけでなく、同クラスの学友らのレジュメも丁寧に整理・保管する習慣をつけること (所要時間不定)。こうした地味な事務作業・情報処理能力の獲得こそ、研究の第一歩である。さらには、日頃から国際的報道にアンテナをはっておくこと (同上)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

二回の報告で報告者として資料に基づいた円滑な報告ができたか (配点 70 点程度)、参加者として報告内容を活かした議論に加われたか (同 30 点程度)、以上を評価の基準とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

指定しない。ゼミ中に多数紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

ゼミ中の私語・飲食・着帽・携帯電話の使用は厳に禁じる。発表前の準備にあたっては各自最大限努力すること。遅刻欠席は一切認めない。四年生の就職活動など、やむを得ない場合には事前に連絡し許可を得ること。

ディスカッションに対して積極的な学生の参加を期待する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01. イントロダクション
02. 個別発表 1-3 人目(一人発表 25 分)①
03. 個別発表 4-6 人目 (同上)
04. 個別発表 7-9 人目 (同上) ③
05. 個別発表 10-12 人目 (同上) ④
06. 個別発表 13-15 人目 (同上)
07. 中間総括
08. 個別発表二回目 1-2 人目 (一人発表 40 分) ①
09. 個別発表二回目 3-4 人目 (同上)
10. 個別発表二回目 5-6 人目 (同上) ③
11. 個別発表二回目 7-8 人目 (同上) ④
12. 個別発表二回目 9-10 人目 (同上)
13. 個別発表二回目 11-12 人目 (同上) ⑥
14. 個別発表二回目 13-14 人目 (同上)
15. 個別発表二回目 15 人目 (同上) ⑧、総括

芸術Ａ (文化遺産・世界遺産・近代化遺産①)　2020-S000009433-01

植野　健造

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：有り　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・２時限　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形 (不動産・可動文化財)・無形の文化的所産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存

や活用に関する身近な具体的事例説明もおりまぜ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々に身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと（予習目標 60 分)。
授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと（復習目標 60 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々に提出してもらう短い感想文などの平常点 30%、期末試験 70%を目安として総合的に評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

砂田光紀『九州遺産』(弦書房、2005 年 6 月)

◎－－－　参考書　－－－◎ 適宜指示します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　ガイダンス　授業の内容説明
2　九州の産業遺産　治水利水建造物等
3　九州の産業遺産　農業施設・用水路等　(1)
4　九州の産業遺産　農業施設・用水路等　(2)
5　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(1)
6　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(2)
7　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(3)
8　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(4)
9　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(5)
10　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(6)
11　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(7)
12　九州の産業遺産　鉄道車両
13　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(1)
14　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(2)
15　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(3)

芸術Ａ「BB」（西洋美術の味わい方入門）　2020-S000009433-02 浦上　雅司

授業時間割：前期：金・二部１時限　　試験時間割：2020/07/31　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な術館についても紹介します。。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください)。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30 分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60 分) 事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60 分) ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60 分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期筆記試験を課す。毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験６割、感想カード４割が大まかな目安。　授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

特になし。

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります)
ウェブ上のバーチャル美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　イントロダクション：福岡の美術館と現代美術
２　現代美術の特質とその見方
３　西洋古絵画を「読む」
４　世界の美術館（その１）ルーヴル美術館
５　ルネサンス絵画の始まり：ジォットー
６　ゴシック絵画の魅力：14 世紀シエナ絵画
７　国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブール兄弟
８　世界の美術館（その２）ウフィツィ美術館
９　イタリアルネサンス：マザッチォ
１０　北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
１１　北方ルネサンスとイタリアルネサンス
１２　世界の美術館（その３）美術史美術館

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

１３　ルネサンス絵画と古代神話：ボッティチェリ
１４　聖母の画家ラファエロ
１５　授業内容の総括

◎－－－　テキスト　－－－◎

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと（予習目標 60 分)。

授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと（復習目標 60 分)。

芸術Ａ（文化遺産・世界遺産・近代化遺産①）

2020-S000009433-03

植野　健造

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：有り　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・３時限　　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形（不動産・可動文化財)・無形の文化的所産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存や活用に関する身近な具体的事例説明もおりまぜ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々に身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々に提出してもらう短い感想文などの平常点 30%、期末試験 70%を目安として総合的に評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

砂田光紀『九州遺産』(弦書房、2005 年 6 月)

◎－－－　参考書　－－－◎ 適宜指示します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　ガイダンス　授業の内容説明
２　九州の産業遺産　治水利水建造物等

3　九州の産業遺産　農業施設・用水路等　(1)
4　九州の産業遺産　農業施設・用水路等　(2)
5　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(1)
6　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(2)
7　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(3)
8　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(4)
9　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(5)
10　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(6)
11　九州の産業遺産　交通運輸建造物　(7)
12　九州の産業遺産　鉄道車両
13　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(1)
14　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(2)
15　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(3)

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30 分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60 分) 事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60 分) ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60 分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

芸術Ａ（西洋美術の味わい方入門）　2020-S000009433-04 浦上　雅司

授業時間割：前期：火・１時限　　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な術館についても紹介します。。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください)。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期筆記試験を課す。毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験６割、感想カード４割が大まかな目安。　授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

特になし。

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります)
ウェブ上のバーチャル美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　イントロダクション：福岡の美術館と現代美術
２　　現代美術の特質とその見方
３　　西洋古絵画を「読む」
４　　世界の美術館（その１）ルーヴル美術館
５　　ルネサンス絵画の始まり：ジォットー
６　　ゴシック絵画の魅力：14 世紀シエナ絵画
７　　国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブール兄弟
８　　世界の美術館（その２）ウフィツィ美術館
９　　イタリアルネサンス：マザッチォ
１０　北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
１１　北方ルネサンスとイタリアルネサンス
１２　世界の美術館（その３）美術史美術館
１３　ルネサンス絵画と古代神話：ボッティチェリ
１４　聖母の画家ラファエロ
１５　授業内容の総括

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

芸術Ａ（西洋美術の味わい方入門）　2020-S000009433-05 浦上　雅司

授業時間割：前期：火・５時限　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、まず、現代における美術の意義について具体的な作例をとりあげながら理解を進めます。その上で、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作品取り上げつつ、絵画の歴史を概観します。毎回、代表的な作家とその作品を紹介し、その特徴と時代背景などについて概説し、これによって絵画の見方（絵画作品を歴史的な枠組みに位置づけ、その特徴を理解すること）を体得することを目指します。またヨーロッパの主な術館についても紹介します。。

なお、毎回の授業スライド抄録や関連した情報を「ムードル」サイトで提供しています（「福岡大学、ムードル」で検索してください)。

さらに、授業では毎回、復習問題を配付しますから、授業後にやってみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋絵画史の主要な作品とその特質について知り、絵画の見方を体得する。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30 分）授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60 分）事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60 分）ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60 分）次回の冒頭に答え合わせをします。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期筆記試験を課す。毎回、感想カードを実施します。成績評価は定期試験と感想カードを総合して行います。定期試験６割、感想カード４割が大まかな目安。　授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準です。感想カードは授業内容の理解度と作文能力によって評価されます。

特になし。

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にあります)
ウェブ上のバーチャル美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　イントロダクション：福岡の美術館と現代美術
２　現代美術の特質とその見方
３　西洋古絵画を「読む」
４　世界の美術館（その１）ルーヴル美術館
５　ルネサンス絵画の始まり：ジォットー
６　ゴシック絵画の魅力：14 世紀シエナ絵画
７　国際ゴシック絵画と写本装飾：ランブール兄弟
８　世界の美術館（その２）ウフィツィ美術館
９　イタリアルネサンス：マザッチォ
１０　北方ルネサンス：ヤン・ファン・エイク
１１　北方ルネサンスとイタリアルネサンス
１２　世界の美術館（その３）美術史美術館

芸術Ａ（西洋美術の歴史―ヨーロッパの都市をめぐる）

落合　桃子

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

１３　ルネサンス絵画と古代神話：ボッティチェリ
１４　聖母の画家ラファエロ
１５　授業内容の総括

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

解）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

2020-S000009433-0(

授業時間割：前期：木・３時限　　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、古代ギリシャから 20 世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回ヨーロッパやアメリカの都市を一つ取り上げ、関連する絵画・彫刻・建築などをパワーポイント等で紹介していきます。

美術の歴史は国家や政治、経済などと密接に関わりながら展開されてきました。それぞれの時代に繁栄した都市を軸に美術を見ていくことで、古代ギリシャから 20 世紀までの約 2500 年にわたる西洋文明の歴史をたどります。

西洋美術史を学ぶことにより、高校までに学んできた知識としての世界史を、より現実感のあるものとして理解できるようになるでしょう。

また現代では、たとえばテレビの CM や CD のジャケットなどで、西洋美術のイメージがしばしば引用されています。美術の歴史を知ることで、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるはずです。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)
・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

『カラー版西洋美術史（増補新装版)』　ISBN 978-4568400649
『新西洋美術史』　ISBN 978-4890135837

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。

パリ②：新古典主義とロマン主義第 12 回
パリ③：印象派とキュビスム第 13 回
ミュンヘン：ドイツの近現代美術第 14 回
ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術
第 15 回まとめ

芸術Ａ（西洋美術の歴史―ヨーロッパの都市をめぐる）

落合　桃子

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回
アテネ：古代ギリシャの美術第 2 回
ローマ①：古代ローマの美術第 3 回
イスタンブール：ビザンティンの美術第 4 回
フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術第 5 回
ローマ②：ルネサンスとバロックの美術第 6 回
ウィーン：北方ルネサンスの美術第 7 回
マドリード：スペイン黄金時代の美術第 8 回
パリ①：フランス古典主義とロココの美術第 9 回
アムステルダム：17 世紀のオランダの美術第 10 回
ロンドン：18 世紀のイギリス美術第 11 回
パリ②：新古典主義とロマン主義第 12 回
パリ③：印象派とキュビスム第 13 回
ミュンヘン：ドイツの近現代美術第 14 回
ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術
第 15 回まとめ

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理
解)

◎－－－　概要　－－－◎

　この講義では、古代ギリシャから 20 世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回ヨーロッパやアメリカの都市を一つ取り上げ、関連する絵画・彫刻・建築などをパワーポイント等で紹介していきます。

　美術の歴史は国家や政治、経済などと密接に関わりながら展開されてきました。それぞれの時代に繁栄した都市を軸に美術を見ていくことで、古代ギリシャから 20 世紀までの約 2500 年にわたる西洋文明の歴史をたどります。

　西洋美術史を学ぶことにより、高校までに学んできた知識としての世界史を、より現実感のあるものとして理解できるようになるでしょう。

　また現代では、たとえばテレビの CM や CD のジャケットなどで、西洋美術のイメージがしばしば引用されています。美術の歴史を知ることで、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるはずです。

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)
・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)

定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。

2020-S000009433-07

授業時間割：前期：木・４時限　　試験時間割：2020/07/25　１時限

芸術Ａ（西洋美術の歴史―ヨーロッパの都市をめぐる）

落合　桃子

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

『カラー版西洋美術史（増補新装版)』　ISBN 978-4568400649
『新西洋美術史』　ISBN 978-4890135837

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回
アテネ：古代ギリシャの美術第 2 回
ローマ①：古代ローマの美術第 3 回
イスタンブール：ビザンティンの美術第 4 回
フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術第 5 回
ローマ②：ルネサンスとバロックの美術第 6 回

定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

ウィーン：北方ルネサンスの美術第 7 回

2020-S000009433-08

授業時間割：前期：金・２時限　　試験時間割：2020/07/25　１時限

マドリード：スペイン黄金時代の美術第 8 回
パリ①：フランス古典主義とロココの美術第 9 回
アムステルダム：17 世紀のオランダの美術第 10 回
ロンドン：18 世紀のイギリス美術第 11 回

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、古代ギリシャから 20 世紀までの西洋美術の歴史を学びます。毎回ヨーロッパやアメリカの都市を一つ取り上げ、関連する絵画・彫刻・建築などをパワーポイント等で紹介していきます。

美術の歴史は国家や政治、経済などと密接に関わりながら展開されてきました。それぞれの時代に繁栄した都市を軸に美術を見ていくことで、古代ギリシャから 20 世紀までの約 2500 年にわたる西洋文明の歴史をたどります。

西洋美術史を学ぶことにより、高校までに学んできた知識としての世界史を、より現実感のあるものとして理解できるようになるでしょう。

パリ②：新古典主義とロマン主義第 12 回
パリ③：印象派とキュビスム第 13 回
ミュンヘン：ドイツの近現代美術第 14 回
ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術
第 15 回まとめ

芸術Ａ（西洋美術の歴史―ヨーロッパの都市をめぐる）

落合　桃子

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

　また現代では、たとえばテレビの CM や CD のジャケットなどで、西洋美術のイメージがしばしば引用されています。美術の歴史を知ることで、私たちが生きる現代をも新たな目で見られるようになるはずです。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を身に付けること(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)
・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

西洋の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価基準とします。
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

『カラー版西洋美術史（増補新装版)』　ISBN 978-4568400649
『新西洋美術史』　ISBN 978-4890135837

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回
アテネ：古代ギリシャの美術第 2 回
ローマ①：古代ローマの美術第 3 回
イスタンブール：ビザンティンの美術第 4 回
フィレンツェ：イタリア・ルネサンスの美術第 5 回
ローマ②：ルネサンスとバロックの美術第 6 回
ウィーン：北方ルネサンスの美術第 7 回
マドリード：スペイン黄金時代の美術第 8 回
パリ①：フランス古典主義とロココの美術第 9 回
アムステルダム：17 世紀のオランダの美術第 10 回
ロンドン：18 世紀のイギリス美術第 11 回
パリ②：新古典主義とロマン主義第 12 回
パリ③：印象派とキュビスム第 13 回
ミュンヘン：ドイツの近現代美術第 14 回
ニューヨーク：ダダと第二次世界大戦後の美術
第 15 回まとめ

定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。

芸術Ａ（日本の美術館のこれまで ー1870 年代から 2000 年にかけて）　2020-S000009433-09

川浪　千鶴

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：有り　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・４時限　試験時間割：2020/07/25　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

日本において、明治期に原点をもつ「美術館」という文化施設は、戦後以降全国各地で一斉に整備され、現在その数は公立、私立、類似施設まで含めると 1000 館近くにのぼるといわれます。世界に日本の文化度を示すバロメーターともいわれる美術館は、私たちの暮らしにすっかり定着した感がありますが、その成り立ちや歴史については、あまり知られていないのが現状です。

本講義では、日本において美術館はどのような理由で生まれ、どのように理解、受容され、どのように整備、発展してきたのか、日本の美術館が歩んできた 1870 年代から 2000 年にかけての道のりを歴史的に考察することで、美術館の役割とこれからの可能性について検証していきます。

担当教員は、九州と四国の美術館学芸員として 35 年を超える勤務経験と、戦後から現代の美術やミュージアム・マネジメント、地域アートと美術館などの専門性を活かした活動実績を持っています。福岡・九州を始めとする全国の美術館の具体的な事例をもとに、こうした実務経験を活かして、わかりやすく紹介していきます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日本の美術館の歴史に関する基本的な知識を身につけ、その概略を説明することができる(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業内容に関連する美術館や展覧会なども随時紹介します。受講期間中に、身近な美術館から積極的に訪問し、できるだけ自分なりの利用体験をしてください。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業内容の理解度と自分の考えをまとめる作文能力について、下記の方法で総合的に評価します。

1，定期試験（記述形式）　50%
2，講義時に毎回提出してもらう感想カード　50%

◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しません。必要に応じて、年表資料などを配付します。

◎－－－　参考書　－－－◎

全国美術館会議　美術館リンク集
http://www.zenbi.jp/link.php

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

美術館とその歴史については、知識の受容だけではなく自分の目で見て、感じ、考えることが重要です。全国の美術館のライブな情報提供に努めますので、授業内外での積極的な参加をお願いします。なお、講義内容を予告なしに変更する場合があります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1，イントロダクション
2，美術館の原点(1) 1870 年代～1940 年代
ー「言葉としての美術館、建物としての美術館」：東京府美術館から東京都美術館へ
3，美術館の原点(2)ー「コレクションとしての美術館」：大原美術館
4，第 1 世代・戦後から 70 年代の美術館(1)
ー「催事施設としての美術館」：福岡県文化会館、福岡県立美術館
5，第 1 世代・戦後から 70 年代の美術館(2)
ー近代美術館の登場：神奈川県立近代美術館、東京国立近代美術館、兵庫県立近代美術館
6，第 1 世代・戦後から 70 年代の美術館(3)：ブリジストン美術館と石橋美術館
7，第 2 世代・70 年代から 80 年代の美術館(1)
ー「機関としての美術館」：北九州市立美術館
8，第 2 世代・ 70 年代から 80 年代の美術館(2)：福岡市美術館
9，　第 2 世代・70 年代から 80 年代の美術館(3)：ーコレクションという財産・熊本県立美術館

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

10,　第 3 世代・80 年代後半から 2000 年の美術館(1) ー「機能としての美術館」: 福岡アジア美術館
11,　第 3 世代・80 年代後半から 2000 年の美術館(2) : ー日本初の現代美術館・広島市現代美術館
12,　第 3 世代・80 年代後半から 2000 年の美術館(3) : ー九州初の現代美術館・熊本市現代美術館
13,　第 3 世代・80 年代後半から 2000 年の美術館(4) : ー四国の美術館事情・高知県立美術館
14,　第 3 世代・80 年代後半から 2000 年の美術館(5)
ー小規模美術館の挑戦・坂本善三美術館、つなぎ美術館
15,　まとめ

◎ーーー　テキスト　ーーー◎

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと（予習目標 60 分)。

授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと（復習目標 60 分)。

◎ーーー　成績評価基準および方法　ーーー◎

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々に提出してもらう短い感想文などの平常点

芸術Ｂ（文化遺産・世界遺産・近代化遺産②）

2020-S000009434-01

植野　健造

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：有り　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・２時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎ーーー　概要　ーーー◎

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形（不動産・可動文化財)・無形の文化的所産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存や活用に関する身近な具体的事例説明もおりまぜ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

◎ーーー　到達目標　ーーー◎

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々に身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

◎ーーー　授業時間外の学習(予習・復習)　ーーー◎

30%、期末試験 70%を目安として総合的に評価します。

◎ーーー　テキスト　ーーー◎

砂田光紀『九州遺産』(弦書房、2005 年 6 月)

◎ーーー　参考書　ーーー◎　適宜指示します。

◎ーーー　履修上の留意点　ーーー◎

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

◎ーーー　授業計画　ーーー◎

1　ガイダンス　授業の内容説明
2　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(1)
3　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(2)
4　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(3)
5　九州の産業遺産　工場・関連施設
6　九州の産業遺産　造船施設
7　九州の産業遺産　軍事・基地施設
8　九州の産業遺産　軍事・要塞・砲台
9　九州の産業遺産　軍事・原爆被爆構造物
10　九州の産業遺産　公共・公会堂
11　九州の産業遺産　公共・学校

12　九州の産業遺産　公共・宗教施設
13　九州の産業遺産　商業・ホテル
14　九州の産業遺産　商業・銀行
15　九州の産業遺産　商業・店舗群

定期筆記試験を課す。毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験６割、感想カード４割が目安です。
定期試験では、授業で毎回呈示するポイントの理解度、

芸術Ｂ「BB」（西洋近代絵画の魅力）　　2020-S000009434-02 浦上　雅司

授業時間割：後期：金・二部１時限　　試験時間割：2021/01/22　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった１９世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を１８世紀から１９世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。
その上で、新古典主義からロマン主義、レアリスム、印象主義と連なるフランス１９世紀絵画の流れを、１９世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。
なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学　ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。
また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30 分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60 分) 事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60 分) ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60 分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

作文能力の優劣が定期試験評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さと作文力によって評価されます。
特になし。

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）ウエブ上の美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　現代美術の状況とその起源
２　ロマン主義の美術観
３　ロココの魅力：ワトー
４　世界の美術館（１）ロンドン、ナショナルギャラリー
５　ロココへの反発：１８世紀半ばの趣味の変化
６　新古典主義絵画：ダヴィッド
７　フランス革命期の美術
８　世界の美術館（２）ドレスデン国立絵画館
９　イギリスにおける新しい絵画動向
１０　19 世紀フランスのアカデミズム絵画
１１　ロマン派：ドラクロワ
１２　世界の美術館（その３）アルテ・ピナコテーク美術館
１３　レアリスム（１）：クールベ
１４　レアリスム（２）：マネと印象派
１５　19 世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

芸術Ｂ（文化遺産・世界遺産・近代化遺産②）　　2020-S000009434-03

植野　健造

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：有り　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・３時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

芸術といえば、美術、音楽、文学、演劇、映画など、さまざまな表現と内容があります。この授業では、芸術一般ではなく、文化遺産を対象にします。文化遺産は、広義では人類の文化的活動によって生み出された建造物、遺跡、美術品、音楽、演劇などの有形（不動産・可動文化財）・無形の文化的所産のことをいうが、ここでは、近年社会的に注目を集めている、おもに世界遺産、近代化遺産について、九州を中心に具体的事例をとりあげてみてゆきます。

美術館学芸員としての勤務経験がある教員が、テキストの講読を中心としながら、文化遺産、近代化遺産の保存や活用に関する身近な具体的事例説明もおりまぜ、時には画像映写なども行いながら授業を進めます。

◎－－－　到達目標　－－－◎

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概念を理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産の代表的な事例を学び、教養として理解する。(知識・理解)

・文化遺産、世界遺産、近代化遺産を各自の以後の人生の中で時々に身近な問題として考える態度を養う。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

教科書の次回授業該当部分を事前に読んでおくこと（予習目標 60 分)。

授業後に、専門用語などを復習、記憶しておくこと（復習目標 60 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

文化遺産、世界遺産、近代化遺産の概要と事例を、どの程度まで理解できているかどうかを評価の基準とします。時々に提出してもらう短い感想文などの平常点 30%、期末試験 70%を目安として総合的に評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

砂田光紀『九州遺産』(弦書房、2005 年 6 月)

◎－－－　参考書　－－－◎　適宜指示します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

文化遺産を含めた芸術に関心をもつことが前提です。そのためには身近にある文化遺産や近代化遺産に行ってみることを勧めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　ガイダンス　授業の内容説明
2　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(1)
3　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(2)
4　九州の産業遺産　鉱山・炭坑施設　(3)
5　九州の産業遺産　工場・関連施設
6　九州の産業遺産　造船施設
7　九州の産業遺産　軍事・基地施設
8　九州の産業遺産　軍事・要塞・砲台
9　九州の産業遺産　軍事・原爆被爆構造物
10　九州の産業遺産　公共・公会堂
11　九州の産業遺産　公共・学校
12　九州の産業遺産　公共・宗教施設
13　九州の産業遺産　商業・ホテル
14　九州の産業遺産　商業・銀行
15　九州の産業遺産　商業・店舗群

芸術Ｂ（西洋近代絵画の魅力）　2020-S000009434-04 浦上　雅司

授業時間割：後期：火・１時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

　この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった１９世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を１８世紀から１９世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。
　その上で、新古典主義からロマン主義、レアリスム、印象主義と連なるフランス１９世紀絵画の流れを、１９世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。
　なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学　ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。
　また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。(30 分) 授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。(60 分) 事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。(60 分) ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。(60 分) 次回の冒頭に答え合わせをします。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

　定期筆記試験を課す。毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験６割、感想カード４割が目安です。
　定期試験では、授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さと作文力によって評価されます。
　特になし。

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）ウエブ上の美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　現代美術の状況とその起源
２　ロマン主義の美術観
３　ロココの魅力：ワトー
４　世界の美術館（１）ロンドン、ナショナルギャラリー
５　ロココへの反発：１８世紀半ばの趣味の変化
６　新古典主義絵画：ダヴィッド
７　フランス革命期の美術
８　世界の美術館（２）ドレスデン国立絵画館
９　イギリスにおける新しい絵画動向
１０　19 世紀フランスのアカデミズム絵画
１１　ロマン派：ドラクロワ
１２　世界の美術館（その３）アルテ・ピナコテーク美術館
１３　レアリスム（１）：クールベ
１４　レアリスム（２）：マネと印象派
１５　19 世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

芸術Ｂ（西洋近代絵画の魅力）　2020-S000009434-05 浦上　雅司

授業時間割：後期：火・５時限　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、現代美術の最も重要な源泉であった１９世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解することを目指します。具体的には、まず、われわれの身の回りにある美術の現状を確認し、その成り立ちの歴史的経緯を１８世紀から１９世紀にかけての美術趣味の変化から説明します。

その上で、新古典主義からロマン主義、レアリスム、印象主義と連なるフランス１９世紀絵画の流れを、１９世紀アカデミスム絵画との関連も視野に入れながら概説します。その間、当該時期の作品を収集する世界の主要な美術館とそのコレクションについても紹介します。

なお、毎回の授業のスライド抄録など学習を助ける情報をムードルで提供します（「福岡大学　ムードル」で検索してください）から、積極的に活用しましょう。

また、毎回、事後学習を助けるための復習問題を配付しますから、授業後にやってみるようにしましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀フランス絵画の特質を歴史的に理解する。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

事前学習：授業内容について「小学館世界美術全集」などで調べておきましょう。（30 分）授業内容について「ムードル」掲載の情報をチェックし予め概略を理解しておきましょう。（60 分）事後学習：毎回呈示するポイントについて「小学館世界美術全集」などでより詳しく学習しましょう。（60 分）ムードルで提供する情報を見ながら、授業の最後に配布する復習問題を家でやってみましょう。（60 分）次回の冒頭に答え合わせをします。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期筆記試験を課す。毎回感想カードを提出してもらいます。成績評価は定期試験、感想カードを総合して行いますが、定期試験６割、感想カード４割が目安です。

定期試験では、授業で毎回呈示するポイントの理解度、作文能力の優劣が定期試験評価の基準となります。また、感想カードは、授業内容についての関心の高さと作文力によって評価されます。

特になし。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

小学館世界美術全集（西洋美術編）の関連分冊（図書館にそろっています）ウエブ上の美術館
http://www.wga.hu/index1.html
http://www.artcyclopedia.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

まじめな受講態度を求めます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　現代美術の状況とその起源
２　ロマン主義の美術観
３　ロココの魅力：ワトー
４　世界の美術館（１）ロンドン、ナショナルギャラリー
５　ロココへの反発：１８世紀半ばの趣味の変化
６　新古典主義絵画：ダヴィッド
７　フランス革命期の美術
８　世界の美術館（２）ドレスデン国立絵画館
９　イギリスにおける新しい絵画動向
１０　19 世紀フランスのアカデミズム絵画
１１　ロマン派：ドラクロワ
１２　世界の美術館（その３）アルテ・ピナコテーク美術館

芸術Ｂ（西洋における日本のイメージ）

落合　桃子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

１３　レアリスム（１）：クールベ
１４　レアリスム（２）：マネと印象派
１５　19 世紀フランス絵画の殿堂オルセー美術館

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること

2020-S000009434-06

授業時間割：後期：木・３時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

西洋において日本はどのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について歴史的に考察していきます。

13 世紀に中国を訪れたイタリア人の旅行家マルコ・ポーロは日本を「チパング（ジパング）島」として紹介します。16 世紀なかばにフランシスコ・ザビエルらキリスト教宣教師などが来日すると、ヨーロッパでも日本のことが少しずつ知られるようになります。17 世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出されるようになり、宮廷などで愛好されました。19 世紀に来日したシーボルトは日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして日本が開国すると、人やモノの交流が増え、19 世紀後半にはパリを中心にジャポニスムが流行することになりました。20 世紀になると欧米の美術界で活躍する日本人も登場します。

日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれません。しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらえればと考えています。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)
・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史・日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回

アメリカにおけるジャポニスム
第 12 回
藤田嗣治とエコール・ド・パリ西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価第 13 回
基準とします。　20 世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。　第 14 回欧米で活躍する日本人の現代美術家たち　第 15 回　まとめ

芸術Ｂ（西洋における日本のイメージ）

落合　桃子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

イントロダクション
第 2 回
西洋美術における四大陸の表現第 3 回
日本はどのように描かれてきたのか―西洋の地図に描かれた日本第 4 回
キリスト教の伝来と南蛮美術第 5 回
古伊万里のヨーロッパへの伝播第 6 回
ケンペルとシーボルトの日本研究第 7 回
ヨーロッパ人が捉えた幕末・明治の日本第 8 回
ジャポニスムと印象派第 9 回
ジャポニスムとアール・ヌーヴォー第 10 回
ドイツ語圏のジャポニスム第 11 回

リを中心にジャポニスムが流行することになりました。20 世紀になると欧米の美術界で活躍する日本人も登場します。

　日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれません。しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらえればと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

2020-S000009434-07

授業時間割：後期：木・４時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

　西洋において日本はどのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について歴史的に考察していきます。

　13 世紀に中国を訪れたイタリア人の旅行家マルコ・ポーロは日本を「チパング（ジパング）島」として紹介します。16 世紀なかばにフランシスコ・ザビエルらキリスト教宣教師などが来日すると、ヨーロッパでも日本のことが少しずつ知られるようになります。17 世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出されるようになり、宮廷などで愛好されました。19 世紀に来日したシーボルトは日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして日本が開国すると、人やモノの交流が増え、19 世紀後半にはパ

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)
・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史・日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

基準とします。　　20 世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。

アメリカにおけるジャポニスム
第 12 回
藤田嗣治とエコール・ド・パリ西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価第 13 回
第 14 回欧米で活躍する日本人の現代美術家たち　第 15 回　まとめ

芸術Ｂ（西洋における日本のイメージ）

落合　桃子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回
イントロダクション
第 2 回
西洋美術における四大陸の表現第 3 回
日本はどのように描かれてきたのか―西洋の地図に描かれた日本第 4 回
キリスト教の伝来と南蛮美術第 5 回
古伊万里のヨーロッパへの伝播第 6 回
ケンペルとシーボルトの日本研究第 7 回
ヨーロッパ人が捉えた幕末・明治の日本第 8 回
ジャポニスムと印象派第 9 回
ジャポニスムとアール・ヌーヴォー第 10 回
ドイツ語圏のジャポニスム第 11 回
アメリカにおけるジャポニスム
第 12 回
藤田嗣治とエコール・ド・パリ西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価第 13 回
基準とします。　20 世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。　第 14 回欧米で活躍する日本人の現代美術家たち　第 15 回　まとめ

13 世紀に中国を訪れたイタリア人の旅行家マルコ・ポーロは日本を「チパング（ジパング）島」として紹介します。16 世紀なかばにフランシスコ・ザビエルらキリスト教宣教師などが来日すると、ヨーロッパでも日本のことが少しずつ知られるようになります。17 世紀には有田焼（古伊万里）がヨーロッパに輸出されるようになり、宮廷などで愛好されました。19 世紀に来日したシーボルトは日本に関する著作を発表し、ヨーロッパにおける日本研究の礎を築きます。そして日本が開国すると、人やモノの交流が増え、19 世紀後半にはパリを中心にジャポニスムが流行することになりました。20 世紀になると欧米の美術界で活躍する日本人も登場します。

日本の文化を西洋からの視点から考えるのは、少し難しく感じられるかもしれません。しかし、いわゆるグローバル化が進む中、私たちはこれまで以上に異文化の人々と関わりながら生きていくことになるでしょう。この授業を通じて自分たちの文化や芸術を相対的に考える視点を身に付けてもらえればと考えています。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を身に付けること

2020-S000009434-08

授業時間割：後期：金・２時限　　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

西洋において日本はどのように受け入れられ、理解されてきたのでしょうか。この講義では、欧米における日本と日本美術の受容について歴史的に考察していきます。

（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業内容を正確に理解できたかどうかを確認するために、プリントやノートを読み返すこと。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

芸術Ｂ（西洋における日本のイメージ）

落合　桃子

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しません。

・興味を持った芸術家や作品について図書館などで調べること。(60 分)
・授業内容を理解する上では、高校までに学習した世界史・日本史の知識が土台となるため、必要に応じて各自復習すること。(30 分)
プリント（穴埋め式）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・授業中の私語は厳禁です。
・知らない作品や初めて見る作品に対しても、好奇心を持って鑑賞する姿勢が求められます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回
イントロダクション
第 2 回
西洋美術における四大陸の表現第 3 回
日本はどのように描かれてきたのか―西洋の地図に描かれた日本第 4 回
キリスト教の伝来と南蛮美術第 5 回
古伊万里のヨーロッパへの伝播第 6 回
ケンペルとシーボルトの日本研究第 7 回
ヨーロッパ人が捉えた幕末・明治の日本第 8 回
ジャポニスムと印象派第 9 回
ジャポニスムとアール・ヌーヴォー第 10 回
ドイツ語圏のジャポニスム第 11 回
アメリカにおけるジャポニスム
第 12 回
藤田嗣治とエコール・ド・パリ西洋や日本の芸術に関する基本的な知識を習得できたかを評価第 13 回

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

基準とします。　20 世紀前半のアメリカで活躍した日本人画家たち定期試験 70%、毎回の講義時の感想カード 30%で評価します。　第 14 回欧米で活躍する日本人の現代美術家たち　第 15 回　まとめ

芸術Ｂ（日本の美術館のこれから ー2000 年以降）　2020-S000009434-09

川浪　千鶴

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：有り　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・４時限　試験時間割：2021/01/18　１時限

◎ーーー　概要　ーーー◎

日本の美術館の数は公立、私立、類似施設まで含めると 1000 館近くにのぼるといわれ、私たちの暮らしにすっかり定着した感があります。

しかし、十万人以上の来場者を集める華やかな展覧会が話題になる一方で、地域によっては財政難から美術館やコレクションの存続が危ぶまれる事態も生まれています。美術館は社会や政治、経済の動向に大きく影響を受ける存在でもあるのです。　本講義では、そうした現状を踏まえつつ、日本の美術館の設立理念と活動をじっくりと考察し、美術館の役割とこれからの可能性について検証していきます。特に 2000 年以降最近の美術館動向にフォーカスすることで、美術館と社会の関わり、その未来像について多角的に探っていきます。

担当教員は、九州と四国の美術館学芸員として 35 年を超える勤務経験と、戦後から現代の美術やミュージアム・マネジメント、地域アートと美術館などの専門性を活かした活動実績を持っています。福岡・九州を始めとする全国の美術館とのネットワークを活かした最新の資料や具体的な事例をもとに、わかりやすく紹介します。

◎ーーー　到達目標　ーーー◎

現代日本を代表的する美術館の理念や活動事例を学び、その概要を説明することができる(知識・理解)

◎ーーー　授業時間外の学習(予習・復習)　ーーー◎

授業内容に関連する美術館や展覧会なども随時紹介します。受講期間中に、身近な美術館から積極的に訪問し、できれば複数回の利用体験をしてください。(60 分～120 分)

◎ーーー　成績評価基準および方法　ーーー◎

授業内容の理解度と自分の考えをまとめる作文能力について、下記の方法で総合的に評価します。

1，定期試験（記述形式）　50%
2，講義時に毎回提出してもらう感想カード　50%

◎ーーー　テキスト　ーーー◎

使用しません。必要に応じて、年表資料などを配付します。

◎ーーー　参考書　ーーー◎

全国美術館会議　美術館リンク集
http://www.zenbi.jp/link.php

◎ーーー　履修上の留意点　ーーー◎

美術館とその歴史については、知識の受容だけではなく自分の目で見て、感じ、考えることが重要です。全国の美術館のライブな情報提供に努めますので、授業内外での積極的な参加をお願いします。なお、講義内容を予告なしに変更する場合があります。

◎ーーー　授業計画　ーーー◎

1，イントロダクション 2，2000 年以降の美術館
ー「システムとしての美術館」とは何か？
3，　2000 年以降の美術館
ー設立理念（ミッション）とビジョン
4，　2000 年以降の美術館
ー「フォーラムとしての美術館」を目指して
5，　事例(1) アートコミュニケーション事業の可能性：東京都美術館

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

6,　事例(2) 地方美術館の理想型を目指して：青森県立美術館
7,　事例(3) これから誕生する美術館と文化の一極集中化：大阪中之島美術館
8,　事例(4) アートの定義を問い直す：鞆の津ミュージアム
9,　事例(5) 変貌するミッション：熊本市現代美術館
10,　事例(6) 災害という地域文化：リアス・アーク美術館
11,　事例(7) 観光と街、体験：金沢 21 世紀美術館
12,　事例(8) 観光と自然、ストーリー：ベネッセアートサイト直島
13,　事例(9) 歴史、変わるものと変わらないもの：三菱一号館美術館、十和田市現代美術館
14,　事例(10) ネットワークと多様性：アーツ前橋
15,　まとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎
中世ヨーロッパについて、その歴史や特徴を自らの言葉で説明することができるようになる。(技能)

地域も時代も異なる中世ヨーロッパ社会および人々の生活を知ることで、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめなおすことができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習は必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1 時間程度)、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

西洋史Ａ（中世ヨーロッパ）　2020-S000009414-01 渡邉　裕一

授業時間割：前期：金・１時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中世ヨーロッパの時代的・空間的な特質とは何だろうか？本講義では、中世ヨーロッパの政治・経済・文化のさまざまな面で大きな影響力をもったキリスト教の役割、近代以前における統治と支配のありかた、農業生産と交易の場であった農村と都市、中世に生きた人びとを互いに結び付けていた社会的な絆、かれらが直面した災害や疫病、異端やムスリム、ユダヤ人といった「他者」などに焦点を当てることで、地域も時代も異なる中世ヨーロッパに生きた人びとの生活世界へのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」とは異なり、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判 etc.）についても折に触れて取り上げたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中世ヨーロッパに関する基本知識を身につけ、現代の日本社会との違いを理解できる。(知識・理解)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験
（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。　特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

甚野尚志／堀越宏一編『中世ヨーロッパを生きる』（東京大学出版会、2004 年）　ISBN 4130230514
堀越宏一／甚野尚志編『１５のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』（ミネルヴァ書房、2013 年）　ISBN 978462306459　服部良久／山辺規子／南川高志編『大学で学ぶ西洋史―古代・中世』（ミネルヴァ書房、2006 年）　ISBN 9784623045921
その他の文献は授業中に紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．歴史学とは何か？
３．前提（１）－地理、自然環境、時代区分
４．前提（２）－キリスト教
５．中世ヨーロッパ史の流れ
６．農業と農民－中世の農業革命
７．都市と市民－中世都市の特質
８．人々の絆（１）－家族とこども
９．人々の絆（２）－手工業の世界
１０．人々の絆（３）－老い、死、遺言状
１１．災害と危機（１）－自然災害
１２．災害と危機（２）－黒死病
１３．災害と危機（３）－戦争
１４．中世ヨーロッパにおける「他者」
１５．まとめ
※受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

◎－－－　テキスト　－－－◎

　中世ヨーロッパの時代的・空間的な特質とは何だろうか？　本講義では、中世ヨーロッパの政治・経済・文化のさまざまな面で大きな影響力をもったキリスト教の役割、近代以前における統治と支配のありかた、農業生産と交易の場であった農村と都市、中世に生きた人びとを互いに結び付けていた社会的な絆、かれらが直面した災害や疫病、異端やムスリム、ユダヤ人といった「他者」などに焦点を当てることで、地域も時代も異なる中世ヨーロッパに生きた人びとの生活世界へのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」とは異なり、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判 etc.）についても折に触れて取り上げたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中世ヨーロッパに関する基本知識を身につけ、現代の日本社会との違いを理解できる。（知識・理解）

中世ヨーロッパについて、その歴史や特徴を自らの言葉で説明することができるようになる。（技能）

地域も時代も異なる中世ヨーロッパ社会および人々の生活を知ることで、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめなおすことができるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

　授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習は必要ありませんが、毎回の授

西洋史Ａ（中世ヨーロッパ）　　2020-S000009414-02 渡邉　裕一

授業時間割：前期：金・４時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

業後は、各自で内容の復習を行い（1 時間程度)、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。　特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

甚野尚志／堀越宏一編『中世ヨーロッパを生きる』(東京大学出版会、2004 年)　ISBN 4130230514
堀越宏一／甚野尚志編『１５のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』(ミネルヴァ書房、2013 年)　ISBN 978462306459　服部良久／山辺規子／南川高志編『大学で学ぶ西洋史―古代・中世』(ミネルヴァ書房、2006 年)　ISBN 9784623045921
その他の文献は授業中に紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

西洋史Ａ（ヨーロッパの大航海と世界の変容）　　2020-S000009414-03 森　丈夫

授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　テキスト　－－－◎
１．イントロダクション
２．歴史学とは何か？
３．前提（１）－地理、自然環境、時代区分
４．前提（２）－キリスト教
５．中世ヨーロッパ史の流れ
６．農業と農民－中世の農業革命
７．都市と市民－中世都市の特質
８．人々の絆（１）－家族とこども
９．人々の絆（２）－手工業の世界
１０．人々の絆（３）－老い、死、遺言状
１１．災害と危機（１）－自然災害
１２．災害と危機（２）－黒死病
１３．災害と危機（３）－戦争
１４．中世ヨーロッパにおける「他者」
１５．まとめ
※受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、大航海時代以降のヨーロッパと世界の関係史を扱い、グローバルな地域間の接触が人間社会の歴史に何をもたらしたのかという問題を扱っていく。

世界の歴史を変えた大きな変革は、ヨーロッパで起こった産業革命やフランス革命がしばしばあげられる。ところが、15 世紀末以来のヨーロッパ人によるアジア、アフリカ、アメリカ大陸への進出、いわゆる大航海は、それらに先行して人類史を変えた大きな変革だと言えよう。というのも、この現象は、単にヨーロッパ人がグローバルに商業進出を果たしただけでなく、世界各地の社会・経済・政治に劇的な変化をもたらし、なおかつ、新たなグローバルな経済、文化、社会のネットワークを作り上げたからである。もっとも、このプロセスを考えるには、ヨーロッパの世界進出の影響が各地で異なることを重視せねばならない。アメリカ大陸では、既存の政治体制が壊滅し、ヨーロッパの支配に組み込まれたが、他方で、アジアでは、ヨーロッパの進出によって、１９世紀

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

になるまで、既存の政治体制がゆらぐことはなかった。またグローバルな接触は、同時にヨーロッパ自身にも多大な変革をもたらしたのである。
　授業では、以上のような大航海以後のヨーロッパと世界の関係を 15 世紀から 18 世紀まで、時代をおって講義する。講義に際しては、アジア、アメリカ、アフリカなど地域ごとにテーマを設ける。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパの世界進出がもたらしたグローバルな変化について説明できるようになる。(知識・理解)

現代世界の形成過程を複眼的な視点から論じることができるようになる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業前に前回の授業ノートを復習しておくこと。30 分程度の時間を必要とする。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ヨーロッパ人の世界進出と近代世界の形成に関する基本的な理解を説明できるかどうかを評価の基準とする。定期試験の成績で 100%評価する。
使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　他の世界に対する視線
3　大航海時代(1)
4　大航海時代(2)
5　アメリカ大陸との出会い(1)
6　アメリカ大陸との出会い(2)
7　人・モノの交流の開始
8　近世ヨーロッパ人の生活

◎－－－　テキスト　－－－◎
9　アジアとの出会い
10　ヨーロッパの生活革命
11　黒人奴隷制度の展開
12　近代世界システム
13　産業革命の原因
14　ヨーロッパと世界の関係の変化
15　総括

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

西洋史Ａ（ヨーロッパの大航海と世界の変容）　2020-S000009414-04 森　丈夫

授業時間割：前期：水・２時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

授業前に前回の授業ノートを復習しておくこと。30 分程度の時間を必要とする。

◎－－－　概要　－－－◎

本講義では、大航海時代以降のヨーロッパと世界の関係史を扱い、グローバルな地域間の接触が人間社会の歴史に何をもたらしたのかという問題を扱っていく。

世界の歴史を変えた大きな変革は、ヨーロッパで起こった産業革命やフランス革命がしばしばあげられる。ところが、15 世紀末以来のヨーロッパ人によるアジア、アフリカ、アメリカ大陸への進出、いわゆる大航海は、それらに先行して人類史を変えた大きな変革だと言えよう。というのも、この現象は、単にヨーロッパ人がグローバルに商業進出を果たしただけでなく、世界各地の社会・経済・政治に劇的な変化をもたらし、なおかつ、新たなグローバルな経済、文化、社会のネットワークを作り上げたからである。もっとも、このプロセスを考えるには、ヨーロッパの世界進出の影響が各地で異なることを重視せねばならない。アメリカ大陸では、既存の政治体制が壊滅し、ヨーロッパの支配に組み込まれたが、他方で、アジアでは、ヨーロッパの進出によって、１９世紀になるまで、既存の政治体制がゆらぐことはなかった。またグローバルな接触は、同時にヨーロッパ自身にも多大な変革をもたらしたのである。

授業では、以上のような大航海以後のヨーロッパと世界の関係を 15 世紀から 18 世紀まで、時代をおって講義する。講義に際しては、アジア、アメリカ、アフリカなど地域ごとにテーマを設ける。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパの世界進出がもたらしたグローバルな変化について説明できるようになる。(知識・理解)

現代世界の形成過程を複眼的な視点から論じることができるようになる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

ヨーロッパ人の世界進出と近代世界の形成に関する基本的な理解を説明できるかどうかを評価の基準とする。定期試験の成績で 100%評価する。
使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　他の世界に対する視線
3　大航海時代(1)
4　大航海時代(2)
5　アメリカ大陸との出会い(1)
6　アメリカ大陸との出会い(2)
7　人・モノの交流の開始
8　近世ヨーロッパ人の生活
9　アジアとの出会い
10　ヨーロッパの生活革命
11　黒人奴隷制度の展開
12　近代世界システム
13　産業革命の原因
14　ヨーロッパと世界の関係の変化
15　総括

西洋史Ａ（チャップリンで読み解く西洋現代史＝チャップリンの時代）　2020-S000009414-05

星乃　治彦

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・５時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎ チャップリンで読み解く西洋現代史＝チャップリンの時代

一方で、喜劇王チャップリンの一生と彼の作品を検討しながら、他方でその時代背景となった、世紀末から冷戦期までの現代史の軌跡を追います。

まずはチャップリンが生まれた 1889 年という世紀末の時代状況の説明から始めます。この時代は、様々な対立が潜在的に存在し、不安定さを形成しますが、同時にベル・エポック（良き時代）と言われるように、文化的隆盛の時代を迎え、映画もここで誕生することとなります。つまり「不安定の中の自由」という状況の中で、チャップリンは誕生するのですが、ここでは、幼少期の自伝的作品と言われる『キッド』を検討してみましょう。

その後「不安定」は第一次大戦で爆発しますが、この大戦を描いたのが、『担え銃』になります。大戦が終わり、ヴェルサイユ体制が成立し、戦後危機を乗り切ると、世界は『相対的安定期』を迎えることとなります。作品としては『黄金狂時代』。明るい作品です。

ただその安定は世界恐慌によって破壊され、不況の中で希望を失う時代へと進んでいきます。チャップリンはその中で、人々を励まし、笑いを届けるという役割を担うこととなります。『街の灯』はそうした作品ですし、その後に作られた『モダンタイムズ』では現代にも通じる機械文明批判も同時に展開されることになります。

世界恐慌後の失望の中で台頭するのはファシズムでした。憎悪を基調としたファシズムに対して、チャップリンは愛と民主主義を説くことになります。それも戦闘的姿勢で臨んだのが、『独裁者』という作品です。結局はその独裁者の野望は止められず、第 2 次大戦を迎えてしまうことになりますが、戦後戦争の無意味さをモチーフにしたのが、『殺人狂時代』になります。

その後チャップリンは、冷戦下で、アメリカを追われることになりますが、それを皮肉った作品が『ニューヨークの王様』です。

時代的背景ーチャップリンの作品ーチャップリンの一生を重ね合わせて、現代史を見てみましょう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ近・現代の歴史を概観でき、問題点を理解できる。（知識・理解）

歴史を、文化的側面から学際的にとらえることができる。（知識・理解）

概説の中で、学説をまとめ、比較や総合の手法を使って、論点をまとめることができるようになる。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習よりも復習に力を入れて下さい。授業中分からなかった言葉や内容を調べて次の授業に臨んでください。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

出席状況をはじめとする平常点も重視します（２０％）。定期試験も行います（８０％）。

◎－－－　テキスト　－－－◎ テキストは使用せず、授業時にプリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

私語・飲食は厳禁。遅刻も 20 分まで。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　授業の進め方の説明、序論＝チャップリンが誕生したころのヨーロッパ＝「不安定の中の自由」＝世紀末文化
2　世紀末文化＝アルフォンス・ミシャの時代と『キッド』
3　第 1 次大戦
4　『担え銃』
5　ヴェルサイユ体制の成立から「相対的安定期」へ
6　『黄金狂時代』
7　世界恐慌とファシズムの台頭
8　『街の灯』の世界
9　『モダンタイムズ』という文明批判
10　ナチスの時代
11　『独裁者』
12　第 2 次大戦から冷戦へ
13　『殺人狂時代』
14　『ニューヨークの王様』
15　まとめ

西洋史Ａ（ヨーロッパ古代・中世）　2020-S000009414-06

山本　達夫

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・３時限　試験時間割：2020/07/30　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

私たちは他との比較をとおして自分自身を客観的に認識する。この講義では、ヨーロッパの歴史を比較対象の事例として、現在に生きる私たちの立ち位置を確認してみたい。
古代から中世にいたるヨーロッパ史を概観し、異なる文化・思想の背景にどのような歴史的経緯があり、それが現代にいかなる影響をおよぼしているのかを理解する。
ヨーロッパ史における主要なテーマの考察を通して「現在の歴史性」を認識し、現代の諸問題の歴史的背景を考察する素地をやしなう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

他の受講者に迷惑をかける行為（私語や電話）をしないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ヨーロッパ文化と日本
2. ギリシア世界のポリス
3. ペルシア戦争とギリシア世界
4. ヘレニズム文明
5. 共和政ローマ（イタリア半島の支配）
6. 地中海の覇者ローマ
7. マリウスの軍制改革（ローマ社会の変容）
8. パックス・ロマーナとローマの変質
9. ローマの四分統治から滅亡へ

西洋史Ａ「教養ゼミ」（災害の歴史を考える）　2020-S000009414-08

渡邉　裕一

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：演習　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：無し

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。（知識・理解）

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。（技能）

現代の歴史性を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。（30 分）復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験９０％（問題の歴史的意義が論理的に説明できているかどうかを評価基準とする）と平常点１０％（講義への感想と質問）で総合的に評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

10. ゲルマン人へのキリスト教の普及
11. キリスト教とヨーロッパ
12. ヨーロッパ封建制度と農業革命
13. 中世ヨーロッパにおける聖権と俗権
14. 十字軍の背景と影響
15. 宗教改革とヨーロッパ社会

授業時間割：前期：月・２時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

2011 年 3 月の東日本大震災や 2017 年 7 月に九州北部を襲った福岡・大分の豪雨被害など、自然災害の脅威を目の当たりにすることが続いています。たとえ実際に被災していなくても、報道番組やインターネットを通じて、地震や津波が人間の命を無残に奪っていく様をリアルタイムで体験し、人間の無力さを思い知らされた方も多いでしょう。私たちは、近年の甚大な自然災害については、その記憶を「共有」していると言ってよいかと思います。それでは、1995 年の阪神・淡路大震災はどうでしょうか？ 皆様の多くにとっては、すでに教科書のなかでしか知らない過去に起きた「未知の災害」となっていることでしょう。

過去の災害を記録・記憶し、それを社会で共有することは、将来に生じうる自然災害に備えるために私たちができる数少ない有効な処方箋の一つです。そのために歴史学が果たすべき役割は決して小さくありません。災害史研究とは、過去に生じた災害の知見をしっかりと蓄積し、現代に生きる私たちがそれを共有し、将来世代にも着実に伝えていくことで、災害リスクから逃れることのできない人類がそれでもなんとか生き延びていくための、ささやかながらも重要な指針を示し得る「生存のための歴史学」であると言えます。

西洋史Ａ「BB」（ヨーロッパ古代・中世）　2020-S000009414-09

山本　達夫

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・二部１時限　試験時間割：2020/07/27　夜１限

災害の歴史学は、日本だけに限らず、世界的にも大きな注目を集めています。現代の日本から時代も地域も遠く離れた中近世ヨーロッパは、私たちの生きている世界とは異なる全くの別世界です。しかし、中近世ヨーロッパに生きた人びとも、私たちと同様に、いや、それ以上に、自然災害にむきだしのまま晒されていました。中近世ヨーロッパの人びとは、襲い掛かる災害や災難をどのように受け止め、災害後にはいかなる行動に出たのでしょうか？ それは、私たちが災害に直面したときと、どのような点で異なっているでしょうか？

本講義では、中近世ヨーロッパを襲った数々の災害の事例を確認したうえで、さらに世界の各地域、各時代の災害について皆さんとともに考えたいと思います。授業はゼミ形式で進めていきますので、受講者は主体的に課題に取り組み、発表・討論を重ねることで、災害の歴史を学ぶことの意義について、理解を深めてください。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパにおける災害の歴史について基本的な知識を身につけ、災害が当時の社会に及ぼした歴史的な影響について的確に理解することができる。(知識・理解)

自分が知らないテーマについて、適切な文献を探し出し、自らで課題を設定することができるようになる。(技能)

自らの問題関心に基づいて課題を設定し、他の履修者が理解できるような発表を行うことができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考に、主体的・積極的な学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識は必要ありませんが、グループ発表前には、グループ単位での予習・発表準備が必要になります。また、授業後は各自で内容の復習を行い（1時間弱)、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、授業への貢献度等の平常点（60%）および発表（40%）により、その到達度を総合的に評価します。平常点については、主体的な取り組みができたか否かが重要な評価基準となります。発表では、自ら問いを立て、適切な文献や映像資料を参考にし、その問いに対する独自の見解を導き出し、それを論理的・客観的な言葉で説得的にプレゼンできるかどうかを評価の重要な基準とします。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 特になし。必要に応じて資料を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

渡邉裕一「災難の後に―ペストが流行れば金貸しが儲かる？」福岡大学人文学部歴史学科編『18歳からの歴史学入門』(彩流社、2019年)　ISBN 9784779125546
G.フーケー／G.ツァイリンガー『災害と復興の中世史―ヨーロッパの人びとは惨禍をいかに生き延びたか』(八坂書房、2015年)　ISBN 9784896941869
その他の文献は、授業中に適宜紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

特別な予備知識は必要ありませんが、主体的・積極的に授業に参加してください。無断欠席はやめてください。第
1回目の授業で、その他の注意点について述べます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．災害とは？
３．過去の災害を調べる
４．中近世ヨーロッパの事例
５．ペスト
６．自然災害
７．気候悪化
８．課題の設定
９．文献調査①
１０．文献調査②
１１．文献調査③
１２．発表①
１３．発表②
１４．発表③
１５．まとめ
＊受講者の希望や授業の進度に応じて変更の可能性があります

◎－－－　概要　－－－◎

私たちは他との比較をとおして自分自身を客観的に認識する。この講義では、ヨーロッパの歴史を比較対象の事例として、現在に生きる私たちの立ち位置を確認してみたい。
古代から中世にいたるヨーロッパ史を概観し、異なる文化・思想の背景にどのような歴史的経緯があり、それが現代にいかなる影響をおよぼしているのかを理解する。ヨーロッパ史における主要なテーマの考察を通して「現在の歴史性」を認識し、現代の諸問題の歴史的背景を考察する素地をやしなう。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。（知識・理解）

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。（技能）

現代の歴史性を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。（30 分）復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。（30 分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験９０％（問題の歴史的意義が論理的に説明できているかどうかを評価基準とする）と平常点１０％（講義への感想と質問）で総合的に評価する。
◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。プリントを配布

する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の受講者に迷惑をかける行為（私語や電話）をしないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ヨーロッパ文化と日本
2. ギリシア世界のポリス
3. ペルシア戦争とギリシア世界
4. ヘレニズム文明
5. 共和政ローマ（イタリア半島の支配）
6. 地中海の覇者ローマ
7. マリウスの軍制改革（ローマ社会の変容）
8. パックス・ロマーナとローマの変質
9. ローマの四分統治から滅亡へ
10. ゲルマン人へのキリスト教の普及
11. キリスト教とヨーロッパ
12. ヨーロッパ封建制度と農業革命
13. 中世ヨーロッパにおける聖権と俗権
14. 十字軍の背景と影響
15. 宗教改革とヨーロッパ社会

西洋史Ｂ（中世後期～近世ヨーロッパ）

渡邉　裕一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

2020-S000009420-01

授業時間割：後期：金・１時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中世はいつ終わり、近代はいつ始まったのだろうか？　本講義では、新大陸の発見やルネサンス、そして宗教改革など、これまで「近代の始まり」と評されてきた歴史的な出来事を、中世後期から近世にいたる一連の流れのなかで捉え直し、ヨーロッパ史の連続性と断絶の両側面について考えてみたいと思います。いわゆる「中世後期の危機」、当時の医療技術と疫病の流行、深まる人々の不安と救済へのあこがれ、ルターの登場と社会への影響、政治問題化した宗教改革とその帰結としての 30 年戦争、小氷期の影響と魔女裁判など多様なトピックを取り上げ、上記の問いへのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」ではなく、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判 etc.）についても折に触れて取り上げる予定です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中世後期から近世に至るヨーロッパ史の基本知識を身につけ、その歴史の流れを正確に理解することができる。（知識・理解）

中世後期～近世ヨーロッパ史について、その歴史や特徴を自らの言葉で論理的・客観的に説明することができるようになる。（技能）

地域も時代も異なる中世後期～近世ヨーロッパの社会および人々の生活を知ることで、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめ直すことができるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習はとくに必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1 時間程度）、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。

◎－－－　参考書　－－－◎

甚野尚志／踊共二編『中近世ヨーロッパの宗教と政治―キリスト教世界の統一性と多元性』（ミネルヴァ書房、2014 年）　ISBN 9784623069453
Ｒ・Ｗ・スクリブナー／Ｃ・スコット・ディクスン（森田安一訳）『ドイツ宗教改革』（岩波書店、2009 年）　ISBN 9784000272032
踊共二編『記憶と忘却のドイツ宗教改革』（ミネルヴァ書房、2017 年）　ISBN 978-4623081332 その他の文献は授業中に紹介します。

西洋史Ｂ（中世後期～近世ヨーロッパ）

渡邉　裕一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．中世後期から近世へ―見取り図
３．ルネサンスの三大発明？
４．大航海時代の幕開け
５．戦争技術の変化□騎士から傭兵へ
６．印刷術と識字率
７．ルターと宗教改革
８．騎士戦争
９．農民戦争
１０．ヨーロッパ諸国における宗教改革
１１．急進派からみる宗教改革
１２．カトリックの動向
１３．魔女裁判（１）
１４．魔女裁判（２）
１５．まとめ
※受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

◎－－－　テキスト　－－－◎

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

中世はいつ終わり、近代はいつ始まったのだろうか？本講義では、新大陸の発見やルネサンス、そして宗教改革など、これまで「近代の始まり」と評されてきた歴史的な出来事を、中世後期から近世にいたる一連の流れのなかで捉え直し、ヨーロッパ史の連続性と断絶の両側面について考えてみたいと思います。いわゆる「中世後期の危機」、当時の医療技術と疫病の流行、深まる人々の不安と救済へのあこがれ、ルターの登場と社会への影響、政治問題化した宗教改革とその帰結としての 30 年戦争、小氷期の影響と魔女裁判など多様なトピックを取り上げ、上記の問いへのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」ではなく、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判 etc.）についても折に触れて取り上げる予定です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中世後期から近世に至るヨーロッパ史の基本知識を身につけ、その歴史の流れを正確に理解することができる。(知識・理解)

中世後期～近世ヨーロッパ史について、その歴史や特徴を

2020-S000009420-02

授業時間割：後期：金・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

自らの言葉で論理的・客観的に説明することができるようになる。

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。

西洋史Ｂ（中世後期～近世ヨーロッパ）

渡邉　裕一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

（技能）

地域も時代も異なる中世後期～近世ヨーロッパの社会および人々の生活を知ることで、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめ直すことができるようになる。
（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習はとくに必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1 時間程度）、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

甚野尚志／踊共二編『中近世ヨーロッパの宗教と政治―キリスト教世界の統一性と多元性』（ミネルヴァ書房、2014 年）
ISBN 9784623069453
Ｒ・Ｗ・スクリブナー／Ｃ・スコット・ディクスン（森田安一訳）『ドイツ宗教改革』（岩波書店、2009 年）
ISBN 9784000272032
踊共二編『記憶と忘却のドイツ宗教改革』（ミネルヴァ書房、2017 年）　ISBN 978-4623081332 その他の文献は授業中に紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

◎－－－　テキスト　－－－◎

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。
第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．中世後期から近世へ―見取り図
３．ルネサンスの三大発明？
４．大航海時代の幕開け
５．戦争技術の変化□騎士から傭兵へ
６．印刷術と識字率
７．ルターと宗教改革
８．騎士戦争
９．農民戦争
１０．ヨーロッパ諸国における宗教改革
１１．急進派からみる宗教改革
１２．カトリックの動向
１３．魔女裁判（１）
１４．魔女裁判（２）
１５．まとめ
※受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。

西洋史Ｂ（中世後期～近世ヨーロッパ）

渡邉　裕一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

2020-S000009420-03

授業時間割：後期：月・２時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

中世はいつ終わり、近代はいつ始まったのだろうか？　本講義では、新大陸の発見やルネサンス、そして宗教改革など、これまで「近代の始まり」と評されてきた歴史的な出来事を、中世後期から近世にいたる一連の流れのなかで捉え直し、ヨーロッパ史の連続性と断絶の両側面について考えてみたいと思います。いわゆる「中世後期の危機」、当時の医療技術と疫病の流行、深まる人々の不安と救済へのあこがれ、ルターの登場と社会への影響、政治問題化した宗教改革とその帰結としての 30 年戦争、小氷期の影響と魔女裁判など多様なトピックを取り上げ、上記の問いへのアプローチを試みます。高校までの「暗記する世界史」ではなく、大学での「考える歴史学」を学んでもらうため、歴史学研究の基本的な考え方（テーマの設定、先行文献の収集と研究動向の把握、歴史叙述の方法とルール、史料批判 etc.）についても折に触れて取り上げる予定です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

中世後期から近世に至るヨーロッパ史の基本知識を身につけ、その歴史の流れを正確に理解することができる。（知識・理解）

中世後期～近世ヨーロッパ史について、その歴史や特徴を自らの言葉で論理的・客観的に説明することができるようになる。
(技能)

地域も時代も異なる中世後期～近世ヨーロッパの社会および人々の生活を知ることで、自分たちの「常識」や「当たり前」を異なる視点から見つめ直すことができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業中に紹介する図書や文献、映像資料を参考にし、主体的・積極的に学習を進め、理解を深める努力をしてください。予備知識や予習はとくに必要ありませんが、毎回の授業後は、各自で内容の復習を行い（1 時間程度）、不明な点は次回の授業で質問するようにしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。

◎－－－　参考書　－－－◎

甚野尚志／踊共二編『中近世ヨーロッパの宗教と政治―キリスト教世界の統一性と多元性』（ミネルヴァ書房、2014 年）　ISBN 9784623069453
Ｒ・Ｗ・スクリブナー／Ｃ・スコット・ディクスン（森田安一訳）『ドイツ宗教改革』（岩波書店、2009 年）

西洋史Ｂ（中世後期～近世ヨーロッパ）

渡邉　裕一

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

特になし。授業中に適宜レジュメを配布します。

ISBN 9784000272032
踊共二編『記憶と忘却のドイツ宗教改革』（ミネルヴァ書房、2017年）　ISBN 978-4623081332 その他の文献は授業中に紹介します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

第一回目の授業で注意点を述べます。他の履修者の迷惑になるので、私語や電話はやめてください。欠席・遅刻に注意し、各講義のあとは復習を忘れないようにしてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．中世後期から近世へ―見取り図
３．ルネサンスの三大発明？
４．大航海時代の幕開け
５．戦争技術の変化□騎士から傭兵へ
６．印刷術と識字率
７．ルターと宗教改革
８．騎士戦争
９．農民戦争
１０．ヨーロッパ諸国における宗教改革
１１．急進派からみる宗教改革
１２．カトリックの動向
１３．魔女裁判（１）
１４．魔女裁判（２）
１５．まとめ
※受講人数や進度に応じて変更の可能性があります

上記の「到達目標」で示した三つの具体的な目標について、各授業後に提出するコメント・シート（30%）と定期試験（70%）により、その到達度を総合的に評価します。コメント・シートでは、授業中に掲示する問いに対して自身の見解や疑問点を自分の言葉でしっかりと記述できているかどうかを評価の基準します。定期試験では、授業内容をよく理解したうえで、重要なキーワードから独自の問いを立て、その問いに対する自分の見解を論理的・客観的な言葉で説得的に説明できるか否かを評価の重要な基準とします。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

西洋史Ｂ（ヨーロッパ近現代史の諸問題） 2020-S000009420-04 星乃　治彦

授業時間割：後期：木・４時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

ヨーロッパ近現代史の諸問題
　フランス革命から現代までを概観します。まずフランス革命から 19 世紀の歴史は、国民国家形成に焦点を当て、「自由主義と国民主義」の時代 19 世紀像を中心に据えます。中心は Nation です。Nation は、フランス革命の中で「国民」として登場しますが、ナポレオンの侵略によって全ヨーロッパに広がり、そこでは、「民族」として機能します。Nation のそうした両義性が
19 世紀を形作っていきます。
　Nation の運動を抑え込もうとしたウィーン体制は、その後も各国におけるナショナリズムを弾圧しますが、1848 年ナショナリズムの噴出である 2 月・3 月革命によって倒されますが、こうした「下からの」ナショナリズムは結局は成功せず、イタリア統一やドイツ統一の様な「上からの」統一に交代することとなります。強力な国家の登場によって、帝国主義段階に入ったこととともあいまって、対立を深めていき、第 1 次大戦を引き起こしていくこととなります。
　第 1 次大戦は現代の始まりとされる画期であり、これから「短い」20 世紀が始まります。総力戦である第 1 次大戦を経ることによって世界は「市民の時代」から「大衆の時代」へと変貌していきました。その新しく生まれた大衆がロシア革命を引き起こし、第 1 次世界大戦後の経済を動かし、そしてファシズムという新たな形態の政治体制を生み出していくこととなります。1930 年代になるとドイツでナチスが政権を取り、ファシズム対民主主義の対立構造が出来上がっていくこととなりました。結局その対立は第 2 次世界大戦を引き起こしました。
　第 2 次世界大戦は民主主義陣営の勝利に終わりましたが、その後はその内部にあった、資本主義対共産主義というイデオロギー対立の時代＝「冷戦」へと入っていくことになりました。この対立は米ソを両極としながら、さらには核の危険を伴いながら、基本的には 1989 年まで展開されます。
　こうしたフランス革命から「冷戦」までの時代を、20 世紀に関しては映像も使いながら、概観します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ近・現代の歴史を概観でき、問題点を理解できる。(知識・理解)

主に近現代の問題としての nation 形成の問題を理解できる。(知識・理解)

概説の中で、学説をまとめ、比較や総合の手法を使って、論点をまとめることができるようになる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

　予習よりも復習に力を入れて下さい。授業中分からなかった言葉や内容を調べて次の授業に臨んでください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

　出席状況をはじめとする平常点（２０％）も重視します。定期試験（８０％）も行います。テキストは使用せず、授業時にプリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　私語・飲食は厳禁。遅刻も 20 分まで。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　授業の進め方の説明、序論
2　フランス革命とナポレオン体制
3　ウィーン体制
4　1848 年革命
5　独・伊の国民国家形成
6　帝国主義
7　第 1 次世界大戦
8　戦間期の世界
9　世界恐慌
10　ファシズム
11　反ファシズムの可能性
12　第 2 次世界大戦への道
13　第 2 次世界大戦
14　冷戦構造
15　まとめ

西洋史Ｂ（ヨーロッパ近現代史の諸問題） 2020-S000009420-05 星乃　治彦

授業時間割：後期：木・５時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

ヨーロッパ近現代史の諸問題
　フランス革命から現代までを概観します。まずフランス革命から 19 世紀の歴史は、国民国家形成に焦点を当て、「自由主義と国民主義」の時代 19 世紀像を中心に据えます。中心は Nation です。Nation は、フランス革命の中で「国民」として登場しますが、ナポレオンの侵略によって全ヨーロッパに広がり、そこでは、「民族」として機能します。Nation のそうした両義性が
19 世紀を形作っていきます。
　Nation の運動を抑え込もうとしたウィーン体制は、その後も各国におけるナショナリズムを弾圧しますが、1848 年ナショナリズムの噴出である 2 月・3 月革命によって倒されますが、こうした「下からの」ナショナリズムは結局は成功せず、イタリア統一やドイツ統一の様な「上からの」統一に交代することとなります。強力な国家の登場によって、帝国主義段階に入ったこととともあいまって、対立を深めていき、第 1 次大戦を引き起こしていくこととなります。
　第 1 次大戦は現代の始まりとされる画期であり、これから「短い」20 世紀が始まります。総力戦である第 1 次大戦を経ることによって世界は「市民の時代」から「大衆の時代」へと変貌していきました。その新しく生まれた大衆がロシア革命を引き起こし、第 1 次世界大戦後の経済を動かし、そしてファシズムという新たな形態の政治体制を生み出していくこととなります。1930 年代になるとドイツでナチスが政権を取り、ファシズム対民主主義の対立構造が出来上がっていくこととなりました。結局その対立は第 2 次世界大戦を引き起こしました。
　第 2 次世界大戦は民主主義陣営の勝利に終わりましたが、その後はその内部にあった、資本主義対共産主義というイデオロギー対立の時代＝「冷戦」へと入っていくことになりました。この対立は米ソを両極としながら、さらには核の危険を伴いながら、基本的には 1989 年まで展開されます。
　こうしたフランス革命から「冷戦」までの時代を、20 世紀に関しては映像も使いながら、概観します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ近・現代の歴史を概観でき、問題点を理解できる。(知識・理解)

主に近現代の問題としての nation 形成の問題を理解できる。(知識・理解)

概説の中で、学説をまとめ、比較や総合の手法を使って、論点をまとめることができるようになる。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

　予習よりも復習に力を入れて下さい。授業中分からなかった言葉や内容を調べて次の授業に臨んでください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

　出席状況をはじめとする平常点も重視します。定期試験も行います。テキストは使用せず、授業時にプリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

　私語・飲食は厳禁。遅刻も 20 分まで。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　授業の進め方の説明、序論
2　フランス革命とナポレオン体制
3　ウィーン体制
4　1848 年革命
5　独・伊の国民国家形成
6　帝国主義
7　第 1 次世界大戦
8　戦間期の世界
9　世界恐慌
10　ファシズム
11　反ファシズムの可能性
12　第 2 次世界大戦への道
13　第 2 次世界大戦
14　冷戦構造
15　まとめ

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

西洋史Ｂ（ヨーロッパ近現代と「ユダヤ人問題」）　　2020-S000009420-06

山本　達夫

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・３時限　　試験時間割：2021/01/22　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

ヨーロッパにおける代表的な被差別者集団として知られるユダヤ人とその迫害の歴史を通して、ヨーロッパおよびドイツの近代を考える。「人種迫害を理解するために、私たちは人種をくわしく知る必要はなく、むしろ迫害をくわしく知る必要がある」（R・ベネディクト）というように、差別は差別される側ではなく、差別する側の社会の問題である。ホロコースト（ユダヤ人大量殺戮）に行き着いたドイツの反ユダヤ主義は、いかなる歴史的経緯の中で成立したのか。近代ヨーロッパの成立過程を概観し、国民国家の形成過程における統合と排除の論理における反ユダヤ主義の問題を検討する。また、ナチのユダヤ人政策の分析を通して「ユダヤ人問題」とは何であったのかを考察する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。(知識・理解)

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。(技能)

現代の歴史席を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。(30 分) 復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験９０％（問題の歴史的意義が論理的に説明できているかを評価基準とする）と平常点１０％（講義への感想と質問）で総合的に評価する。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の受講者に迷惑をかける行為（私語や電話）をしないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. ヨーロッパ社会とユダヤ人
2. 地理上の発見
3. 近代世界システム
4. ヘゲモニー国家１
5. ヘゲモニー国家２
6. 工業化とその影響１
7. 工業化とその影響２
8. 世界の一体化と分裂
9. 近代ドイツとユダヤ人１（プロイセンの発展）
10. 近代ドイツとユダヤ人２（プロイセンとフランス革命）
11. 近代ドイツとユダヤ人３（ナポレオンとプロイセン改革）
12. 近代ドイツとユダヤ人４（国民国家とユダヤ人）
13. 東欧ユダヤ人ザメンホフの夢
14. ナチスとユダヤ人１（アーリア条項とドイツ社会）
15. ナチスとユダヤ人２（ナチス経済社会体制とユダヤ人政策）

西洋史Ｂ「教養ゼミ」(「私たち」から見る日米関係史)　　2020-S000009420-08

森　丈夫

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：演習　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：無し

授業時間割：後期：水・２時限　　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

誰でも知っているように「アメリカ合衆国」という国は、今の日本にとてつもなく大きな影響を及ぼしている国です。最大の貿易相手の一つというだけでなく、日本の経済・外交・内政を大きく左右し、文化的規範ともなってきました。

しかし、アメリカとの付き合いは今に始まったことではありません。19 世紀半ばのペリーの来航以来、時に近代化の模範として、時に敵国として、時に移民の送り先として、時に・・・と、日本とアメリカは数多くの面で密接な関係を結んできました。現在の日本とアメリカが結んでいる経済・外交・軍事・文化の関係は、こうした歴史発展の中から生まれてきたものといっていいでしょう。

本ゼミでは、このような日本とアメリカの関係の歴史を学びたいと思います。授業では、まず現在の日本を観察して、どのような形で日本の政治・文化・経済にアメリカが影響を与えているかを考えます。以降、明治から現代までの日米関係史に関する勉強を行います。

授業では、受講生全員が参考文献の読解やビデオ鑑賞を行ない、共通の知識を身に着けた上で意見交換を行います。半期を通じて、およそ全体の７割の授業で、受講者全員に参考文献の読解が求められます。文献は論文や本の一部です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日米関係史の理解から、現代の日本社会においてアメリカが持つ意味を説明できるようになる。(知識・理解)

日米関係史の理解から、現在の日本社会の問題点を論じることができるようにする。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

受講生は毎回の授業の準備として、必ず参考文献の読解とミニッツペーパーの作成を行うこと。1 時間程度の時間を必要とする。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

参考文献を読解する、ないしはビデオを鑑賞するなどし、その内容を理解した上で、意見を形成できたかどうかを評価の基準とする。配点は、ミニッツペーパー（①課題のテキストを予習し、指定した問いについて意見を述べる、②ビデオを鑑賞し、指定した問いについて意見を述べる）6 割、授業中の意見発表 4 割。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・およそ半期全体の７割の授業で、受講者全員に参考文献の読解が義務づけられます。
・ゼミは、学生が主体となって行うので、出席は必須となります。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．イントロダクション
２．日米関係を理解する
３．日本人にとってのアメリカ
４．在日米軍基地問題
５．戦前の日米関係①
６．戦前の日米関係②大衆社会

７．戦前の日米関係③アメリカのイメージ
８．太平洋戦争
９．占領期の日米関係①
１０．占領期の日米関係②
１１．占領期の日米関係③
１２．安保と日米関係①安保条約
１３．安保と日米関係②安保闘争
１４．戦後の日米関係⑤アメリカと大衆文化
１５．総括

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習にあたっては、世界史の概説書や高校世界史の教科書に目を通しておくとよい。(30 分) 復習にさいしては、授業で配布するプリントを活用してほしい。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験９０％（問題の歴史的意義が論理的に説明できているかを評価基準とする）と平常点１０％（講義への感想と質問）で総合的に評価する。

西洋史Ｂ「BB」(ヨーロッパ近現代と「ユダヤ人問題」)　2020-S000009420-09

山本　達夫

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・二部１時限　試験時間割：2021/01/18　夜１限

◎－－－　概要　－－－◎

ヨーロッパにおける代表的な被差別者集団として知られるユダヤ人とその迫害の歴史を通して、ヨーロッパおよびドイツの近代を考える。「人種迫害を理解するために、私たちは人種をくわしく知る必要はなく、むしろ迫害をくわしく知る必要がある」（R・ベネディクト）というように、差別は差別される側ではなく、差別する側の社会の問題である。ホロコースト（ユダヤ人大量殺戮）に行き着いたドイツの反ユダヤ主義は、いかなる歴史的経緯の中で成立したのか。近代ヨーロッパの成立過程を概観し、国民国家の形成過程における統合と排除の論理における反ユダヤ主義の問題を検討する。また、ナチのユダヤ人政策の分析を通して「ユダヤ人問題」とは何であったのかを考察する。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ヨーロッパ文化の背景としてのヨーロッパ史の概要を説明できる。(知識・理解)

偏った情報に依拠することなく、種々の情報を客観的に分析できる。(技能)

現代の歴史席を理解し、さまざまな文化を相対的に評価できる。(態度・志向性)

◎－－－　テキスト　－－－◎ 使用しない。プリントを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎ 授業中に適宜指示する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の受講者に迷惑をかける行為（私語や電話）をしないこと。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.ヨーロッパ社会とユダヤ人
2.地理上の発見
3.近代世界システム
4.ヘゲモニー国家１
5.ヘゲモニー国家２
6.工業化とその影響１
7.工業化とその影響２
8.世界の一体化と分裂
9.近代ドイツとユダヤ人１（プロイセンの発展）

10. 近代ドイツとユダヤ人２（プロイセンとフランス革命）
11. 近代ドイツとユダヤ人３（ナポレオンとプロイセン改革）
12. 近代ドイツとユダヤ人４（国民国家とユダヤ人）
13. 東欧ユダヤ人ザメンホフの夢
14. ナチスとユダヤ人１（アーリア条項とドイツ社会）
15. ナチスとユダヤ人２（ナチス経済社会体制とユダヤ人政策）

西洋教育史（現代に生きる教育思想の系譜をたどる）

2020-S000009444-01

松原　岳行

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・４時限　　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

古代から中世までの教育思想を概観した後、教育史上に名を残したさまざまな人物に目を向け、西洋において目覚ましく発展した近代教育思想の特質や意義を明らかにしていく。具体的には、コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイらを取りあげる予定である。授業は主に講義形式で進めるが、少しでも受講生の関心や理解度に応じた双方向型の授業にするため、授業時間内にミニレポートや感想文の提出を求める。場合によっては講義テーマを変更するなど授業計画に若干の修正を加えることもあるので、その点も了承してもらいたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

古代から近代にいたる西洋の教育家や教育思想の特質について説明することができる。(知識・理解)

授業の要点を踏まえて西洋教育史に関するミニレポートを作成することができる。(技能)

現代教育の礎を築いたとされる西洋の近代教育思想を学ぶことによって、現代日本の教育問題について関心を持つことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

指定した教科書を事前に読んで予習を行うとともに（30分)、講義後には授業ノートの内容をよく復習し、現代の教育思想や学校制度について主体的に考えること（60分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

西洋教育史に興味を示し、近代教育思想の特質や意義について正しく説明できることを、主な評価基準とする。その際、受講態度２０％・期末試験８０％を目安として総合的に評価する方法をとる。欠席・遅刻によるミニレポートの未提出は減点対象とするので注意すること。ただし、やむを得ない理由により遅刻・欠席した場合は、公的な証明書等の提出をもって減点処分を免除する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版
ISBN978-4-901903-47-9 本体 2,000 円＋税

◎－－－　参考書　－－－◎

小笠原道雄他編『教育学概論』福村出版　本体 2,800 円＋税　ISBN 978-4-571-10140-3
※その他、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

私語、携帯電話やスマートフォン等の使用、無用な教室の出入りなど、受講態度として相応しくない行動は慎むこと。とくに他の学生の学習権を侵害するような行為や不正行為に対しては厳しく対処する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. 受講ガイダンス
2. 古代の教育
3. 中世の教育
4. 中世から近代へ
5. コメニウス―教育方法学の萌芽
6. ルソー―「子ども」の発見者
7. コンドルセ―公教育の理念

8. ペスタロッチ―人類の教育者
9. フレーベル―幼稚園の創設者
10. ヘルバルト―教育学の体系化
11. デュルケム―社会化としての教育
12. デューイ―児童中心主義
13. シュタイナー―自由な学校
14. イリイチ―脱学校論
15. 総括―現代に生きる教育思想

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

指定した教科書を事前に読んで予習を行うとともに（30分)、講義後には授業ノートの内容をよく復習し、現代の教育思想や学校制度について主体的に考えること（60分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

西洋教育史に興味を示し、近代教育思想の特質や意義について正しく説明できることを、主な評価基準とする。その際、受講態度２０％・期末試験８０％を目安として総合的に評価する方法をとる。欠席・遅刻によるミニレポートの未提出は減点対象とするので注意すること。ただし、やむを得ない理由により遅刻・欠席した場合は、公的な証明書等の提出をもって減点処分を免除する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版
ISBN978-4-901903-47-9 本体 2,000 円＋税

◎－－－　参考書　－－－◎

小笠原道雄他編『教育学概論』福村出版　本体 2,800 円＋税　ISBN 978-4-571-10140-3
※その他、講義中に適宜紹介する。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

私語、携帯電話やスマートフォン等の使用、無用な教室の出入りなど、受講態度として相応しくない行動は慎むこと。とくに他の学生の学習権を侵害するような行為や不正行為に対しては厳しく対処する。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. 受講ガイダンス
2. 古代の教育

西洋教育史（現代に生きる教育思想の系譜をたどる）　2020-S000009444-02

松原　岳行

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・５時限　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

古代から中世までの教育思想を概観した後、教育史上に名を残したさまざまな人物に目を向け、西洋において目覚ましく発展した近代教育思想の特質や意義を明らかにしていく。具体的には、コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイらを取りあげる予定である。授業は主に講義形式で進めるが、少しでも受講生の関心や理解度に応じた双方向型の授業にするため、授業時間内にミニレポートや感想文の提出を求める。場合によっては講義テーマを変更するなど授業計画に若干の修正を加えることもあるので、その点も了承してもらいたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

古代から近代にいたる西洋の教育家や教育思想の特質について説明することができる。(知識・理解)

授業の要点を踏まえて西洋教育史に関するミニレポートを作成することができる。(技能)

現代教育の礎を築いたとされる西洋の近代教育思想を学ぶことによって、現代日本の教育問題について関心を持つことができる。(態度・志向性)

3. 中世の教育
4. 中世から近代へ
5. コメニウス―教育方法学の萌芽
6. ルソー―「子ども」の発見者
7. コンドルセ―公教育の理念
8. ペスタロッチ―人類の教育者
9. フレーベル―幼稚園の創設者
10. ヘルバルト―教育学の体系化
11. デュルケム―社会化としての教育
12. デューイ―児童中心主義
13. シュタイナー―自由な学校
14. イリイチ―脱学校論
15. 総括―現代に生きる教育思想

西洋教育史（今日に生きている教育の源流）

江玉　睦美

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・２時限　　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。
（60 分）
・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること（試験に向けても重要となる)。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試

験　100％

◎－－－　テキスト　－－－◎

1　西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。 2　講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
3　今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の考えを述べることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

2020-S000009444-03

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011 年
ISBN978-4-901903-47-9　（2000 円＋税）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回　　自分にとっての教育（教育観を考える）第 2 回　　人間における教育の必要性　―カントなど― 第 3 回　　スパルタ教育とは―ギリシャの教育―　第 4 回　近代的教科書の誕生　―コメニウス― 第 5 回　　「子ども」の発見―ルソー―　第 6 回　　環境と教育　第 7 回　近代教育における学校教育―ペスタロッチー―　第 8 回　生活と教育　第 9 回　　幼児教育の源流―フレーベル―　第 10 回　遊びと教育　　―フレーベル―　第 11 回　近代学校制度　―ヘルバルト― 第 12 回　「子ども中心主義」教育　第 13 回　経験と教育　　―デューイ―　第 14 回　学校と教育　　―イリイチ―　第 15 回　歴史に学ぶこれからの教育

西洋教育史（今日に生きている教育の源流）

江玉　睦美

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・３時限　　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。(60 分)
・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること（試験に向けても重要となる)。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試

験　100%

◎－－－　テキスト　－－－◎

1　西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。 2　講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
3　今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の意見を述べることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

2020-S000009444-04

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011 年
ISBN978-4-901903-47-9　（2000 円＋税）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回　　自分にとっての教育（教育観を考える）　第 2 回　　人間における教育の必要性　―カントなど―　第 3 回　　スパルタ教育とは―ギリシャの教―　第 4 回　　近代的教科書の誕生　―コメニウス―　第 5 回　　「子ども」の発見―ルソー―　第 6 回　　環境と教育　第 7 回　近代教育における学校教育―ペスタロッチー―　第 8 回　生活と教育　第 9 回　　幼児教育の源流―フレーベル―　第 10 回　遊びと教育　　―フレーベル―　第 11 回　近代学校制度　―ヘルバルト―　第 12 回　「子ども中心主義」教育　第 13 回　経験と教育　　―デューイ―　第 14 回　学校と教育　　―イリイチ―　第 15 回　歴史に学ぶこれからの教育

西洋教育史（今日に生きている教育の源流）

江玉　睦美

期別：前期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・４時限　　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

近年、わが国の教育にはさまざまな問題がみられる。すべてのものに誕生から現在に至るまでの歴史があるように、教育もまた、誕生から長い歴史を経て現在に至っている。今日、教育が抱える諸問題はこうした歴史の中で起きているものである。そこで本講義では、教育の歴史を辿ることによって、教育の諸問題の背景や構造について考えていくことを目的とする。

講義内容は、古代から現代までの流れを追い、その中からそれぞれの時代において今日に影響を与えている教育思想や、今日の教育の源流となっている教育思想、今日の教育課題を考える視点となる教育思想を取り上げていく。

◎－－－　テキスト　－－－◎

1　西洋教育の歴史の流れについて説明することができるか。 2　講義で取り上げた代表的な教育の思想について説明することができるか。
3　今日の教育の諸問題について、歴史的背景から再確認し、自分の意見を述べることができるか。

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

2020-S000009444-05

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋における教育の歴史の流れを説明することができる(知識・理解)

代表的な教育の思想について説明することができる(知識・理解)

今日の教育の諸問題について歴史的背景を視点として考えることができる(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・講義終了時に、次回講義のテキスト範囲を連絡するので、必ず読んでおくこと。(60 分)
・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること（試験に向けても重要となる)。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試

験　100%

勝山吉章他著『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版、2011 年
ISBN978-4-901903-47-9　(2000 円＋税)

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎時間、質問カードを配布します。携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回　　自分にとっての教育（教育観を考える）　第 2 回　人間における教育の必要性　―カントなど― 第 3 回　　スパルタ教育とは―ギリシャの教―　　第 4 回　　近代的教科書の誕生　―コメニウス― 第 5 回 「子ども」の発見―ルソー― 第 6 回　環境と教育　第 7 回　　近代教育における学校教育―ペスタロッチー― 第 8 回　生活と教育　第 9 回　幼児教育の源流―フレーベル―　　第 10 回 遊びと教育　　―フレーベル― 第 11 回　近代学校制度　―ヘルバルト― 第 12 回 「子ども中心主義」教育　第 13 回　経験と教育　　―デューイ― 第 14 回　学校と教育　　―イリイチ― 第 15 回　歴史に学ぶこれからの教育

西洋教育史「BB」(「教える」「学ぶ」「育つ」の歴史的変遷)　2020-S000009444-06

深堀　伸一

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・二部２時限　試験時間割：2020/07/28　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

教育の歴史的な変遷と、現役の中学高校の教員としての経験をふまえた現代の生徒像や教師像、教育現場における課題といった諸問題を関連付けて考えたいと思います。自分の学びの経験や教師としてのありたい姿を念頭に置きつつ授業に臨んでください。

◎－－－　到達目標　－－－◎

西洋教育史の大まかな流れを西洋史と関連付けて理解することができる。(知識・理解)(知識・理解)

「教育」のもつ多様性を時間や空間を超えて理解できるようになる。(知識・理解)(知識・理解)

現在の日本の教育を相対化することができるようになる。(知識・理解)(知識・理解)

教育を外から見る教育史でなく、当事者から出発した視点で考えることができるようになる。(態度・志向性)(態度・志向性)

「教育制度の歴史」に偏ることなく、教育の当事者である教える者と学ぶ者の関係の変遷を軸として、それらが各時代の社会や制度とどう関わってきたのか、という視点を養うことができる。(態度・志向性)(態度・志向性)

教育史の記述を読んで、現代の教育との共通点や差異を抽出できる。(技能)(技能)

教育史の記述を読んで、当事者ごとに異なる利害や背景を読み取れる。(技能)(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

次の講義の時代背景（政治、経済、文化など）について、参考文献を講義中に提示するので、かんたんに予習してください。ただし余計な先入観は受講の妨げです。また復習を必ずしてください。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

評価の基準として、以下の二点を達成していることを求める。１．講義の内容をふまえて、教育という切り口を通して明らかとなったその時代の社会のあり方や人々の考え方を理解している。
２．講義の内容をふまえて、教育というテーマを通して浮かび上がる過去と現代の共通点と相違点について理解している。
評価方法
１．試験は論述形式で行ないます。（９０％）
２．受講姿勢及びリアクションシート（１０％）
◎－－－　テキスト　－－－◎ 授業中適宜プリントを配布します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

教育史を西洋史全般の流れと関連付けて説明するので、西洋史への基本的な知識や関心をもっていることが望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

以下の内容は、進度状況により変更する可能性があります。
１．授業概要と進め方
２．教育のステークホルダーと社会
３．古代１　討論か模倣か～教育の東西論
４．古代２　口伝と文字～伝えるとは？
５．中世１　「ヨーロッパ世界」と教育
６．中世２　大学の成立と発展
７．近代１　聖俗革命と知のあり方
８．近代２　教育と啓蒙
９．近代３　教育・衛生・軍隊～身体の国民化
１０．近代４　民衆世界と学び
１１．現代１　教養主義とファシズム
１２．現代２　教育と南北問題
１３．現代３　教育と市場

１４．現代４　現代社会と教育～多様化の世界にあって
１５．まとめ

西洋教育史（西洋の教育の歴史を知ろう）　2020-S000009444-07

勝山　吉章

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・２時限　試験時間割：2020/08/01　６時限

◎－－－　概要　－－－◎

私たちは一定の年齢に達したなら小学校へ行き、中学・高校へと進めることを当然のこととしてとらえている。学校には教室があり、教師がいて教科書がある。高校の卒業=大学入学資格であり、誰もが教育を受ける権利を有する。

だが、今日私たちが「当然」と思っている教育という営みも、数百年前までは夢想さえされなかったことが多い。富める親の子どもと、貧しい親の子どもが机を並べるために、人類は数世紀にわたる歳月を費やした。

また、歴史の新しい担い手が常にそうであるように、教育史上においても新しい教育の探求者は常に迫害と抑圧のなかにおかれた。

本講義では、このように私たちにとっては「当然」ととらえている教育を、その起源にまで遡って論じるものである。そのなかでとくに、大学の誕生や教養教育（リベラル・アーツ）がどのような経緯で生まれてきたのかを知ることによって、大学で学ぶ意味を考えていきたい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 西洋の教育の成り立ちについて理解する。(知識・理解)

テキストだけでなくいろいろな文献資料を使って教育の歴史を知ることが出来る。(技能)

西洋の教育の歴史を知ることで、教育とは何か、教育の在り方を探究するようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

・授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと（300 分)。
・授業計画に即して高校の世界史の教科書（参考書等）の授業相応内容を事前に読んでおくこと（300 分)。
・講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと（300 分)。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

・西洋の教育の成り立ちについて、その制度や思想などについて理解したかどうかを評価の基準とする。
・定期試験の結果（80%)、授業時間における発表等（20%）を評価の方法とする。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定の合格者は履修生の半数ぐらいを考えている。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

勝山他『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版
ISBN978-4-901903-47-9 定価 2000 円＋税

◎－－－　参考書　－－－◎

乙訓稔編『教育の論究（改訂版)』東信堂江藤恭二他編『子どもの教育の歴史』(名古屋大学出版会)
・江藤恭二他編『西洋近代教育史』(学文社)
・乙訓稔『西洋近代幼児教育思想史』(東信堂)

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

授業中の私語、居眠り、携帯等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由ともなりうる。
テキストを中心に授業を行う。従って、テキストを持参しない学生の受講は認められない。
本講義は、教育原論（教育の原理・過程論）の講義とリンクしているので、両者の講義の受講を勧める。
なお担当者は、視覚に障害をもっているため学生諸君の理解をお願いしたい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．古代ギリシャの教育
２．ソクラテス・プラトン・アリストテレス
３．古代ローマの教育
４．中世僧院の教育
５．大学と都市国家の誕生
６．ルネッサンスと教育
７．宗教改革と教育
８．科学革命と教育
９．ルソーの教育思想

10. コンドルセの教育思想
11. ペスタロッチの教育思想
12. ヘルバルトの教育思想
13. フレーベルの教育思想
14. 20 世紀の新教育運動
15. まとめ

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること。(30 分程度) 試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

西洋文学A（カミュ『異邦人』を読む）

2020-S000009426-01

野田　康文

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：前期：火・５時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19 世紀と 20 世紀に活躍した 2 人の作家の作品――前期はカミュの『異邦人』、後期はモーパッサンの『脂肪のかたまり』――を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

前期は 20 世紀のフランスの作家・カミュの『異邦人』という中編小説を読みます。無動機の殺人というテーマを扱った、カミュの代表作の 1 つに数えられる作品です。全部を読むことはできないので、大事な場面を中心に、設問つきの配布テキストで読んでいきます。

カミュとモーパッサンは、どちらも日本の近代文学に影響を与えた作家です。作家の死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人たちを理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1 つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

20 世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。(知識・理解)

文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。(態度・志向性)

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。
(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと。(15～30 分程度)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことが数回ありますので、それを平常点として扱います。提出した用紙の解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出用紙と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を 9 割、残り 1 割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に
「技能」を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

設問の解答用紙を提出する時は、用紙配布の時点に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。
他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第1回：　『異邦人』を読む1 ガイダンス、作者紹介、テキスト1の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第2回：　『異邦人』を読む2 テキスト2の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第3回：　『異邦人』を読む3 テキスト3の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第4回：　『異邦人』を読む4 テキスト4の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第5回：　『異邦人』を読む5 テキスト5の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第6回：　『異邦人』を読む6 テキスト6の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第7回：　『異邦人』を読む7 テキスト7の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第8回：　『異邦人』を読む8 テキスト8の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第9回：　『異邦人』を読む9 テキスト9の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第10回：　『異邦人』を読む10 テキスト10の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第11回：　『異邦人』を読む11 テキスト11の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第12回：　『異邦人』を読む12 テキスト12の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第13回：　『異邦人』を読む13 テキスト13の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第14回：　『異邦人』を読む14 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き1第15回：　『異邦人』を読む15 テキスト14の黙読及び作品解説、設問解法の手引き2、全体まとめ

◎－－－　到達目標　－－－◎

ゾラの文学の文学観・芸術観が理解でき、説明できる。（知識・理解）

19世紀後半のフランスの文化・芸術の特徴が理解でき、説明できる。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習に関しては、60分ほどの時間で、授業内で配布されるプリントを授業が始まる前までに目を通しておく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいることが望ましいです。
復習に関しては、30分ほどの時間で、授業内で課されるコメント課題に対応するため内容の復習が必要です。さらに定期試験にも備えて復習をしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回、授業の終わりに特定のテーマに関して、200文字程度のコメントを書いてもらいます。成績は、そのコメントの点を 40%で評価します。コメントの評価基準は、

西洋文学A（エミール・ゾラ『制作』とフランス近代美術の展開）　2020-S000009426-02

林　信蔵

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：木・４時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、19世紀フランスを代表する小説家で、明治の
日本の文学にも多くの影響を与えたエミール・ゾラ（1840-1902）の代表的シリーズ小説『ルーゴン＝マッカール叢書』中の『制作』（1886）を読みながら、ゾラの文学作品の面白さを味わうとともに、その中で題材とされる19世紀フランスの文化・芸術の特徴を学ぶことを目的とします。　ゾラの『制作』では、画家のエドゥアール・マネ（1832-1883）やポール・セザンヌ（1839-1906）をモデルとしたと考えられる人物が主人公として登場します。また、彼らと交流関係があったゾラ自身をモデルとしたと考えられる人物も登場します。これらの人物が織りなす人間関係や、背景となる都市文化の発展のありようも考察することで、ゾラの芸術観と同時に、フランスの文化の特徴も理解することを目指します。

授業内容の正確な理解とそれに基づいた独自の意見が示されているかを重視します。これに加え、定期試験の結果が60%の割合で反映されます。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特定のテキストは使用しません。
毎回資料（プリント）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

『いま、なぜゾラか』　ISBN 4-89434-306-1

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の学生の学びを邪魔しないように、私語に関しては厳格に対応します。授業は日本語の資料を主に扱い、外国

語を理解することは求めませんが、西洋の文化、芸術に関心があると授業に興味が持ちやすいと思われます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１）ガイダンス
２）ゾラの美術批評
３）『制作』第１章
４）『制作』第２章
５）『制作』第３章
６）『制作』第４章
７）『制作』第５章
８）『制作』第６章
９）『制作』第７章
10）『制作』第８章
11）『制作』第９章
12）『制作』第 10 章
13）『制作』第 11 章
14）『制作』第 12 章
15）まとめ・授業アンケート

西洋文学Ａ（エミール・ゾラ『制作』とフランス近代美術の展開）　2020-S000009426-03

林　信蔵

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：金・４時限　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、19 世紀フランスを代表する小説家で、明治の
日本の文学にも多くの影響を与えたエミール・ゾラ（1840-1902）の代表的シリーズ小説『ルーゴン＝マッカール叢書』中の『制作』（1886）を読みながら、ゾラの文学作品の面白さを味わうとともに、その中で題材とされる 19 世紀フランスの文化・芸術の特徴を学ぶことを目的とします。　ゾラの『制作』では、画家のエドゥアール・マネ（1832-1883）やポール・セザンヌ（1839-1906）をモデルとしたと考えられる人物が主人公として登場します。また、彼らと交流関係があったゾラ自身をモデルとしたと考えられる人物も登場します。これらの人物が織りなす人間関係や、背景となる都市文化の発展のありようも考察することで、ゾラの芸術観と同時に、フランスの文化の特徴も理解することを目指します。

◎－－－　到達目標　－－－◎

ゾラの文学の文学観・芸術観が理解でき、説明できる。（知識・理解）

19 世紀後半のフランスの文化・芸術の特徴が理解でき、説明できる。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習に関しては、60 分ほどの時間で、授業内で配布されるプリントを授業が始まる前までに目を通しておく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいることが望ましいです。
復習に関しては、30 分ほどの時間で、授業内で課されるコメント課題に対応するため内容の復習が必要です。さらに定期試験にも備えて復習をしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回、授業の終わりに特定のテーマに関して、200 文字程度のコメントを書いてもらいます。成績は、そのコメントの内容を 40%で評価します。コメントの評価基準は、授業内で詳しく説明します。これに加え、定期試験の結果が 60%の割合で反映されます。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特定のテキストは使用しません。
毎回資料（プリント）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

『いま、なぜゾラか』　ISBN 4-89434-306-1

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の学生の学びを邪魔しないように、私語に関しては厳格に対応します。授業は日本語の資料を主に扱い、外国語を理解することは求めませんが、西洋の文化、芸術に関心があると授業に興味が持ちやすいと思われます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1）ガイダンス
2）ゾラの美術批評
3）『制作』第1章
4）『制作』第2章
5）『制作』第3章
6）『制作』第4章
7）『制作』第5章
8）『制作』第6章
9）『制作』第7章
10）『制作』第8章
11）『制作』第9章
12）『制作』第10章
13）『制作』第11章
14）『制作』第12章
15）まとめ・授業アンケート

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

西洋文学A（ヨーロッパのミュージカル） 2020-S000009426-04 光冨　省吾

授業時間割：前期：木・３時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることが大切である。今年度はミュージカル映画を題材に、ミュージカルで提示された問題を考えて行く。
授業：鑑賞のポイントなどの資料を配布する（あるいはスクリーンに提示する）ので、それを参考にしながら、作品を鑑賞する。後で感想をまとめるためにメモを取るのも良い方法。
アンドルー・ロイド・ウエバーの作品を中心にヨーロッパのミュージカルを対象とする。

◎－－－　到達目標　－－－◎

　文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることができるようになる。(知識・理解)

　ミュージカルで歌われる曲はただ単に歌うのではなく、ストーリーの進行や登場人物の心理と密接な関係があるので、歌詞の意味を考えながら、鑑賞できるようになる。(技能)

ミュージカル映画の鑑賞を通して、批評能力、論理的思考力、洞察力、考えの異なる他者を思いやる力を養成できるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：授業で扱われる作品のテーマなどのポイントを教科書を読みながら、印をつけたり、ノートに抜き書きしておく。(30分～１時間程度) 復習：もう一度作品のテーマについて考え、自分なりの意見をメモしたり、感想をまとめておく。ストーリーの展開に従って曲の内容を整理しておく。(30分～１時間程度)

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

それぞれのミュージカル作品によって提示されたテーマや問題点をどの程度論理的に理解しているか、代表曲の歌詞をどの程度理解しているか、作者や作品のバックグラウンドをどの程度理解しているかを定期試験の成績評価基準とする。定期試験
100%.
小山内伸『進化するミュージカル』論創社
ISBN 9784846006310

◎－－－　参考書　－－－◎ 猫たちの舞踏会：エリオットとミュージカル「キャッツ」

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 授業中の居眠り、私語と携帯電話使用は厳禁。

◎－－－　授業計画　－－－◎

(1) ミュージカルの歴史：ミュージカルとは？
(2) キャッツ　1
(3) キャッツ　2
(4) ジーザス・クライスト・スーパースター 1
(5) ジーザス・クライスト・スーパースター 2
(6) エヴィータ１
(7) エヴィータ２
(8) オペラ座の怪人１

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

(9) オペラ座の怪人２
(10)　　エリザベート１
(11)　　エリザベート２
(12)　　エリザベート３
(13) レ・ミゼラブル１
(14) レ・ミゼラブル２
(15) レ・ミゼラブル３

◎－－－　テキスト　－－－◎
くることが求められる。毎週ではないが、作品を読むには 2，3 時間は要するであろう。(各週平均 60 分)

復習：時代や歴史背景についてノートを整理し、作品の有名な一節を日本語・英語で音読したり、場合によっては日本語
（出来る人は英語）で暗唱することが求められる。(30 分)

西洋文学Ａ（シェイクスピアの悲劇と歴史劇）　　2020-S000009426-05 鶴田　学

授業時間割：前期：金・５時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、イギリス文学を代表するウィリアム・シェイクスピアの演劇を通じて、イギリス・ルネサンスの文学について広く学びます。シェイクスピアは実に多彩な作家で喜劇、悲劇、歴史劇、ロマンス劇といった様々なジャンルの作品を残していますが、ここでは特に『ロミオとジュリエット』や『ハムレット』などが有名な悲劇と『ヘンリー五世』がよく知られる歴史劇に焦点を当てて行きます。文学に親しむことと平行して、イギリスの歴史・文化に関するトピックにも言及します。講義には、シェイクスピア研究に関する国内外の最新の情報も盛り込んでいく予定です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

①　　劇作家シェイクスピアとその悲劇、歴史劇についての一般教養を身につけている。(知識・理解)

②　　シェイクスピアの作品や歴史について自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：次回の授業で扱う作品のあらすじをテキストで確認し、必要に応じて日本語訳でシェイクスピアの原作を読んで

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

成績評価の 80%は、定期試験期間中に実施する筆記試験によります（到達目標①)。残り 20%は小テストを含む授業参加によります（到達目標②)。定期試験では「劇作家シェイクスピアとその悲劇、歴史劇についての一般教養」を記号式の客観問題と記述を織り交ぜて評価します。合格の基準は、シェイクスピアについての基礎知識の理解ができていること、代表的な悲劇、歴史劇の内容、背景、舞台表象などを押さえていることです。小テストはタームの中で抜き打ち的に数回行います。そこでは、シェイクスピアについて「自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる」技能を記述式によって測ります。もしも、平素、出席が良好な受講者が偶発的に小テストの回に休んでしまった場合には、成績評価が不利にならないように配慮することもあり得ます。『あらすじで読むシェイクスピア全作品』
河合祥一郎著　　価格￥864
ISBN 9784396113490

◎－－－　参考書　－－－◎

『シェイクスピアの驚異の成功物語』　ISBN 9784560027486

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

講義や試験は原則として日本語で行われますが、シェイクスピアの特徴を正しく理解するために一部に英語を読むことがあります。直接英語力を問うような問題や英文和訳の出題はありませんが、英語という言語や英国文化に興味があることが望ましい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1.イントロダクション
2.『ロミオとジュリエット』
3.『ロミオとジュリエット』
4.『ロミオとジュリエット』
5.『恋に落ちたシェイクスピア』
6.『リチャード三世』
7.『リチャード三世』
8.中間のまとめ（論述式の小テスト）
9.『ヘンリー五世』
10.『ヘンリー五世』
11.『ヘンリー五世』
12.『ハムレット』
13.『ハムレット』
14.『ハムレット』
15.全体のまとめ（論述式の小テスト）

◎－－－　テキスト　－－－◎
あるかを感じ取っていく。講義形式で毎回 2 つぐらいの詩を読み進めるが、授業の終わりに与えられたテーマについて 200 字ぐらいの小文を書いてもらう。事前・事後学習として該当する詩及び解説に眼を通しておくことが望ましい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 言葉の多義的な意味についての認識が深まる。(知識・理解)

詩的表現を通して自分の世界像を膨らますことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

自分なりにイメージを膨らませておくことが授業での関心を高めることになるので事前に詩に目を通しておくこと。また自分が抱いていたイメージの修正を事後学習ですること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

到達目標の（知識・理解）および（態度・志向性）について毎回提出してもらう小文を小課題点とし、定期試験の結果と合わせて評価する。小文、定期試験とも自分の意見を詩人の言葉を手がかりにしてどれほど客観性を持たせているかで判断する。平常点 30 点、定期試験 70 点である。庄野幸吉・檜山哲彦編　『ドイツ名詩選』(岩波文庫)
900 円　ISBN4-00-324601-2

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

西洋文学A（現実と夢）　2020-S000009426-07 山中　博心

授業時間割：前期：月・５時限　　試験時間割：2020/07/28　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では特にドイツ古典主義とロマン主義に代表される 18 世紀及び 19 世紀の詩人を取り扱う。予定調和的なものを前提とする時代であり、具体的には主としてゲーテ、ヘルダーリン、ハイネの詩を取り扱う。単に詩を概説するだけでなく、音、リズムや抑揚などにも注意を払い、日常使う言葉とは違った魂の込められた言葉が人間にとって如何に不可欠で

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

自分で感じ、考えることを旨とする。借りてきた説明書を写すようなことはこの講義の目的にそぐわない。自分の個的な感性を如何にして他者と共有出来るかを心がけること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　はじめに
2　クロップシュトック
3　ゲーテ
4　ゲーテ
5　ゲーテ
6　ゲーテ
7　シラー
8　ヘルダーリン
9　ヘルダーリン
10　ハイネ
11　ハイネ
12　ハイネ
13　メーリケ
14　マイヤー
15　まとめ

西洋文学A「教養ゼミ」(Speculative Japan 2)　　2020-S000009426-08

クロス，ティモシー

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：演習　実務経験：有り　科目水準：入門　試験実施：無し

授業時間割：前期：月・５時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

Reading literature helps you understand your world.
Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills.
You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing.

You will be given a short test at the beginning of every class, so you can show that you have successfully completed the homework and understood the basic themes of each story.

You will study how to read and discuss short stories.
You will take part in discussion activities.
By the end of the course, you will be able to agree and disagree with other students as you about the main themes of a short story.

We will talk about the way Japan is imagined in the Speculative Japan stories. As we imagine the future possibilities of Japan, we will think about Japan now.

Group activities will include:
Participating in discussions
Helping other students when they do not understand
Asking questions when you do not understand
Working together to score the individual presentation of other students

Individual activities will include:
Preparing a powerpoint set of discussion questions
Making a brief presentation about some aspect of Japanese life that is thematically connected to the weekly reading

Although the class is taught in English, some students might mix Japanese and English at the beginning of the course. As the course goes on, hopefully more English will be spoken. It is also possible that exchange students will take this course. Fukuoka University students and exchange students should help each other.

◎－－－　到達目標　－－－◎

You will read the stories in Japanese or English. (知識・理解)

You will talk about each story in Japanese or English. (技能)

You will talk about the stories in Japanese or English using the frameworks developed in class. (態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

Please complete your homework BEFORE class: 90 minutes preparation per week.
You will read the stories in Japanese or English.
You will make notes comparing the various stories.
Reading the homework: checking anything you do not understand. Preparing for presentations and discussions.

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

Punctual class attendance, with the reading homework finished before coming to class, and with the textbook ready to actively participate in
discussions 70%
Individual
presentation 20%
Individual role in group 10%

I will not explain the evaluation system in class. You must read it for yourself.

◎－－－　テキスト　－－－◎

Speculative Japan 第二巻
"The Man Who Watched the Sea" and Other Tales of Japanese
Science Fiction and Fantasy

ISBN-13: 978-4-902075-18-2

◎－－－　参考書　－－－◎

http://www.kurodahan.com/mt/j/catalog/j0025cate.html http://www.kurodahan.com

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

Theoretically, this should be fun for you.

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 Course overview: individual presentations, group evaluation of individual presentations (Score and reasons for that score).
2 安房 直子
"A Gift from the Sea" 海からの
贈り物翻訳：Sheryl A. HOGG 3
円城 塔
"Freud" Freud
翻訳：Kevin STEINBACH

4 大原 まり子
″The Whale that Sang on the Milky Way Network″ 銀河ネットワークで歌を歌ったクジラ
翻訳：Nancy H. ROSS
5 小川 一水
″Old Vohl's Planet″ 老ヴォールの惑星
翻訳：Jim HUBBERT 6 恩田 陸
″The Big Drawer″ 大きな引き出し
翻訳：Nora Stevens HEATH
7 梶尾 眞治
″Emanon: A Reminiscence″ おもいでエマノン翻訳：Edward LIPSETT
8 北國 浩二
″Midst the Mist″ 靄の中翻訳：Rossa O'MUIREARTAIGH 9 小林 泰三
″The Man Who Watched the Sea″ 海を見る人翻訳：Anthea MURPHY 10 高樹 のぶ子
″Melk's Golden Acres″ メルクの黄金畑翻訳：Dink TANAKA 11 2009 黒田藩プレス翻訳賞受賞作谷甲 州
″Q-Cruiser Basilisk″ 仮装巡洋艦バシリスク翻訳：Simon VARNAM
12 中井 紀夫
″Mountaintop Symphony″ 山の上の交響楽翻訳：Terry GALLAGHER 13 堀 晃
″Open Up″ 開封
翻訳：Roy BERMAN 14 山尾 悠子
″Perspective″ 遠近法翻訳：Ginny Tapley TAKEMORI
15 Course review

西洋文学A（フランス文学と社会）　2020-S000009426-09

輪田　裕

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・1時限　試験時間割：2020/07/28　4時限

◎－－－　概要　－－－◎

文学は人間を対象に、人間の複雑で微妙な心理を描くだけではなく、特定の時代と社会の中での特有の問題との関係も描く。フランス文学も 19 世紀以降は、激動する政治・経済に翻弄される人間を活写するが、その描き方は作家それぞれの思想・世界観・信条・個性が反映されている。すぐれた文学には時代を超えて多くの読者を感動させる普遍的な真実が表現されているが、それとともに特定の社会と格闘する作家個人の生き方も反映されていて、わたしたちに人間の生き方の手本を教えてくれる。過去の作家たちのそれぞれの社会の中での生き方を通じて、多様な課題への取り組みのヒントを得ることができるでしょう。
講義では、ルソー以降の幾人かの作家をとりあげ、その作家が生きた時代と社会を紹介しながら、代表的な作品に触れます。
フランス文学に関する知識や人間と社会の関係などに関心を持ってもらうことが当面の目標です。しかし、紹介できる作家と作品は、膨大なフランス文学のほんの一部にすぎません。フランス文学に限定することなく、文学の魅力を少しでも感じてもらえれば、あるいはその小さなきっかけになれば、講義担当者としてはうれしく思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

フランス文学に関する基本的知識を身につけ、説明することができる
(知識・理解)

人間性と社会との関係を考慮した相対的思考を行うことができる(技能)

問題意識をもって文学と社会の在り方を考える態度を身につける(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

講義では、特定の作家の特定の時代を取り上げますので、あらかじめテキストの該当ページを読んでおいて講義の内容が理解しやすいようにしておいてください。また、講義でとりあげた作家の作品は文庫で読める作品ばかりですので、講義後は実際に読んでみてください。(30分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末におこなう定期試験ではフランス文学の基礎知識と、作家と時代・社会の相対的関係を問います。また、前期の講義中に複数回提出するミニッツペーパーでは講義のテーマに沿った記述が論理的に表現しているかどうかを評価します。定期試験を
8 割、ミニッツペーパーを 2 割として成績評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

渡辺一夫・鈴木力衛著『増補　フランス文学案内』、岩波文庫別冊①

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

フランスの歴史的知識については、高校で世界史を学んでいなくてもわかる程度ですが、新しい知識に対して積

極的な関心を持つことが苦手な学生さんは履修を避けてくださ
い。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．導入
２．歴史的事件の証言としての小説：二月革命
３.『感情教育』とフロベール
４．政治体制と自由：王政復古
５.『赤と黒』とスタンダール
６．19 世紀パリ風俗描写
７.『ゴリオ爺さん』とバルザック
８．大都市の美:『パリの憂愁』とボードレール
９．絶対王政とフランス革命
10.『人間不平等起源論』とルソー
11. 飛行機の時代と行動
12.『夜間飛行』とサンテグジュペリ
13. 宗教戦争と懐疑
14.『エセー』とモンテーニュ
15. まとめ

西洋文学Ｂ（モーパッサン『脂肪のかたまり』を読む）　2020-S000009432-01

野田　康文

期別：後期　　単位数：2　　開講年次：１　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：火・５時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この科目は、西洋文学を読んでみたい、文学作品をじっくりと読むことの面白さを知りたい、という人のためのものです。半期に分けて、19 世紀と 20 世紀に活躍した 2 人の作家の作品――前期はカミュの『異邦人』、後期はモーパッサンの『脂肪のかたまり』――を扱います。特に通年で履修する必要はありません。

後期はフランスの作家・モーパッサンの『脂肪のかたまり』という中編小説を読みます。日本の近代化にも影響を及ぼした普仏戦争を背景に、社会的階級の異なる人間像を描いています。
モーパッサンの出世作となった作品です。全部を読むことはできないので、前期と同様に、大事な場面を中心に、設問つきの配布テキストで読んでいきます。

カミュとモーパッサンは、どちらも日本の近代文学に影響を与えた作家です。作家の死後長い年月を経過した今日でも読み継がれている彼等の文学作品を読み解いていくことは、現代に生きる皆さんにとっても、自分と異なる時代や文化に生きる人たちを理解する柔軟さを身につけるのに役立つでしょう。1 つの作品を半年かけてじっくりと深く読んでいくので、文学を読むことの好きな人、興味のある人に向いている科目です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀の西洋文学の一端にふれることを通して、異文化に対する知識と教養を深める。（知識・理解）文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける。（態度・志向性）

上記のことを自分の言葉で説明する力をつける。
（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎回の授業で配布する設問付きのテキストを、予習・復習にも活用してください。予習としては、次回の講義にスムーズに入っていけるよう、授業の前日に必ず前回のテキストを読み返しておくこと。（15～30 分程度）

また復習としては、毎回の授業後、その日の講義での解説を参考に、その回の設問の解答をあらためて自分の言葉で作成すること。（30 分程度）試験の直前にまとめて行うのは、時間的にも記憶の上からも無理があるので、毎回の授業後に必ず作成すること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

授業では毎回、読解すべき本文を設問付きで配布します。受講者はまず、設問の答えを書きこみながら、本文を自分の力で読んでいきます。その後、解説を聴きながら、自分の読みと比べてください。出欠は基本的にはとりませんが、解説の前、あるいは後に設問の解答を提出してもらうことが数回ありますので、それを平常点として扱います。提出した用紙の解答は、受講態度の目安として、評価の参考にします。

評価は基本的には、上記の提出用紙と定期試験によって行います。試験では、この授業の到達目標である「異文化に対する知識と教養を深める」こと、「文学作品を読み解く感受性や想像力を身につける」ことができているか、それを「自分の言葉で説明する力をつける」ことができているかを評価基準として採点しますので、必然的に授業を聴いている人が有利になります。試験時の持ち込みは一切不可。

原則として定期試験を 9 割、残り 1 割は平常点によって評価します。定期試験により到達目標の「知識・理解」、「態度・志向性」、「技能」を総合的に評価し、平常点では受講態度と特に
「技能」を評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎ 毎回、授業の時に、設問付きの本文テキストを配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

設問の解答用紙を提出する時は、用紙配布の時点に遅刻したり、退席したりしていた者は、欠席扱いとし、受講態度の評価の参考とします。
他人に迷惑をかける行為、特に授業中に私語をすることをかたく禁じ、受講態度の評価として重視します。

◎－－－　授業計画　－－－◎

第 1 回：　『脂肪のかたまり』を読む 1 ガイダンス、作者紹介、テキスト 1 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 2 回：　『脂肪のかたまり』を読む 2 テキスト 2 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 3 回：　『脂肪のかたまり』を読む 3 テキスト 3 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 4 回：　『脂肪のかたまり』を読む 4 テキスト 4 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 5 回：　『脂肪のかたまり』を読む 5 テキスト 5 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 6 回：　『脂肪のかたまり』を読む 6 テキスト 6 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 7 回：　『脂肪のかたまり』を読む 7 テキスト 7 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 8 回：　『脂肪のかたまり』を読む 8 テキスト 8 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 9 回：　『脂肪のかたまり』を読む 9 テキスト 9 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 10 回：　『脂肪のかたまり』を読む 10 テキスト 10 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 11 回：　『脂肪のかたまり』を読む 11 テキスト 11 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き 1 第 12 回：　『脂肪のかたまり』を読む 12 テキスト 11 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き 2 第 13 回：　『脂肪のかたまり』を読

む 13 テキスト 12 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 14 回： 『脂肪のかたまり』を読む 14 テキスト 13 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き第 15 回： 『脂肪のかたまり』を読む 15 テキスト 14 の黙読及び作品解説、設問解法の手引き、全体まとめ

西洋文学Ｂ（原作と比べて味わうフランス・オペラ）　2020-S000009432-02

林　信蔵

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：木・４時限　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、主に 19 世紀後半のフランス・オペラ作品をその原作の文学作品とくらべながら鑑賞することで、19 世紀フランスの文学や音楽の歴史を学び、さらにそうした作品を生み出した文化的背景を考察して行きます。

まず、西洋オペラの歴史を簡単に解説した上で、オペラとミュージカルの違いを説明します。その上で、19 世紀の後半のフランス・オペラに大きな影響を与えたドイツの作曲家ヴァーグナーの《タンホイザー》を鑑賞します。そして、ヴァーグナーの影響を受けたフランス・オペラとしてマスネの《タイス》とドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》を原作と比較しながら鑑賞して行きます。オペラの見せ場を鑑賞し、その場面が原作ではどのように扱われているのかを解説していきます。

音楽的特徴の説明も一部しますが、楽譜が読めるなど専門的な知識を必要とするものではありません。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀後半のフランス文学およびオペラの特徴を理解し、説明できる。(知識・理解)

オペラ作品を生み出す背景となる文化の特徴を理解し、説明できる(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習に関しては、60 分ほどの時間で、授業内で配布されるプリントを授業が始まる前までに目を通しておく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいることが望ましいです。

復習に関しては、30 分ほどの時間で、授業内で課されるコメント課題に対応するため内容の復習が必要です。さらに定期試験にも備えて復習をしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回、授業の終わりに特定のテーマに関して、200 文字程度のコメントを書いてもらいます。成績は、そのコメントの内容を 40%で評価します。コメントの評価基準は、授業内で詳しく説明します。これに加え、定期試験の結果が 60%の割合で反映されます。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特定のテキストは使用しません。
毎回資料（プリント）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 必要に応じて授業内で提示します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の学生の学びを邪魔しないように、私語に関しては厳格に対応します。授業は日本語の資料を主に扱い、外国語を理解することは求めませんが、西洋の文化、芸術に関心があると授業に興味が持ちやすいと思われます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　オペラの歴史・ミュージカルとの違い
3　番号オペラ
4　《タンホイザー》①
5　《タンホイザー》②
6　《タンホイザー》③
7　《タイス》①
8　《タイス》②
9　《タイス》③
10 《ペレアスとメリザンド》①

西洋文学Ｂ（原作と比べて味わうフランス・オペラ）　2020-S000009432-03

林　信蔵

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・４時限　試験時間割：2021/01/20　４時限

11 《ペレアスとメリザンド》②
12 《ペレアスとメリザンド》③
13 《ペレアスとメリザンド》④
14 《ペレアスとメリザンド》⑤
15 まとめ・授業アンケート

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、主に 19 世紀後半のフランス・オペラ作品をその原作の文学作品とくらべながら鑑賞することで、19 世紀フランスの文学や音楽の歴史を学び、さらにそうした作品を生み出した文化的背景を考察して行きます。

まず、西洋オペラの歴史を簡単に解説した上で、オペラとミュージカルの違いを説明します。その上で、19 世紀の後半のフランス・オペラに大きな影響を与えたドイツの作曲家ヴァーグナーの《タンホイザー》を鑑賞します。そして、ヴァーグナーの影響を受けたフランス・オペラとしてマスネの《タイス》とドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》を原作と比較しながら鑑賞して行きます。オペラの見せ場を鑑賞し、その場面が原作ではどのように扱われているのかを解説していきます。

音楽的特徴の説明も一部しますが、楽譜が読めるなど専門的な知識を必要とするものではありません。

◎－－－　到達目標　－－－◎

19 世紀後半のフランス文学およびオペラの特徴を理解し、説明できる。(知識・理解)

西洋文学Ｂ（ブロードウェイ・ミュージカル）　2020-S0000(

光冨　省吾

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義り　授業時間割：後期：木・３時限　試験時間割：2021/01/20　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施　４時限

オペラ作品を生み出す背景となる文化の特徴を理解し、説明できる(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習に関しては、60 分ほどの時間で、授業内で配布されるプリントを授業が始まる前までに目を通しておく必要があります。また、授業内で提示される参考文献等を読んでいることが望ましいです。

復習に関しては、30 分ほどの時間で、授業内で課されるコメント課題に対応するため内容の復習が必要です。さらに定期試験にも備えて復習をしてください。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

毎回、授業の終わりに特定のテーマに関して、200 文字程度のコメントを書いてもらいます。成績は、そのコメントの内容を 40%で評価します。コメントの評価基準は、授業内容の正確な理解とそれに基づいた独自の意見が示されているかを重視します。これに加え、定期試験の結果が 60%の割合で反映されます。

◎－－－　テキスト　－－－◎

特定のテキストは使用しません。
毎回資料（プリント）を配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎ 必要に応じて授業内で提示します。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

他の学生の学びを邪魔しないように、私語に関しては厳格に対応します。授業は日本語の資料を主に扱い、外国語を理解することは求めませんが、西洋の文化、芸術に関心があると授業に興味が持ちやすいと思われます。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　イントロダクション
2　オペラの歴史・ミュージカルとの違い
3　番号オペラ
4　《タンホイザー》①
5　《タンホイザー》②
6　《タンホイザー》③
7　《タイス》①
8　《タイス》②
9　《タイス》③
10　《ペレアスとメリザンド》①
11　《ペレアスとメリザンド》②
12　《ペレアスとメリザンド》③
13　《ペレアスとメリザンド》④
14　《ペレアスとメリザンド》⑤
15 まとめ・授業アンケート

◎－－－　概要　－－－◎

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることが大切である。今年度はミュージカル映画を題材に、ミュージカルで提示された問題を考えて行く。

授業：鑑賞のポイントなどの資料を配布する（あるいはスクリーンに提示する）ので、それを参考にしながら、作品を鑑賞する。後で感想をまとめるためにメモを取るのも良い方法。

1990 年代以降のブロードウェイ復興後のアメリカのミュージカル作品を対象とする。

◎－－－　到達目標　－－－◎

文学作品に接するとき、作品によって提示された問題点を受け止め、どのように対処して行くのか、自分なりに考えることができるようになる。（知識・理解）

ミュージカルで歌われる曲はただ単に歌うのではなく、ストーリーの進行や登場人物の心理と密接な関係があるので、歌詞の意味を考えながら、鑑賞できるようになる。（技能）

ミュージカル映画の鑑賞を通して、批評能力、論理的思考力、洞察力、考えの異なる他者を思いやる力を養成できるようになる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

予習：授業で扱われる作品のテーマなどのポイントを教科書を読みながら、印をつけたり、ノートに抜き書きしておく。（30 分～１時間程度）復習：もう一度作品のテーマについて考え、自分なりの意見をメモしたり、感想をまとめておく。ストーリーの展開に従って曲の内容を整理しておく。（30 分～１時間程度）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

それぞれのミュージカル作品によって提示されたテーマや問題点をどの程度論理的に理解しているか、代表曲の歌詞をどの程度理解しているか、作者や作品のバックグラウンドをどの程度理解しているかを定期試験の成績評価基準とする。定期試験
100%.

◎－－－　テキスト　－－－◎

小山内伸『進化するミュージカル』論創社
ISBN 978-4-8460-0631-0

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎ 授業中の私語と携帯電話

は厳禁。

◎－－－　授業計画　－－－◎

(1) マンマ・ミーア！１
(2) マンマ・ミーア！２
(3) ライオンキング（概略のみ）
(4) レント１
(5) レント２
(6) シカゴ１
(7) シカゴ２
(8) プロデューサーズ１
(9) プロデューサーズ２
(10) ヘアスプレー１
(11) ヘアスプレー2
(12) 美女と野獣１
(13) 美女と野獣 ２
(14) ウィキッド（概略のみ ）アナと雪の女王１
(15) アナと雪の女王２

西洋文学Ｂ（シェイクスピアの喜劇とロマンス劇）　2020-S000009432-05

鶴田　学

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・５時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では、イギリス文学を代表するウィリアム・シェイクスピアの演劇を通じて、イギリス・ルネサンスの文学について広く学びます。シェイクスピアは実に多彩な作家で喜劇、悲劇、歴史劇、ロマンス劇といった様々なジャンルの作品を残していますが、ここでは特に『ヴェニスの商人』や『夏の夜の夢』などが有名な喜劇と『あらし』がよく知られるロマンス劇に焦点を当てて行きます。文学に親しむことと平行して、イギリスの歴史・文化に関するトピックにも言及します。講義には、シェイクスピア研究に関する国内外の最新の情報も盛り込んでいく予定です。

◎－－－　到達目標　－－－◎

劇作家シェイクスピアとその喜劇、ロマンス劇についての一般教養を身につけている。(知識・理解)

シェイクスピアの作品や歴史について自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる。(技能)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

予習：次回の授業で扱う作品のあらすじをテキストで確認し、必要に応じて日本語訳でシェイクスピアの原作を読んでくることが求められる。毎週ではないが、作品を読むには 2，3 時間は要するであろう。(各週平均 60 分)

復習：時代や歴史背景についてノートを整理し、作品の有名な一節を日本語・英語で音読したり、場合によっては日本語（出来る人は英語）で暗唱することが求められる。(30 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

成績評価の 80%は、定期試験期間中に実施する筆記試験によります（到達目標①)。残り 20%は小テストを含む授業参加によります（到達目標②)。定期試験では「劇作家シェイクスピアとその喜劇、ロマンス劇についての一般教養」を記号式の客観問題と記述を織り交ぜて評価します。合格の基準は、シェイクスピアについての基礎知識の理解ができていること、代表的な喜劇、ロマンス劇の内容、背景、舞台表象などを押さえていることです。小テストはタームの中で抜き打ち的に数回行います。そこでは、シェイクスピアについて「自ら積極的にものを調べ、論理的に整序、分析ができる」技能を記述式によって測ります。もしも、平素、出席が良好な受講者が偶発的に小テストの回に休んでしまった場合には、成績評価が不利にならないように配慮することもあり得ます。

◎－－－　テキスト　－－－◎

『あらすじで読むシェイクスピア全作品』
河合祥一郎著　　価格￥864
ISBN 9784396113490

◎－－－　参考書　－－－◎

『シェイクスピアの驚異の成功物語』　ISBN 9784560027486

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

講義や試験は原則として日本語で行われますが、シェイクスピアの特徴を正しく理解するために一部に英語を読むことがあります。直接英語力を問うような問題や英文和訳の出題はありませんが、英語という言語や英国文化に興味があることが望ましい。

前期開講の同じ講師による西洋文学 A と連動しているが、セメスター制であることを重視し、A を受講しなくとも不利になることはないように考慮されている。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1. イントロダクション
2. 『間違いの喜劇』
3. 『恋の骨折り損』
4. 『夏の夜の夢』
5. 『夏の夜の夢』
6. 『ヴェニスの商人』
7. 『ヴェニスの商人』
8. 『ヴェニスの商人』
9. 『十二夜』
10. 『十二夜』
11. 『十二夜』
12. 『あらし』
13. 『あらし』
14. 『あらし』
15. 全体のまとめ（論述式の小テスト）

西洋文学Ｂ（混沌と希望）　2020-S000009432-07

山中　博心

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・５時限　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

この講義では 19 世紀末から 20 世紀への世紀転換期に詩人たちが抱えた言語危機の問題と、それまでの予定調和的な世界（神の世界）の喪失から如何にして自己を取り戻していくのか、またナチスによるユダヤ人虐殺という未曾有の出来事の後にも詩を書くことが可能なのか、その場合それまでとは違った言語の生産性とは何かを考える。講義形式であるが毎回テーマに沿った 200 字程度の小文を書いてもらう。事前・事後学習として該当する詩及び解説に眼を通しておくことが望ましい。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 言語の多義的な意味についての

認識が深まる。(知識・理解)

詩的表現を通して自分の世界像を膨らますことができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

自分なりにイメージを膨らませておくことが授業での関心を高めることになるので事前に詩に目を通しておくこと。また自分が抱いていたイメージの修正を事後学習ですること。(60 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

達成目標の（知識・理解）および（態度・志向性）について毎回提出してもらう小文を小課題点とし、定期試験の結果と合わせて評価する。小文、定期試験とも自分の意見を詩人の言葉を手がかりにどれだけ客観性を持たせているかで判断する。平常点 30 点、定期試験 70 点とする。

◎－－－　テキスト　－－－◎

庄野幸吉・檜山哲彦編『ドイツ名詩選』(岩波文庫) 900 円
ISBN4-00324601-2

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

自分で感じ、考えることを旨とする。借りてきた説明書を写すようなことはこの講義の目的にそぐわない。自分の個的な感性を如何にして他者と共有できるかを心がけること。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　はじめに
2　ニーチェ
3　ヴェデキント
4　ゲオルゲ
5　ホフマンスタール
6　ホフマンスタール
7　リルケ
8　リルケ
9　リルケ
10　ヘッセ
11　ツェラン
12　ツェラン
13　ツェラン
14　ツェラン
15　終わりに

西洋文学Ｂ「教養ゼミ」(Speculative Japan 3)　2020-S000009432-08

クロス, ティモシー

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：演習　実務経験：有り　科目水準：入門　試験実施：無し
授業時間割：後期：月・５時限　試験時間割：定期試験なし

◎－－－　概要　－－－◎

Reading literature helps you understand your world.
Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills.
You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing.

You will be given a short test at the beginning of every class, so you can show that you have successfully completed the homework and understood the basic themes of each story.

You will study how to read and discuss short stories.
You will take part in discussion activities.
By the end of the course, you will be able to agree and disagree with other students as you about the main themes of a short story.

We will talk about the way Japan is imagined in the Speculative Japan stories. As we imagine the future possibilities of Japan, we will think about Japan now.

Group activities will include:
Participating in discussions
Helping other students when they do not understand
Asking questions when you do not understand
Working together to score the individual presentation of other students

Individual activities will include:
Preparing a powerpoint set of discussion questions
Making a brief presentation about some aspect of Japanese life that is thematically connected to the weekly reading

Although the class is taught in English, some students might mix Japanese and
English at the beginning of the course. As the course goes on, hopefully more English will be spoken. It is also possible that exchange students will take this course. Fukuoka University students and exchange students should help each other.

◎－－－　到達目標　－－－◎

Reading literature helps you understand your world. (知識・理解)

Talking about the different meanings of each piece of literature helps you develop your thinking and discussion skills. (技能)

You will be developing your own opinion as you practice agreeing and disagreeing, partially agreeing, and partially disagreeing. (態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

Please complete your homework BEFORE class: 90 minutes preparation per week.
You will read the stories in Japanese or English.
You will make notes comparing the various stories.
Reading the homework: checking anything you do not understand. Preparing for presentations and discussions.

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

There is no end of term exam (teiki shiken) during the official term examination period. There will also be no reexamination (sai shiken). Each week, the class is the exam.

Students who arrive late, or without their student ID, will be treated as absent. Missing the beginning of each class means not understanding what has happened in the previous week and not understanding the goals for that particular class.

Punctual class attendance, with the reading homework finished before coming to class, and with the textbook ready to actively participate in discussions 70%
Individual presentation 20%
Individual role in group 10%

I will not explain the evaluation system in class. You must read it for yourself.

◎－－－　テキスト　－－－◎

Speculative Japan 3
ISBN: 978-4-902075-
30-4
http://www.kurodahan.
com
Kurodahan Press Book No. FG-JP0024-L
For Japanese versions of this collection of short stories, please go to the Speculative Japan 2 webpage and click on the Japanese link for each story. Please buy the Japanese book from amazon.co.jp (Some books are ¥1 より).

◎－－－　参考書　－－－◎

http://www.kurodahan.com/mt/e/catalog/jp0024cate.html
http://www.kurodahan.com/

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

It is very important that you attend EVERY class. If you must be absent, please email me _before_ class. It is also very important that you complete the READING HOMEWORK _before_ class.
Remember the main points of every class: what is new for you?
If you do not understand the direction of the class, ask questions. When giving your presentation, do not read. You must speak to your audience and make eye contact.
Remember spinach: 報告、連絡、相談.
Being late for class is calculated as an absence.
Forgetting your textbook is calculated as an absence.
Forgetting your student card is calculated as an absence.
You must attend class to pass the course.
注意 Certain levels of misconduct are unacceptable.
tim@fukuoka-u.ac.jp

◎－－－　授業計画　－－－◎

1 Course introduction
2 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
3 朝松　健
"A White Camellia in a Vase" 立華　白椿翻訳： Joe EARLE
綾辻行人
"Heart of Darkness" 心の闇
翻訳: Daniel JACKSON
4 小川 一水
"To the Blue Star" 青い星まで飛んでいけ
翻訳: Edward LIPSETT
5 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
6 恩田 陸
"The Warning" 忠告
翻訳：Mikhail S. IGNATOV
2010 年黒田藩プレス翻訳賞受賞作品
7 加門七海
"A Piece of Butterfly's Wing" 蝶の断片翻訳：Angus TURVILL
2011 年黒田藩プレス翻訳賞課題作品
8 菅 浩江
"Five Sisters" 五人姉妹
翻訳: Ginny Tapley TAKEMORI
8 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
9 高野 史緒
"Lest You Remember" 空忙の鉢翻訳: Jim HUBBERT 10 藤田 雅矢
"Angel French" エンゼルフレンチ
翻訳: Pamela IKEGAMI
11 松崎 有理
"The Finish Line" あがり （第１回創元 SF 短編賞受賞）
翻訳: Nora Stevens HEATH 皆川 博子
"Sunset" 夕陽が沈む
翻訳: Karen SANDNESS
9 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
10 森 奈津子
"It's All Thanks to Saijō Hideki" 西城秀樹のおかげです翻訳: Anthea MURPHY 11 山田 正紀
"Silver Bullet" 銀の弾丸
翻訳: Stephen CARTER
12 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life
13 Japanese documentary DVD about some aspect of Japanese life14 Discussion as course review: what have you learned this semester? What was important for you?
15 Course review: how has your way of reading literature changed?

西洋文学Ｂ（フランス文学と人間学）

2020-S000009432-09

輪田　裕

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・１時限　　試験時間割：2021/01/20　４時限

◎－－－　概要　－－－◎

「文学」とは、わたしたちが何気なく思い描く「人間」のイメージを、文章によって具体的に、かつ分かりやすく表現するものです。とくにフランス文学の特徴のひとつはテキストで使用する『フランス文学案内』が指摘しているように「人間学」にあります。人間学とは「人間とは何か」を問うものですが、その問いを抽象的な哲学で扱うのではなく、具体的な人間（たち）を、具体的・日常的状況とともに描きながら問いかけるものですので、そこには政治・経済・哲学・社会・心理・自然科学など、作家が生きた時代のあらゆる課題がともに問いかけられています。フランスの作家たちが問いかけ、それに答えようとしたさまざまな姿を見てゆきながら、人間とは何かを考えるきっかけにしたいと思います。

◎－－－　到達目標　－－－◎

フランス文学に関する基本的知識を身につけ、説明することができる(知識・理解)

人間とは何かを問いかけ、人間の多様性を考慮した相対的思考を行うことができる(技能)

人間の多様な姿を見ることによって、人間とは何かを考える態度を身につける(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

講義では、特定の作家の特定の時代を取り上げますので、あらかじめテキストの該当ページを読んでおいて講義の内容が理解しやすいようにしておいてください。また、講義でとりあげた作家の作品は文庫で読める作品ばかりですので、講義後は実際に読んでみてください。(30分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期末におこなう定期試験ではフランス文学の基礎知識と、人間学としてのフランス文学を問います。また、後期の講義中に複数回提出するミニッツペーパーでは講義のテーマに沿った記述が論理的に表現しているかどうかを評価します。定期試験を 8 割、ミニッツペーパーを 2 割として成績評価します。

◎－－－　テキスト　－－－◎

渡辺一夫・鈴木力衛著『増補　フランス文学案内』、岩波文庫別冊①

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

人間理解に関して現代日本とは文化的に異なるフランス精神を扱いますので、自分の常識や考え方と異なる人間像が扱われることがあります。そのような自分と異なるに見方に積極的な関心を持つことが苦手な学生さんは履修を避けてください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．導入

２．モラリスト：人間性探求
３．人間の危機と恋愛：『クレーヴの奥方』
４．恋愛における理性と情念：『フェードル』
５．恋愛の心理解剖：『アドルフ』
６．理性と意志：『情念論』と『ル・シッド』
７．社交界と人間：『人間嫌い（ル・ミザントロープ）』
８．社会と人間：ゴリオの父性愛
９．社会と人間：ラスティニヤック
10. 社会への抗議：『赤と黒』
11. 自己探求：『エセー』
12. ロマン主義的人間像：『ボヴァリー夫人』
13. 実存としての人間：『異邦人』
14. 神なき人間：『パンセ』
15. まとめ

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

論理学Ａ（クリティカル・シンキング基礎編）　2020-S000009403-01 岩田　直也

授業時間割：前期：火・２時限　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。(60 分)
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験

の成績によって評価します。(100%)

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。とくになし。毎授業にプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．クリティカル・シンキングとは何か？
２．議論と説明
３．結論と前提

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

４．議論の構造分析その１
５．議論の構造分析その２
６．言語と言葉の曖昧さ
７．定義の種類
８．妥当な議論の三つの条件
９．前提の正しさの評価その１
１０．前提の正しさの評価その２
１１．前提の関連性の評価その１
１２．前提の関連性の評価その２
１３．前提の十分性の評価その１
１４．前提の十分性の評価その２
１５．前期のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎
日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

論理学Ａ（クリティカル・シンキング基礎編）　2020-S000009403-02 岩田　直也

授業時間割：前期：火・３時限　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。(60 分)
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験

の成績によって評価します。(100%)

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。とくになし。毎授業にプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．クリティカル・シンキングとは何か？
２．議論と説明
３．結論と前提
４．議論の構造分析その１
５．議論の構造分析その２
６．言語と言葉の曖昧さ
７．定義の種類
８．妥当な議論の三つの条件
９．前提の正しさの評価その１
１０．前提の正しさの評価その２
１１．前提の関連性の評価その１
１２．前提の関連性の評価その２
１３．前提の十分性の評価その１
１４．前提の十分性の評価その２
１５．前期のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について（ほぼ完璧に）マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや（卒業）論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。

この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　接続表現や指示表現の使い方をマスターする。（知識・理解）

論理学Ａ（論理学の初歩）　　2020-S000009403-03 林　誓雄

授業時間割：前期：火・４時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば（1）自分の考えを相手にきちんと伝え、そして（2）伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひと言で「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。（技能）

(3)　　論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適宜レジュメを配布する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

02.接続表現の使い方-1
03.接続表現の使い方-2
04.指示表現と議論の接続
05.確認テスト
06.確認テストの解説
07.議論の構造をつかまえる-1
08.議論の構造をつかまえる-2
09.議論の構造をつかまえる-2
10.論証構造の分析-1
11.論証構造の分析-2
12.演繹と推測
13.確認テスト

論理学Ａ（論理学の初歩）　　2020-S000009403-04 林　誓雄

授業時間割：前期：水・２時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。
なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
14.確認テストの解説
15.まとめ

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば（1）自分の考えを相手にきちんと伝え、そして（2）伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひと言で「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。
もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について（ほぼ完璧に）マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや（卒業）論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。

この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　接続表現や指示表現の使い方をマスターする。（知識・理解）

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。（技能）

(3)　　論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適宜レジュメを配布する。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。

なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
02.接続表現の使い方-1
03.接続表現の使い方-2
04.指示表現と議論の接続
05.確認テスト
06.確認テストの解説
07.議論の構造をつかまえる-1
08.議論の構造をつかまえる-2
09.議論の構造をつかまえる-2
10.論証構造の分析-1
11.論証構造の分析-2
12.演繹と推測
13.確認テスト
14.確認テストの解説
15.まとめ

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

論理学Ａ「BB」（クリティカル・シンキング基礎編）　2020-S000009403-05

岩田　直也

期別：前期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：前期：月・二部２時限　試験時間割：2020/07/27　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。（知識・理解）

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。（技能）

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。（態度・志向性）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。（60 分）
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験

の成績によって評価します。（100%）

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。
◎－－－　テキスト　－－－◎ とくになし。毎授業にプ

リントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。

◎－－－　授業計画　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

１．クリティカル・シンキングとは何か？
２．議論と説明
３．結論と前提
４．議論の構造分析その１
５．議論の構造分析その２
６．言語と言葉の曖昧さ
７．定義の種類
８．妥当な議論の三つの条件
９．前提の正しさの評価その１
１０．前提の正しさの評価その２
１１．前提の関連性の評価その１
１２．前提の関連性の評価その２
１３．前提の十分性の評価その１
１４．前提の十分性の評価その２
１５．前期のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎
論理的に証明しながら述べるということが求められる。このときに必要となるものこそ、「論理の力」である。
　この授業ではまず、論理学の基礎中の基礎である接続表現や指示表現の使い方を一から確認し直すことにする。そして毎回の演習を通して「論理の力」の基礎を鍛錬しながら、最終的に研究書や研究論文を論理的に読み解き、なおかつ自分で議論を論理的な仕方で作成できる力を養うことに繋げる。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　接続表現や指示表現の使い方をマスターする。(知識・理解)

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。(技能)

(3)　　論理的に文章を読み解き、論理的に文章を書くことができるようになる。(技能)

論理学Ａ（論理学の初歩）　　2020-S000009403-06 林　誓雄

授業時間割：前期：木・４時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

　この授業では、「論理の力」の基礎を鍛える。「論理の力」とは、最も簡単に言うならば（1）自分の考えを相手にきちんと伝え、そして（2）伝えられたものをきちんと受け取る力のことであり、ひと言で「言葉を自在に扱う力」、「日本語の力」のひとつである。
　もちろん、すでにわれわれは「日本語を話す」ことができているわけだから、日本語について（ほぼ完璧に）マスターしている、そう思われるかもしれない。しかしながら、日本語を「話す」ことができるからといって、優秀なレポートや（卒業）論文を「書く」ことができるということにはならない。レポートや論文を書く上では、資料となる本や論文を論理的に読み解き、筆者の議論の論理構造をきちんと把握し、自分なりに咀嚼・再構成した上で、その意見に対する是非を

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

　論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適

◎－－－　テキスト　－－－◎
10.論証構造の分析-1
11.論証構造の分析-2
12.演繹と推測

論理学A（知性の作法）　2020-S000009403-07 末吉　康幸

授業時間割：前期：木・１時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

宜レジュメを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。
なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
02.接続表現の使い方-1
03.接続表現の使い方-2
04.指示表現と議論の接続
05.確認テスト
06.確認テストの解説
07.議論の構造をつかまえる-1
08.議論の構造をつかまえる-2
09.議論の構造をつかまえる-2
13.確認テスト
14.確認テストの解説
15.まとめ

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

◎－－－　概要　－－－◎

書物や会話に現れる証明や推論の論理的構造を分析し、その合理性を評価するスキルをトレーニングするため、例題や練習問題を解説し、そこに含まれるスキルを定式化する。
学期前半では、特に論証の中核である演繹的論証を支える基本構造について学ぶ。学期後半では、論証の前提と帰結の関係を分析し、論証全体の帰納的確率を評価し、さらに、既知の情報から新たな知見を導き出すスキルを学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 既知の情報から新たな知見を導き出せるようになる。（技能）推論や論証の妥当性を評価できるようになる。（技能）議論や論説の構造を理解できるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は、45 分程度。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によって、文章の論理構造の理解度や、帰納的確率を評価する能力を測る。テキストは使用しない。FU ポータル→授業関連→授業支援→課題提出のプリントを各自プリントアウトして準備すること。

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『論理トレーニング』産業図書野矢茂樹『論理トレーニング 100 題』産業図書坂井秀久『日本語の文法と論理』勁草書房

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

思考の技術は、自分の間違いに自覚的になることによって獲

論理学Ａ（知性の作法）　2020-S000009403-08 末吉　康幸

授業時間割：前期：木・２時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

得されます。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　論証と推論の構造及び帰納的確率
２　否定の構造(1)
　日本語における否定
３　否定の構造(2)

◎－－－　テキスト　－－－◎

　両立可能と両立不可能
４　条件構造(1)
　逆、裏、対偶
５　条件構造(2)
　非存在（全称）と存在（特称）の主張
６　推論できること、できないこと(1)
　何ものかの存在を推論すること
７　推論できること、できないこと(2)
　消去法と条件構造
８　論証の構造
９論証図式(1)
　前提と帰結
10　論証図式(2)
　練習問題
11　論証の評価
　演繹的論証と帰納的論証
12　論証の評価
　複合論証の評価
13　論証の評価(3)
　練習問題
14　推測と推論(1)
　隠された前提
15　推測と推論(2)
　因果関係

◎－－－　概要　－－－◎

書物や会話に現れる証明や推論の論理的構造を分析し、その合理性を評価するスキルをトレーニングするため、例題や練習問題を解説し、そこに含まれるスキルを定式化する。

期別：前期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

学期前半では、特に論証の中核である演繹的論証を支える基本構造について学ぶ。学期後半では、論証の前提と帰結の関係を分析し、論証全体の帰納的確率を評価し、さらに、既知の情報から新たな知見を導き出すスキルを学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 既知の情報から新たな知見を導き出せるようになる。（技能）推論や論証の妥当性を評価できるようになる。（技能）議論や論説の構造を理解できるようになる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は、45 分程度。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によって、文章の論理構造の理解度や、帰納的確率を評価する能力を測る。テキストは使用しない。以下からプリントを各自プリントアウトして出席すること。プリントの所在：FU ポータル
→授業関連→授業支援→課題提出

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『論理トレーニング』産業図書野矢茂樹『論理トレーニング 100 題』産業図書坂井秀久『日本語の文法と論理』勁草書房

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

思考の技術は、自分の間違いに自覚的になることによって獲得されます。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

◎－－－　テキスト　－－－◎

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　論証と推論の構造及び帰納的確率
2　否定の構造(1)
日本語における否定
3　否定の構造(2)
両立可能と両立不可能
4　条件構造(1)
逆、裏、対偶
5　条件構造(2)
非存在（全称）と存在（特称）の主張
6　推論できること、できないこと(1)
何ものかの存在を推論すること
7　推論できること、できないこと(2)
消去法と条件構造
8　論証の構造
9 論証図式(1)
前提と帰結
10　論証図式(2)
練習問題
11　論証の評価
演繹的論証と帰納的論証
12　論証の評価
複合論証の評価
13　論証の評価(3)
練習問題
14　推測と推論(1)
隠された前提
15　推測と推論(2)
因果関係

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

論理学Ａ（現代論理学の基礎〔命題論理学〕）　　2020-S000009403-09 村田　剛一

授業時間割：前期：金・３時限　　試験時間割：2020/07/29　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

「論理」という言葉は堅苦しく、また、日常会話の中では馴染みのうすい言葉ではあるが、例えば、私たちが日常ときどき出会う、あるいは、自分でおこなう次のような形の主張、即ち、「かくかくである、しかじかである、・・・、従って、これこれである」という形の主張（このような形の主張を「推論」という）が正しいのか正しくないのかを問うとき、言い換えれば、その推論は正しい推論なのか正しくない推論なのかを問うとき、私たちはその論理を問題にしているのである。私たちは、普通、ある推論が正しいか正しくないかの判別を直観的にやっているが、少し複雑な推論になるとこの直観は誤ることもある。

だが、そもそも、ある推論が正しい推論であるとか正しくない推論であるとはどういうことなのであろうか。論理学は、ある推論が正しい推論であるとか正しくない推論であるとはどういうことであるかを、また、ある推論が正しいか正しくないかの判別の方法を、また、ある推論が正しいことの証明方法を提示している。授業では、現代論理学の基礎である命題論理学を学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 命題とは何かについて説明できる。（知識・理解）

日常の文の記号化の時に使う記号や論理語について説明できる。（知識・理解）日常の文の記号化や真理表作成ができる。（技能）

推論形式の妥当性の判定基準・判定方法について説明できる。（知識・理解）推論形式の妥当性を幾つかの方法で判定できる。（技能）推論形式の妥当性を演繹的に証明できる。（技能）

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業は前回までの内容を踏まえて話が進んでいくので、必ず復習すること。また、授業前に再度内容を確認し、疑問点があれば、そのままにせず、質問して疑問点を解決すること。また、宿題がある場合は、必ずやってくること。(90 分)

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。
②評価基準　授業で取り上げた基本的な項目（命題、記号、論理語、推論形式の妥当性、妥当性の判定基準・方法など）が正確に理解できているか、また、命題の記号化や真理表作成が正確にできているか、また、推論形式の妥当性を、指定された方法で、判定・証明できているかという点を評価の基準とします。

使用しない。プリント配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

毎回の積み重ねで話が進んでいくので、欠席しないようにして下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　　命題

期別：前期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

２　　記号化、命題形式
３　　真理値
４　　論理語
５　　真理表
６　　真理関数
７　　事実式、恒真式、矛盾式
８　　推論、推論形式
９　　推論の妥当性とその判定基準
１０　推論の妥当性の判定
１１　急襲法１
１２　急襲法２
１３　導出規則１
１４　導出規則２
１５　命題論理学における証明

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

論理学Ｂ（クリティカル・シンキング応用編）　　2020-S000009404-01 岩田　直也

授業時間割：後期：火・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。(60 分)
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験

の成績によって評価します。(100%)

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。とくになし。毎授業にプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。
・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．演繹的議論の分析その１

２．演繹的議論の分析その２
３．帰納的議論の分析その１
４．帰納的議論の分析その２
５．科学的議論の分析その１
６．科学的議論の分析その２
７．類推的議論の分析その１
８．類推的議論の分析その２
９．倫理的議論の分析その１
１０．倫理的議論の分析その２
１１．メディア批評
１２．ディベートの方法
１３．説得のテクニック
１４．哲学対話の方法
１５．全体のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎
◎－－－　到達目標　－－－◎

日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。(60 分)
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験の成績によって評価します。(100%)

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。とくになし。毎授業にプリントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

論理学Ｂ（クリティカル・シンキング応用編）　2020-S000009404-02 岩田　直也

期別：後期　単位数：2　開講年次： 1　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り

授業時間割：後期：火・３時限　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。
・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．演繹的議論の分析その１
２．演繹的議論の分析その２
３．帰納的議論の分析その１
４．帰納的議論の分析その２
５．科学的議論の分析その１
６．科学的議論の分析その２
７．類推的議論の分析その１
８．類推的議論の分析その２
９．倫理的議論の分析その１
１０．倫理的議論の分析その２
１１．メディア批評
１２．ディベートの方法
１３．説得のテクニック
１４．哲学対話の方法
１５．全体のまとめ

◎－－－　テキスト　－－－◎

確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。（技能）

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。
(技能)

(3)　　批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

論理学Ｂ（批判する技術）　　2020-S000009404-03 林　誓雄

授業時間割：後期：火・４時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適宜レジュメを配布する。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

論理学Ｂ（批判する技術）　　2020-S000009404-04 林　誓雄

授業時間割：後期：水・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。
なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
02.二種類の導出：演繹と推測
03.仮説形成と暗黙の前提
04.他の仮説の消去
05.逆・裏・対偶-1
06.逆・裏・対偶-2
07.確認テスト
08.確認テストの解説
09.否定
10.全称文と存在文
11.複合問題の演習
12.存在文を含む論証と消去法
13.背理法
14.確認テスト
15.まとめ

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。（技能）

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。
(技能)

(3)　　批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適宜レジュメを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。
なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
02.二種類の導出：演繹と推測
03.仮説形成と暗黙の前提
04.他の仮説の消去
05.逆・裏・対偶-1
06.逆・裏・対偶-2
07.確認テスト
08.確認テストの解説

◎－－－　テキスト　－－－◎
09.否定
10.全称文と存在文
11.複合問題の演習
12.存在文を含む論証と消去法
13.背理法
14.確認テスト
15.まとめ

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

論理学Ｂ「BB」（クリティカル・シンキング応用編）　2020-S000009404-05

岩田　直也

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：月・二部２時限　試験時間割：2021/01/18　夜２限

◎－－－　概要　－－－◎

クリティカル・シンキングとは、日常の言葉を用いた議論の論理構造を分析しその議論の良しあしを評価し、さらに、論理的に正しい優れた議論を自ら構成する能力を養うことを目的とするものです。そのような特性から、取り扱うジャンルは法律、政治、科学、ジャーナリズム、社会科学など多岐に渡り、どの専攻の学生でも習得するに値する教養の一部です。前期の基礎編では、議論分析の基本的な手法を学び、後期の応用編では、その手法を様々な形式の議論に適用する方法を学びます。その過程で、誤った議論の代表的な形式や、定義・真理・演繹・帰納などの論理学の基本的な概念も学びます。さらに、エッセイライティング、プレゼンテーション、ディスカッションにクリティカル・シンキングの要素をどのように取り入れていったらよいか、という点も適宜詳しく説明していきますので、論理的なコミュニケーション力の総合的な向上を目指す人は、是非受講してみて下さい。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常議論の基本構造と種類、代表的な誤りの議論の諸形式について知識をもち、それらの内容について説明できる。(知識・理解)

様々な種類・形式の議論構造を論理的に分析し、その妥当性を体系的に評価できる。(技能)

相手の議論を思いやりをもって検討し、建設的な仕方で批判することができる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

毎授業後に宿題を課しますので、次の授業までに必ず取り組み、疑問点を明確にした上で出席して下さい。(60 分)
毎回の授業は、宿題の解説から始めます。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎ 定期試験

の成績によって評価します。(100%)

定期試験では、議論の諸形式の知識、議論分析の実践、建設的な反論の組み立てなど、授業で学んだことを総合的に試す問題が課されます。
◎－－－　テキスト　－－－◎ とくになし。毎授業にプ

リントを配布します。

◎－－－　参考書　－－－◎

質問力を鍛えるクリティカル・シンキング練習帳　ISBN 4569634362
新版論理トレーニング　ISBN 9784782802113 論理トレーニング 101 題　ISBN 9784782801369

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

・この授業では、形式論理学は扱いませんので、その学習を希望する人は他の授業を履修して下さい。
・授業は講義形式ですが、問題演習などの実践が中心になるクラスですので、積極的に授業参加する態度が必要です。
・前期のクリティカル・シンキング基礎編を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　授業計画　－－－◎

１．演繹的議論の分析その１
２．演繹的議論の分析その２
３．帰納的議論の分析その１
４．帰納的議論の分析その２
５．科学的議論の分析その１
６．科学的議論の分析その２
７．類推的議論の分析その１
８．類推的議論の分析その２
９．倫理的議論の分析その１
１０．倫理的議論の分析その２
１１．メディア批評
１２．ディベートの方法
１３．説得のテクニック
１４．哲学対話の方法
１５．全体のまとめ

論理学Ｂ（批判する技術）　　2020-S000009404-06 林　誓雄

授業時間割：後期：木・４時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

この授業では、本や論文を論理的に読み解き、そしてそこで述べられている主張の是非について考え、最終的に自分の意見を相手に正確に伝える技術の習得を目指す。その技術習得の一環として、前半のパートでは特に演繹的推論の技術を正確に使いこなす訓練を行なう。後半のパートでは前半で学んだことを踏まえ、自分で議論を構築できるようになることを目指し、本や論文で書かれている主張に対して論理的に批判する力を養う。

◎－－－　到達目標　－－－◎

(1)　　演繹と帰納がそれぞれどのような意味なのかを理解し、それらの間の区別ができるようになる。（技能）

◎－－－　テキスト　－－－◎

(2)　　議論の構造を的確につかまえることができるようになる。
(技能)

(3)　　批判的な視点から文章を読み解き、疑問点などを挙げることができるようになる。(態度・志向性)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

論理学を学ぶ上で重要なことは、実際に問題を解く（演習をする）ことである。そのため、授業では宿題として、いくつか課題を課すことがあるので、その課題を必ずこなしてから、次回の授業に臨むこと。当然のことながら、宿題をする前に、その回に学んだことについて、毎回少なくとも 30 分は復習をすること。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験の結果（100%）で評価する。定期試験では、授業内容を理解し、それぞれの単元で学んだことを十分理解したうえで解答できていることを評価基準とする。使用しない。適宜レジュメを配布する。

◎－－－　参考書　－－－◎

野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書、2006 年
ISBN 978-4782802113

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

この授業では、論理学の中でも基礎中の基礎を学んでもらう。自分の「ことばの力」を、基本に立ち返って一から確認したいという人たちの参加を期待する。
なお、論理学を学ぶ上で最も重要なことは、実際に演習を繰り返すこと（練習問題を数多く解くこと）である。授業内での演習がメインとなるため、理由なき遅刻や欠席は許されない。

◎－－－　授業計画　－－－◎

01.イントロダクション
02.二種類の導出：演繹と推測
03.仮説形成と暗黙の前提
04.他の仮説の消去
05.逆・裏・対偶-1
06.逆・裏・対偶-2
07.確認テスト
08.確認テストの解説
09.否定
10.全称文と存在文
11.複合問題の演習
12.存在文を含む論証と消去法
13.背理法
14.確認テスト
15.まとめ

※ この授業計画は、進度に応じて一部変更される可能性があります。

◎－－－　テキスト　－－－◎
学期前半では、意味論的方法により日常の文の論理構造を分析する。
学期後半では、公理論的方法により、論理的真理の意義、及び証明の構造を学び、ゲーデルの証明を理解するための準備をする。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常的な言説の論理構造を読み取ることが出来るようになる。
(技能)

経験的真理と論理的真理・数学的真理の相違を学ぶ。

(知識・理解) 公理論的方法を学ぶ。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は 45 分程度。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によって、論理的概念の理解度、日本語の文を論理式に翻訳することに論理構造の理解度、公理論的証明の方法の理解度を評価する。テキストは使用しない。以下からプリントをプリントアウトして出席すること。プリントの所在：FU ポータル→授業関連→授業支援→課題提出

論理学Ｂ（知性の限界）　2020-S000009404-07 末吉　康幸

授業時間割：後期：木・１時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

書物や会話に現れる証明や推論の論理形式を、記号を用いて分析し、そのことによりその形式を形式として明晰にする。

◎－－－　参考書　－－－◎

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

大窪徳行・田畑博敏『論理学の方法』（北樹出版）清水義夫『記号論理学』（東京大学出版会）野矢茂樹『論理学』（東京大学出版会）
E.ナーゲル/J.R.ニューマン『ゲーデルは何を証明したか』（白揚社）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

論理形式はルールです。ルールの習得は、自分の間違いに自覚的になることによって可能になります。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　論理とは何か
2　日常言語と真理関数・真理表
3　推理と可能世界 / 妥当性とトートロジー
4　伝統的論理学と述語論理
5　関係と多重量化
6　妥当性とモデル
7　文論理の公理系
8　定理とメタ定理の証明
9　健全性と完全性の証明
10　述語論理の公理系
11　述語論理の健全性と完全性
12　数学の形式化
13　ラッセルのパラドクス
14　ゲーデルの証明(1)
15　ゲーデルの証明(2)

論理学Ｂ（知性の限界）　2020-S000009404-08 末吉　康幸

授業時間割：後期：木・２時限　　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　テキスト　－－－◎
◎－－－　概要　－－－◎

書物や会話に現れる証明や推論の論理形式を、記号を用いて分析し、そのことによりその形式を形式として明晰にする。
学期前半では、意味論的方法により日常の文の論理構造を分析する。
学期後半では、公理論的方法により、論理的真理の意義、及び証明の構造を学び、ゲーデルの証明を理解するための準備をする。

◎－－－　到達目標　－－－◎

日常的な言説の論理構造を読み取ることが出来るようになる。
(技能)

経験的真理と論理的真理・数学的真理の相違を学ぶ。

(知識・理解）公理論的方法を学ぶ。(知識・理解)

◎－－－　授業時間外の学習(予習・復習)　－－－◎

授業終了時に示す課題を必ずやっておくこと。予習復習に要する時間は 45 分程度。

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

定期試験によって、論理的概念の理解度、日本語の文を論理式に翻訳することに論理構造の理解度、公理論的証明の方法の理解度を評価する。プリントを使用する。プリントは以下からダウンロードしプリントアウトして出席

期別：後期　　単位数：2　　開講年次： 1　　授業形態：講義　　実務経験：無し　　科目水準：入門　　試験実施：有り

◎－－－　テキスト　－－－◎

すること。プリントの所在：FU ポータル→授業関連→授業支援→課題提出

◎－－－　参考書　－－－◎

大窪徳行・田畑博敏『論理学の方法』（北樹出版）清水義夫『記号論理学』（東京大学出版会）野矢茂樹『論理学』（東京大学出版会）
E.ナーゲル/J.R.ニューマン『ゲーデルは何を証明したか』（白揚社）

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

論理形式はルールです。ルールの習得は、自分の間違いに自覚的になることによって可能になります。したがって、練習問題を宿題に出しますから、練習問題は必ずやってきてください。練習問題に数多く当たることによって、自分が理解していない点が明らかになります。また、わからない点があれば、授業中でも、遠慮なく質問してください。

◎－－－　授業計画　－－－◎

1　論理とは何か
2　日常言語と真理関数・真理表
3　推理と可能世界 / 妥当性とトートロジー
4　伝統的論理学と述語論理
5　関係と多重量化
6　妥当性とモデル
7　文論理の公理系
8　定理とメタ定理の証明
9　健全性と完全性の証明
10　述語論理の公理系
11　述語論理の健全性と完全性
12　数学の形式化
13　ラッセルのパラドクス
14　ゲーデルの証明(1)
15　ゲーデルの証明(2)

論理学Ｂ（現代論理学入門〔命題論理学、述語論理学〕）　2020-S000009404-09

村田　剛一

期別：後期　単位数：2　開講年次：１　授業形態：講義　実務経験：無し　科目水準：入門　試験実施：有り
授業時間割：後期：金・３時限　試験時間割：2021/01/21　１時限

◎－－－　概要　－－－◎

「かくかくである，しかじかである，・・・，従って，これこれである」という形の主張を「推論」というが，推論には正しいものと正しくないものがある。私たちは，普通，ある推論が正しいか正しくないかの判別を直観的にやっているが，少し複雑な推論になるとこの直観は誤ることもある。

論理学は，ある推論が正しいとか正しくないとはどういうことであるかを，また，ある推論が正しいか正しくないかの判別の方法を，また，ある推論が正しいことの証明方法を提示している。この授業では，現代論理学の基礎である命題論理学を簡潔に学んだ後，述語論理学を学ぶ。

命題論理学は，文（=命題）を基本的な単位とし，文の内部構造を考えない論理学である。この命題論理学が扱うことができる推論は限られている。例えば，「すべての人間は死ぬ，ソクラテスは人間である，故にソクラテスは死ぬ」という古くから知られ，また，直観的に正しいとわかる推論の正しさを，命題論理学の手法では証明することができない。このような推論の正しさは，文（=命題）の内部構造（文の主語と述語）に着目することによって証明される。述語論理学は文（=命題）の内部構造に着目するのである。この授業では，命題論理学を速習した後，命題論理学をその部分として含むいっそう広範な体系である述語論理学を学ぶ。

◎－－－　到達目標　－－－◎ 命題について説明できる。（知識・理解）

命題の記号化に使う記号、また、論理語について説明できる。（知識・理解）命題の記号化や真理表作成ができる。（技能）

推論形式の妥当性の判定基準・判定方法を説明できる。（知識・理解）推論形式の妥当性の判定、また、演繹的証明ができる。（技能）

単称命題、主語と述語、普遍命題と存在命題について説明できる。（知識・理解）

◎－－－　授業時間外の学習（予習・復習）　－－－◎

授業は前回までの内容を踏まえて話が進んでいくので，必ず復習すること。また，授業前に再度内容を確認し，疑問点があれば，そのままにせず，質問して疑問点を解決すること。また，宿題がある場合は，必ずやってくること。（90分）

◎－－－　成績評価基準および方法　－－－◎

①評価方法　定期試験。
②評価基準　授業で取り上げた基本的な項目（命題、記号、論理語、推論形式の妥当性、妥当性の判定基準・方法、単称命題、主語と述語、普遍命題と存在命題など）が正確に理解できているか、また、命題の記号化や真理表作成が正確にできているか、また、推論形式の妥当性を、指定された方法で、判定・証明することができているかという点を評価の基準とします。 ◎－－－　テキスト　－－－◎

使用しない。プリント配布。

◎－－－　履修上の留意点　－－－◎

私の「論理学Ａ」を履修していなくても履修できます。毎回の積み重ねで話が進んでいくので，欠席しないようにして下さい。

◎－－－　授業計画　－－－◎

１　（命題論理学）命題，記号化，命題形式
２　論理語１，真理表
３　論理語２，真理表
４　事実式，恒真式，矛盾式
５　推論，推論の妥当性とその判定基準
６　推論の妥当性の判定１
７　推論の妥当性の判定２
８　導出規則１
９　導出規則２
１０　命題論理学における証明１
１１　命題論理学における証明２
１２　命題論理学における証明３
１３　（述語論理学）単称命題，主語，述語
１４　普遍命題，存在命題
１５　導出規則，述語論理学における証明